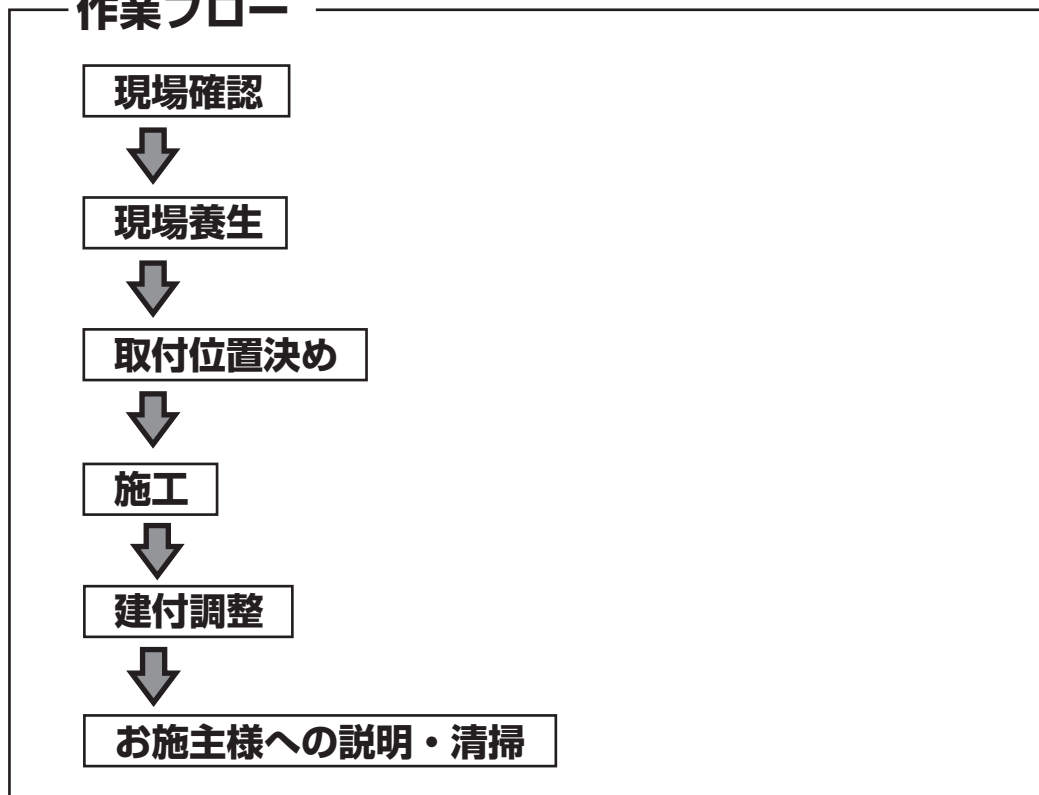


エコ内窓 プラマードU【施工・調整編】

作業フロー



- 施工方法を変更しました。確認して取付けてください。
- 障子吊込み時、目視確認用に赤色表示(赤ラベル)を追加しました。






本マニュアルは専門知識を有する業者様向けの内容となっております。誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。

シーリングは必ず実施してください!

- 「シーリングマーク」で表示している箇所のシーリングは必ず行ってください。シーリングがされないと、漏水の原因となったり、家屋や家財を傷めるなど重大事故につながるおそれがあります。
- シーリング材は、シリコーン系シーリング材をご使用ください。(オプション品)
ポリサルファイド系はサッシが変色するおそれがありますので使用しないでください。



目次

	【商品概要】	P.1
	【現場確認】	P.9
	【組立・施工】	P.19
	引違い窓	■標準仕様 P.20
		■戸先錠仕様 P.33
		■浴室仕様 P.44
	FIX 窓	P.59
	内開き窓	P.65
	開き窓テラス	P.75
	オプション 【共通】	
	■連窓方立	P.86
	■段窓無目	P.90
	■連窓方立 + 段窓無目	P.94
	■コーナー方立	P.96
	■調整材	P.100
	■ふかし枠	P.103
	【引違い窓用】	
	■掃き出しアタッチメント	P.160
	■後付L型引手	P.162
	■レール端部スペーサー	P.167
	■化粧額縁	P.168
	【内開き窓・開き窓テラス用】	
	■アームストッパー	P.172
	特殊な納まりに取付ける場合	
	■和室に取付ける場合	P.176
	■カーテンレール・カーテンボックス付の場合	P.177

【商品概要】

■ プラマードU 商品概要 P.2



■ プラマードU 各アイテムの説明と各部の名称 P.3

2 プラマードU 商品概要

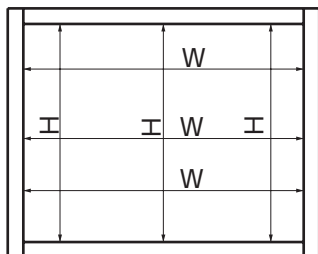
プラマードU 商品概要

プラマードUとは

※1
今ある窓の内側に取付け、**二重窓にすることで開口部の断熱性、遮音性を高める樹脂製内窓**です。

※1: 木額縁には必要見込寸法があります。

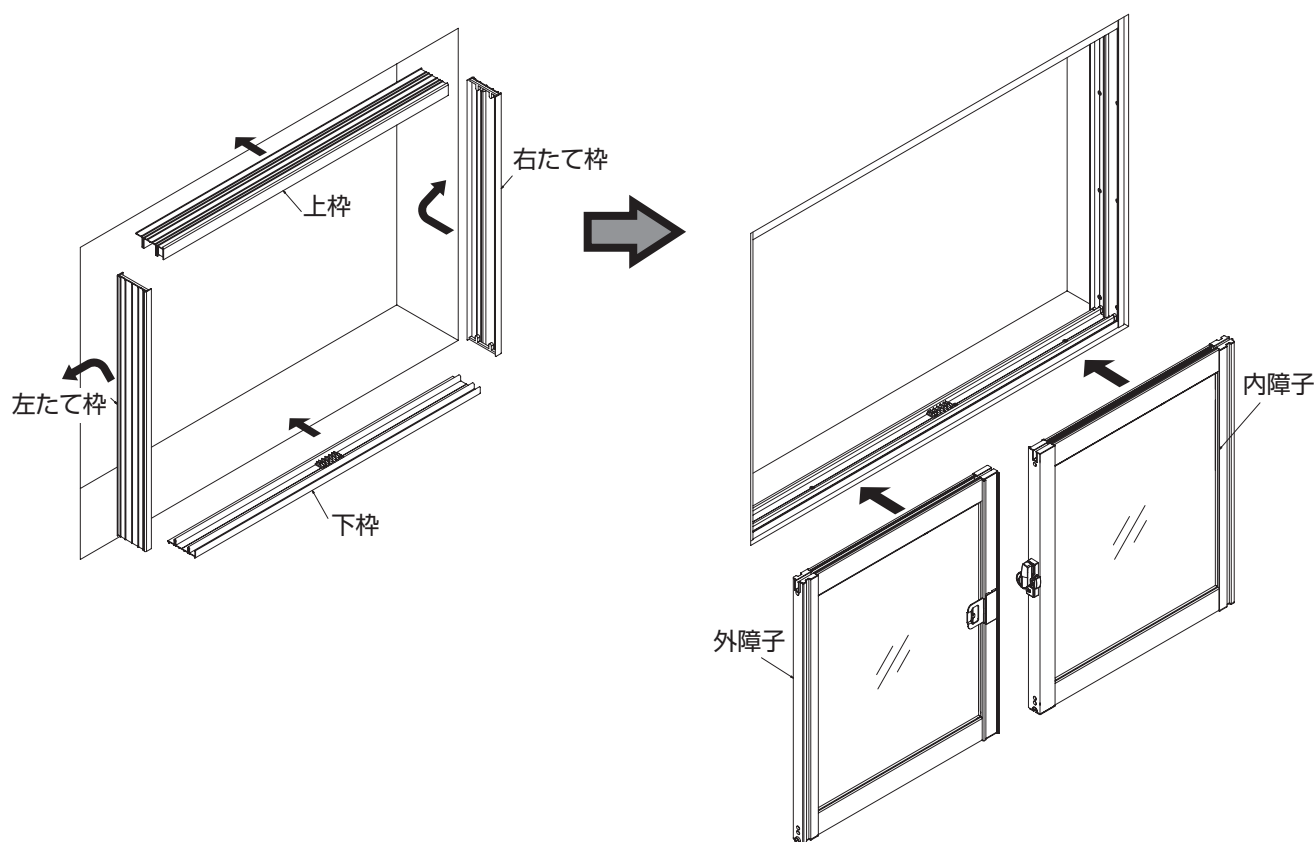
発注方法



開口のWおよびHそれぞれ3ヶ所計測し、それぞれの**最小のW、H寸法で発注**します。

取付方法

木額縁に枠をねじ止めして障子を吊込み、建付調整を行えば終了です。



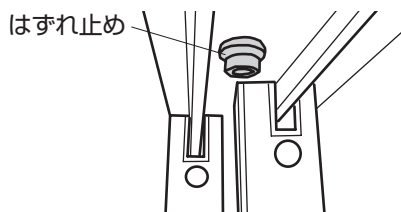
引違い窓

■引違い窓

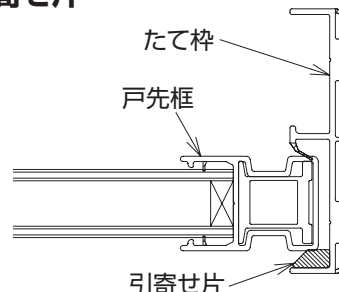
<窓タイプ>

はずれ止め

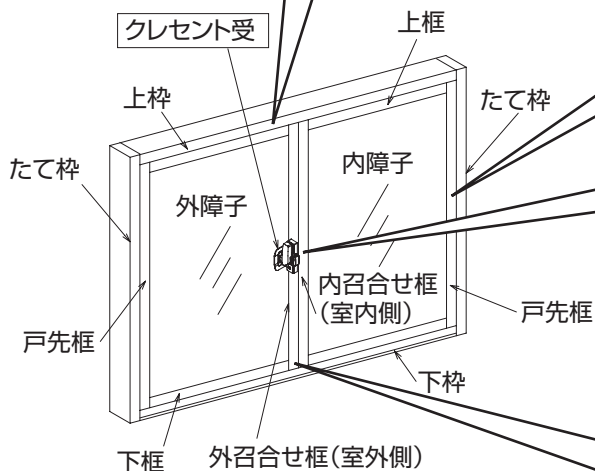
障子はずれないようにする部品です。



引寄せ片



気密・遮音性能担保の為に部品です。



空かけ防止クレセント

障子が完全に閉まった状態でないと施錠できないクレセント(鍵)です。

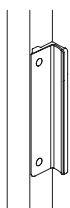
補助錠(オプション)

防犯合わせガラス完成品仕様には補助錠がつきます。
 ※ CPラベルの対象ではありません。
 ※ 補助錠のみの発注はできません。
 ※ テラス・ランマ通しタイプにも取付可能です。

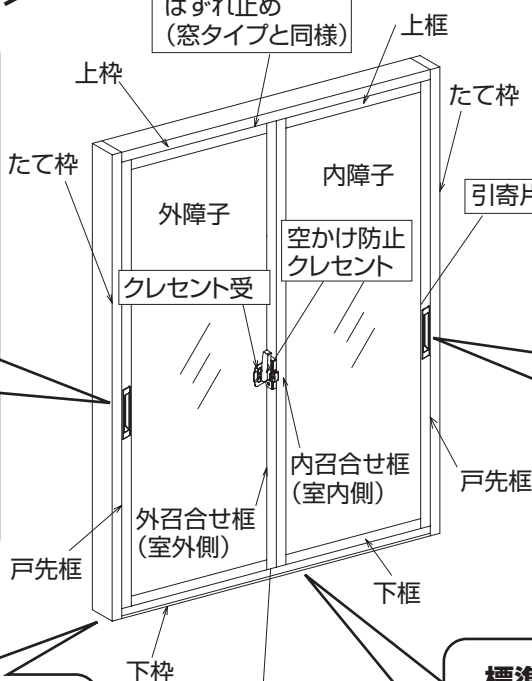
<テラス・ランマ通しタイプ>

後付L型引手(オプション)

標準の舟底引手より、手かかりが大きくさらに開閉操作しやすい後付可能な引手です。
 ※ オプションの障子ストッパーと必ず併用してください。
 ※ 窓タイプにも取付可能です。



はずれ止め (窓タイプと同様)

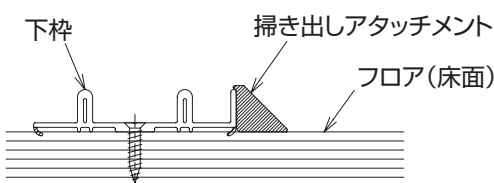


舟底引手(標準装備)

開閉操作をサポートする舟底型の引手です。
 ※ 左右の戸先框の室内外両方につきます。

掃き出しアタッチメント(オプション)

つまずき防止に有効なアタッチメントです。



補助錠 (オプション) (窓タイプと同様)

標準の下枠



間仕切り下枠



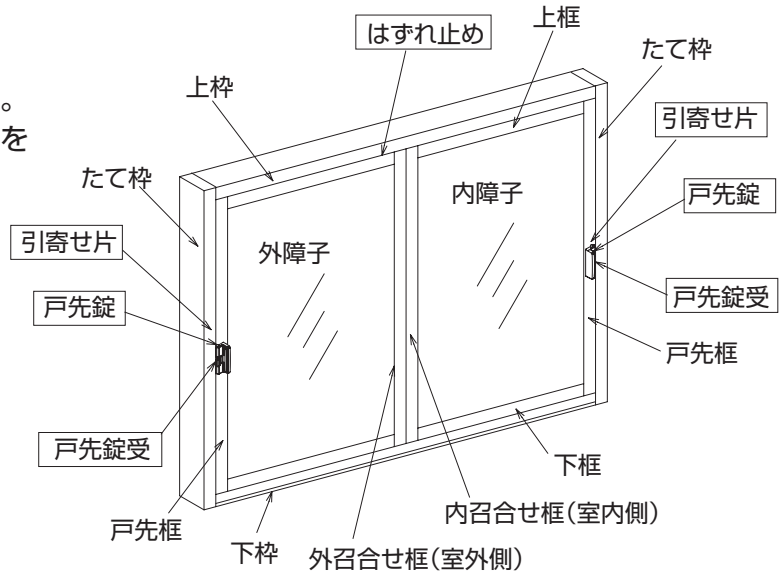
間仕切り用の引戸として納める場合などに使用する下枠です。

4 プラマードU各アイテムの説明と各部の名称

引違い窓 戸先錠仕様・浴室仕様

■引違い窓 戸先錠仕様

引手と鍵が一体になっています。
窓を閉めると自動的に鍵がかかります。
※本商品は、侵入、盗難防止等、防犯を
保証するものではありません。
必ず外窓の鍵も閉めてください。

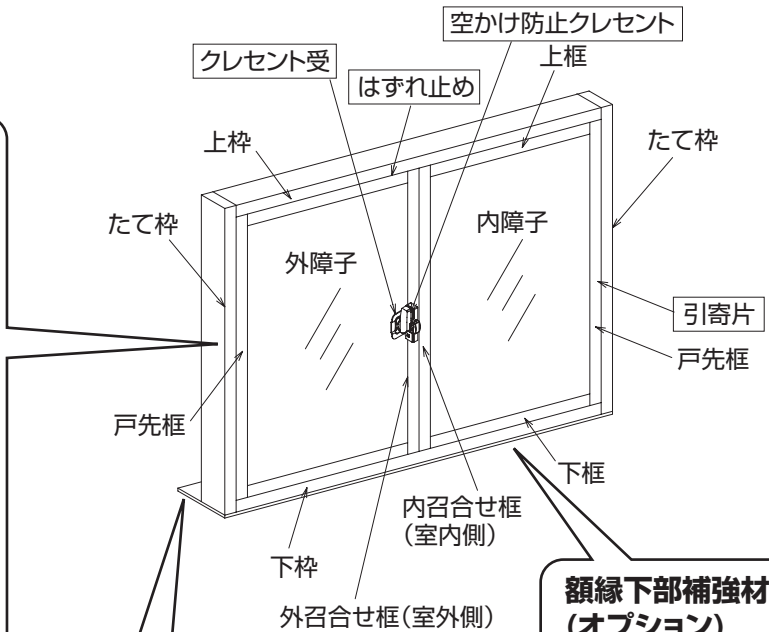


■引違い窓 浴室仕様

浴室に取付可能な仕様です。
※アイテムは引違い窓のみです。
※色はホワイト(YW)色のみです。

両面テープ

ねじを極力使わずに両面テープで枠を固定することで、漏水の危険性を減らしています。



額縁下部補強材 (オプション)
樹脂額縁

額縁下部補強材

ユニットバス納まりで樹脂額縁の強度が不足している場合に使用する補強材です。ユニットバス納まり発注時に、下部補強材の有無で指示してください。

下枠アタッチメント

変更

<ユニットバス納まり用>

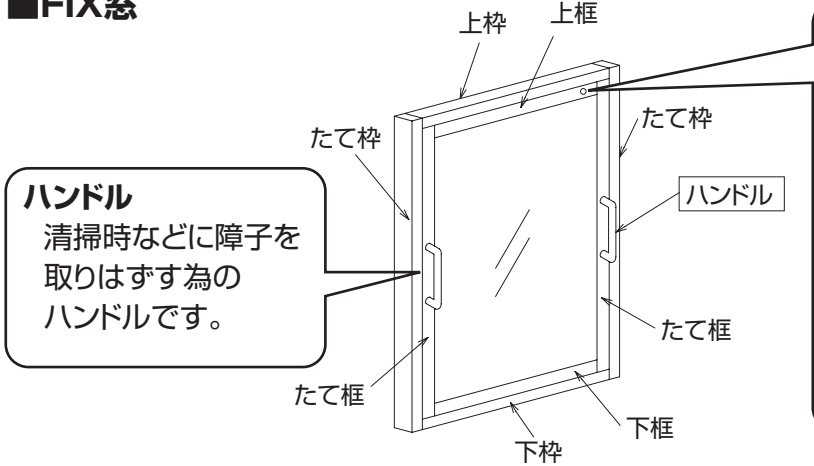
<タイル納まり用>

下枠アタッチメントの役割

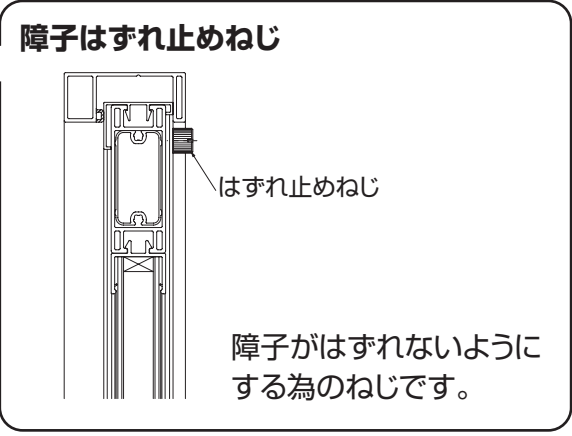
- ※プラマードUの荷重を下枠アタッチメント全体で受けて、樹脂額縁への荷重を分散させます。
- ※外窓とプラマードUとの間の段差をなくしフラットにすることで水が溜りにくくします。
- ※万が一、枠固定用の両面テープが劣化したとしても、下枠が室内側に落ちにくくします。

FIX 窓・内開き窓・開き窓テラス

■FIX窓

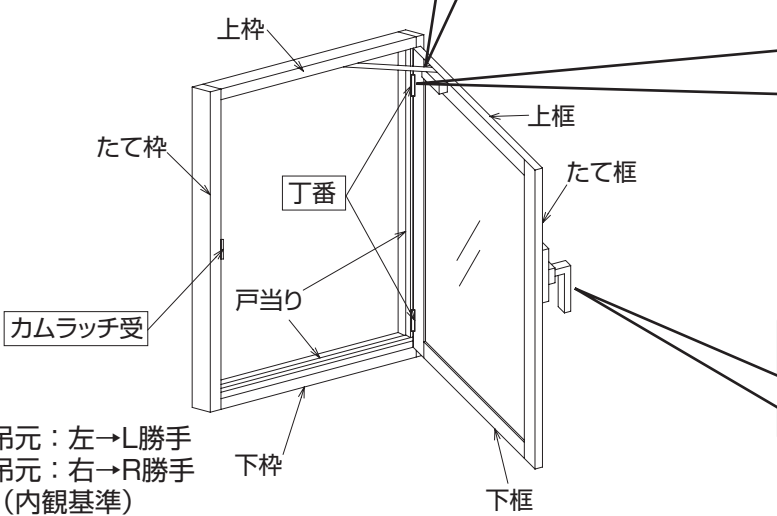


ハンドル
清掃時などに障子を取りはずす為のハンドルです。

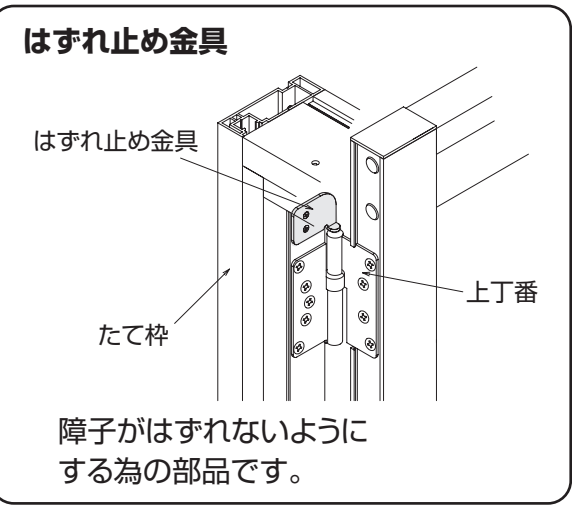


■内開き窓

アームストッパー(オプション)
扉を90°以上開かないようにするストッパーで、扉のバタツキ防止に有効、扉の開閉力を調整できます。

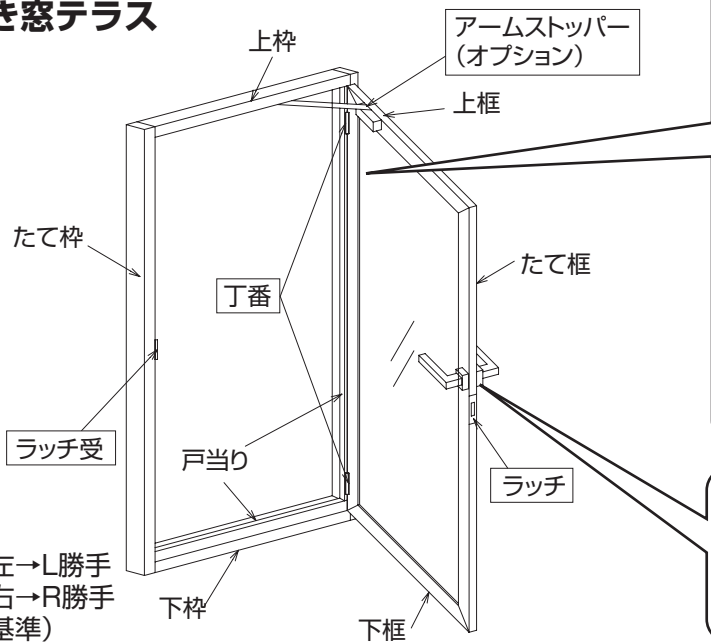


吊元：左→L勝手
吊元：右→R勝手
(内観基準)

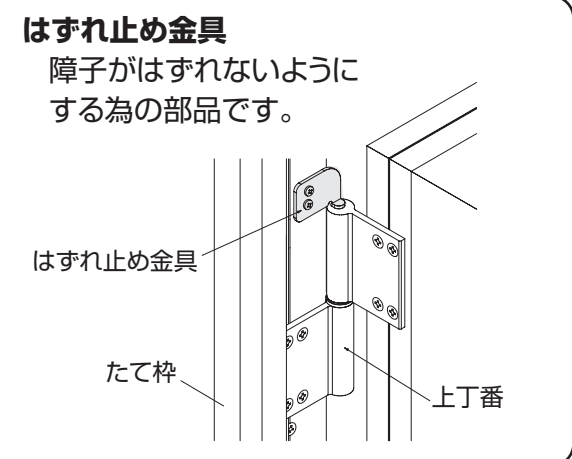


カムラッチハンドル
室内側からのみ操作できるハンドルです。

■開き窓テラス



吊元：左→L勝手
吊元：右→R勝手
(内観基準)



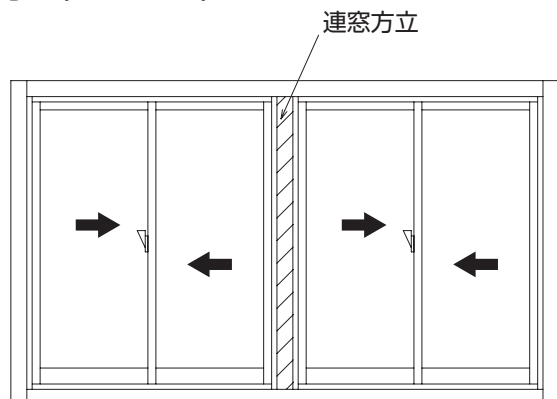
レバーハンドル
室内外側から操作できるハンドルです。
※ ロック機能はありません。

6 プラマードU各アイテムの説明と各部の名称

連窓方立・段窓無目・コーナー窓方立

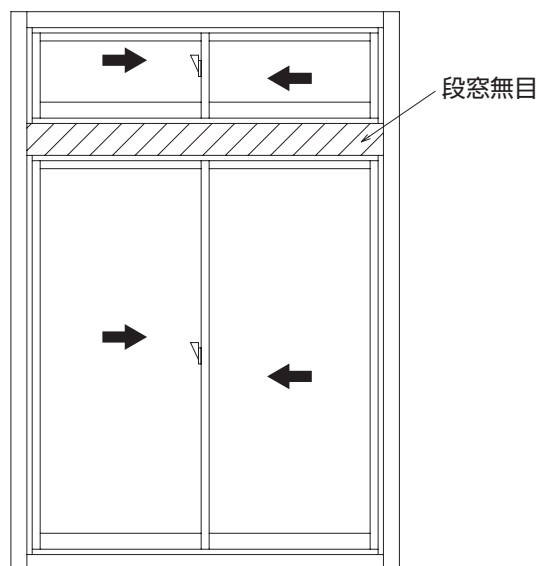
■連窓方立

外窓が連窓の時などに使用する方立(オプション)です。



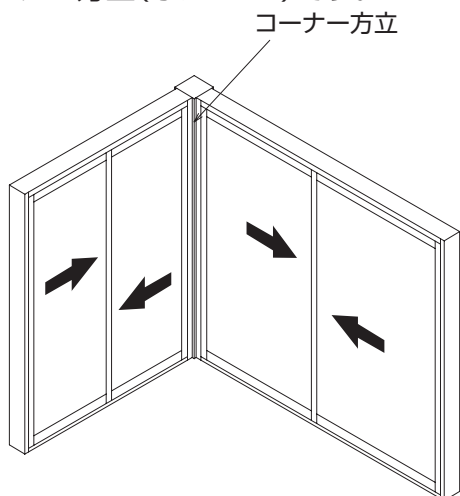
■段窓無目

外窓が段窓の時などに使用する無目(オプション)です。



■コーナー窓方立

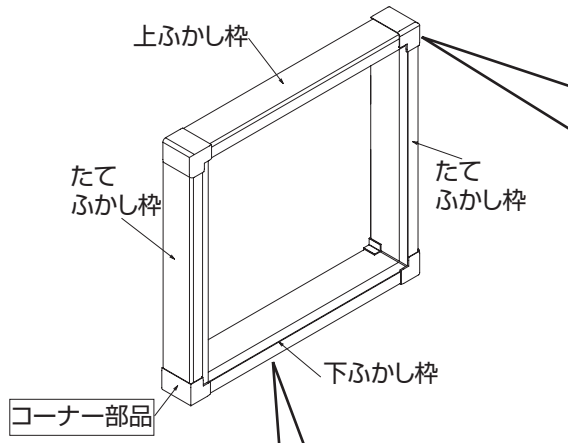
外窓がコーナー窓の時などに使用するコーナー方立(オプション)です。



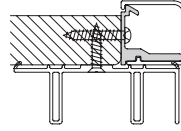
ふかし枠 25・40・70

■ふかし枠25・40・70

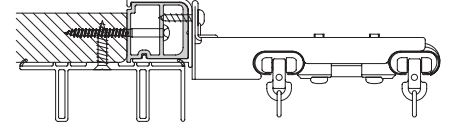
窓台見込寸法が不足している場合などに使用するふかし枠(オプション)です。



<ふかし枠>



<カーテンレール対応 ふかし枠>

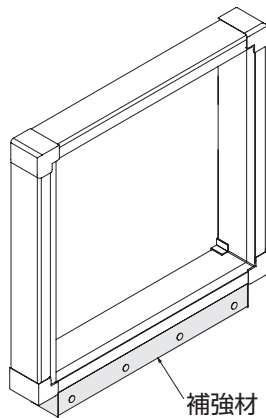


カーテンレールの取付けが可能です。

- 木額縁の状態や、ふかし枠の種類によって下枠垂下り防止用の補強が必要になります。
- 補強が必要な場合は、補強部品(補強角パイプ仕様・ブラケット仕様・束仕様)や、造作材での補強を行ってください。

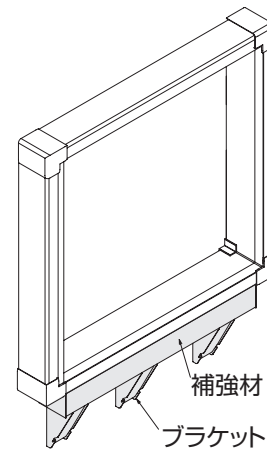
<補強部品(補強角パイプ仕様)>

壁面内に下地材がある場合に使用できる補強部品です。
壁面内の下地(窓台)で荷重を支えます。



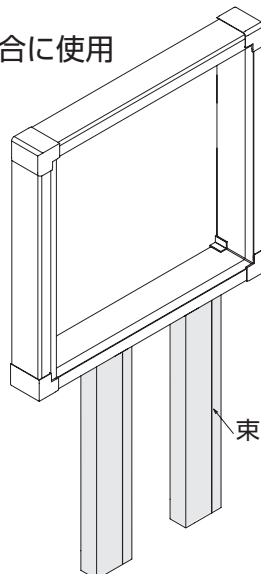
<補強部品(ブラケット仕様)>

壁面内に下地材がある場合に使用できる補強部品です。
壁面内の下地(間柱など)で荷重を支えます。



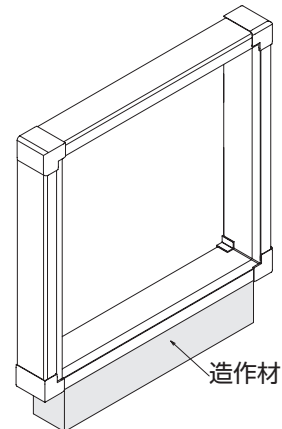
<補強部品(束仕様)>

床で荷重を支えられる場合に使用できる補強部品です。
壁面内に下地材がない場合や、不明な場合でも使用できます。



<造作材での補強>

別途準備した造作材で補強します。



<MEMO>

A series of horizontal dashed lines for writing a memo.

【現場確認】

■組立・施工・調整の前に	P.10
■障子の取扱いとお願い	P.11
■施工前の確認事項	P.12
■施工に使用する工具	P.14
■開口調整に使用する工具・材料	P.15
■オプション品	P.15
■開口部の調整方法例	P.16

組立・施工・調整の前に

商品を正しく組立・施工・調整していただくために、本マニュアルの内容をご確認ください。
商品の組立・施工・調整については必ず本マニュアルに従ってください。

注意

- 反り、変形等防止のため、直射日光に当たった状態で放置したり、高温にならないようにしてください。
- 樹脂は割れたり、傷ついたりしやすいため、乱暴に扱わないでください。
- 樹脂をハンマー等で直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。
- 保管・輸送の際は、直接荷重がかからないようご配慮ください。

お願い

- 商品の組立・取付の際は所定のねじを使用して適正なトルクで締め付けてください。
また、ねじを締めすぎると樹脂が割れたり、ねじが樹脂を貫通したりするおそれがあります。
- 取付開口部の水平・垂直、対角寸法およびねじれのないことを確認してください。
取付開口部の精度が悪いと商品本来の機能を発揮させることができません。
- 施工完了後、本マニュアルの調整方法どおり、調整が行われていることを確認してください。
調整不良は操作不良や異常音の原因になります。

注意

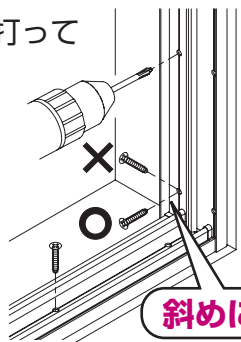
組立・取付時、電動ドライバー・エアードライバー使用の際は、締め付けトルクは以下を目安に設定してください。

アルミ枠・障子：**2.0～2.5N・m (20～25kgf・cm)** 程度

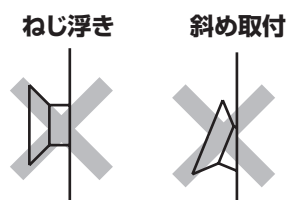
樹脂枠：**1.0～1.5N・m (10～15kgf・cm)** 程度

注意

- ねじは真直ぐに打ってください。



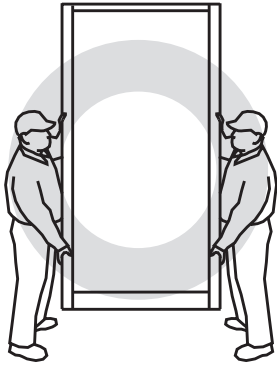
- ねじは確実に締付けてください。



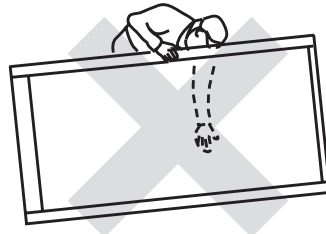
ポイント

- 施工時、枠と開口部にすき間がある場合は、シーリング材、メンテチューブ等で塞いでください。
- 開口部のたわみ量が許容範囲を超えている場合は、枠との間にスペーサを入れて調整してください。
その際、できたすき間は、シーリング材、メンテチューブ等で塞いでください。

障子の取扱いとお願い



たて框をしっかり支えて
ください。



片側を支点にして、たて框を
持ち上げないでください。



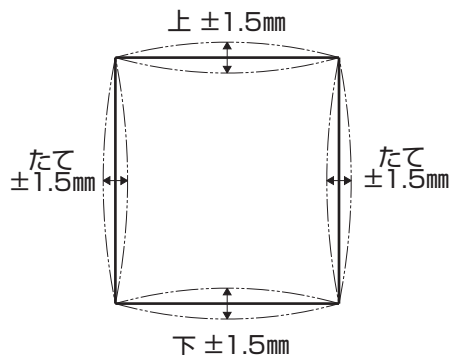
横にして、たて框片側のみを
持たないでください。

片側の框のみを持つと、重みで框が抜けるおそれがあります。

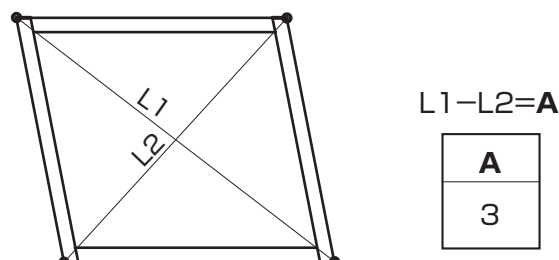
施工前の確認事項

1. 開口精度の確認

① 上下左右のたわみが図に示す範囲内であることを確認してください。



② 枠の対角差が3mm以内であることを確認してください。



開口部のたわみ量が範囲を超えている場合は、枠との間に調整材を入れて調整してください。その際、できたすき間は、シーリング材で塞いでください。

開口部の調整方法はP.16・17を参照して調整してください。

2. 窓台強度の確認

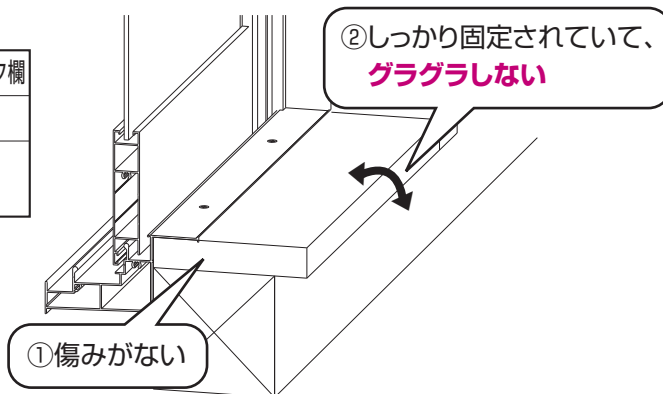
<ふかし枠なしの場合>

本商品の障子最大重量は約45kgです。

取付面の木額縁が商品重量を支えられるか、下記の①、②の項目について確認してください。

ひとつでも当てはまらない場合は、障子脱落のおそれがあるため、補強例を参考に木額縁を木ねじや造作材などで補強してください。

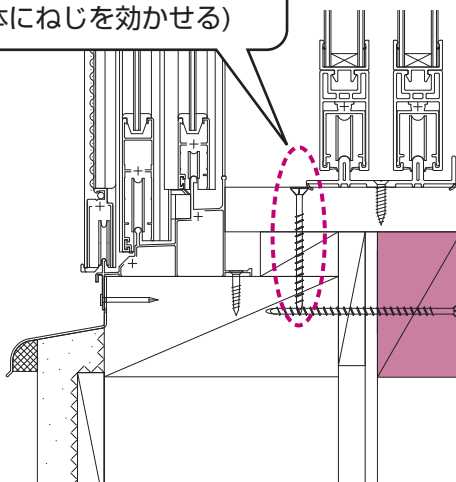
No.	項目	チェック欄
①	木額縁に傷み(腐朽・割れ)がないこと	
②	木額縁が窓台にしっかり固定されていること	



補強が必要な場合、下記の補強例を参考に木額縁の補強を行ってください。

補強例

補強①
木ねじで木額縁を固定する
(躯体にねじを効かせる)



補強②
造作材などで木額縁を受ける

施工前の確認事項

<ふかし枠ありの場合>

■ふかし枠の確認事項

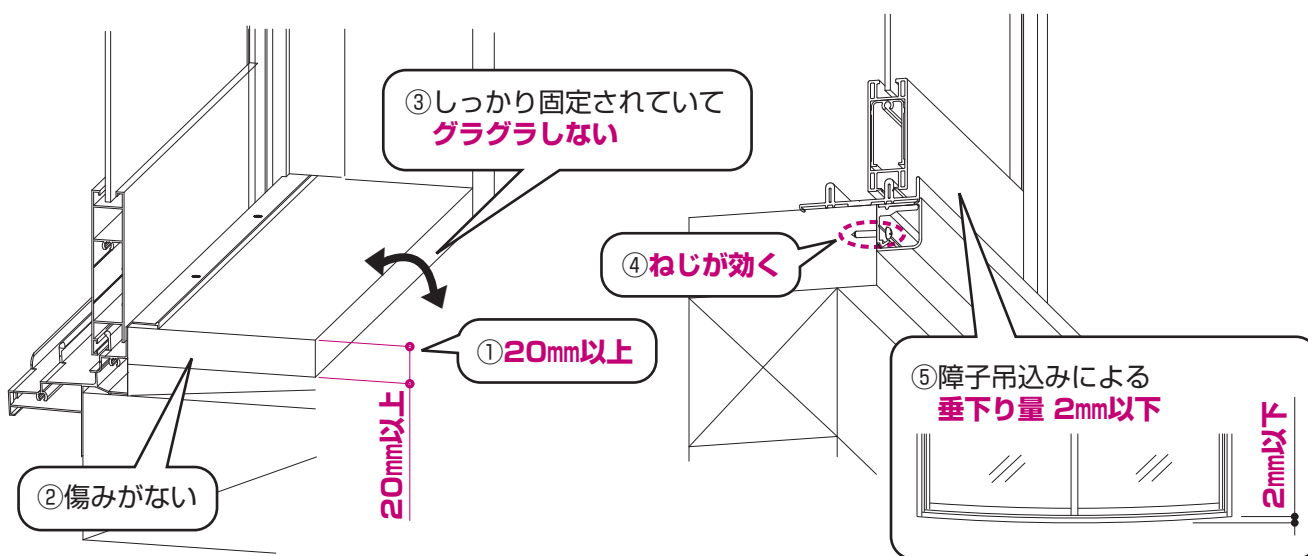
下記の項目について確認してください。当てはまらない場合は、**障子脱落**のおそれがあるため、ふかし枠を使用することができません。額縁の新設が必要となります。

No.	項目	チェック欄
①	木額縁の四方すべてが見付20mm以上あること	

■ふかし枠25四方での確認事項

下記の②～⑤の項目について確認してください。ひとつでも当てはまらない場合は、**障子脱落**のおそれがあるため、**必ず商品施工時の補強が必要**となります。ふかし枠補強方法(P.120～142)を参考に、額縁の補強を十分に行ってください。

No.	項目	チェック欄
②	木額縁に傷み(腐朽・割れ)がないこと	
③	木額縁が窓台にしっかり固定されていること	
④	木額縁にねじが効くこと	
⑤	障子吊込みによる下枠垂下り量2mm以下であること	



■ふかし枠40・70四方での確認事項

障子脱落のおそれがあるため、**必ず補強が必要**となります。ふかし枠補強方法(P.120～142)を参考に、額縁の補強を十分に行ってください。

注意

カーテンレール対応ふかし枠の場合は、下枠部と同様に上枠部にも荷重がかかりますので、同様に額縁の強度を確認してください。

額縁の強度が不足している場合は、カーテンレールをふかし枠に取付けできませんので、カーテンレールの移設をしてください。

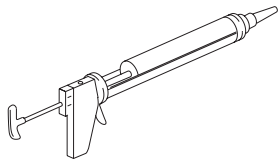
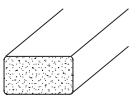
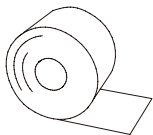
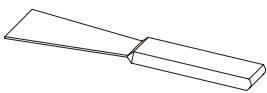
カーテンレールの移設については、プラマードUマニュアル【現場調査編】P.25を参照してください。

14 施工に使用する工具

施工に使用する工具

電動ドライバー  ※8	ドライバー(手回し) 	電動ドリル  トルク調整付	ドリル刃  ※1:φ4.5、φ8 ※2:φ3 ※3:φ3.5 ※4:φ4
タイル用ドリル刃  ※5:φ3、φ7	スケール 	内法スケール  内法の測定に適したスケールです。	アルミスタッフ  一人作業や大きなサイズの 内法測定に適しています。
直尺 	差し金 	下げ振り  既設枠の垂直を確認します。	水平器  既設枠の水平・垂直を確認します。
レーザー測長器 	ドライヤー  ※6	下地探し針  ※7	下地センサー  ※7
コンクリートドリル  ※8	コンクリート用ドリル刃  ※8:φ10	シーリングガン 	マスキングテープ 
ヘラ 	※1：浴室仕様ユニットバス納まりの施工にのみ使用します。 ※2：方立・無目・コーナー方立の施工にのみ使用します。 ※3：カーテンレール対応ふかし枠の施工にのみ使用します。 ※4：ふかし枠70の施工にのみ使用します。 ※5：浴室仕様タイル納まりの施工にのみ使用します。 ※6：浴室仕様の施工にのみ使用します。 ※7：ふかし枠の施工にのみ使用します。 ※8：補強ふかし枠補強部品(ブラケット仕様 RC納まり)の施工にのみ使用します。		

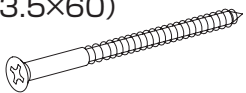
開口調整に使用する工具・材料

シーリングガン	バックアップ材	マスキングテープ	ヘラ
			

施工・開口調整に使用するオプション品

和室用取付ねじ

皿木ねじ
(φ3.5×60)




BS-PUH-34

商品色	ねじ色
E2	G6
E3	P6
E9	EM
CM	DG
DC	YS
YW	YW

和室の鴨居にブラマードUを取付ける際に使用する長いねじです。
※記号の前の□にねじ色を指示してください。

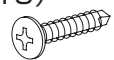
方立・無目用ドリルねじ

引違い窓用
皿ドリルねじ
(φ4.2×19)



BS-PUH-35

内開き窓・開き窓テラス用
薄バインドドリルねじ
(φ4.2×19)



YSBS-PUH-36

商品色	ねじ色
E2	G6
E3	P6
E9	EM
CM	DG
DC	YS
YW	YW

方立や無目に本体を直接取付けるためのドリルねじです。
※記号の前の□にねじ色を指示してください。

シーリング材



K-49615

商品色	
YB	アンバー
YK	ブラック
H2	ライトグレイ2
S1	グレイ
YW	アイボリー

額縁とブラマードU枠とのすき間隠しにおすすめのシーリング材です。調整材と併用してご使用ください。
※記号の前の□に商品色を指示してください。

メンテチューブ

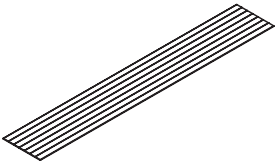


TY K-44578□-1E

商品色	
3	ホワイトウォールナット
8	プレーン
P	ブラウンオーチ
T	ミディアムウォールナット
JN	白木色
6	クリアオーク
9	ナチュラルチェリー
R	キャメルチェリー
Y	ダークチーク

隠し釘跡の補修などちょっとしたすき間隠を埋めるのに便利なチューブタイプの補修剤です。
※記号の中の□に商品色を指示してください。

調整材



PK-51499-1000
 PK-51499-2000

商品色	
E2	木目クリア
E3	木目ナチュラル
E9	ミディアムオーク
CM	ダークブラウン
DC	グレイ
YW	ホワイト

厚さ1mm、ピッチ10mmでの切取溝が入っており、様々な用途に使用できる樹脂製部材です。
※記号の前の□に商品色を指示してください。

レール端部スペーサー

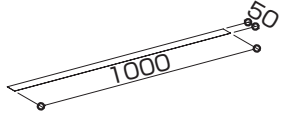


BS-PUH-40

商品色	部品色
E2	G6
E3	P6
E9	EM
CM	BB
DC	E5
YW	WM

施工調整時に障子のガタツキを抑えるためたて枠に貼付するスペーサーです。
※記号の前の□に部品色を指示してください。

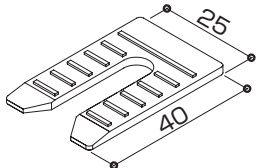
施工調整スペーサー



YS 2K-29658(t0.5)
YS 2K-29621(t1)
YS 2K-29622(t3)
YS 2K-29623(t5)

4種類の厚みを選べるポリプロピレン製のスペーサーです。

調整ライナー



厚み 色 記号

1	ホワイト	YSBS-PUH-41
2	ブラック	YKBS-PUH-42
3	ホワイト	YWBS-PUH-43
5	ブラック	YKBS-PUH-44

U字形状で差込型のスペーサーです。

両面テープ



幅20mm×50m巻
YK 2K-49685

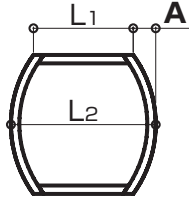
調整材を目板として使う場合の接着用両面テープです。

16 開口部の調整方法例

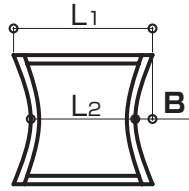
開口部の調整方法例

- 施工時にすき間がある場合、シーリング材で塞ぎます。
- 開口部のたわみ量が限度を超えている場合は、枠との間に調整材、施工調整スペーサー（ともにオプション品P.15参照）を入れて調整します。その際、できたすき間は、シーリング材（オプション品P.15参照）で塞ぎます。

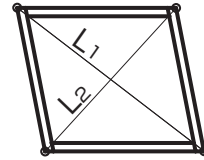
■ソリ(フクレ)の場合



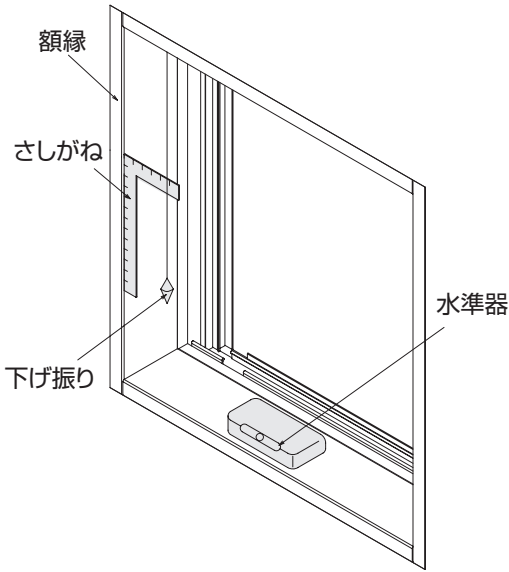
■ソリ(ツツミ)の場合



■対角差の場合

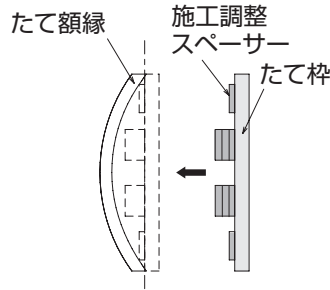


1 開口部の確認

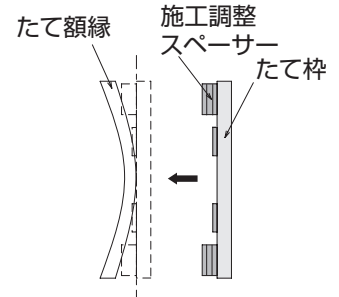


2 施工調整スペーサー(オプション品 P.15参照)の貼付

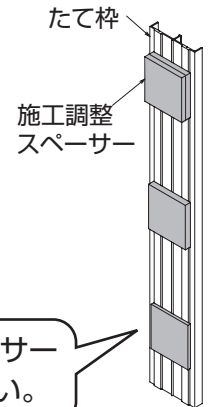
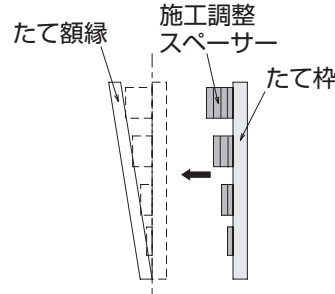
■ソリ(フクレ)の場合



■ソリ(ツツミ)の場合

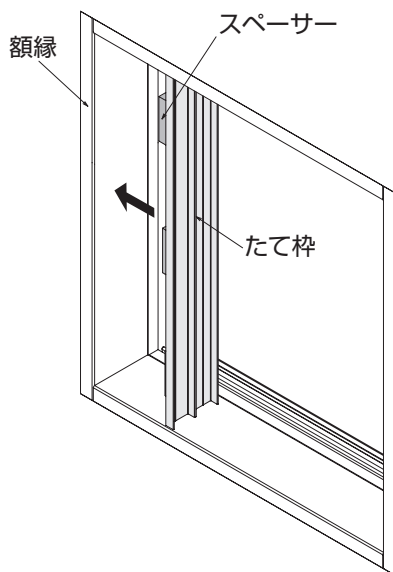


■対角差の場合

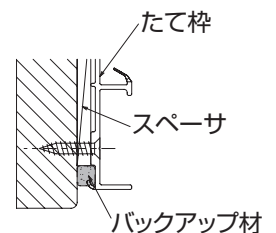
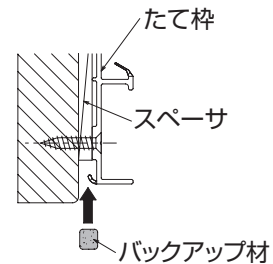
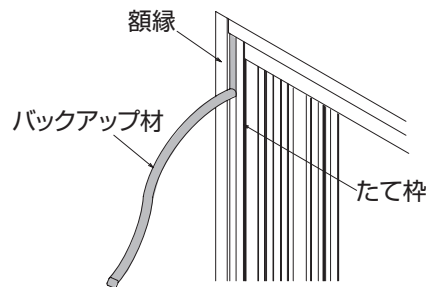


すき間に合わせてスペーサーの厚みを調整してください。

3 たて枠の取付



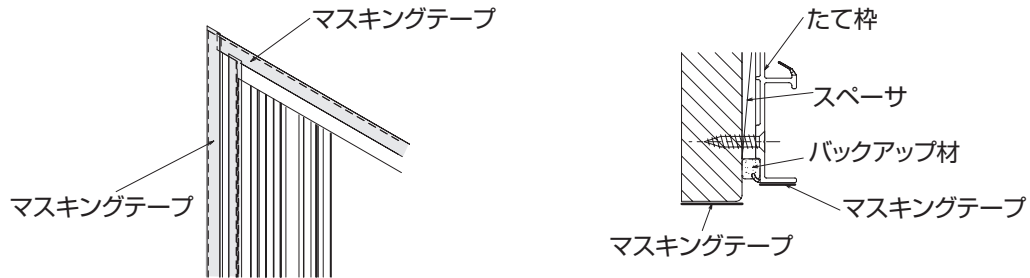
4 バックアップ材の挿入



開口部の調整方法例

⑤ マスキングテープの貼付

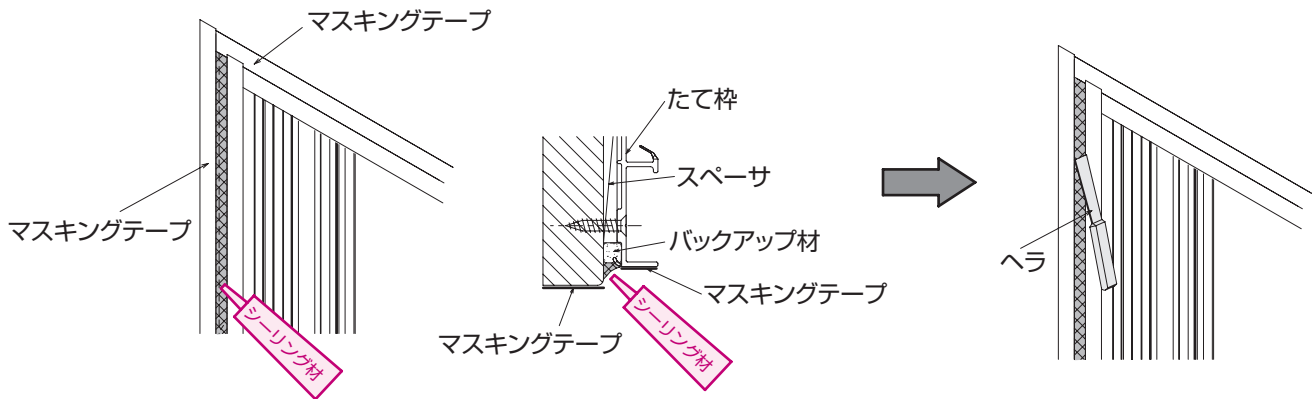
よごれ防止のため、マスキングテープを額縁と枠に貼ってください。



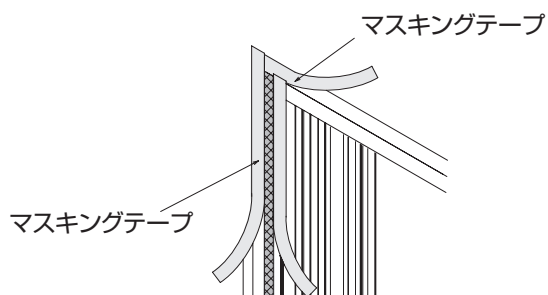
⑥ シーリング

① 額縁と枠のすき間にシーリング材(オプション品 P.15参照)を充てんしてください。

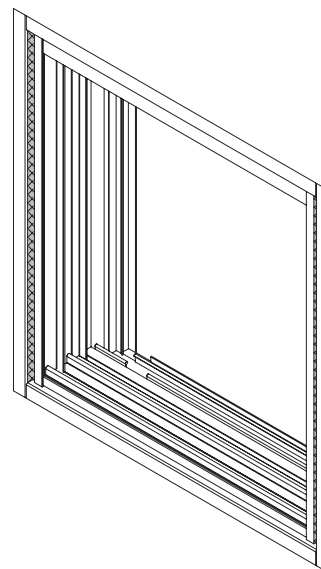
② ヘラで余分なシーリング材を落してください。



⑦ マスキングテープの取りはずし



⑧ 完了






<MEMO>

A series of horizontal dashed lines for writing a memo.

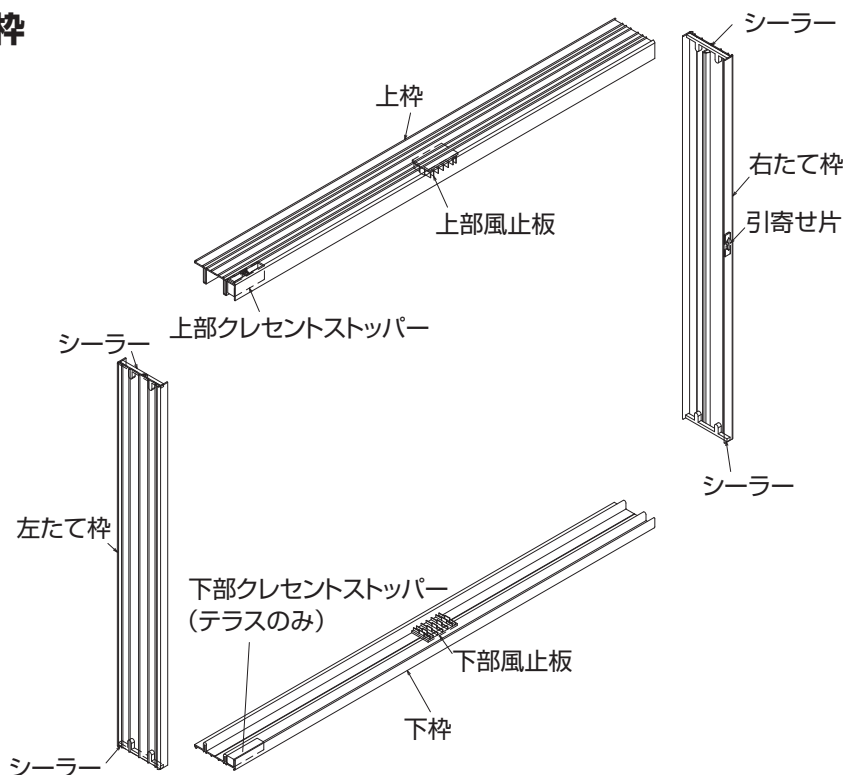
【組立・施工】

引違い窓

	■標準仕様	P.20
	■戸先錠仕様	P.33
	■浴室仕様	P.44

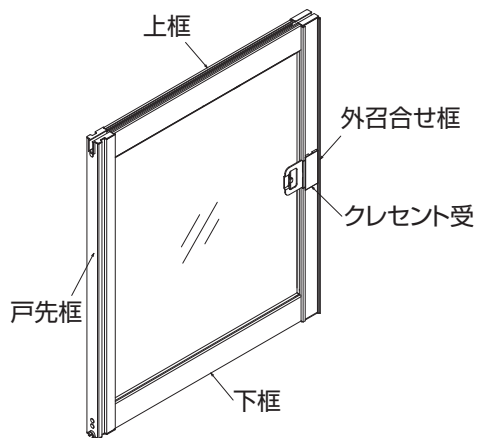
商品構成図

■ 枠

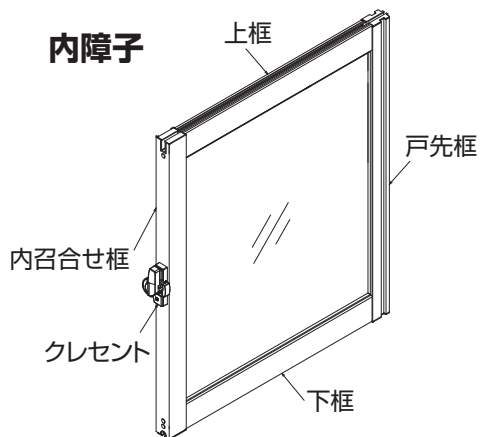


■ 障子<窓タイプ>

外障子

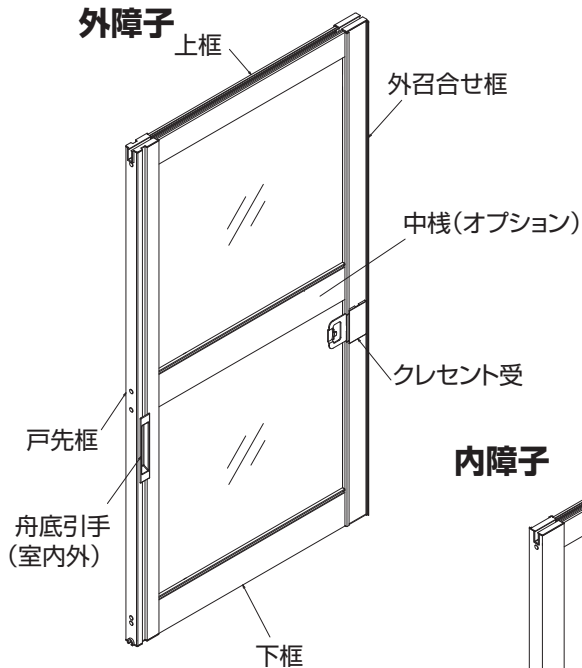


内障子

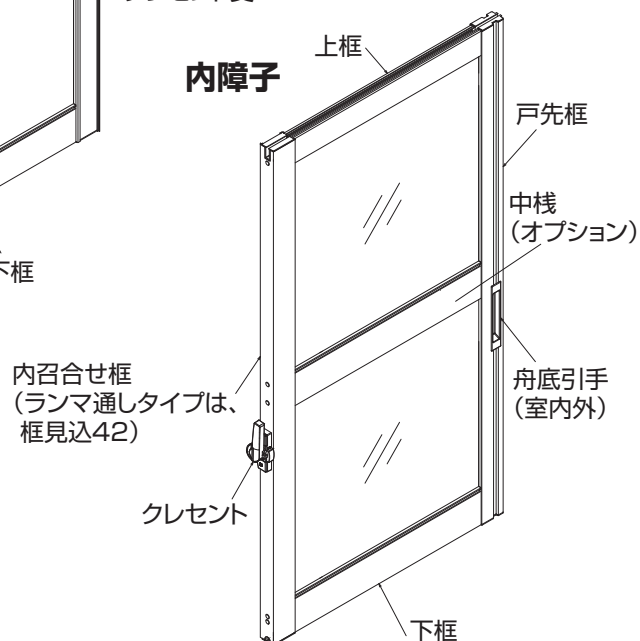


■ 障子<テラス・ランマ通しタイプ>

外障子



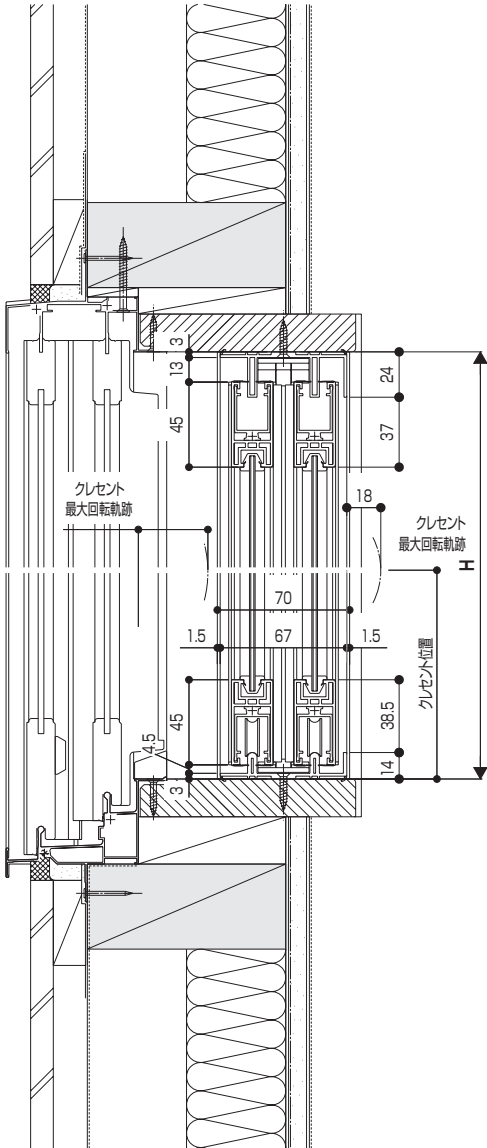
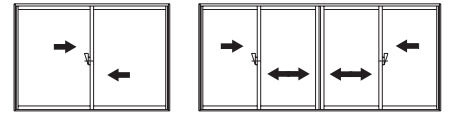
内障子



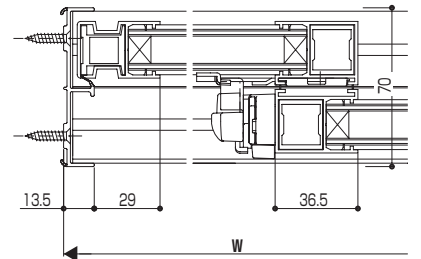
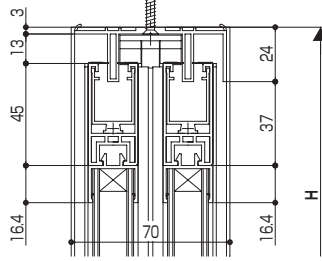
標準納まり図

■引違い窓 窓タイプ 単板ガラス
●大壁納まりの場合

内観姿図

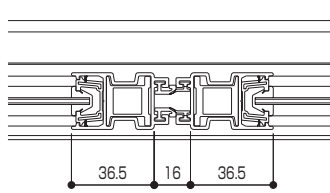


複層ガラス

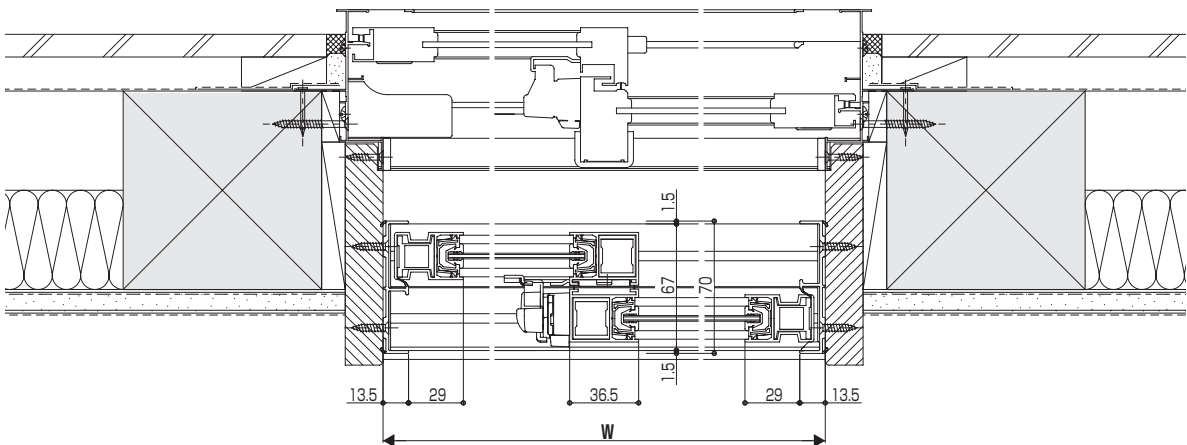
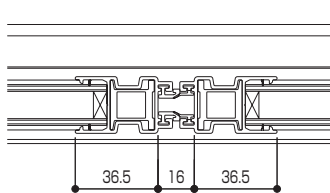


4枚建突合せ部

単板ガラス

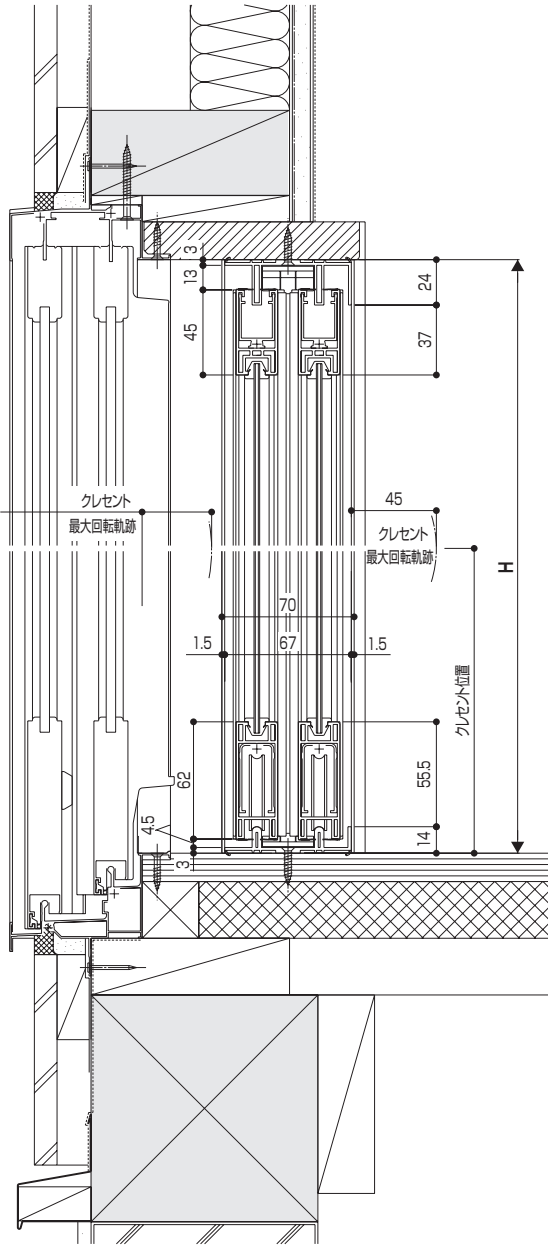


複層ガラス

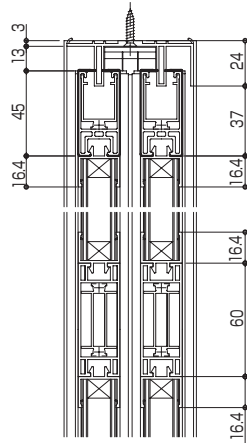


標準納まり図

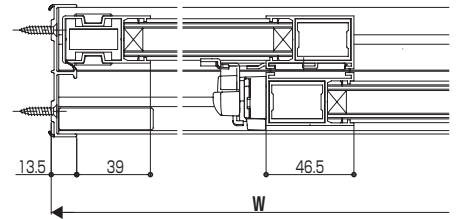
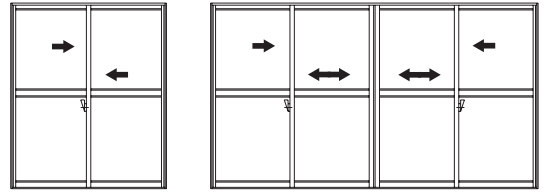
■引違い窓 テラスタイプ 単板ガラス
●大壁納まりの場合



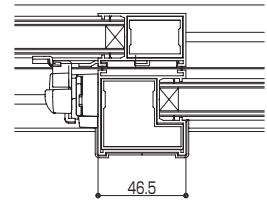
複層ガラス



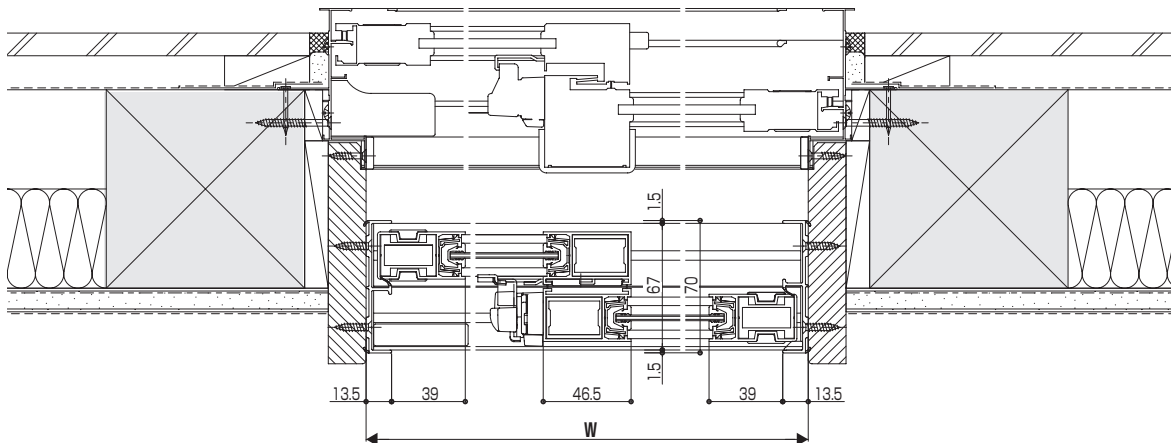
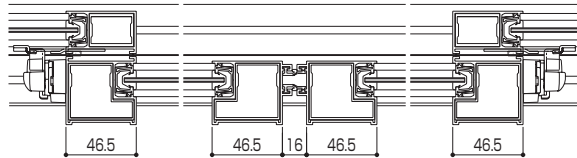
内観姿図



ランマ通し合わせ部



4枚建合わせ・突合せ部



ガスケット一覧

使用ガラス厚	3mm	4mm	5mm	6mm
姿 図				
品 番	3K-21063	3K-21064	K-20358	2K-23671

同梱一覧

姿 図						
品 名	小トラスタッピンねじ2種 (φ4×45)	穴塞ぎキャップ	皿木ねじ (φ3.5×20)	はずれ止め	はずれ止めライナー	丸木ねじ (φ3.8×25)
品 番	BM-4045N	K-38558	WF-3520	2K-36844	2K-48728	WR-3825
個 数	8~32	12~30	12~74	1~4	2~8	1~4
使用箇所	障子組立用	障子組立用	枠取付用			はずれ止め取付用

障子の組立

完成品出荷の場合、本作業は不要です。

■単板ガラスタイプ

- ① ガスケット(同梱)を継ぎ目が上側になるようにして巻いてください。
- ② 框をガラスに差込んでください。
- ③ 組立ねじを差込み、ねじを締め付けてください。
- ④ ガスケットが確実に挿入されていることを確認してください。

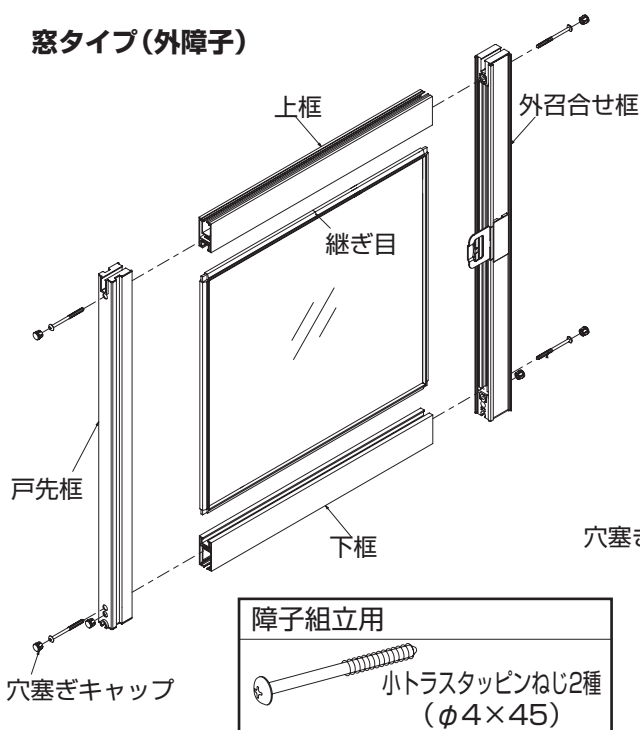
※組立作業は平らな作業台の上で行ってください。

注 意

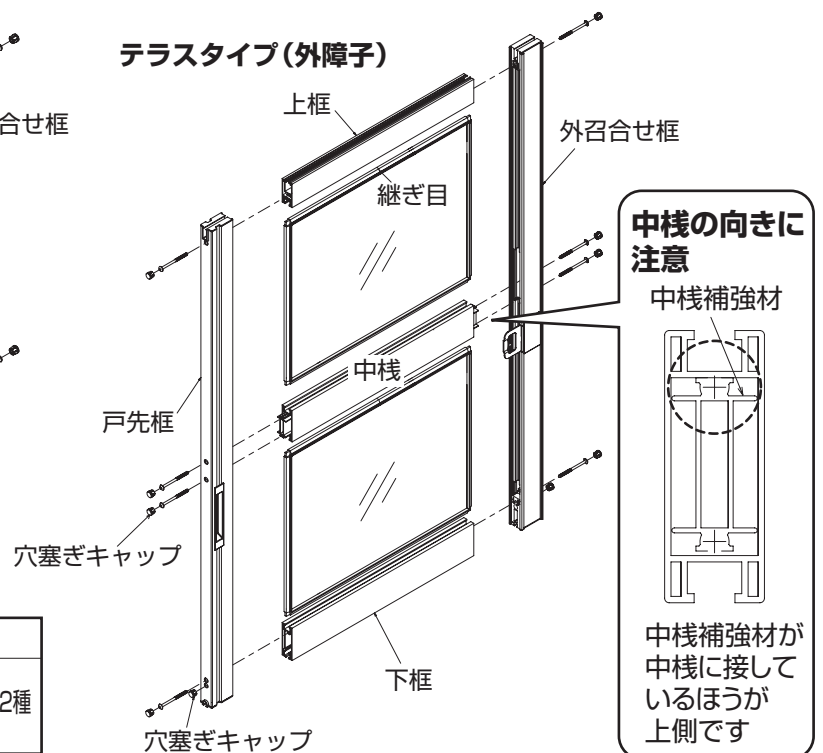
ガスケットを巻く際は、以下の2点を守ってください。守らないとガスケットの縮みの原因となる場合があります。

- 少し長め(1辺当り約3%程度)に余裕をとって巻く
- 引っ張りながら巻かない

窓タイプ(外障子)



テラスタイプ(外障子)



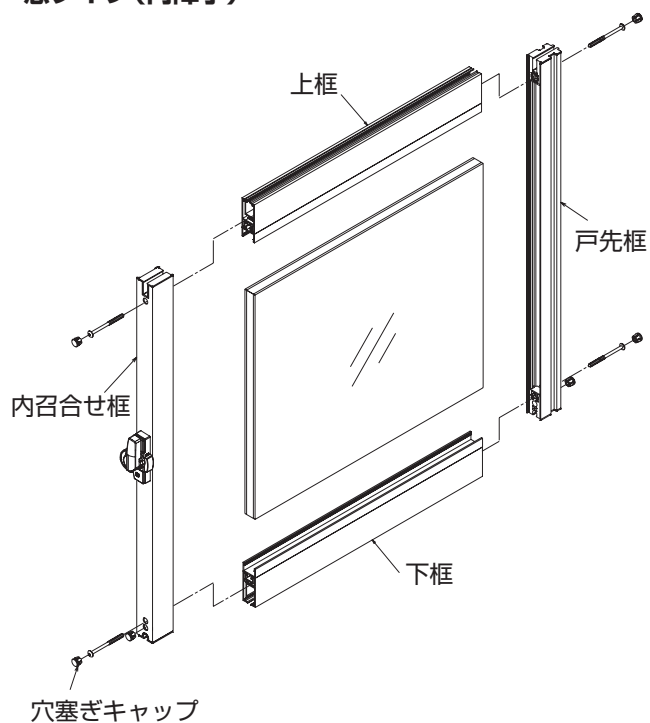
障子の組立

完成品出荷の場合、本作業は不要です。

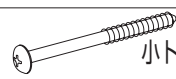
■複層ガラスタイプ

- ① 框をガラスに差込んでください。
 - ② 組立ねじを差込み、ねじを締め付けてください。
- ※組立作業は平らな作業台の上で行ってください。

窓タイプ(内障子)

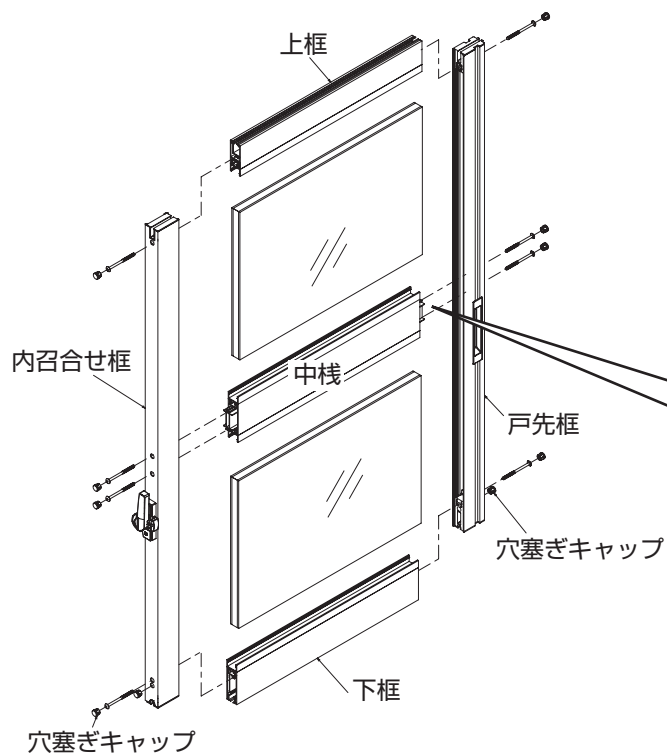


障子組立用



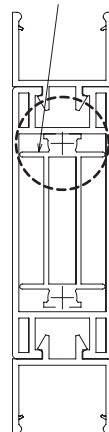
小トラスタッピンねじ2種
(φ4×45)

テラスタイプ(内障子)



中棧の向きに注意

中棧補強材



中棧補強材が
中棧に接して
いるほうが
上側です

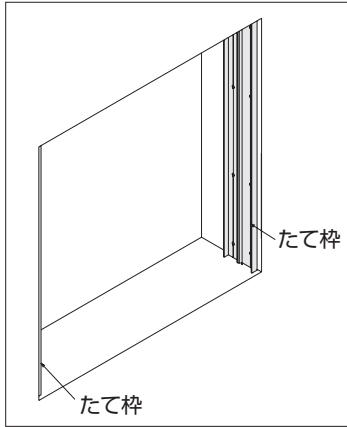
枠の取付

W=1000以下の場合、上下枠をたわませにくいので、
枠の取付(W=1000以下の場合)P.39を参照してください。

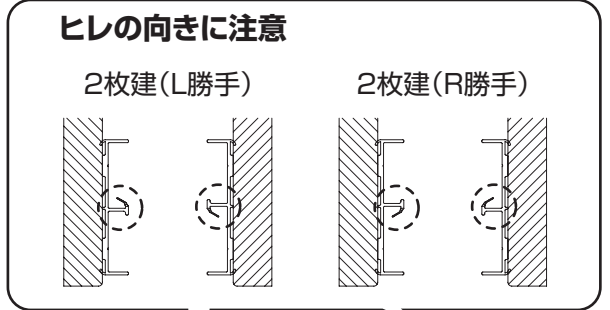
注意
 枠取付時、ねじれ・倒れがないことを確認してください。

1. たて枠の取付

- ① たて枠を開口部に取付けてください。
- ② たて枠をねじ止めしてください。



枠取付用
 皿木ねじ (φ3.5×20)

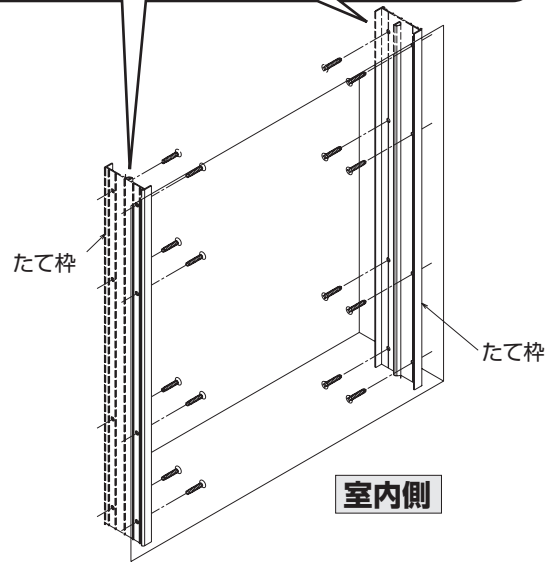


ポイント

たて枠の位置は窓枠室内側からの寸法Aが均等になるようにしてください。

均等にする

室内側



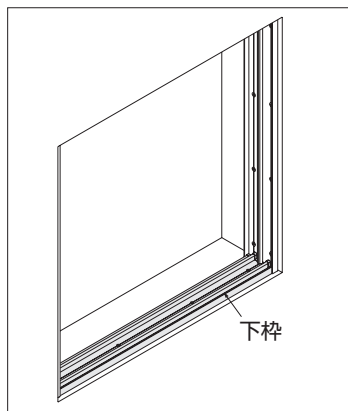
注意

中間部がたわまないように端部から順番にねじで固定してください。

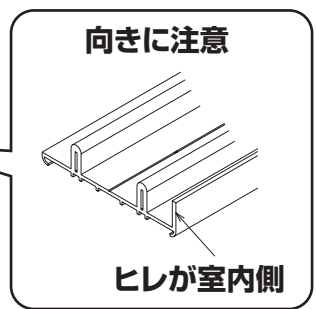
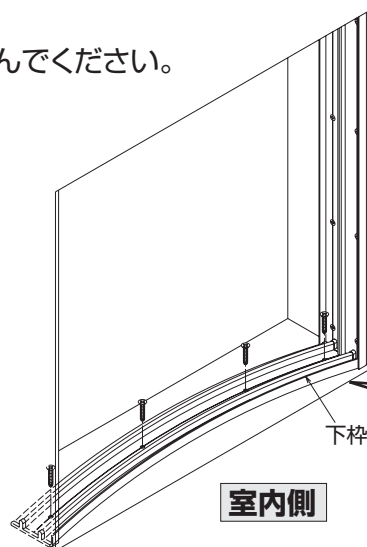
中間部がたわんだままねじで固定すると、枠が波打つ原因となります。

2. 下枠の取付

- ① 下枠を図のように内側にたわませてはめ込んでください。
- ② 下枠をねじ止めしてください。



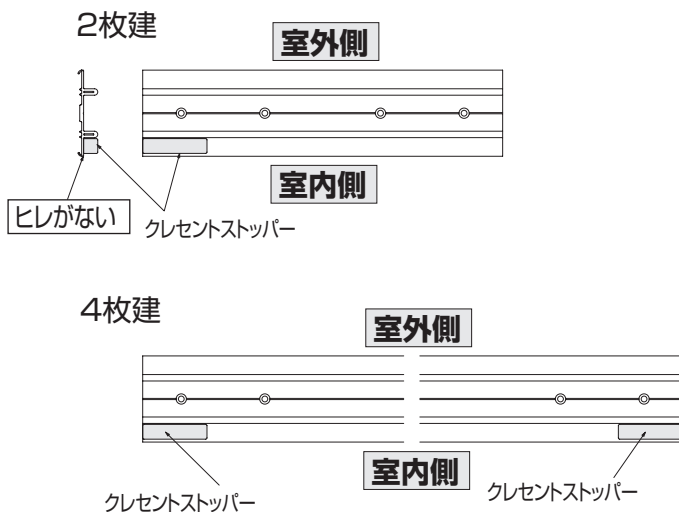
枠取付用
 皿木ねじ (φ3.5×20)



枠の取付

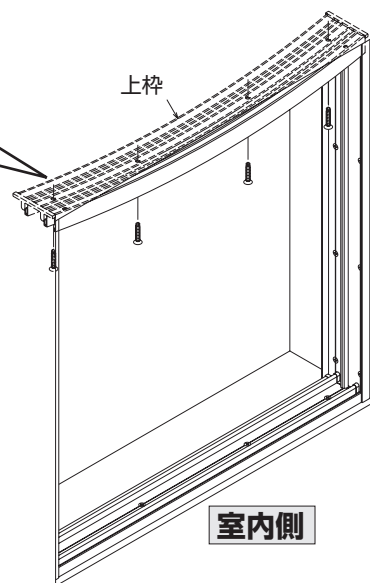
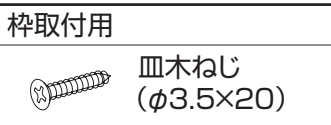
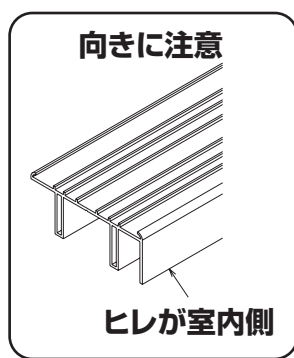
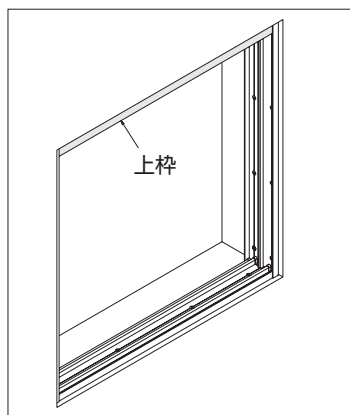
間仕切下枠仕様の場合

- $250 \leq H < 332$ は、間仕切下枠仕様のみになります。
上記以外のHサイズは、標準枠仕様と間仕切下枠仕様の両方があります。
- クレセントストッパーの取付位置を確認し、下枠をはめ込み、ねじ止めしてください。
窓タイプ(H \leq 1400)にクレセントストッパーは取付かないので向きはありません。

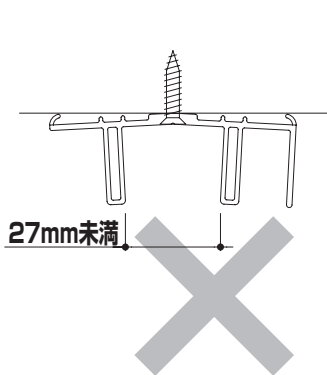
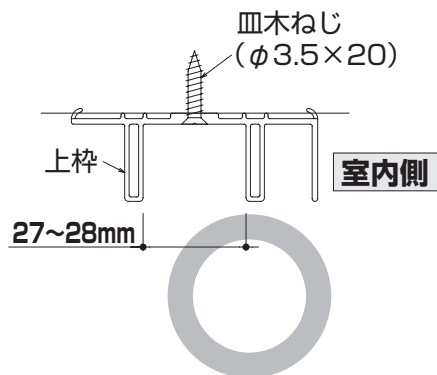


3. 上枠の取付

- ① 上枠を図のように内側にたわませてはめ込んでください。
- ② 上枠をねじ止めしてください。



- ③ 上枠レール先端を測り、27~28mmになっていることを確認してください。

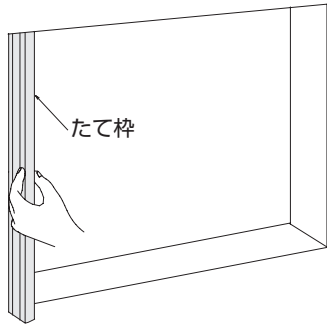


ポイント

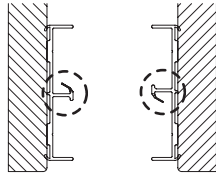
レール先端が27mm未満の場合は、ねじを少しゆるめて27~28mmになるようにしてください。

枠の取付 (W = 1000 以下の場合)

①片側のたて枠を半分程うめ込んでください。



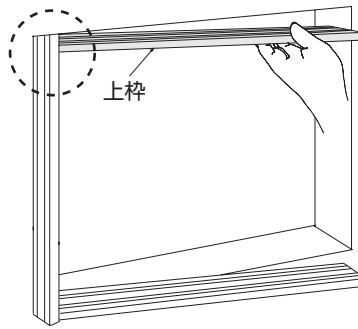
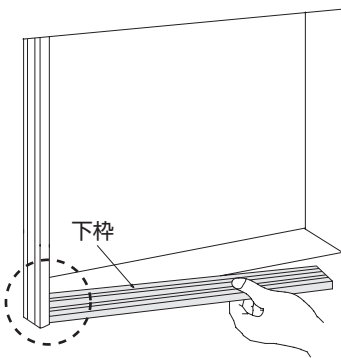
ヒレの向きに注意
2枚建(L勝手)



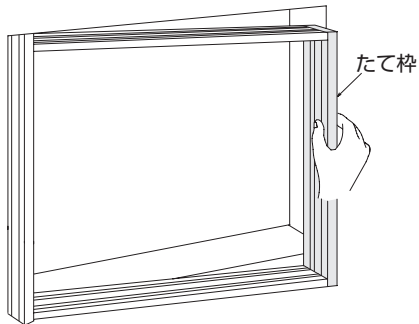
注意

枠取付時、ねじれ・倒れがないことを確認してください。

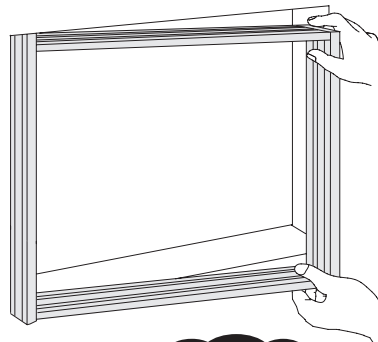
②上下枠を片側のみ差込んでください。



③たて枠をそえてください。



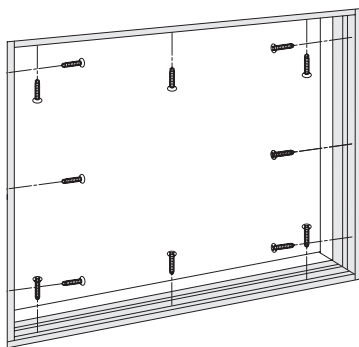
④開口部に押込んでください。




ポイント

四方枠を徐々に押込んでください。

⑤ねじで固定してください。

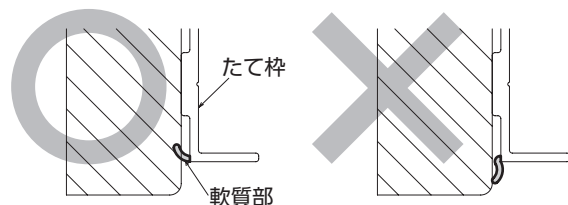


枠取付用

 皿木ねじ
(φ3.5×20)

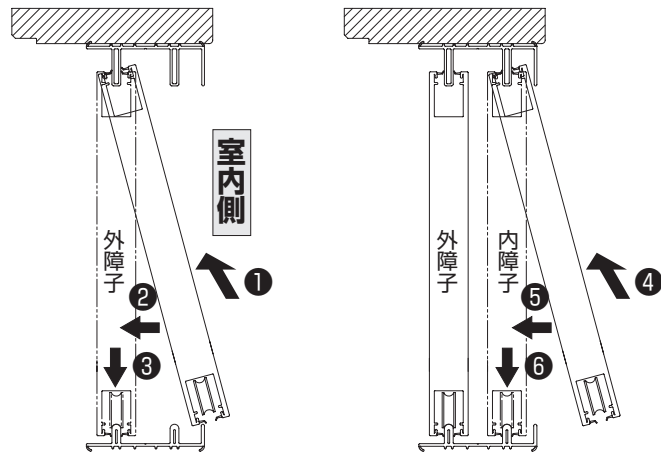
注意

型材の軟質をきちんと巻き込んでいるか確認してください。



障子の吊込み

室内側より、外障子、内障子の順に
枠に吊込んでください。



調整

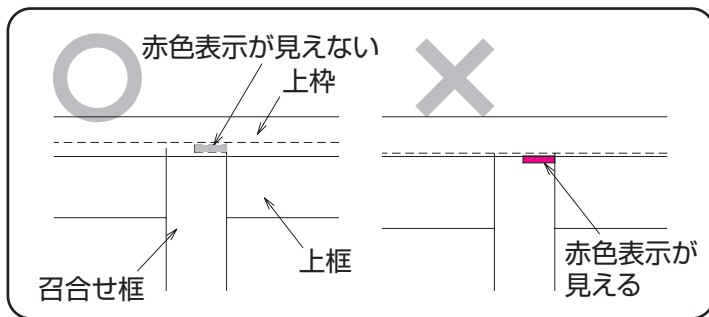
電動
ドライバー
使用禁止



■上枠と障子のかかり代の確認

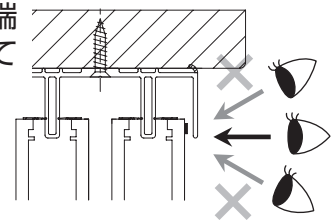


内障子上部に赤色表示が見えないことを確認してください。



ポイント

赤色表示は上枠下端
の正面から確認して
ください。



注意

赤色表示が見える場合は、開口の狂いが許容範囲を超えており、**上枠と障子のかかり代が少ない状態で、障子脱落のおそれがあります。**

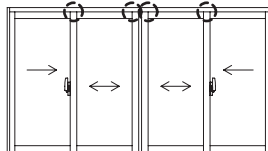
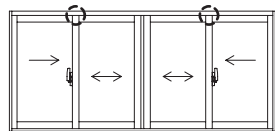
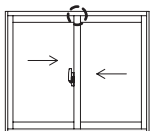
赤色表示が見えなくなるまで、戸車調整で障子を調整してください。
戸車調整で改善されない場合は、開口部と上枠の間にスペーサを入れて調整してください。開口部の調整方法はP.16・17を参照してください。

赤色表示位置(内観図)

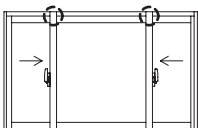
窓・テラスタイプ：○部のたて枠端部に赤ラベルがあります。

ランマ通しタイプ：○部の召合せ・突合せキャップに赤色表示があります。

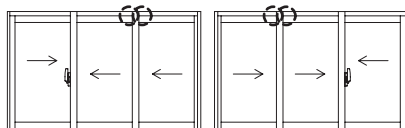
全サイズ(2枚建) 窓タイプ(4枚建) ランマ通しタイプ(4枚建)



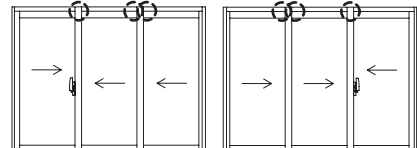
全サイズ
(3枚建両袖タイプ)



窓タイプ(3枚建突合せタイプ)



ランマ通しタイプ(3枚建突合せタイプ)

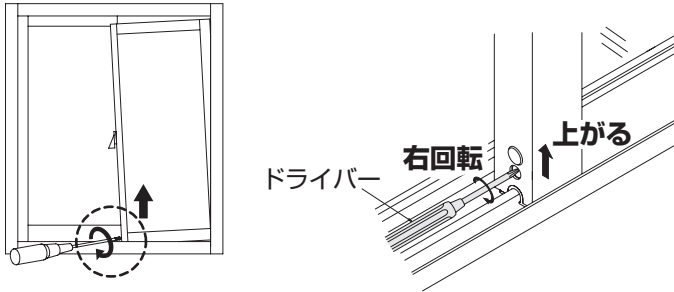


調整



■戸車の調整

建付調整は、戸車の高さを調整することで行えます。
右回転(時計方向)…上がる

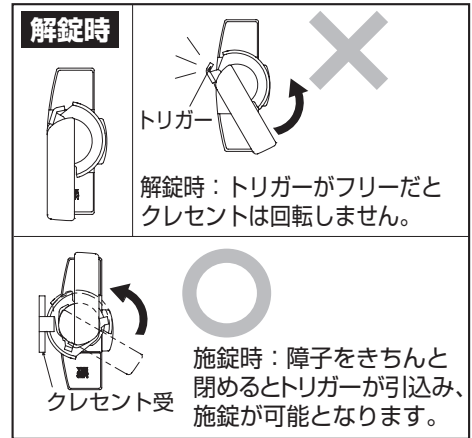
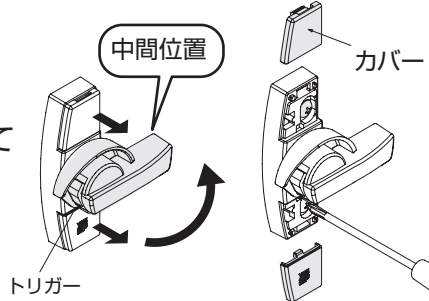


ポイント

出荷時、障子は下がった状態にあります。それ以上は下がりません。開閉操作が重い、赤色表示が見える場合、戸車を調整してください。

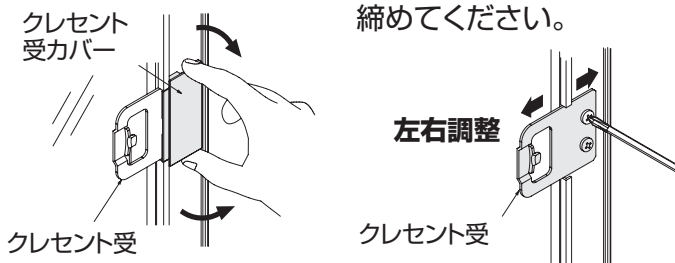
■クレセントの調整<クレセント仕様の場合>

- ①トリガーを指で押さえながらクレセントを中間位置まで回してください。
- ②クレセントの上下カバーをはずしてください。
- ③ねじをゆるめ、上下に動かして調整してください。
- ④調整後、必ずねじを締めてカバーを元の位置に戻してください。



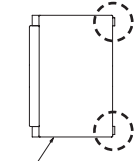
■クレセント受の調整<クレセント仕様の場合>

- ①クレセント受カバーをはずしてください。
- ②ねじをゆるめ、左右に動かし、調整してください。
- ③調整後、必ずねじを締めてください。
- ④クレセント受カバーを取付けてください。



ポイント

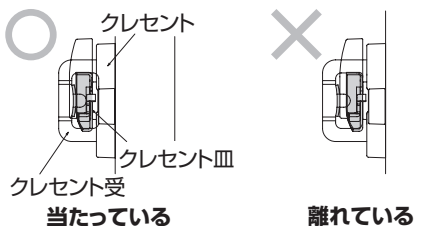
クレセント受カバー側面上下にある突起部を側面から押し込んでください。



クレセント受カバー

注意

クレセント施錠時に、クレセント皿とクレセント受がしっかりと当たるように調整してください。離れている場合、性能低下のおそれがあります。



ポイント

調整後、障子が左右にがたつく場合、必要に応じてレール端部スペーサー(オプション: □BS-PUH-40 20枚入り)で調整してください。(P.15参照)

ストッパーの取付

電動
ドライバー
使用禁止



※W1とW2の差が50mm以内の場合、下記作業は不要です。

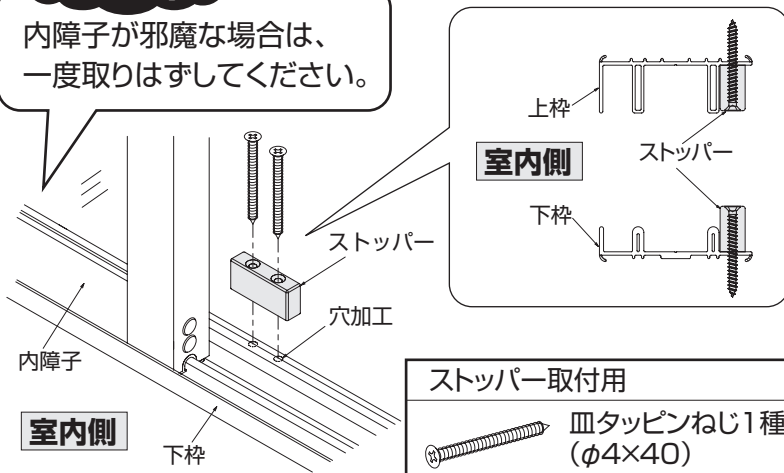
〈偏芯2枚建の場合〉

姿 図		
品 名	ストッパー	皿タッピンねじ1種 (φ4×40)
品 番	K-30931	AF-4040D7
個 数	2	4

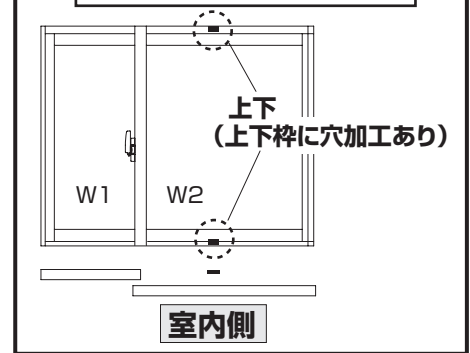
内障子をスライドさせ、下枠の穴加工にストッパーを取付けてください。

ポイント

内障子が邪魔な場合は、一度取りはずしてください。



ストッパー取付位置



ストッパー取付用

皿タッピンねじ1種
(φ4×40)

〈3枚建の場合〉

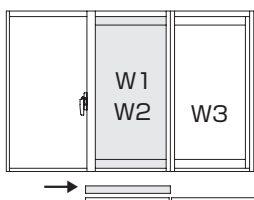
ストッパーは、オプションです。
ストッパーを取付ける場合は、
□BS-PUH-37を事前に
発注してください。

□BS-PUH-37 同梱部品一覧

姿 図		
品 名	ストッパー	皿タッピンねじ1種 (φ4×40)
品 番	K-30931	AF-4040D7
個 数	2	4

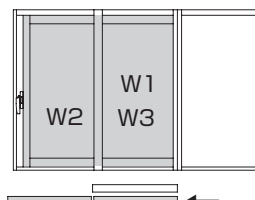
商品色	部品色
E2	G6
E3	P6
E9	EM
CM	BB
DC	E5
YW	WM

①外障子を任意の位置に
セットしてください。



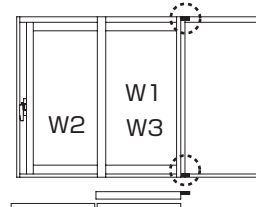
室内側

②内障子をスライド
させてください。



室内側

③ストッパーを取付けてください。



室内側

ストッパーはオプションのため、穴加工はありません。
任意の位置に下穴加工無しで取付けてください。

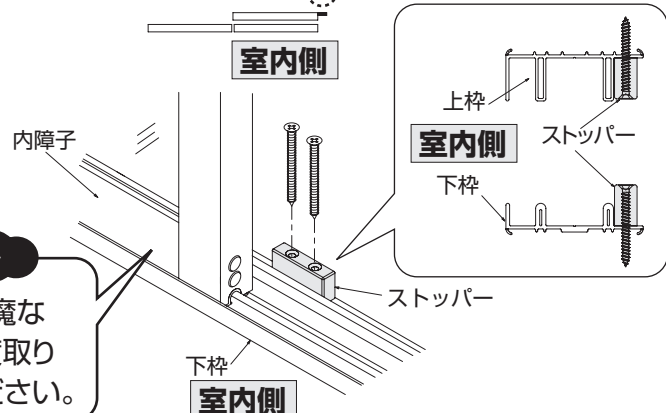
※図は突合せタイプで説明しています。
両袖タイプも同様に取付けてください。

ストッパー取付用

皿タッピンねじ1種
(φ4×40)

ポイント

内障子が邪魔な
場合は、一度取り
はずしてください。





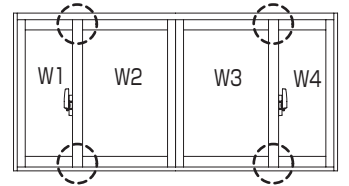
ストッパーの取付

〈偏芯4枚建の場合〉

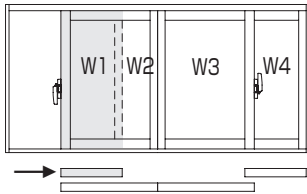
ストッパーは、オプションです。
ストッパーを取付ける場合は、**□BS-PUH-37**を事前に発注してください。ストッパーの同梱部品一覧は、P.30を参照してください。

ストッパーはオプションのため、穴加工はありません。任意の位置に下穴加工無しで取付けてください。

■外障子ストッパー取付箇所

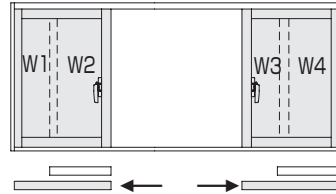


①外障子を任意の位置にセットしてください。



室内側

②内障子をスライドさせてください。



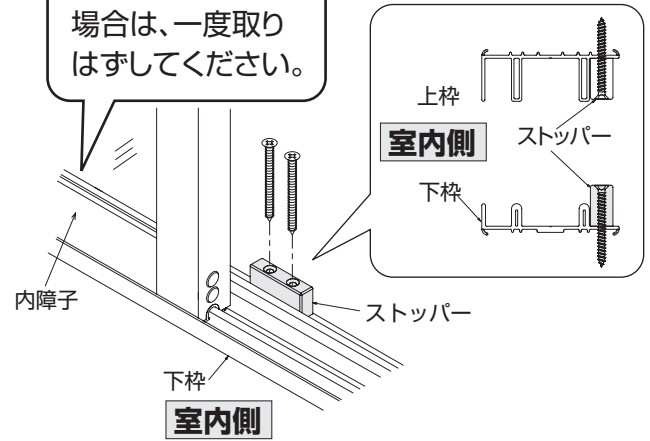
室内側

③ストッパーを取付けてください。



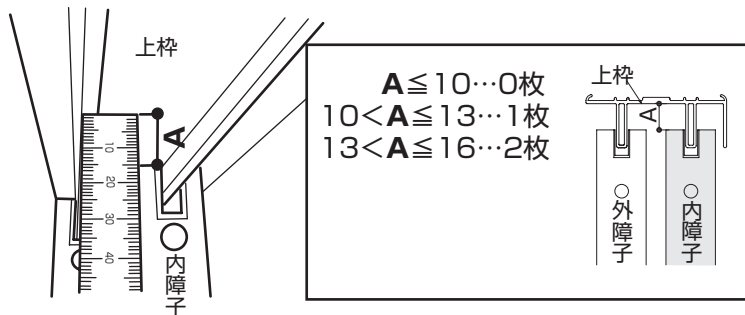
室内側

ポイント
内障子が邪魔な場合は、一度取りはずしてください。

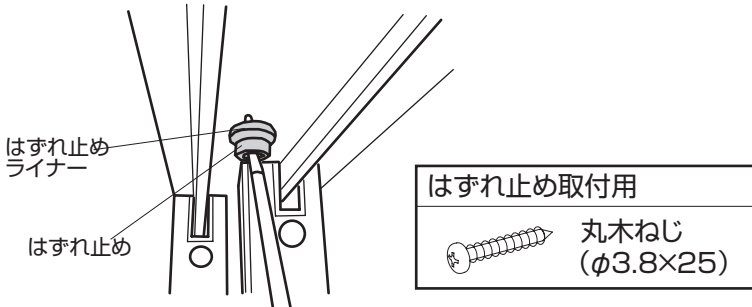


はずれ止めの取付

①上枠と内障子上端とのチリを測定してください。
チリに応じて、はずれ止めライナーの枚数を変えてください。



②はずれ止めを取付けてください。



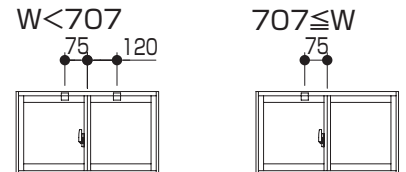
③開閉確認後、内障子が「障子の吊込み」の逆の手順ではずれないことと、内外障子の先端と上枠のかり代が5mm以上であることを確認してください。

注 意

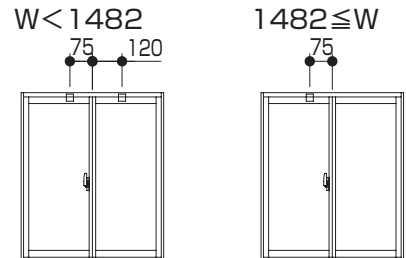
上記内容を実行し、問題がないことを確認してください。
問題がある場合、**障子脱落**のおそれがあります。

はずれ止め取付位置 (内観図)

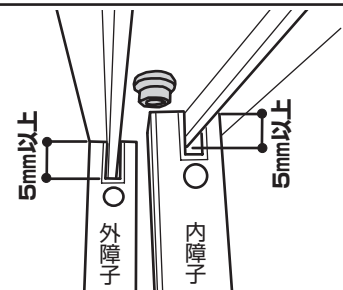
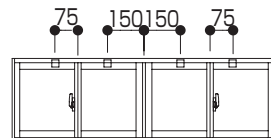
偏芯2枚建、3枚建はP.32を参照してください。
窓タイプ (2枚建)



テラス・ランマ通しタイプ (2枚建)



全サイズ (4枚建・偏芯4枚建)



はずれ止めの取付

はずれ止め取付位置(内観図) ※はずれ止めは、内障子側に取付きます。

〈偏芯2枚建の場合〉

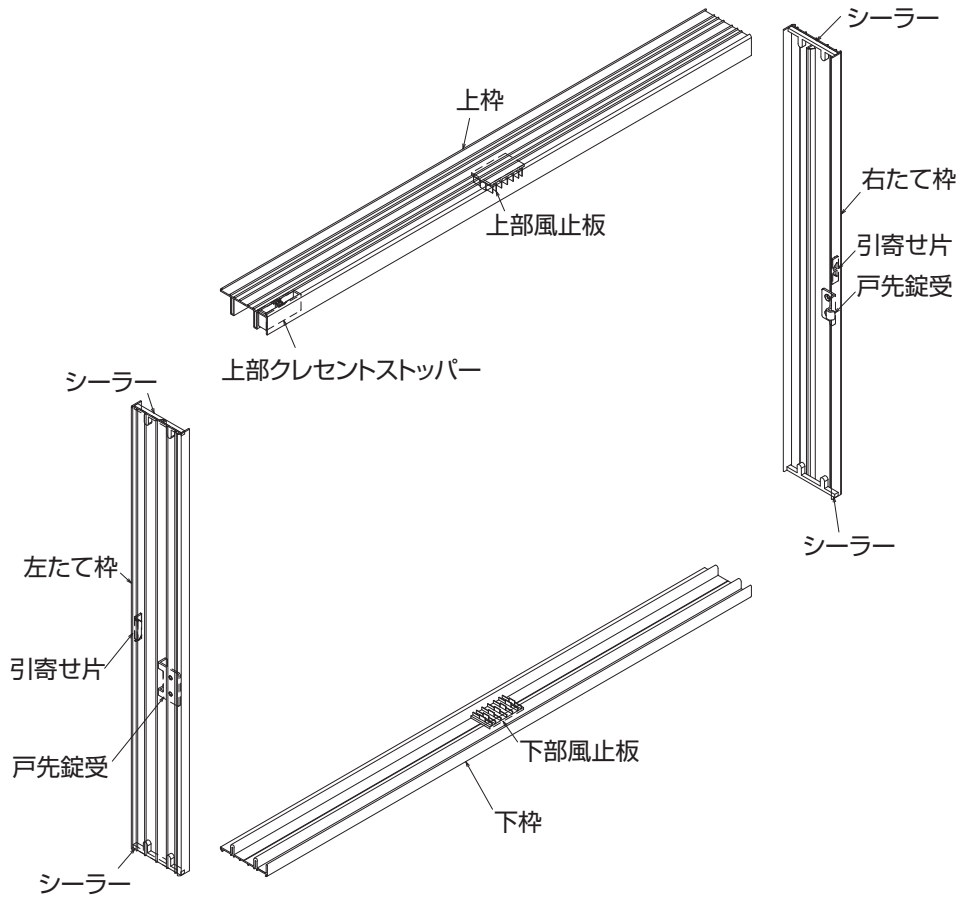
窓タイプ	$W2 < 356$	$356 \leq W2$	$W1 < 356$	$356 \leq W1$
テラスタイプ	$W2 < 743$	$743 \leq W2$	$W1 < 743$	$743 \leq W1$
$W1 + 50 \leq W2$				
$-50 < W1 - W2 < 50$				
$W1 \geq W2 + 50$				

〈3枚建の場合〉 突合せタイプは勝手違いも同様です。

	突合せタイプ		両袖タイプ	
窓タイプ	$W2 < 356$	$356 \leq W2$	$W2 < 356$	$356 \leq W2$
テラスタイプ	$W2 < 743$	$743 \leq W2$	$W2 < 743$	$743 \leq W2$

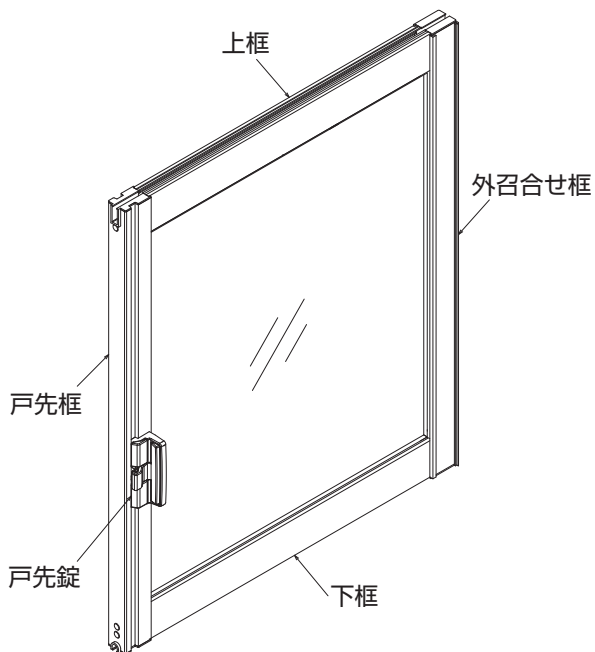
商品構成図

■ 枠

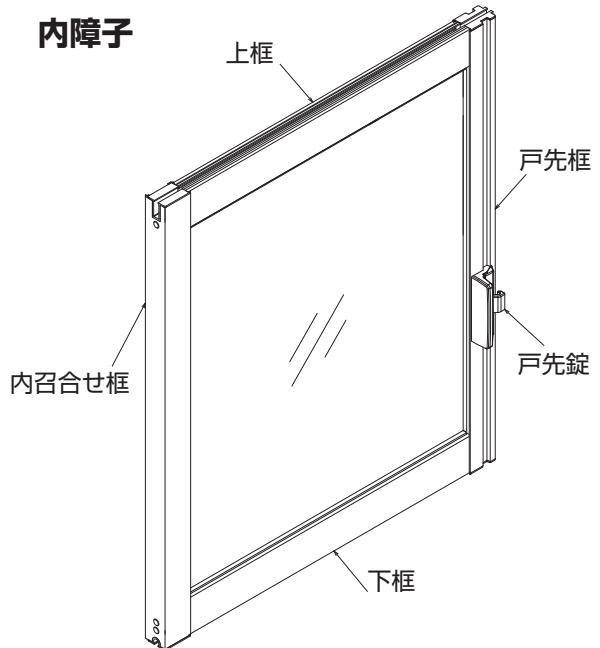


■ 障子<窓タイプのみ>

外障子



内障子

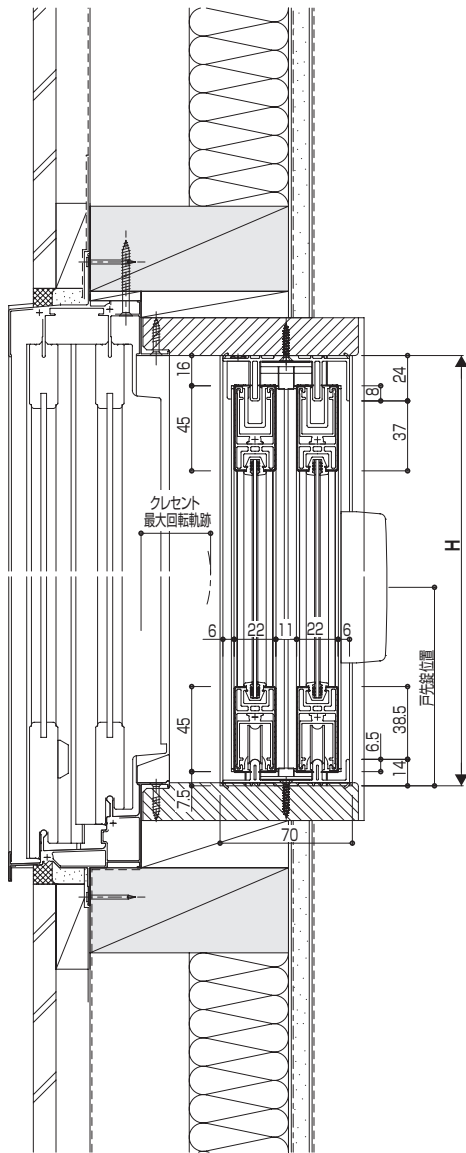
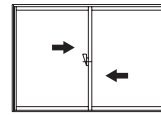


34 引違い窓 戸先錠仕様

標準納まり図

■引違い窓 戸先錠仕様 窓タイプ 単板ガラス
●大壁納まりの場合

内観姿図

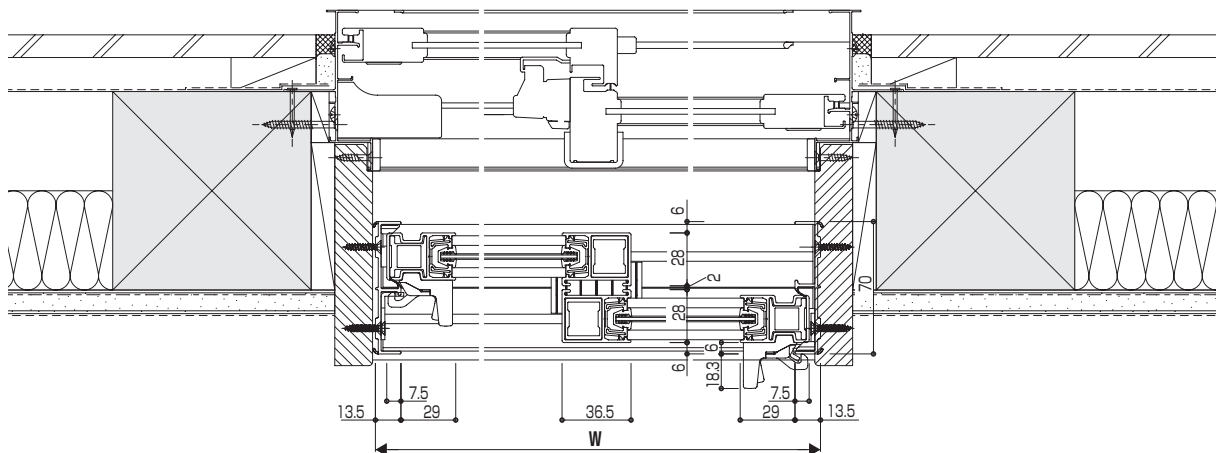
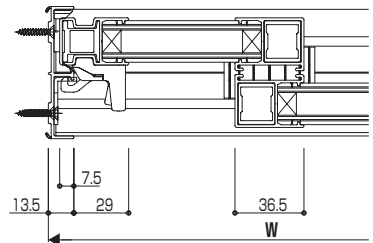
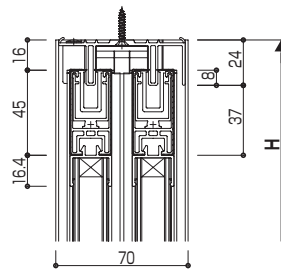


間仕切下枠仕様の場合



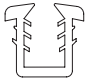

下枠



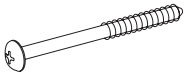

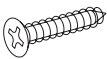


複層ガラス

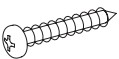



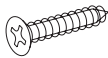
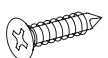


ガスケット一覧

使用ガラス厚	3mm	4mm	5mm	6mm
姿 図				
品 番	3K-21063	3K-21064	K-20358	2K-23671

同梱一覧

姿 図					
品 名	小トラスタッピンねじ2種 ($\phi 4 \times 45$)	穴塞ぎキャップ	皿木ねじ ($\phi 3.5 \times 20$)	はずれ止め	はずれ止めライナー
品 番	BM-4045N	K-38558	WF-3520	2K-36844	2K-48728
個 数	8	12	14~42	1~2	2~4
使用箇所	障子組立用	障子組立用	枠取付用		

姿 図						
品 名	丸木ねじ ($\phi 3.8 \times 25$)	錠受	錠受	ライナー	皿木ねじ ($\phi 3.5 \times 20$)	皿ドリルねじ ($\phi 4.2 \times 19$)
品 番	WR-3825	5K-16520	5K-16521	2K-37816	WF-3520	4K-14920
個 数	1~2	1	1	4	4	4
使用箇所	はずれ止め取付用			錠受調整用	錠受取付用	錠受取付用
備 考					ふかし枠なしの場合	ふかし枠ありの場合

障子の組立

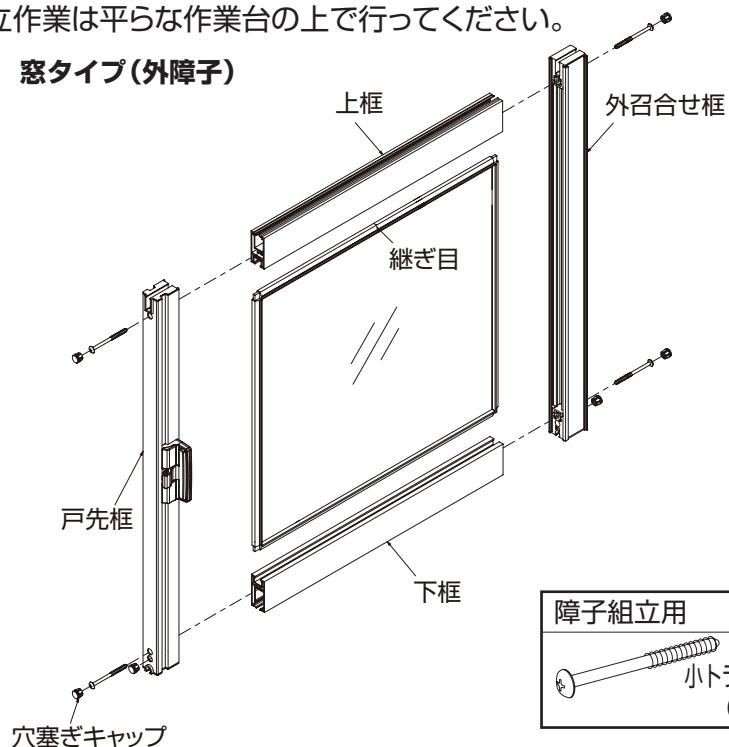
完成品出荷の場合、本作業は不要です。

■単板ガラスタイプ

- ① ガasket(同梱)を継ぎ目が上側になるようにして巻いてください。
- ② 框をガラスに差込んでください。
- ③ 組立ねじを差込み、ねじを締め付けてください。
- ④ ガasketが確実に挿入されていることを確認してください。

組立作業は平らな作業台の上で行ってください。

窓タイプ(外障子)



注意

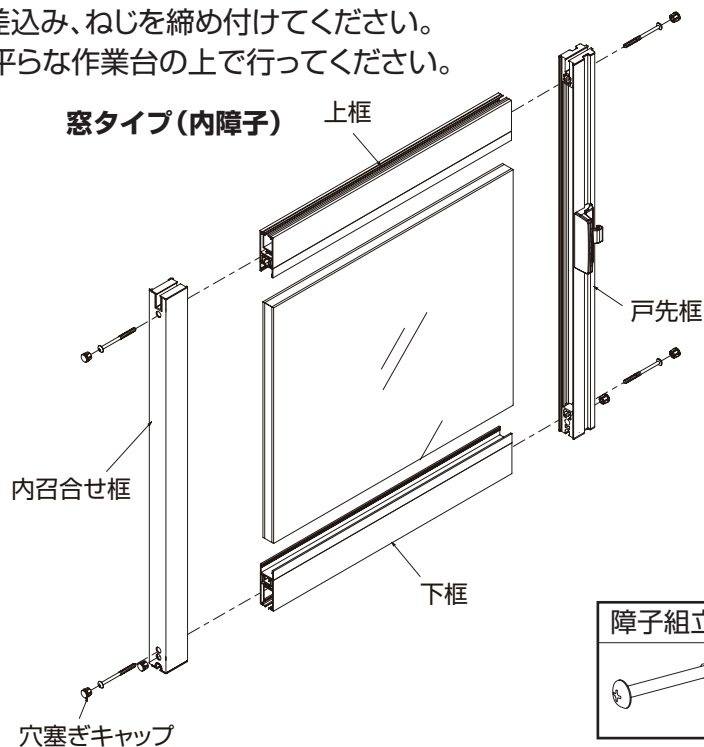
ガasketを巻く際は、以下の2点を守ってください。守らないとガasketの縮みの原因となる場合があります。

- 少し長め(1辺当り約3%程度)に余裕をとって巻く
- 引っ張りながら巻かない

■複層ガラスタイプ

- ① 框をガラスに差込んでください。
 - ② 組立ねじを差込み、ねじを締め付けてください。
- 組立作業は平らな作業台の上で行ってください。

窓タイプ(内障子)



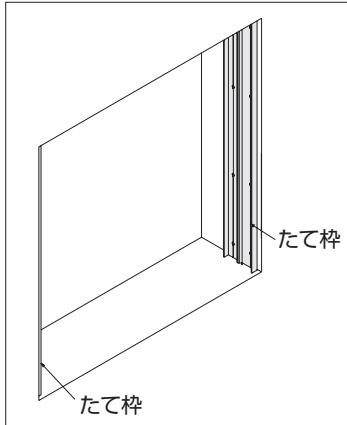
枠の取付

W=1000以下の場合、上下枠をたわませにくいので、
枠の取付(W=1000以下の場合)P.39を参照してください。

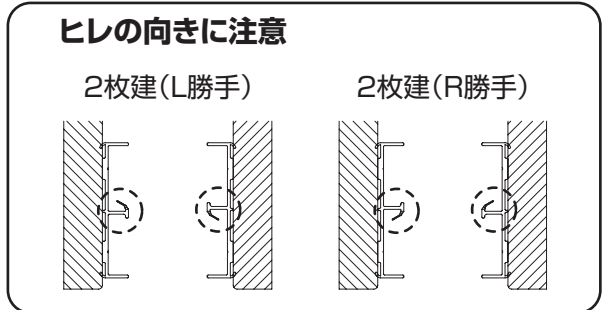
注意
 枠取付時、ねじれ・倒れがないことを確認してください。

1. たて枠の取付

- ① たて枠を開口部に取付けてください。
- ② たて枠をねじ止めしてください。



枠取付用
 皿木ねじ (φ3.5×20)

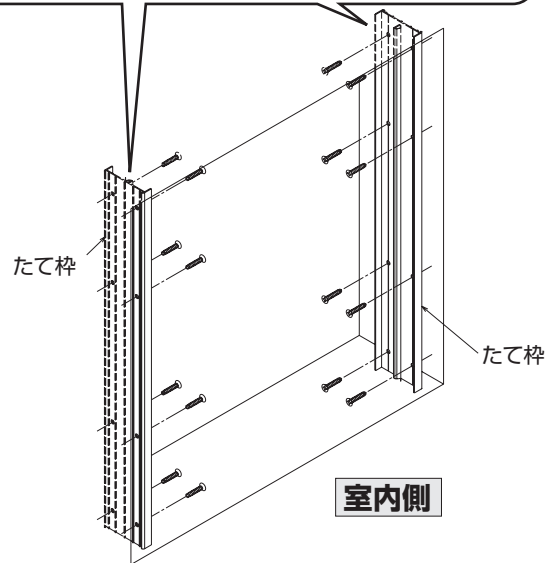


ポイント

たて枠の位置は窓枠室内側からの寸法Aが均等になるようにしてください。

均等にする

室内側



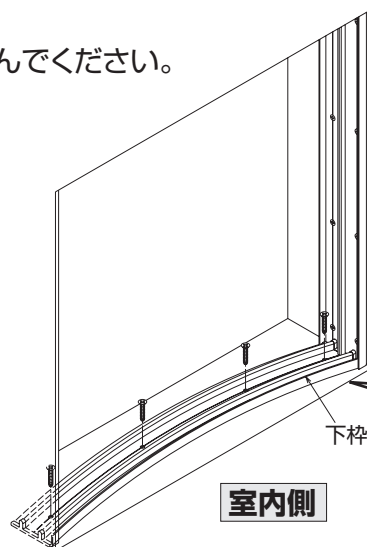
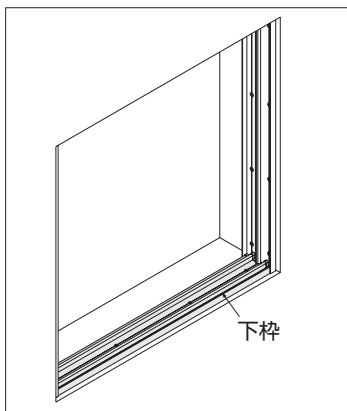
注意

中間部がたわまないように端部から順番にねじで固定してください。

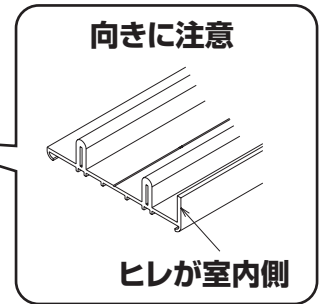
中間部がたわんだままねじで固定すると、枠が波打つ原因となります。

2. 下枠の取付

- ① 下枠を図のように内側にたわませてはめ込んでください。
- ② 下枠をねじ止めしてください。



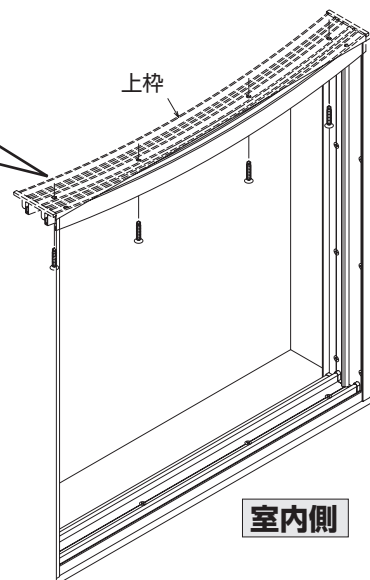
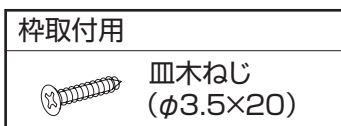
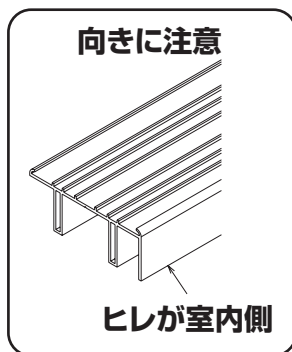
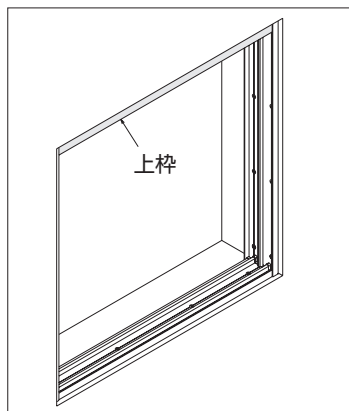
枠取付用
 皿木ねじ (φ3.5×20)



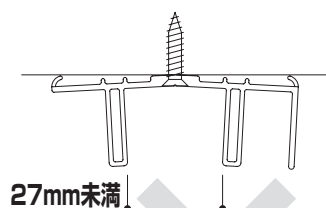
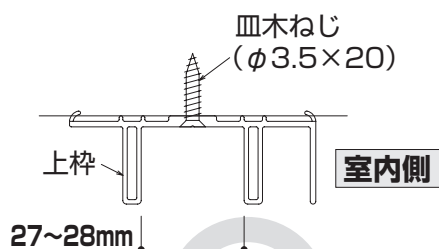
枠の取付

3.上枠の取付

- ①上枠を図のように内側にたわませてはめ込んでください。
- ②上枠をねじ止めしてください。



- ③上枠レール先端を測り、27~28mmになっていることを確認してください。

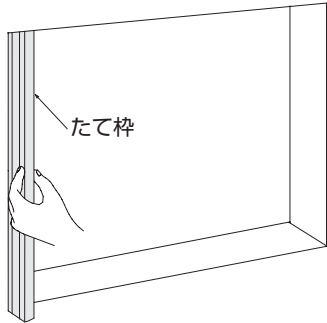


ポイント

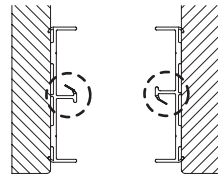
レール先端が27mm未満の場合は、ねじを少しゆるめて27~28mmになるようにしてください。

枠の取付 (W = 1000 以下の場合)

①片側のたて枠を半分程うめ込んでください。



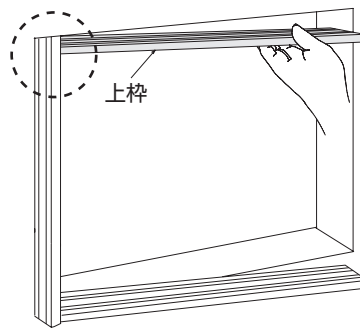
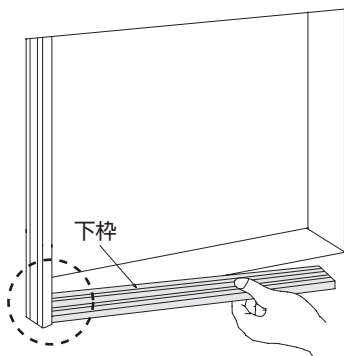
ヒレの向きに注意
2枚建(L勝手)



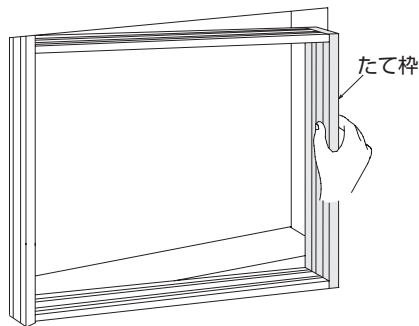
注意

枠取付時、ねじれ・倒れがないことを確認してください。

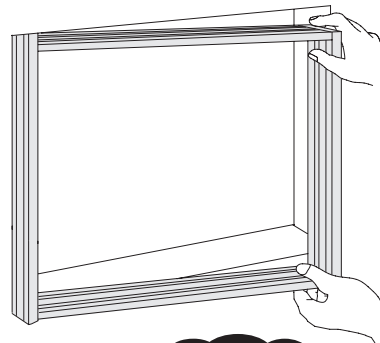
②上下枠を片側のみ差込んでください。



③たて枠をそえてください。



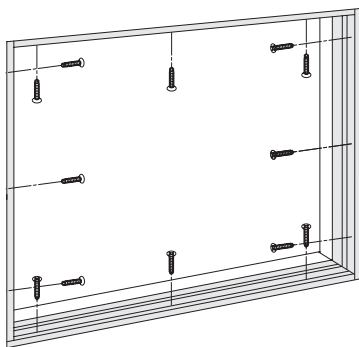
④開口部に押込んでください。



ポイント

四方枠を徐々に押込んでください。

⑤ねじで固定してください。

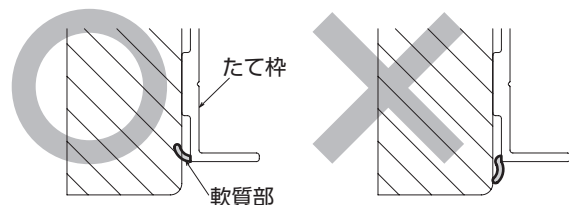


枠取付用

皿木ねじ
(φ3.5×20)

注意

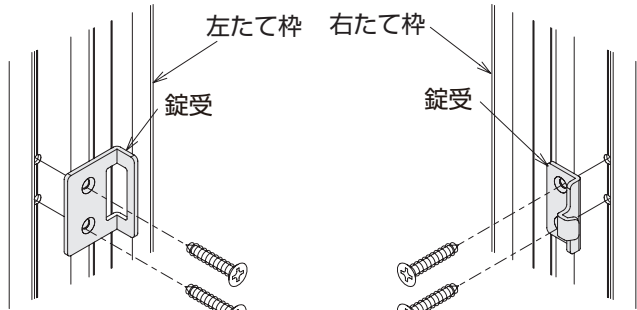
型材の軟質をきちんと巻き込んでいるか確認してください。



錠受の取付

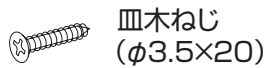
たて枠に錠受を取付けてください。

図は、L勝手で示しています。

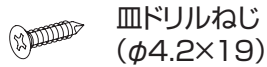


ふかし枠なしの場合：皿木ねじ (φ3.5×20)
 ふかし枠ありの場合：皿ドリルねじ (φ4.2×19)

錠受取付用(ふかし枠なし)



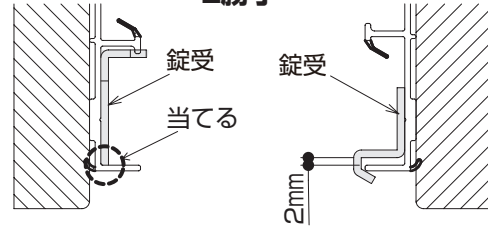
錠受取付用(ふかし枠あり)



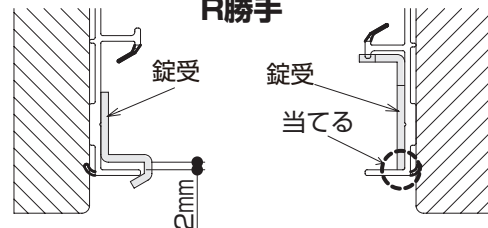
注意

錠受の向き・位置に注意して取付けてください。

L勝手



R勝手



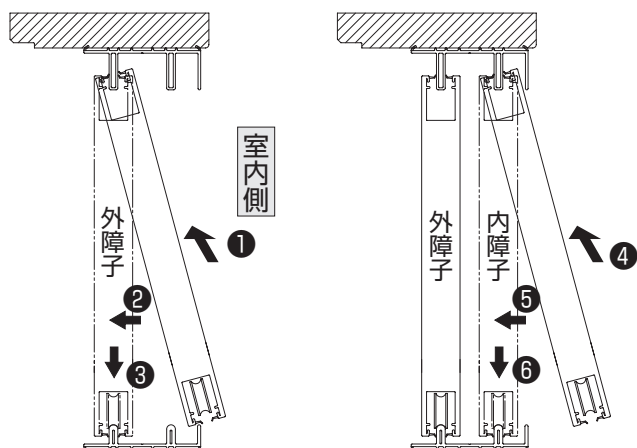
注意

取付時、電動ドライバー・エアードライバー使用の際は、締め付けトルクは以下を目安に設定してください。

1.0~1.5N・m (10~15kgf・cm) 程度

障子の吊込み

室内側より、外障子、内障子の順に枠に吊込んでください。



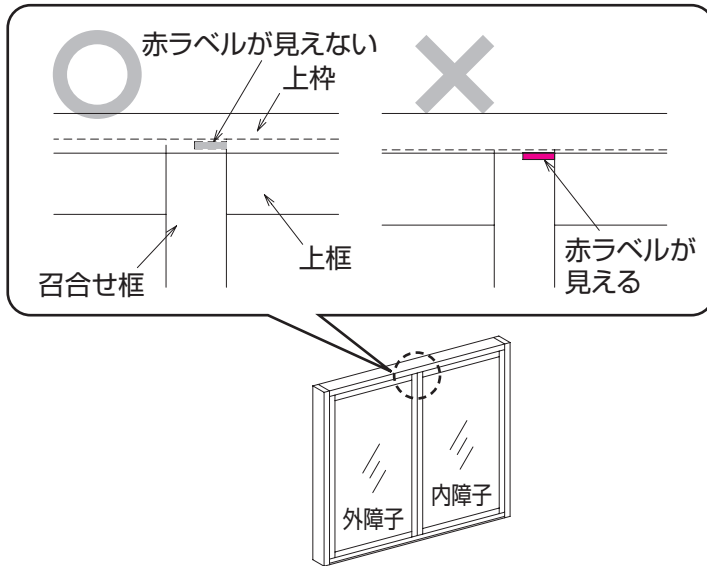
調整

電動
ドライバー
使用禁止

■上枠と障子のかかり代の確認

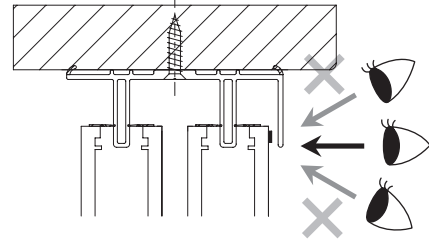


内障子上部に赤ラベルが見えないことを確認してください。



ポイント

赤ラベルは上枠下端の正面から確認してください。



注意

赤ラベルが見える場合は、開口の狂いが許容範囲を超えており、**上枠と障子のかかり代が少ない状態で、障子脱落のおそれがあります。**

赤ラベルが見えなくなるまで、戸車調整で障子を調整してください。

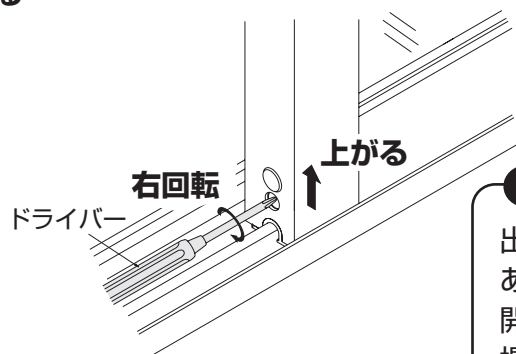
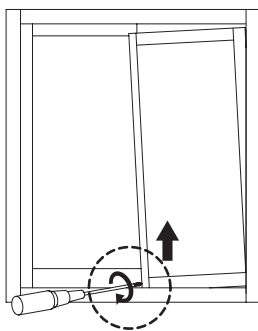
戸車調整で改善されない場合は、開口部と上枠の間にスペーサを入れて調整してください。

開口部の調整方法はP.16・17を参照してください。

■戸車の調整

建付調整は、戸車の高さを調整することで行えます。

右回転(時計方向)…上がる



ポイント

出荷時、障子は下がった状態にあります。それ以上は下がりません。開閉操作が重い、赤ラベルが見える場合、戸車を調整してください。

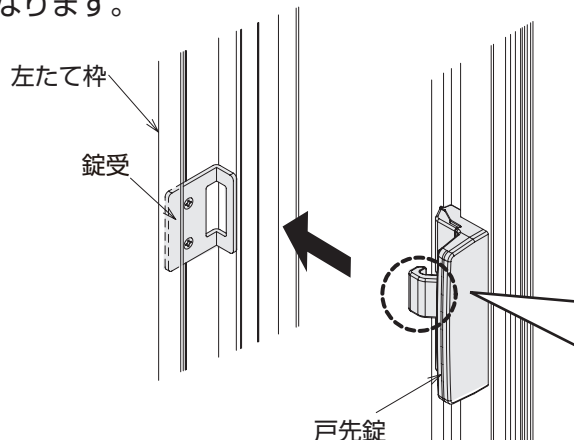
調整

電動
ドライバー
使用禁止



■戸先錠の作動確認

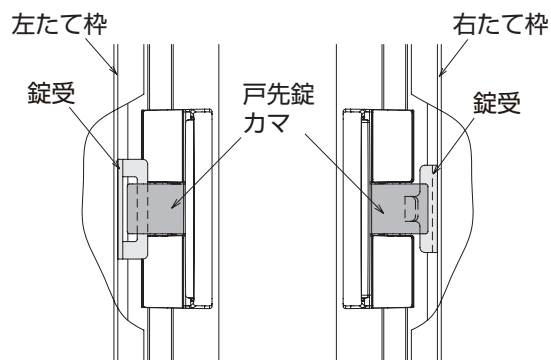
正常に作動するか確認してください。
窓を閉めると自動で戸先錠カマが錠受にかかり、
施錠状態となります。



戸先錠がかかりにくい、またはかからない
場合は、「■錠受の調整」を行ってください。

ポイント

戸先錠カマが錠受にしっかりとかかっ
ていることを確認してください。



■錠受の調整

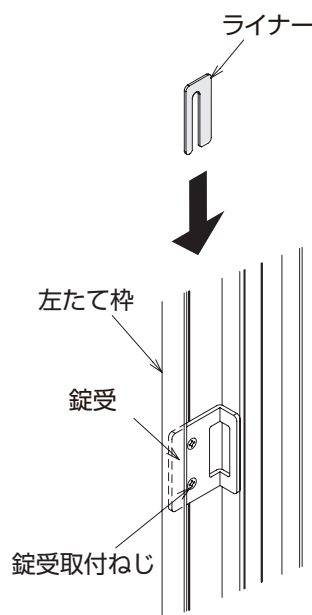
- ① 錠受取付ねじをゆるめてください。
- ② ライナーを錠受とたて枠の間に差込んでください。
- ③ 必ず錠受取付ねじをしっかり締めてください。

ポイント

調整後、障子左右にがたつく場合、
必要に応じてレール端部スペーサー
(オプション：□BS-PUH-40 20枚入り)
で調整してください。(P.15参照)

注意

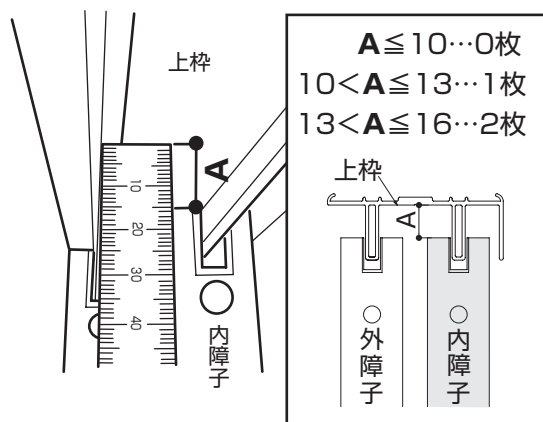
性能低下のおそれがあるので、片側の錠受にはさむ
ライナーは2枚までとしてください。
それでも戸先錠がかかりにくい場合は、開口部と枠
との間にスペーサーを入れて枠が垂直になるように
開口部を調整してください。(P.16・17参照)



※図は左たて枠側で示しています。
右たて枠側も同様に調整してください。

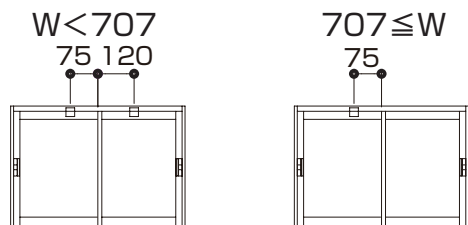
はずれ止めの取付

- ① 上枠と内障子上端とのチリを測定してください。
チリに応じて、はずれ止めライナーの枚数を変えてください。

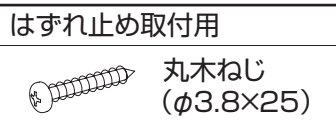
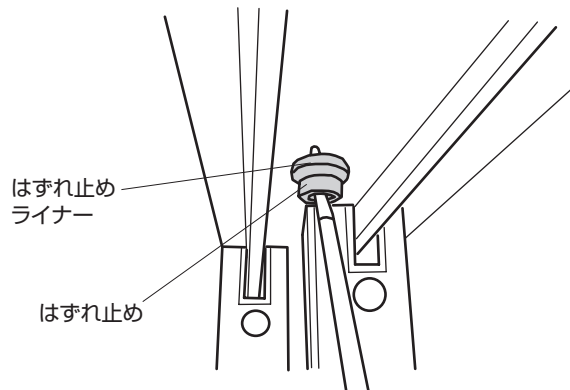


はずれ止め取付位置 (内観図)

窓タイプ (2枚建)



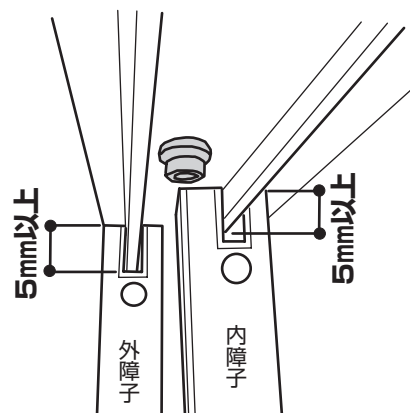
- ② はずれ止めを取付けてください。



- ③ 開閉確認後、内障子が「障子の吊込み」の逆の手順ではずれないことと、内外障子の上端と上枠のかかり代が5mm以上であることを確認してください。

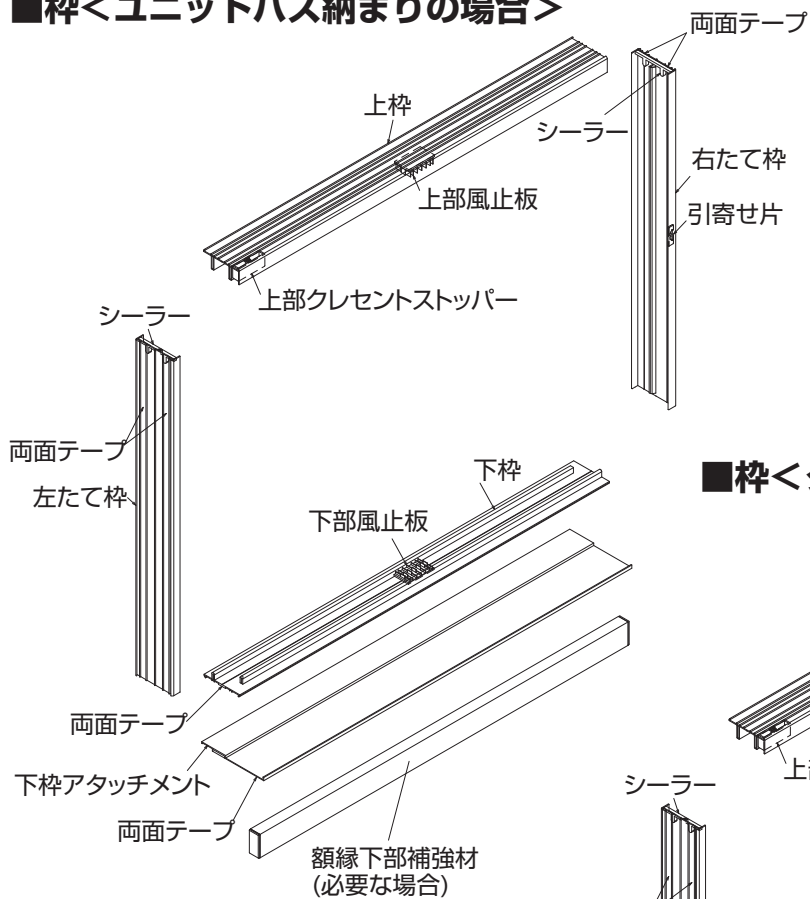
注意

上記内容を確実にを行い、問題がないことを確認してください。
問題がある場合、**障子脱落**のおそれがあります。

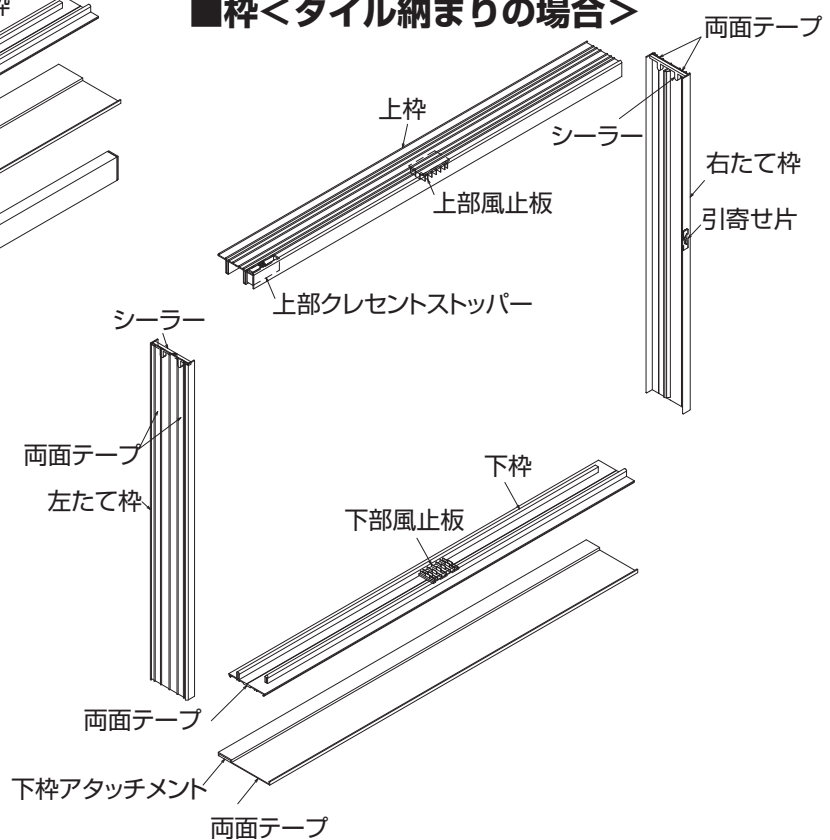


商品構成図

■ 枠<ユニットバス納まりの場合>

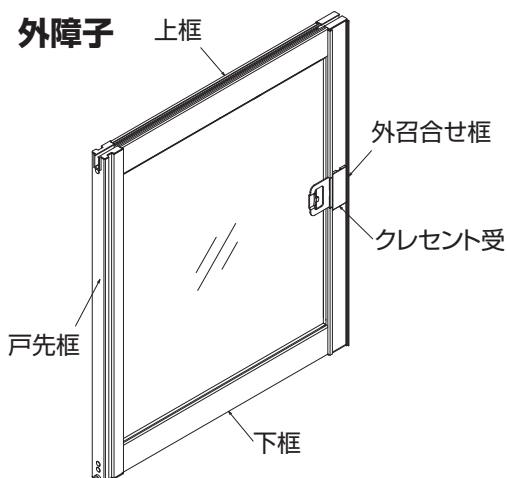


■ 枠<タイル納まりの場合>

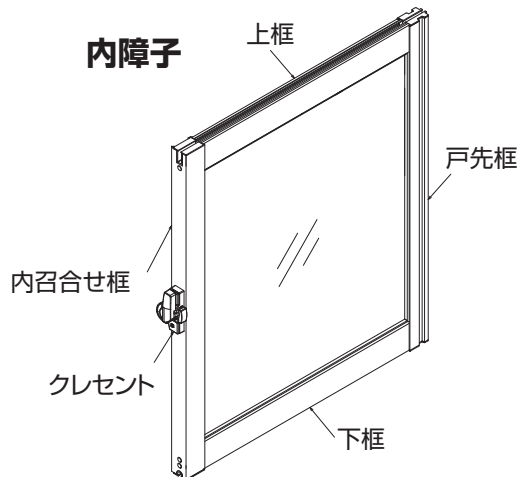


■ 障子<窓タイプのみ>

外障子

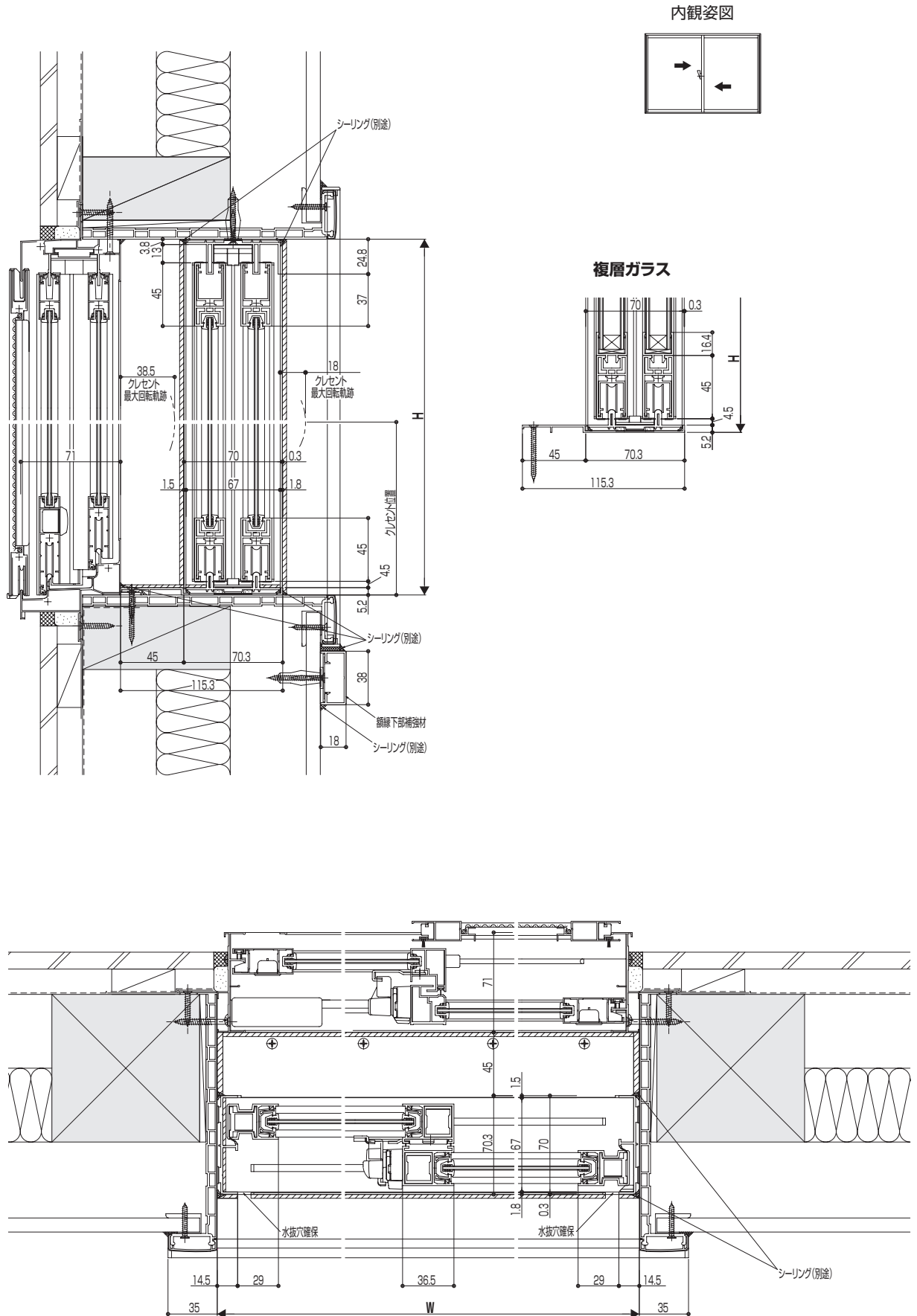


内障子



標準納まり図

■引違い窓 浴室仕様 窓タイプ ユニットバス納まり【額縁下部補強材有仕様】単板ガラス/外枠:アングル無枠



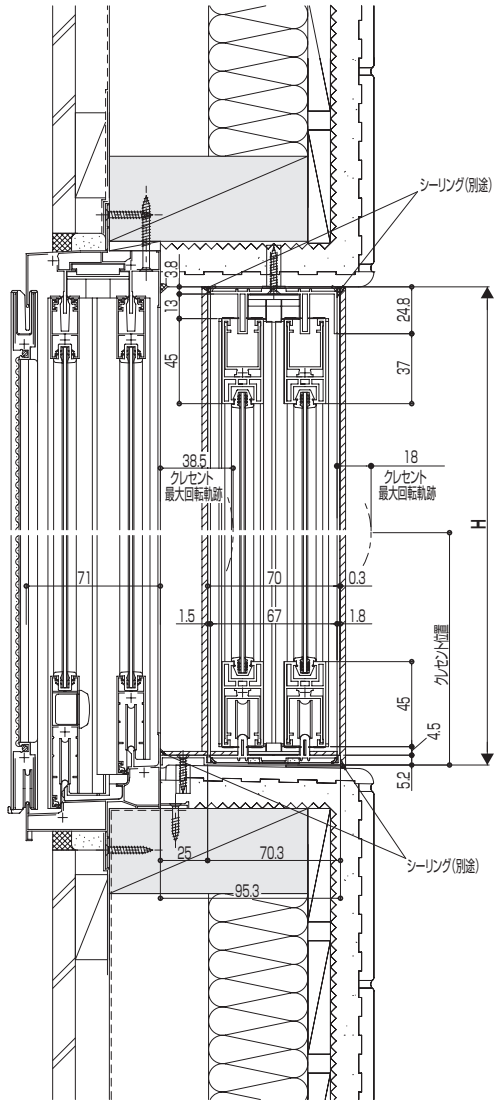
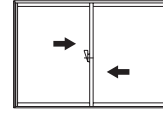
46 引違い窓 浴室仕様 浴室仕様

標準納まり図

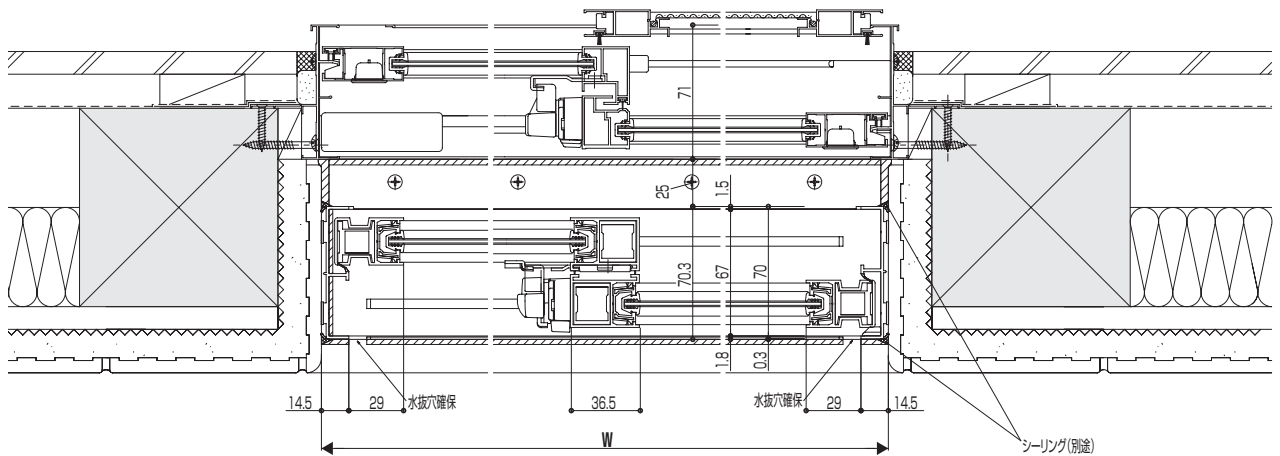
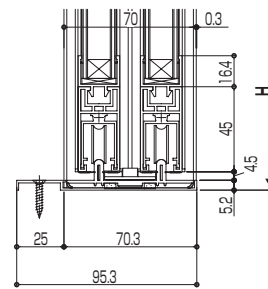


■引違い窓 浴室仕様 窓タイプ タイル納まり 単板ガラス/外枠:アングル無枠

内観姿図



複層ガラス



ガスケット一覧

使用ガラス厚	3mm	4mm	4mm (スチロール樹脂板)	5mm	6mm
姿 図					
品 番	3K-21063	3K-21064	K-6426S	K-20358	2K-23671

同梱一覧

樹脂額縁納まり

姿 図					
品 名	はずれ止め	はずれ止めライナー	小トラスタッピンねじ1種 (φ4×40)	プラグ(灰色)	皿タッピンねじ1種 (φ4×40)
品 番	2K-36844	2K-48728	AM-4040	2K-36838	AF-4040D7
個 数	2	4	2	4	5~7
備 考			はずれ止め取付用	上枠、はずれ止め取付用	上枠、下枠アタッチメント取付用

姿 図	ユニットバス壁厚0.5~3mmの場合に使用		ユニットバス壁厚4~10mmの場合に使用 下地材に直接ねじ止めできない場合に使用	
品 名	ウェルナット	トラスタッピンねじ (φ4×16)	プラグ(灰色)	皿タッピンねじ1種 (φ4×40)
品 番	2K-21413	EM-4016	2K-36838	AF-4040D7
個 数	3~5	3~5	6~10	3~5
備 考	額縁下部補強材取付用	額縁下部補強材取付用	額縁下部補強材、 下枠アタッチメント取付用	額縁下部補強材取付用

タイル納まり

姿 図						
品 名	はずれ止め	はずれ止めライナー	丸木ねじ (φ3.8×25)	プラグ(緑色)	皿タッピンねじ1種 (φ4×25)	皿タッピンねじ1種 (φ4×20)
品 番	2K-36844	2K-48728	WR-3825	2K-29332	AF-4025D7	AF-4020D7
個 数	2	4	2	7~9	2	3~5
備 考			はずれ止め取付用	上枠、はずれ止め、 下枠アタッチメント取付用	上枠取付用	下枠アタッチメント取付用

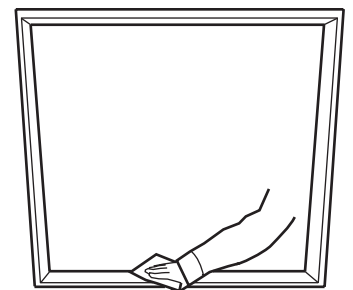
本マニュアルはユニットバス納まりで説明しています。
タイル納まりは違う部分のみを記載しています。

四方額縁の清掃

四方額縁をウエスなどで拭取り、
汚れや水分を残さないでください。

お願い

汚れや水分が残っていると、
両面テープの粘着力が弱くなり、
はがれの原因になります。



障子の組立

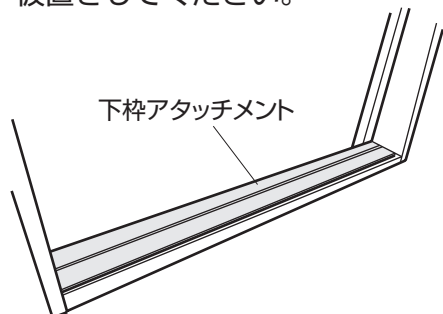
引違い窓 標準タイプ 窓タイプ P.23・24を参照してください。

枠の取付

1. 下枠アタッチメントの取付

変更

- ① 下枠アタッチメントを仮置きしてください。



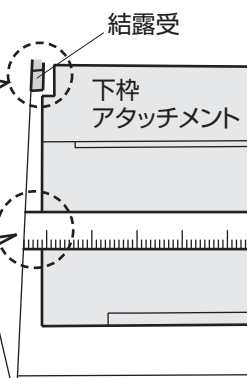
注意

枠取付時、ねじれ・倒れがないことを確認してください。

結露受がある場合は、形状に合わせて下枠アタッチメントを切欠いてください。

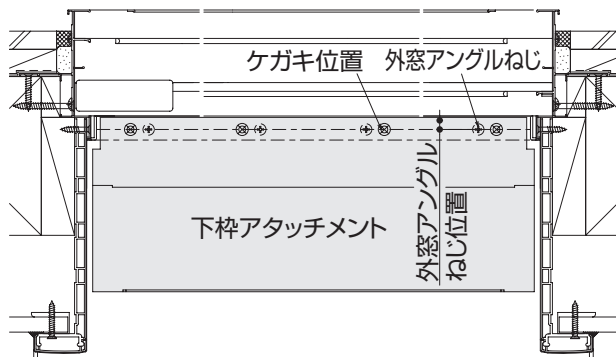
左右のチリを合わせてください。

チリ：左右4mm（標準）



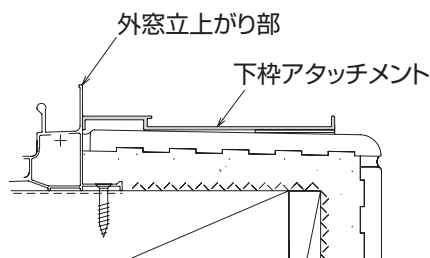
下枠アタッチメントの位置決め

下穴の出入り方向位置は、外窓アングルねじの位置を目安にしてください。

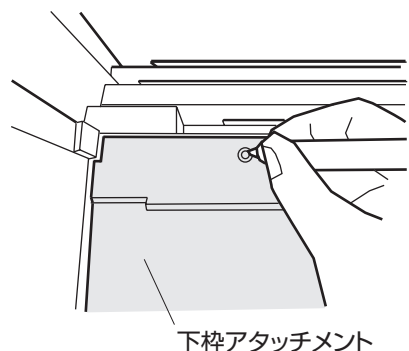


タイル納まり

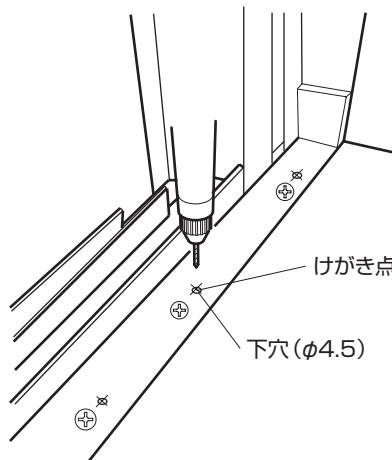
外窓の立上りに下枠アタッチメントを合わせてください。



- ② 下枠アタッチメント取付用の下穴位置を下額縁にけがいてください。

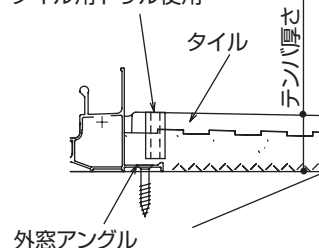


- ③ 一度下枠アタッチメントをはずして外窓アングルに下穴(φ4.5)を加工してください。



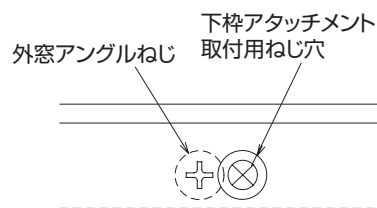
タイル納まり

下穴(最初φ3で加工し、φ7に再加工)
深さ(テンパ厚さ)
タイル用ドリル使用



ポイント

ねじ穴位置が外窓アングルねじと干渉または近い場合は、外窓アングルねじをはずして下穴を加工してください。

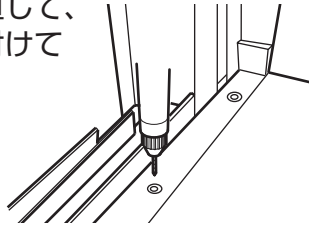


枠の取付

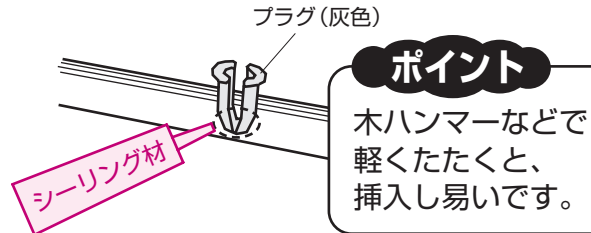
- ④下枠アタッチメントが下地材に直接ねじ止めできるか確認してください。
止めれない場合は下記を参考にしてください。

下地材に直接ねじが止めれない場合

- 下地材がピッチ間隔で取付いているなどで、直接下地材に止められない場合は、下穴(φ8、深さ：30mm)を再度あけ直して、プラグを取付けてください。

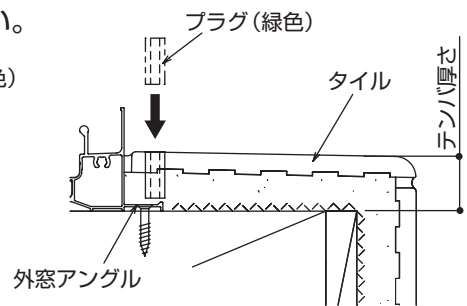
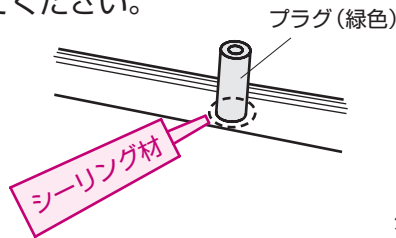
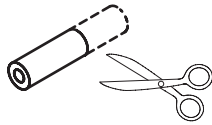


- プラグは下図の向きで挿入し、挿入する時にプラグの着座面とアングルの間をシーリングしてください。
向きが違くと、ねじが効かない可能性があります。



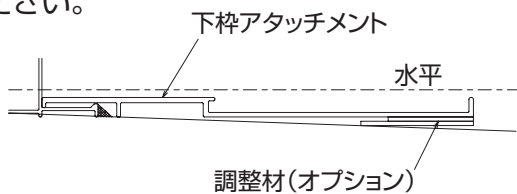
タイル納まり

穴の深さに合わせて、プラグをカットして挿入してください。
プラグの小口をシーリングしてください。

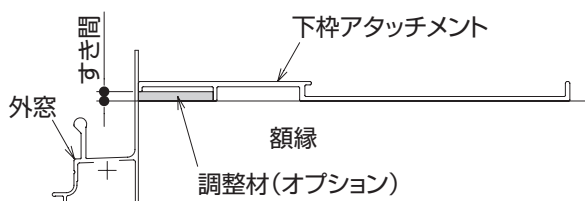


- ⑤下額縁の水勾配を確認してください。

- 水勾配が 2° 以上ある場合は、調整材(オプション品P.15参照)などを用いて、下枠アタッチメントを水平に取付けてください。

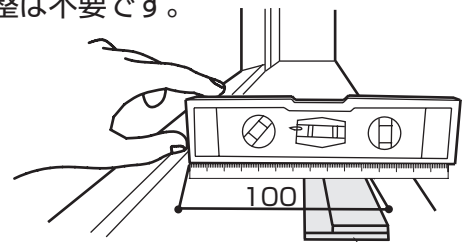


- 外窓のアングルがないなどで、下枠アタッチメント先端と額縁にすき間がある場合は、調整材(オプション品P.15参照)などを挟んでください。



ポイント

約100mmの位置で調整材厚さが3mm以下なら、 2° 未満なので調整は不要です。



約100mmの位置に調整材を重ねて調整してください。(オプション)

注意

調整材を使用する場合、調整材と下地(窓台)を両面テープを使用し固定してください。

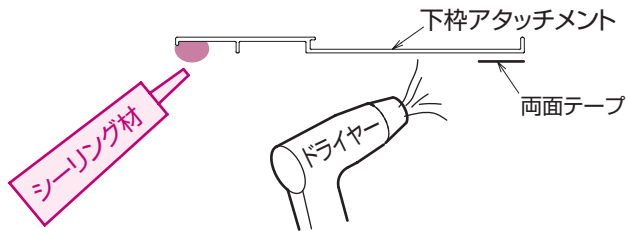
住友スリーエム VHBテープ Y-4922

枠の取付

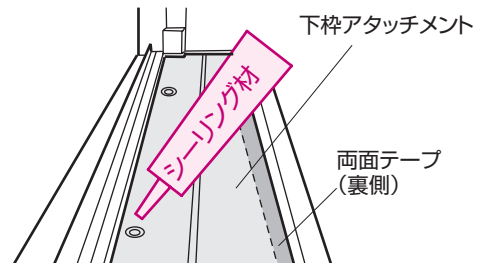
⑥ 下枠アタッチメント全長にシーリング材を先打ちし、裏面の両面テープをはがし、下枠アタッチメントを圧着してください。

ポイント

下枠アタッチメントを取付けた時、額縁にシーリング材がはみ出す位に多めに先打ちしてください。



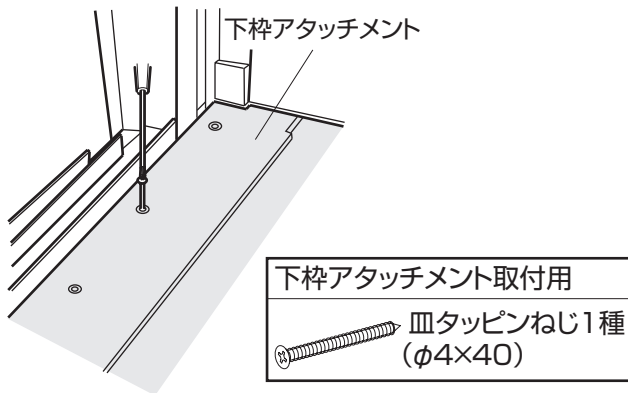
⑦ ねじ穴にシーリング材を先打ちしてください。



ポイント

両面テープの貼付は
 ・気温10℃以下の場合ドライヤーで温める
 ・100mmの幅に対し2.0kgの力で圧着してください。

⑧ 下枠アタッチメントをねじ止めしてください。

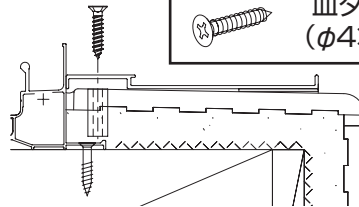


タイル納まり

プラグにねじ止めしてください。

下枠アタッチメント取付用

皿タッピンねじ1種
(φ4×20)



2. たて枠の取付

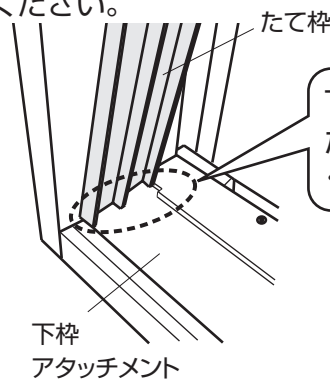
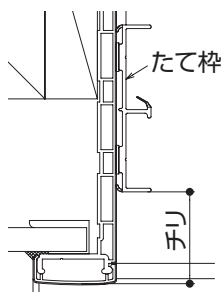


W=1000以下の場合、たて枠の取付方法が異なります。
枠の取付(W=1000以下の場合)P.54・55を参照してください。

① たて枠を仮置きして、位置をけがいてください。

ポイント

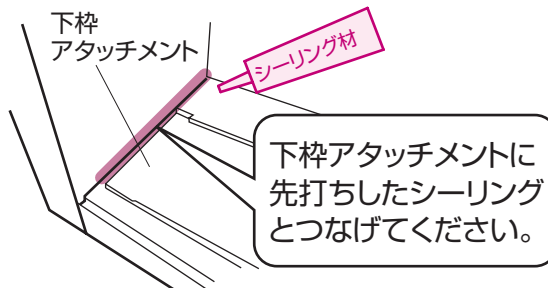
上下端部と中央部のチリを合わせてください。



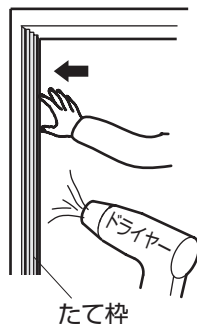
下枠アタッチメントの切欠き部にたて枠を合わせて位置決めをしてください。

反対側の枠も同様です。

② 下枠アタッチメントと額縁の間にシーリングをしてください。



③ たて枠裏面の両面テープをはがし、圧着してください。



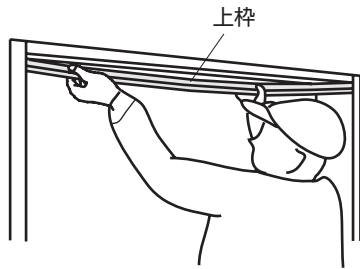
ポイント

両面テープの貼付は
 ・気温10℃以下の場合ドライヤーで温める
 ・100mmの幅に対し2.0kgの力で圧着してください。

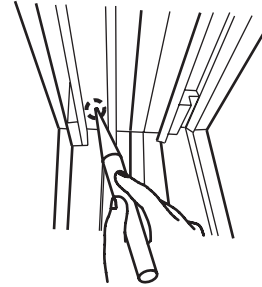
枠の取付

3. 上枠取付用の下穴加工

① 上枠を仮置きしてください。

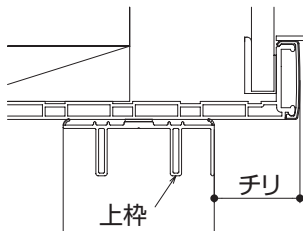


② 上枠取付用ねじの下穴位置・はずれ止め位置を上額縁にけがいてください。

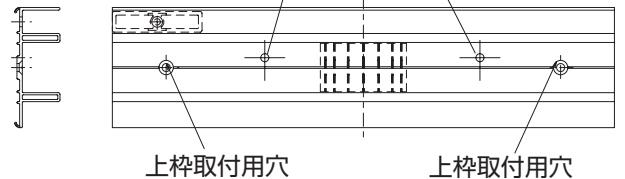


ポイント

両端と中央部のチリを合せてください。



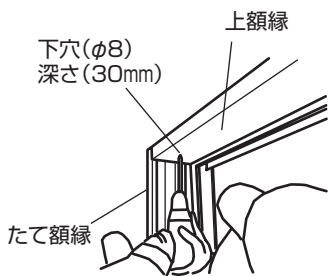
■ 上枠



③ 一度上枠をはずして、上額縁に下穴(φ8)を加工してください。

タイル納まり

下穴(最初φ3で加工し、φ7に再加工) 深さ(テンパ厚さ)タイル用ドリル使用



④ プラグを挿入してください。

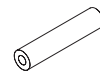
シーリング

プラグの着座面とアングル間をシーリングしてください。

タイル納まり

プラグ挿入後、プラグの小口をシーリングしてください。

プラグは緑色



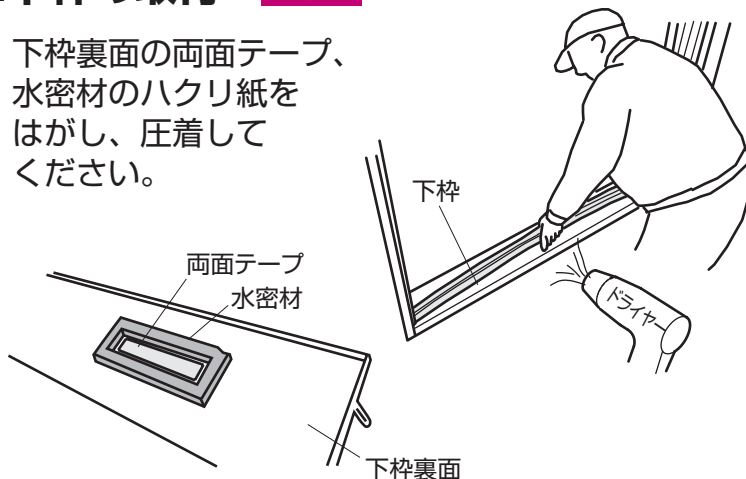
ポイント

木ハンマーなどで軽くたたくと、挿入し易いです。

4. 下枠の取付

変更

下枠裏面の両面テープ、水密材のハクリ紙をはがし、圧着してください。



ポイント

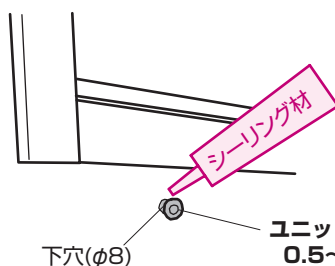
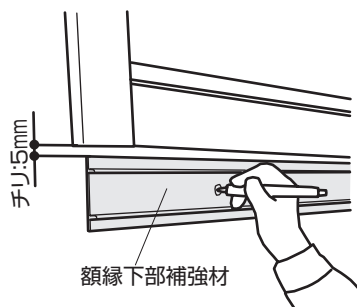
両面テープの貼付は

- ・ 気温10℃以下の場合ドライヤーで温める
- ・ 100mmの幅に対し2.0kgの力で圧着してください。

枠の取付

5. 額縁下部補強材の取付 **樹脂額縁納まりのみ**

- 額縁下部補強材を仮置きして、下穴位置をけがいてください。
- 下穴(φ8)加工し、シーリング材を先打ちして、ウェルナット(プラグ)を挿入してください。



ユニットバス壁厚
0.5~3mmの場合：ウェルナット
4~10mmの場合：プラグ（灰色）

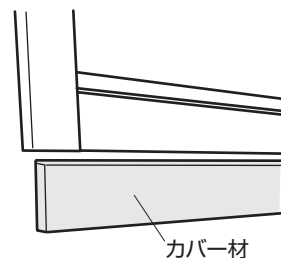
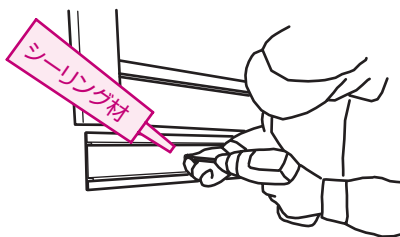
注意

- 壁パネルに下穴(φ8)加工する際は、壁内のリモコンの配線に気をつけてください。
- 加工をする際に出る、切り粉は“むらい錆”の原因となりますので、必ず掃除をしてください。

- 額縁下部補強材を取付け、シーリング材を先打ちしてねじで固定してください。
- カバー材をはめ込んでください。(スナップ固定)

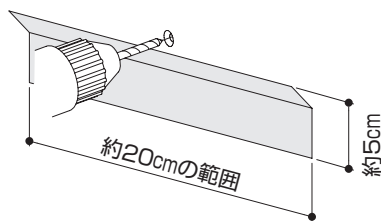
額縁下部補強材取付用

- | | |
|--|---|
| | ユニットバス壁厚
0.5~3mmの場合：
トラスタッピンねじ
(φ4×16) |
| | ユニットバス壁厚
4~10mmの場合：
皿タッピンねじ
(φ4×35) |



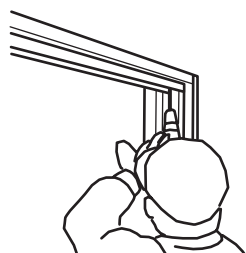
切り粉の落下キャッチの裏技

穴加工位置の真下に、テープを貼付けてください。
テープは下半分を貼り、上半分は手前に傾ける
ようにしてください。
切り粉がテープでキャッチでき、掃除が楽に
なります。



6. 上枠と障子のかかり代の確認 **変更**

- 上枠をねじで仮固定してください。
- 室内側より、内障子を枠に吊込んでください。



上枠アタッチメント取付用

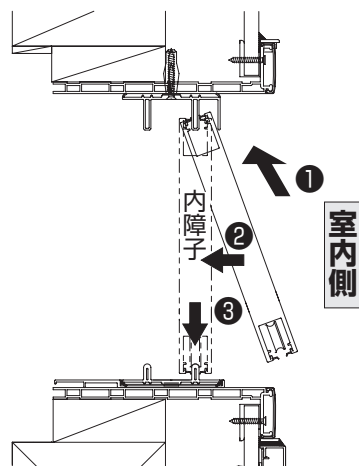
- | | |
|--|----------------------|
| | 皿タッピンねじ1種
(φ4×40) |
|--|----------------------|

タイル納まり

- | | |
|--|----------------------|
| | 皿タッピンねじ1種
(φ4×25) |
|--|----------------------|

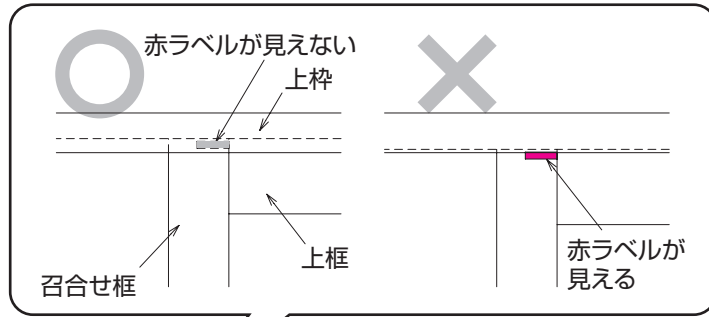
お願い

本固定ではありませんので、
両面テープははがさないで
ください。



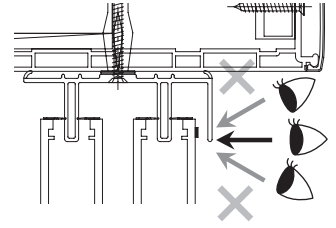
枠の取付

③内障子上部に赤ラベルが見えないことを確認してください。



ポイント

赤ラベルは上枠下端の正面から確認してください。



注意

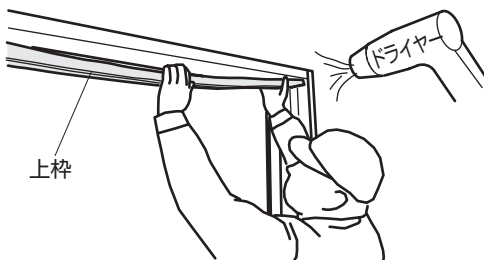
赤ラベルが見える場合は、開口の狂いが許容範囲を超えており、**上枠と障子のかかり代が少ない状態で、障子脱落のおそれがあります。**開口部の狂いを確認し、赤ラベルが見えなくなるまで、開口部と上枠の間に調整材を入れて調整してください。

④内障子を障子の吊込みと逆の手順ではずしてください。

7. 上枠の取付

W=1000以下の場合、たて枠の取付方法が異なります。
枠の取付(W=1000以下の場合)P.54・55を参照してください。

- ①仮固定した上枠を一旦取りはずしてください。
- ②上枠の両面テープをはがし、圧着してください。



ポイント

両面テープの貼付は
 ・気温10℃以下の場合ドライヤーで温める
 ・100mmの幅に対し2.0kgの力で圧着してください。

③ねじ穴にシーリングを注入し、プラグにねじ止めして上枠を固定してください。



上枠アタッチメント取付用

皿タッピンねじ1種
(φ4×40)



タイル納まり

皿タッピンねじ1種
(φ4×25)



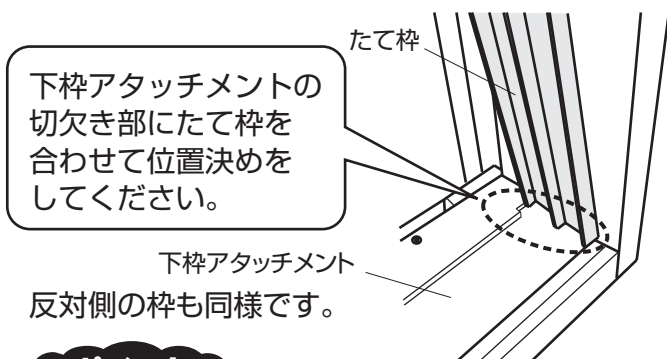
枠の取付 (W = 1000 以下の場合)



右たて枠の取付と上枠・左たて枠の取付方法が異なります。
下記手順を参照し、施工を行ってください。

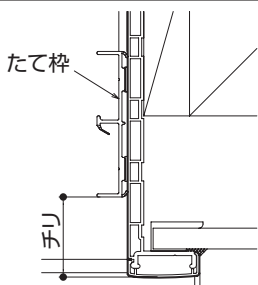
右たて枠の取付

① たて枠を仮置きして、位置をけがいてください。

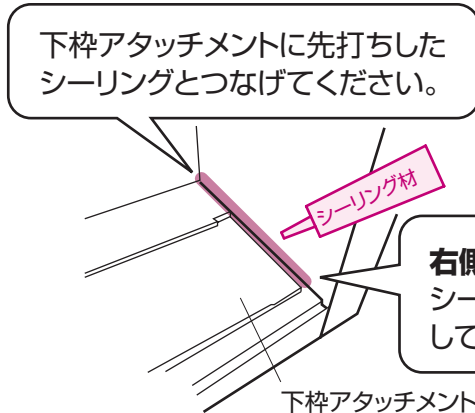


ポイント

上下端部と中央部のチリを合せてください。



② 右側の下枠アタッチメントと額縁の間にシーリングをしてください。



注意

左たて枠は、「上枠・左たて枠の取付」にて取付けますので、右たて枠のみ取付けてください。

③ 右たて枠裏面の両面テープをはがし、圧着してください。



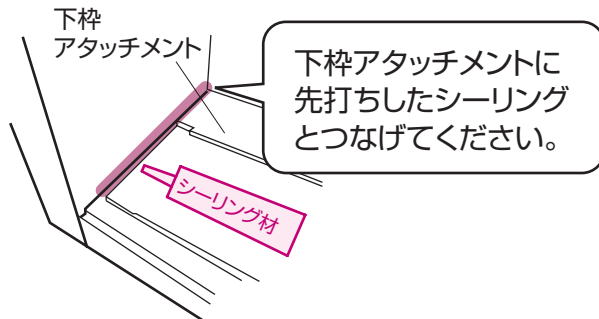
ポイント

両面テープの貼付は
・気温10℃以下の場合ドライヤーで温める
・100mmの幅に対し2.0kgの力で圧着してください。

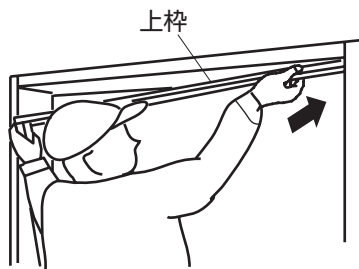
枠の取付 (W = 1000 以下の場合)

上枠・左たて枠の取付

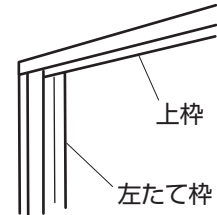
- ①仮固定した上枠を一旦取りはずしてください。
- ②左側の下枠アタッチメントと額縁の間にシーリングをしてください。



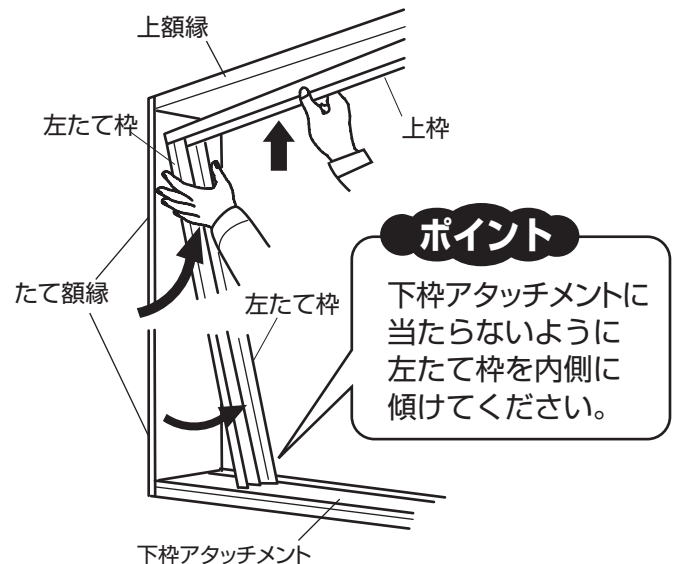
- ④取付済みの右たて枠に上枠を挿入してください。



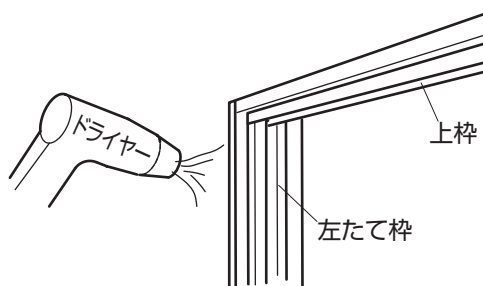
- ③上枠、左たて枠の両面テープをはがし、上枠と左たて枠の端部をあわせてください。



- ⑤上枠、左たて枠の端部をそろえたまま、斜めに挿入し、上額縁まですべり込ませてください。



- ⑥両面テープを圧着してください。



ポイント

両面テープの貼付は

- ・気温10℃以下の場合ドライヤーで温める
- ・100mmの幅に対し2.0kgの力で圧着してください。

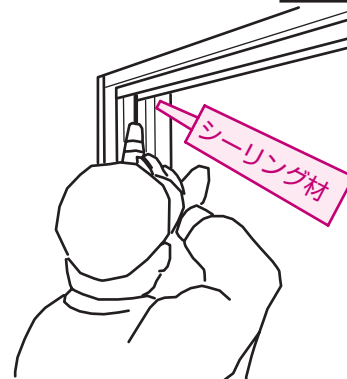
- ⑦ねじ穴にシーリングを注入し、プラグにねじ止めて上枠を固定してください。

上枠アタッチメント取付用

皿タッピンねじ1種
(φ4×40)

タイル納まり

皿タッピンねじ1種
(φ4×25)

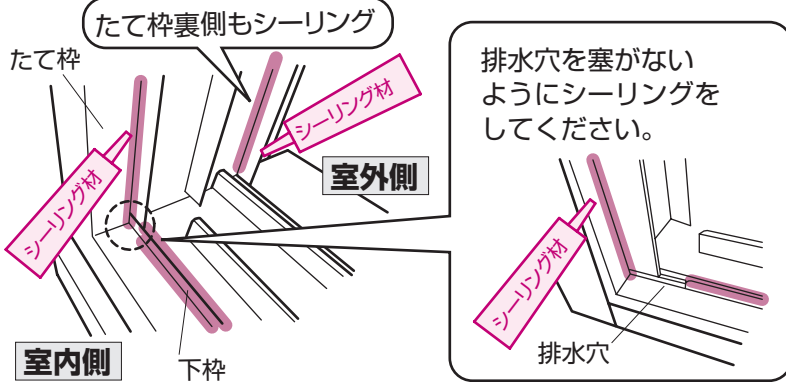


シーリング

変更

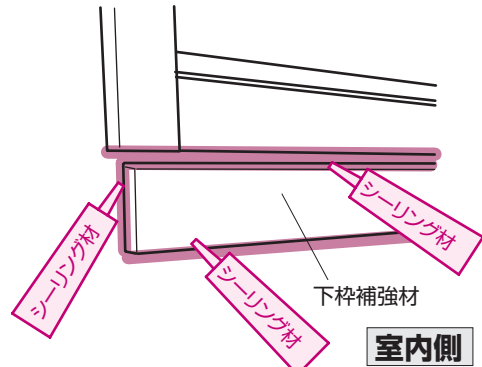
下枠コーナー部

図は下枠左コーナー部を表しています。
右コーナー部も同様にシーリングしてください。



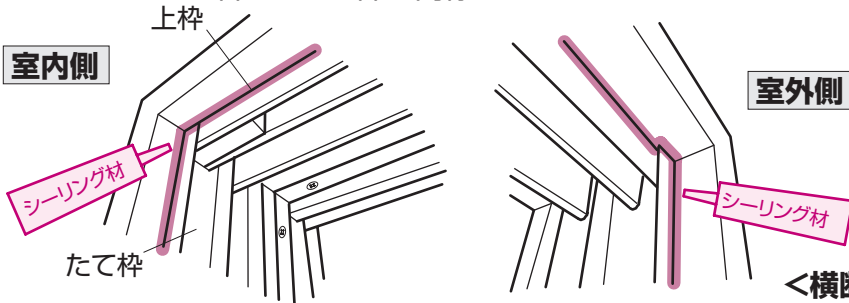
下部補強材まわり

樹脂額縁納まりのみ



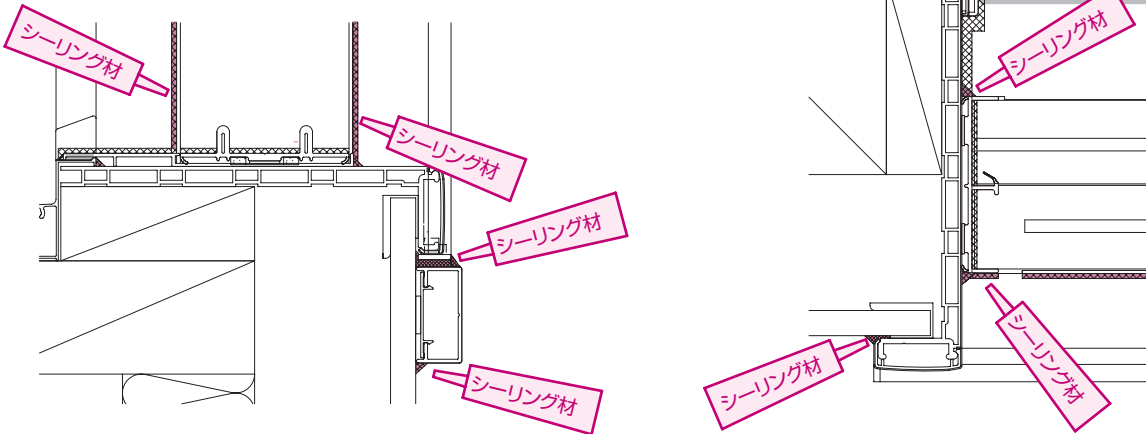
上枠コーナー部

図は上枠左コーナー部を表しています。
右コーナー部も同様にシーリングしてください。



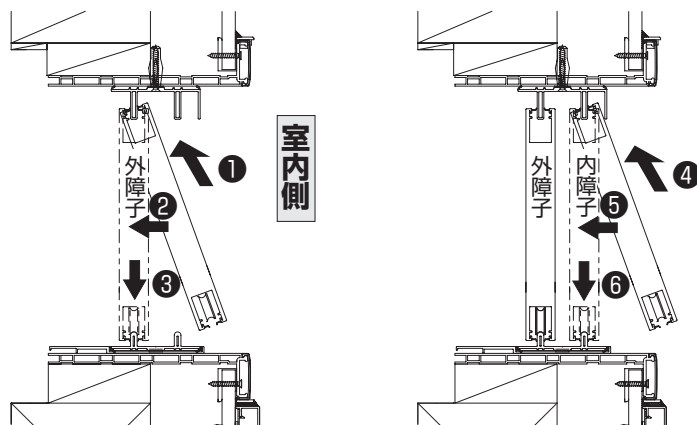
<横断面図>

<たて断面図>



障子の吊込み

室内側より、外障子、内障子の順に
枠に吊込んでください。



調整

電動
ドライバー
使用禁止



■上枠と障子のかかり代の確認

内障子上部に赤ラベルが見えないことを確認してください。

ラベル位置確認方法は、「**枠の取付 6.上枠と障子のかかり代の確認**」を参照してください。

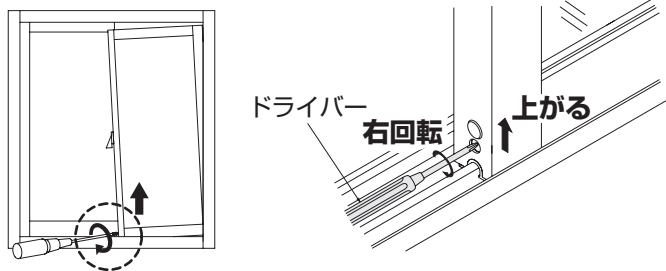
注意

赤ラベルが見える場合は、開口の狂いが許容範囲を超えており、**上枠と障子のかかり代が少ない状態で、障子脱落のおそれがあります。**赤ラベルが見えなくなるまで、戸車調整で障子を調整してください。

■戸車の調整

建付調整は、戸車の高さを調整することで行えます。

右回転(時計方向)…上がる

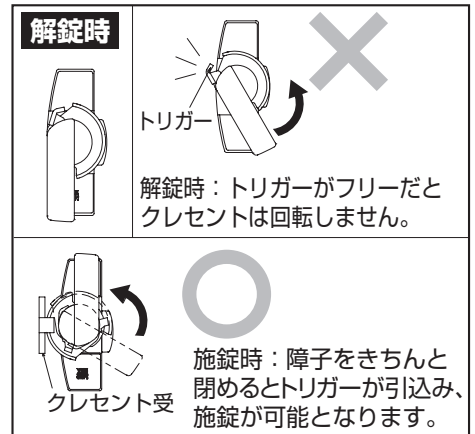
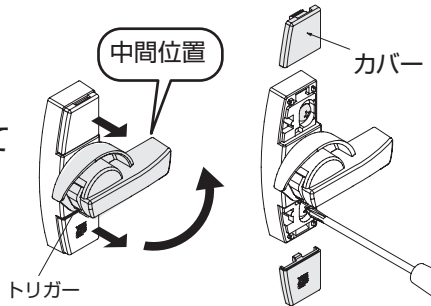


ポイント

出荷時、障子は下がった状態にあります。それ以上は下がりません。開閉操作が重い、赤ラベルが見える場合、戸車を調整してください。

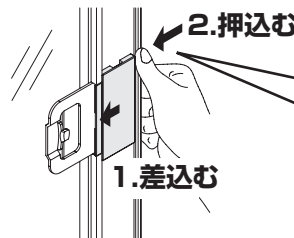
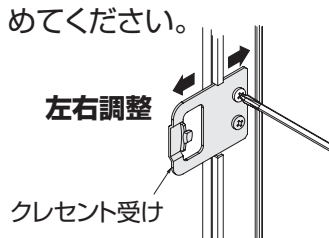
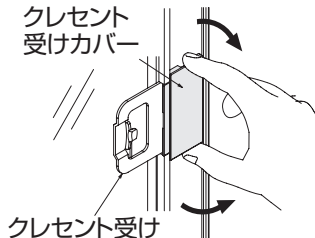
■クレセントの調整

- ①トリガーを指で押さえながらクレセントを中間位置まで回してください。
- ②クレセントの上下カバーをはずしてください。
- ③ねじをゆるめ、上下に動かして調整してください。
- ④調整後、必ずねじを締めてカバーを元の位置に戻してください。



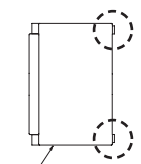
■クレセント受の調整

- ①クレセント受けカバーをはずしてください。
- ②ねじをゆるめ、左右に動かし、調整してください。
- ③調整後、必ずねじを締めてください。
- ④クレセント受けカバーを取付けてください。



ポイント

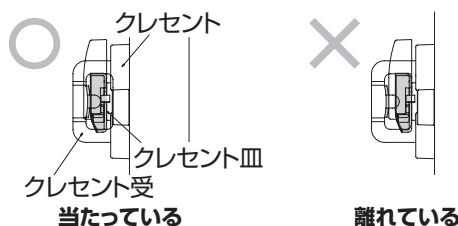
クレセント受けカバー側面上下にある突起部を側面から押込んでください。



クレセント受けカバー

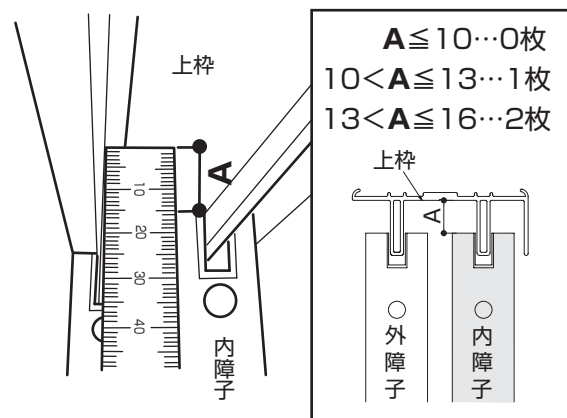
注意

クレセント施錠時に、クレセント皿とクレセント受がしっかりと当たるように調整してください。離れている場合、性能低下のおそれがあります。

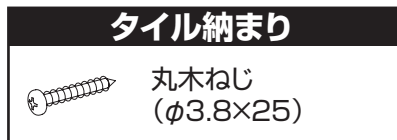
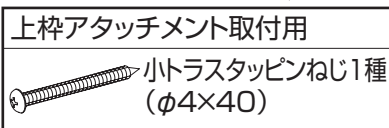
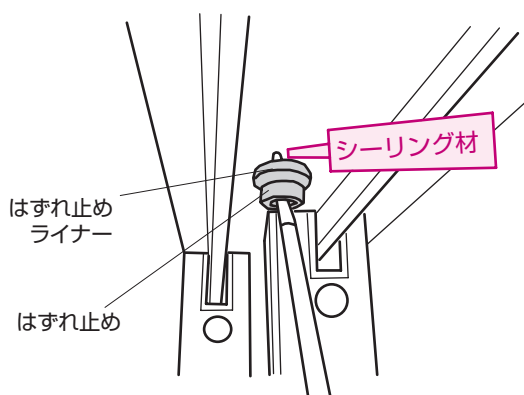


はずれ止めの取付

①上枠と内障子上端とのチリを測定してください。チリに応じて、はずれ止めライナーの枚数を変えてください。



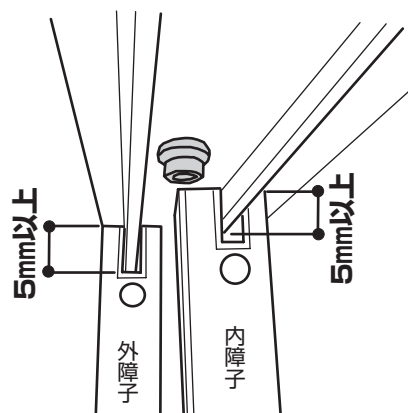
②はずれ止めを取付けてください。取付ける前に、ねじ穴にシーリングを先打ちしてください。



③開閉確認後、内障子が「障子の吊込み」の逆の手順ではずれないことと、内外障子の上端と上枠のかかり代が5mm以上であることを確認してください。

注意

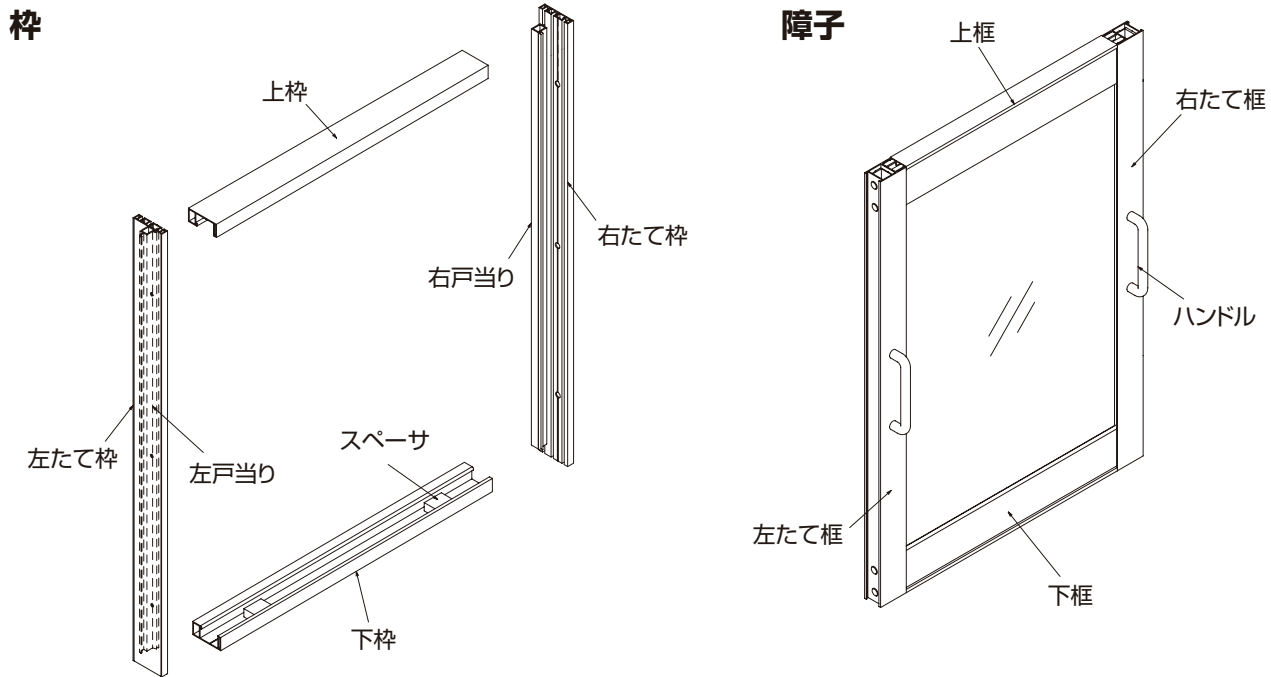
上記内容を確実にを行い、問題がないことを確認してください。
問題がある場合、**障子脱落**のおそれがあります。



【組立・施工】

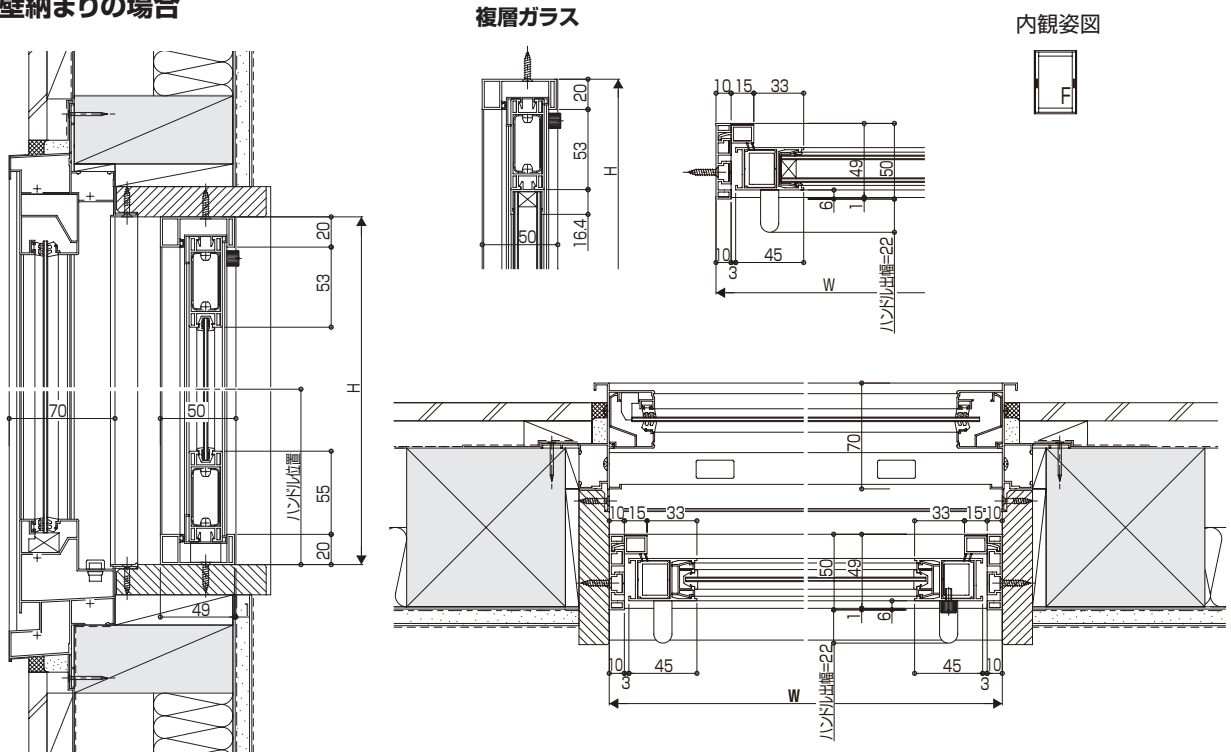
FIX 窓

商品構成図



標準納まり図

■FIX窓 単板ガラス
●大壁納まりの場合



ガスケット一覧

使用ガラス厚	3mm	4mm	5mm	6mm
姿 図				
品 番	3K-21063	3K-21064	K-20358	2K-23671

同梱一覧

姿 図			
品 名	小トラスタッピンねじ2種 (φ4×35)	皿木ねじ (φ3.5×20)	化粧ねじ (φ4×8)
品 番	BM-4035G	WF-3520	6K-10687
使用箇所	障子組立用	枠取付用	はずれ止め用

障子の組立 完成品出荷の場合、本作業は不要です。

■単板ガラスタイプ

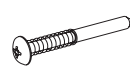
- ① ガasket(同梱)を継ぎ目が上側になるようにして巻いてください。
 - ② 框をガラスに差込んでください。
 - ③ 組立ねじを差込み、ねじを締め付けてください。
 - ④ ガasketが確実に挿入されていることを確認してください。
- ※組立作業は平らな作業台の上で行ってください。

注意

ガasketを巻く際は、以下の2点を守ってください。
守らないとガasketの縮みの原因となる場合があります。

- 少し長め(1辺当り約3%程度)に余裕をとって巻く
- 引っ張りながら巻かない

障子組立用

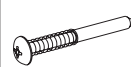


小トラスタッピンねじ2種
(φ4×35)

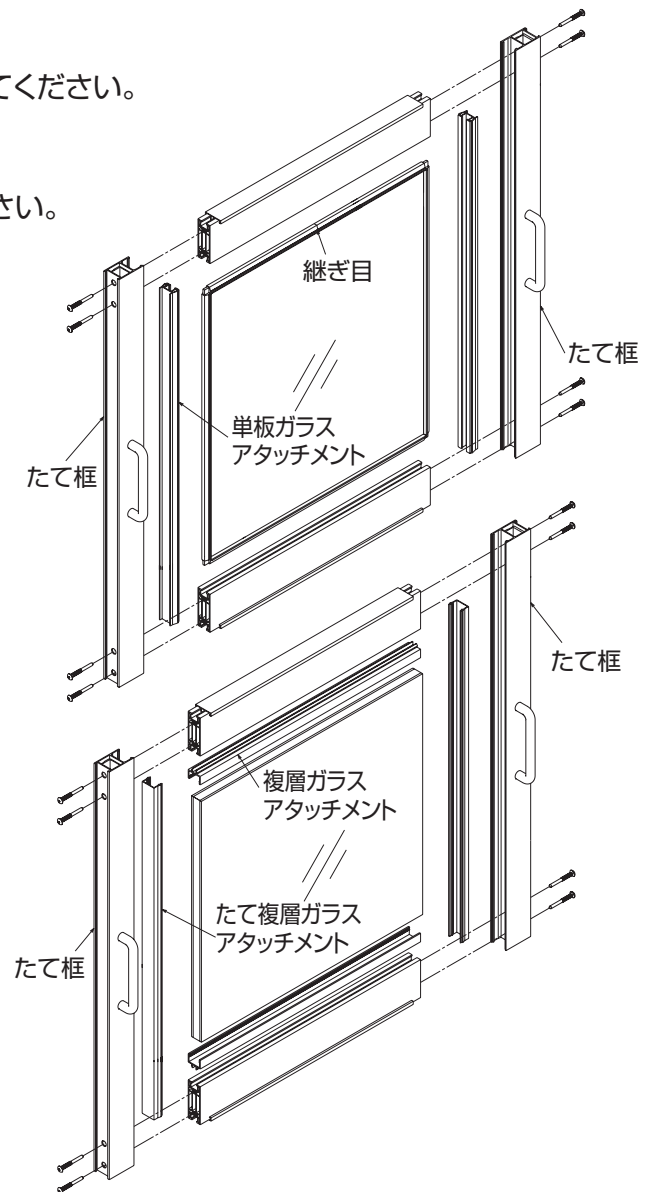
■復層ガラスタイプ

- ① 框をガラスに差込んでください。
 - ② 組立ねじを差込み、ねじを締め付けてください。
- ※組立作業は平らな作業台の上で行ってください。

障子組立用



小トラスタッピンねじ2種
(φ4×35)



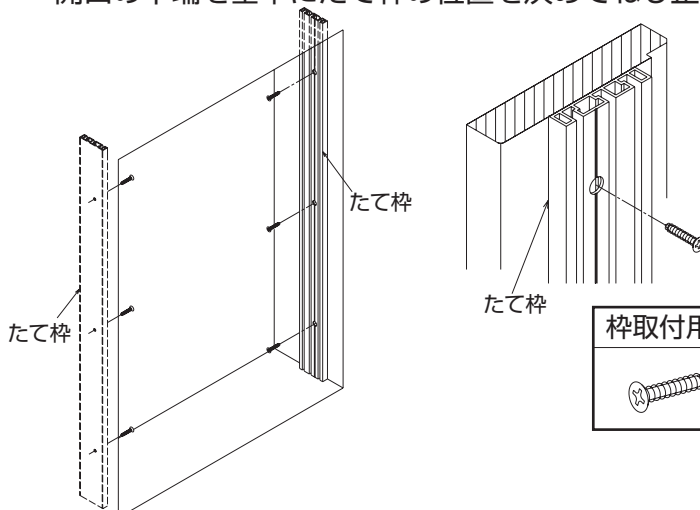
枠の取付

注意

枠取付時、ねじれ・倒れがないことを確認してください。

1. たて枠の取付

開口の下端を基準にたて枠の位置を決めてねじ止めしてください。



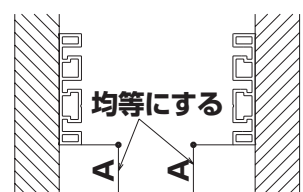
枠取付用



皿木ねじ
(φ3.5×20)

ポイント

たて枠の位置は窓枠室内側からの寸法Aが均等になるようにしてください。

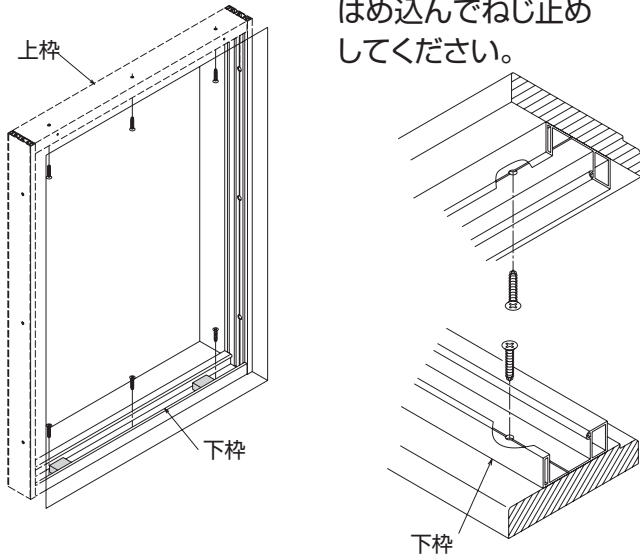


室内側

枠の取付

2.上・下枠の取付

上・下枠を図のようにはめ込んでねじ止めしてください。



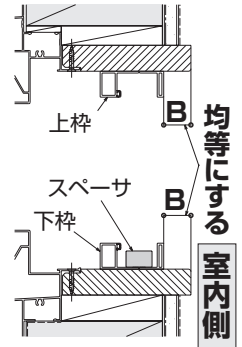
枠取付用



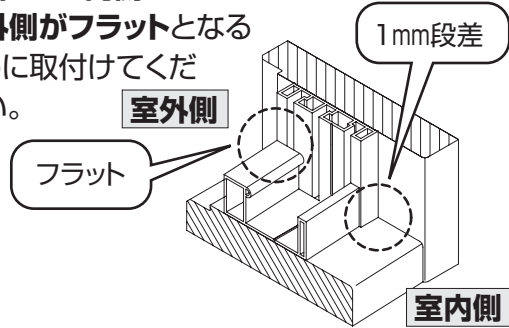
皿木ねじ
(φ3.5×20)

ポイント

- 上・下枠の位置は窓枠室内側からの寸法Bが均等になるようにしてください。
スペーサがついている方が下枠です。

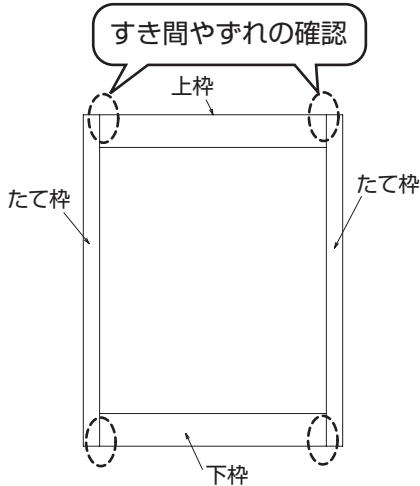


- たて枠と上・下枠のつなぎ目は、室内側が1mm室外側がフラットとなるように取付けてください。



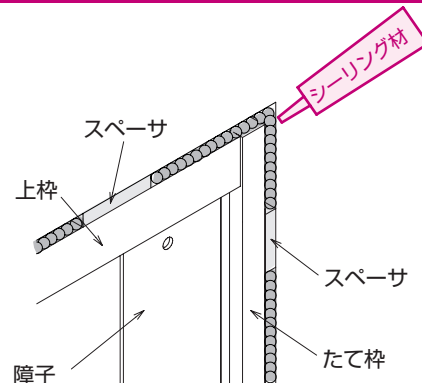
3.確認

上・下枠とたて枠との繋ぎ目にすき間やずれがないか確認してください。

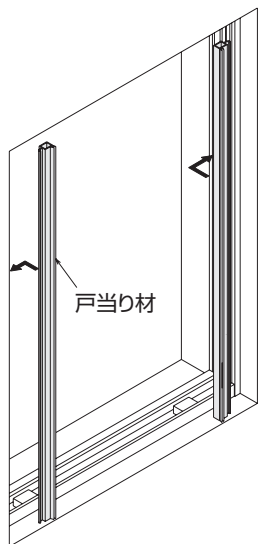


注意

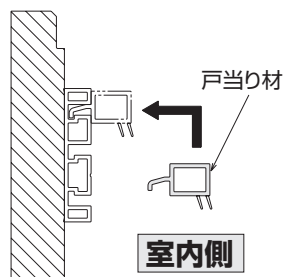
すき間やずれがある場合は、開口部と枠の間にスペーサを入れて調整してください。その際できたすき間には、障子吊込み後シーリング材でふさいでください。



4.戸当たり材の取付

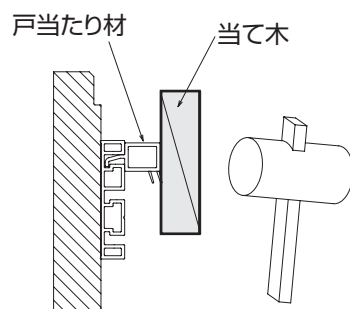


枠に戸当たり材を取付けてください。



お願い

樹脂面をハンマー等で直接たたかないでください。
樹脂が割れるおそれがあります。



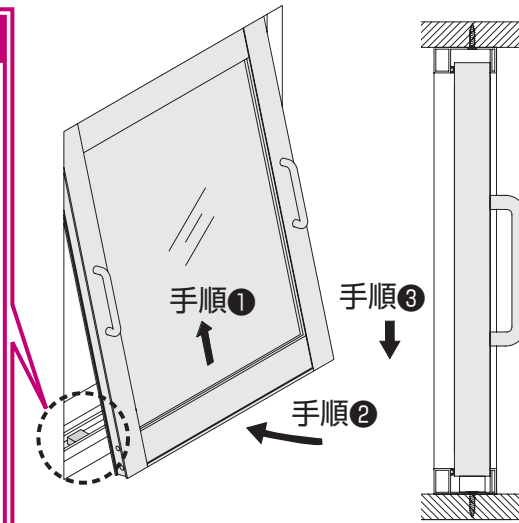
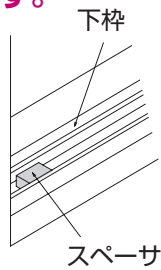
障子の吊込み

① 下枠にスペーサが取付いていることを確認してから枠に障子を吊込んでください。

注意

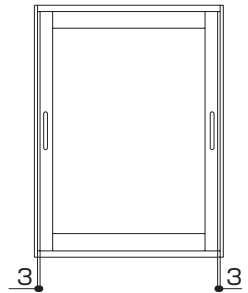
下枠にスペーサが取付いていない状態で障子を吊込んだ場合、障子が正しい位置に納まらず、**障子脱落のおそれがあります。**

必ず下枠にスペーサが取付いていることを確認してから障子を吊込んでください。



ポイント

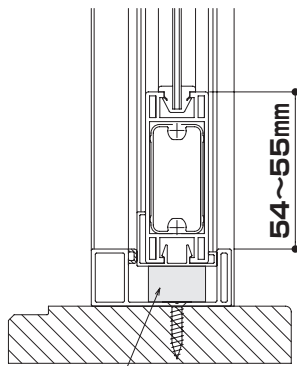
- 下枠を室外側に押付けるようにしながら、下枠の中に障子をしっかりと落とし込んでください。
- 左右のチリを合わせてください。



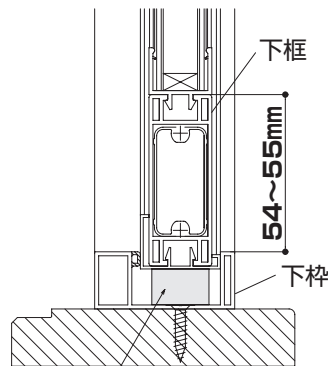
② 障子が下枠に正しく納まっているか、下枠上端から下枠上端までの寸法を測定し、54~55mmであることを確認してください。

<単板ガラス>

<複層ガラス>



スペーサ



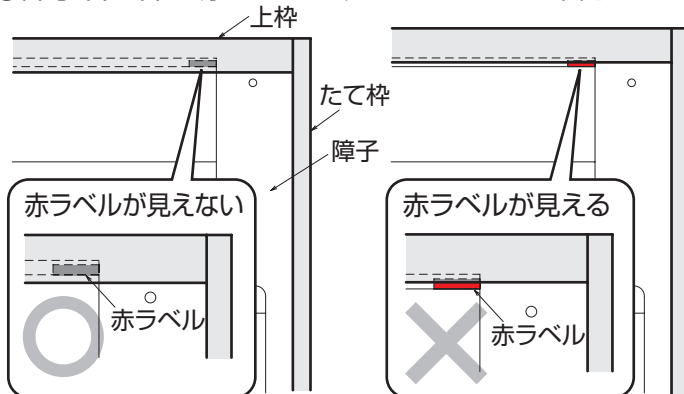
スペーサ

注意

下枠上端から下枠上端までの寸法が55mmを超える場合は、障子がスペーサから浮いており、下枠に正しく納まっていません。その場合は、**下枠上端から下枠上端までの寸法が54~55mmになるように障子を下にしっかりと押し込み、スペーサの上に乗るように正しく納めてください。**

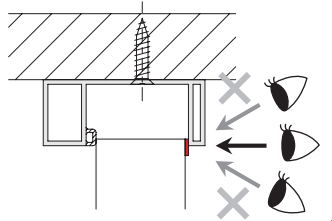
③ 障子右上部に赤ラベルが見えないことを確認してください。

変更



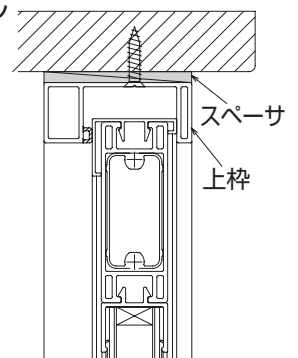
ポイント

赤ラベルは上枠下端部の正面から確認してください。



注意

赤ラベルが見える場合は、開口の狂いが許容範囲を超えており、**上枠と障子のかかり代が少ない状態で、障子脱落のおそれがあります。**開口の狂いが許容範囲内になるよう開口部と上枠の間にスペーサを入れて調整してください。調整後、再度、赤ラベルが見えないことを確認してください。調整は「枠の取付 3.確認」を参照してください。



はずれ止めの取付

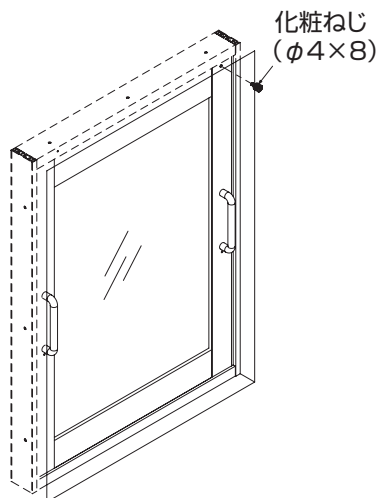
電動
ドライバー
使用禁止



ドライバー
使用禁止



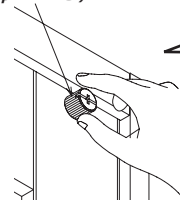
①障子にはずれ止め用ねじを取付けてください。



注意

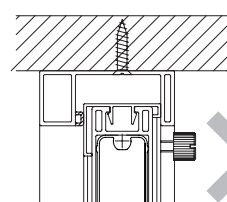
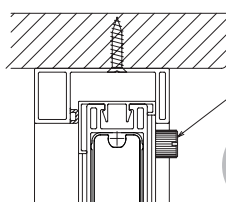
- はずれ止め用ねじの締付け時に電動ドライバー、および手回しドライバーを使用しないでください。ドライバー等で締付けると、はずれ止め用ねじが破損します。

化粧ねじ
(φ4×8)

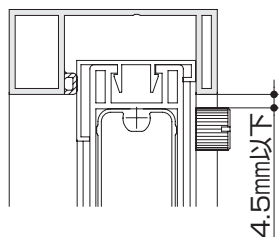


手で締めて
ください。

- はずれ止め用ねじの締付けがゆるいと、はずれ止め用ねじがはずれるおそれがあります。根元まで手でしっかりと固定してください。



②上枠下端からはずれ止め用ねじ上端までの寸法が4.5mm以下であることを確認してください。



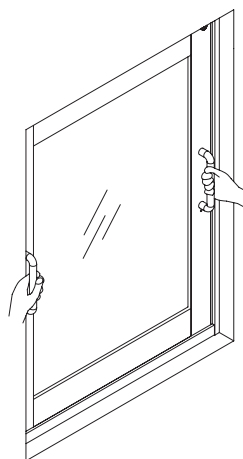
注意

上枠下端からはずれ止め用ねじ上端までの寸法が4.5mmを超える場合は、障子が下枠よりも上に持ち上がり、**障子脱落のおそれがあります**。その場合は、上枠下端からはずれ止め用ねじ上端までの寸法が4.5mm以下になるように開口部と上枠の間にスペーサを入れて調整してください。調整は「**枠の取付 3.確認**」を参照してください。

③障子が「障子の吊込み」の逆の手順ではずれないことを確認してください。

注意

上記内容を実際に行い、問題がないことを確認してください。障子を持ち上げてはずれないこと、障子を押し込みスペーサの上に乗っていることを確認してください。問題がある場合、**障子脱落のおそれがあります**。



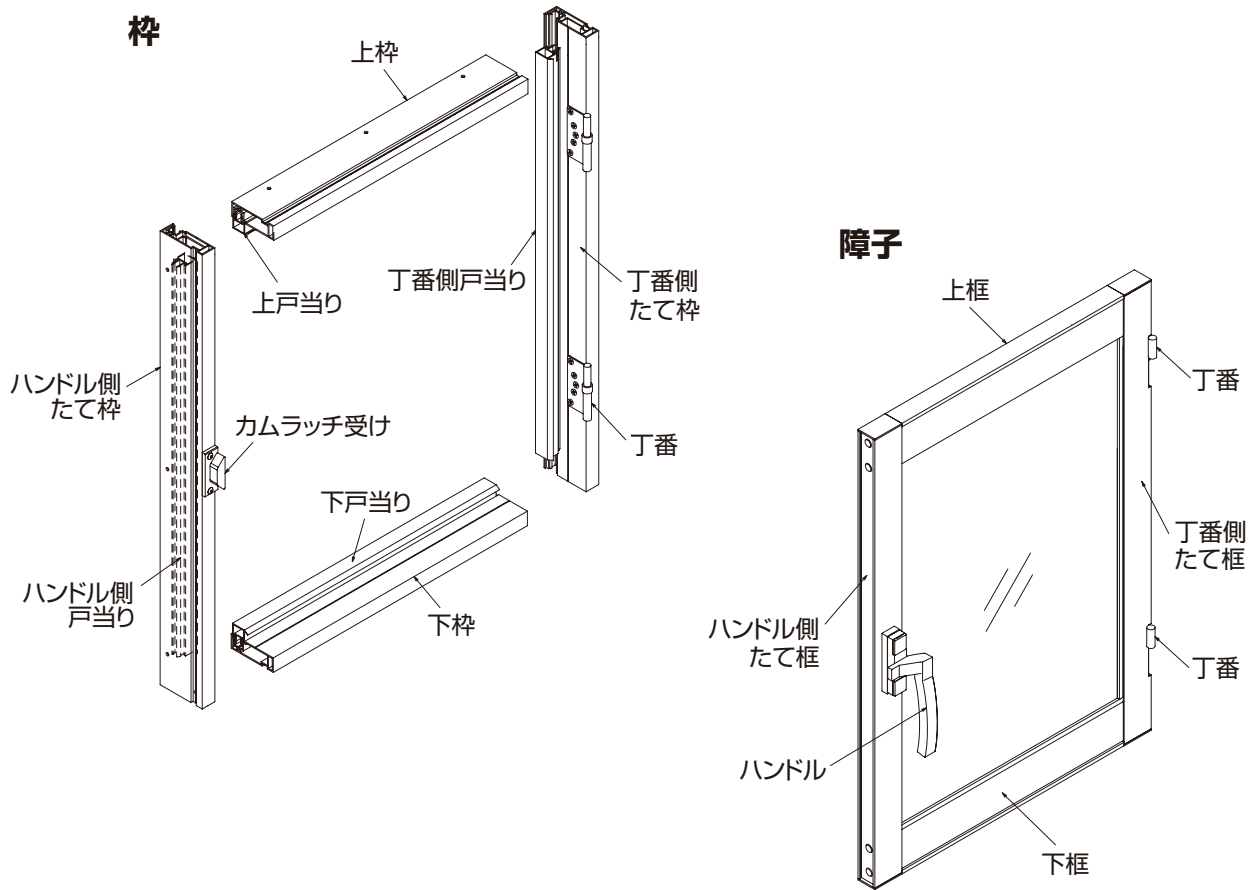
↑ はずれない

↓ スペーサの上に乗っている

【組立・施工】

内開き窓

商品構成図



ガスケット一覧

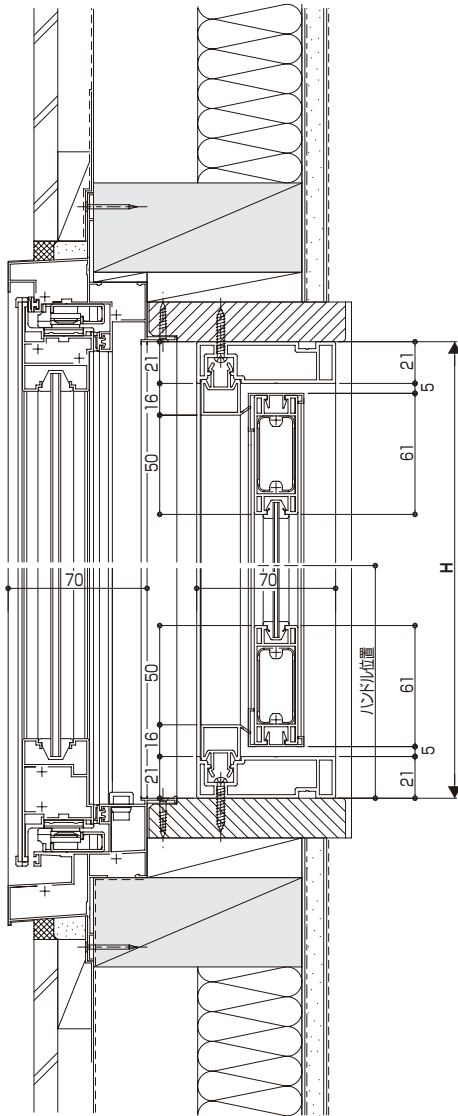
使用ガラス厚	3mm	4mm	5mm	6mm
姿 図				
品 番	3K-21063	3K-21064	K-20358	2K-23671

同梱一覧

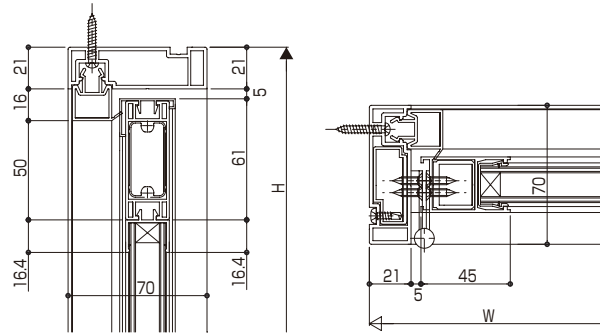
姿 図								
品 名	小トラスタッピンねじ2種 (φ4×35)	穴塞ぎキャップ	たて枠キャップ	丸木ねじ (φ3.5×25)	丸木ねじ (φ3.8×50)	はずれ止め金具	薄バインド小ねじ (φ4×10)	
品 番	BM-4035G	K-38558	K-32498	WR-3525	WR-3850	5K-14381(L) 5K-14382(R)	MS-4010	
個 数	8	8	4	8~16	1	1	2	
備 考	障子組立用			障子組立用	障子組立用	枠取付用	戸先戸当り材取付用	はずれ止め金具 取付用
	障子完成品の場合は同梱されていません				ねじ袋			

標準納まり図

- 内開き窓 単板ガラス
- 大壁納まりの場合



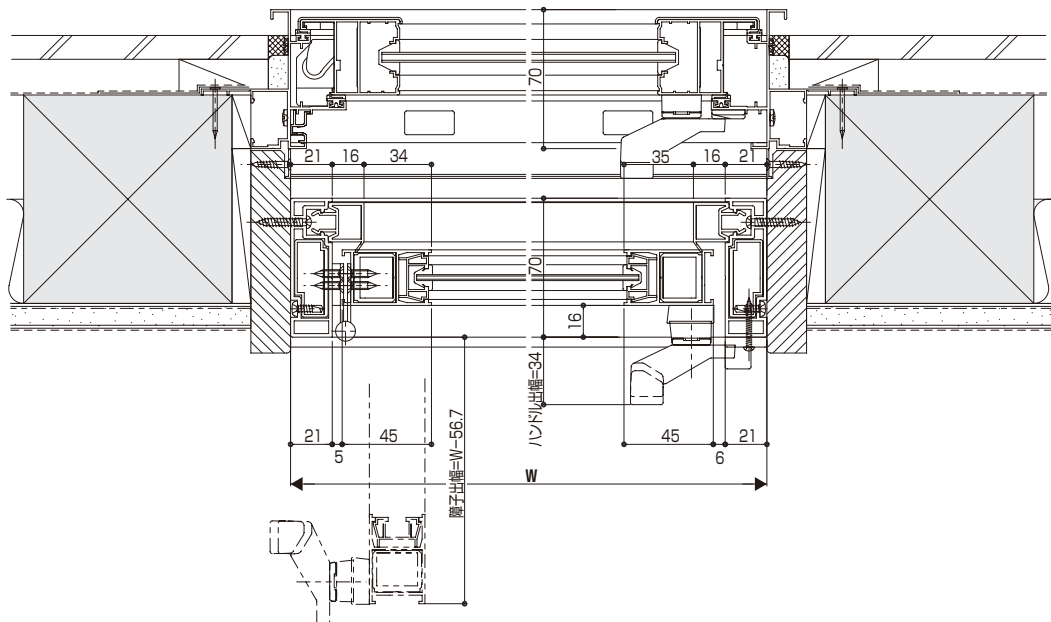
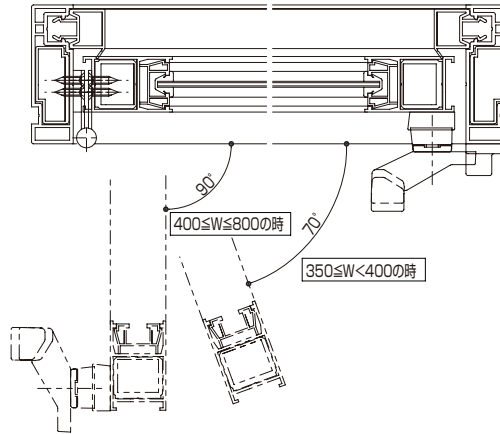
複層ガラス



内観姿図



アームストッパー取付け時の開き角度



障子の組立

完成品出荷の場合、本作業は不要です。

■単板ガラスタイプ

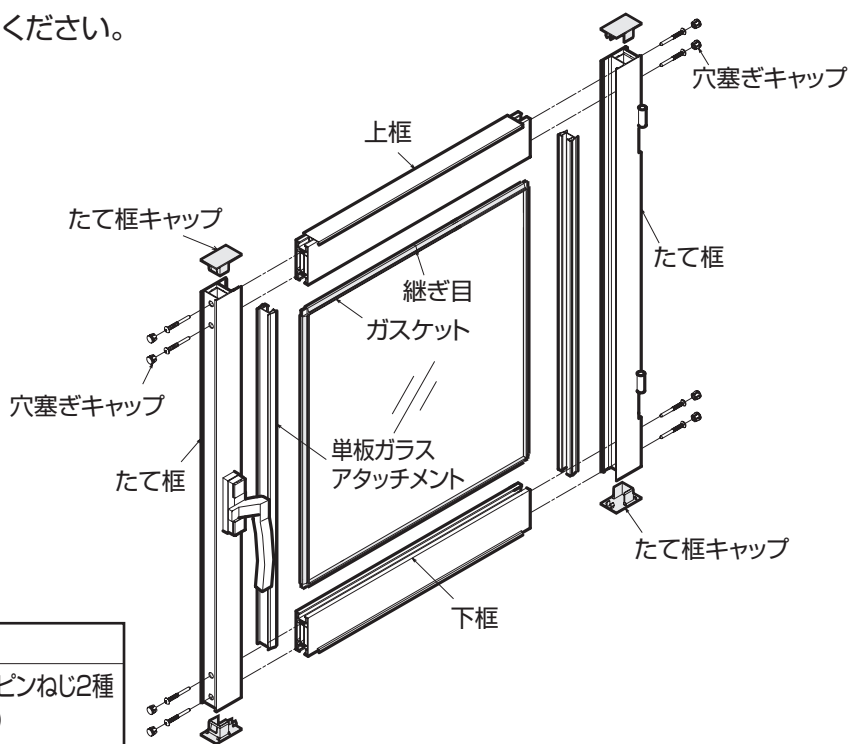
- ① ガasket(同梱)を継ぎ目が上側になるようにして巻いてください。
- ② 框をガラスに差込んでください。
- ③ 組立ねじを差込み、ねじを締め付けてください。
- ④ ガasketが確実に挿入されていることを確認してください。
- ⑤ たて框にキャップを取付けてください。

※組立作業は平らな作業台の上で行ってください。

注意

ガasketを巻く際は、以下の2点を守ってください。守らないとガasketの縮みの原因となる場合があります。

- 少し長め(1辺当り約3%程度)に余裕をとって巻く
- 引っ張りながら巻かない



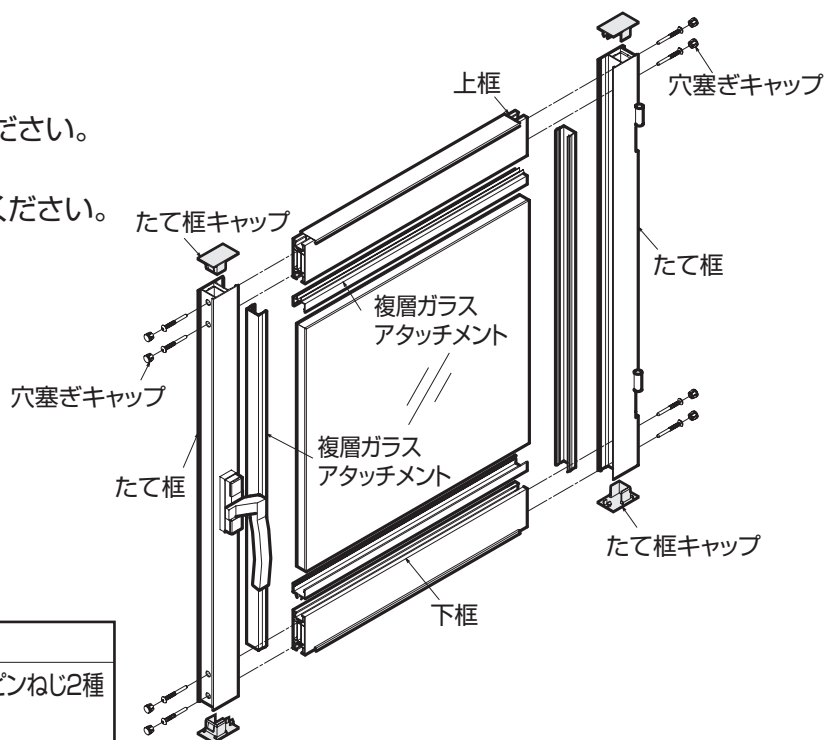
障子組立用

小トラスタッピンねじ2種
(φ4×35)

■複層ガラスタイプ

- ① 框をガラスに差込んでください。
- ② 組立ねじを差込み、ねじを締め付けてください。
- ③ たて框にキャップを取付けてください。

※組立作業は平らな作業台の上で行ってください。

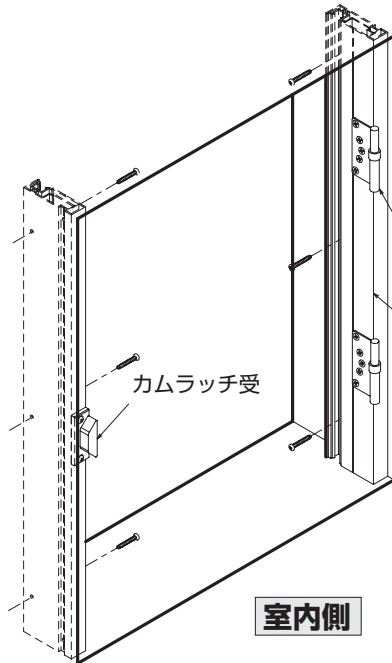


障子組立用

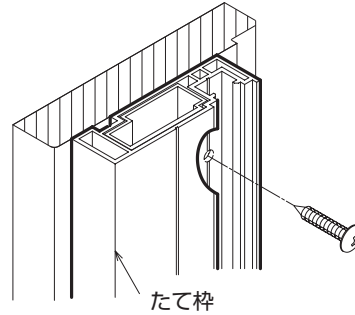
小トラスタッピンねじ2種
(φ4×35)

枠の取付

1. たて枠の取付



たて枠を開口部にはめ込んで
ねじ止めしてください。



枠取付用

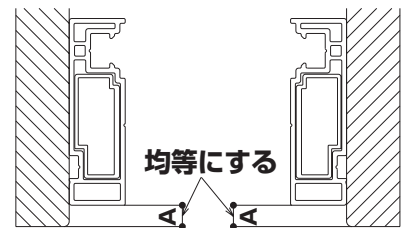
丸木ねじ
($\phi 3.5 \times 25$)

注意

枠取付時、ねじれ・倒れがないことを確認してください。

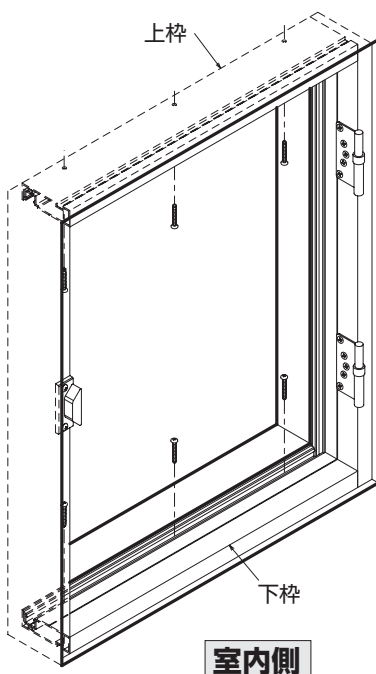
ポイント

たて枠の位置は窓枠室内側
からの寸法Aが均等になる
ようにしてください。

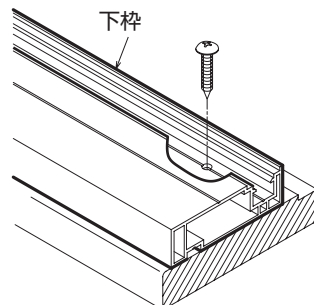
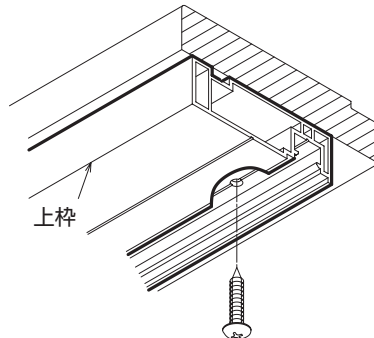


図は右吊り元の場合を示しています。

2. 上・下枠の取付



上・下枠を図のようにはめ込んで
ねじ止めしてください。

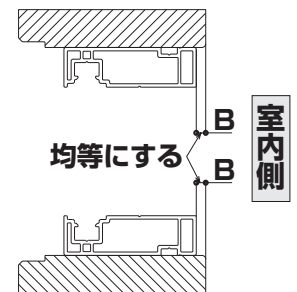


枠取付用

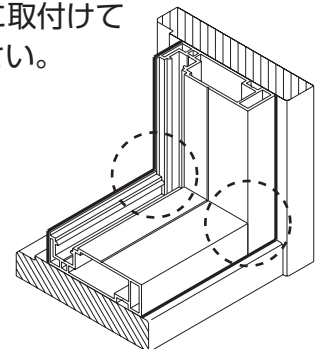
丸木ねじ
($\phi 3.5 \times 25$)

ポイント

- 上・下枠の位置は窓枠室内側
からの寸法Bが均等になる
ようにしてください。



- たて枠と上・下枠のつなぎ目は、
室内側・室外側がフラットになる
ように取付けて
ください。



枠の取付

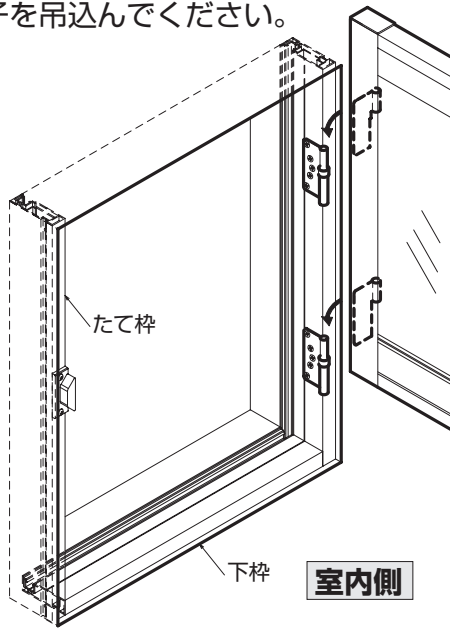
入隅の場合

障子は120°以上開いた状態でないと吊込みできません。
障子が120°以上開くことができない場合は、上枠取付前に
障子を吊込んでください。

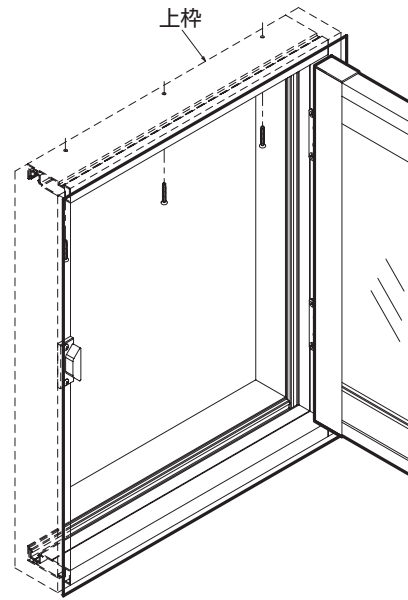
ポイント

障子を吊込む前に上枠を取付けると、障子上部と
上枠が干渉して吊込めません。

①たて枠、下枠を取付け、
障子を吊込んでください。



②上枠を取付けてください。

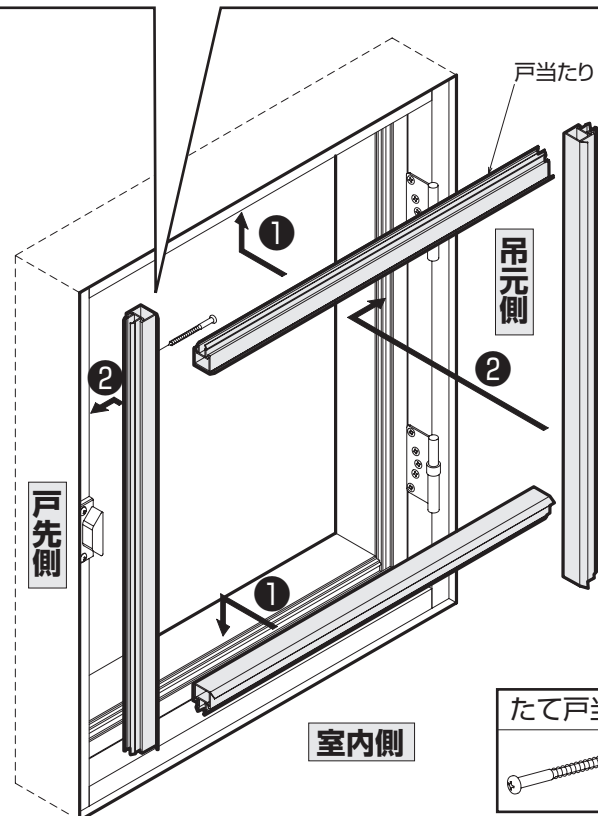
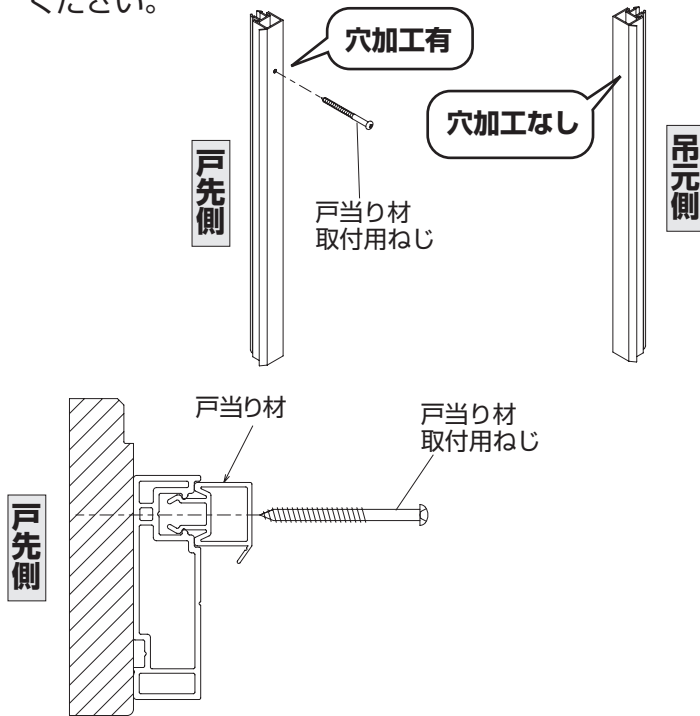


戸当り材の取付

戸当り材は横通しになっていますので上・下→たての順に取付けてください。

ポイント

たての戸当り材は、穴加工があるものが、戸先側の戸当り材になります。穴加工が戸先側の上部になるように取付けてください。

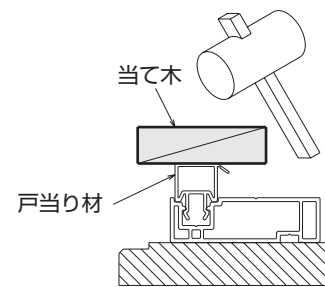


たて戸当り材取付用

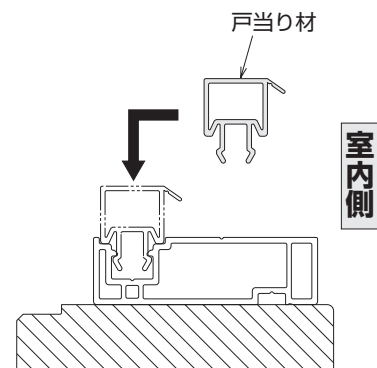
丸木ねじ
(φ3.8×50)

お願い

- 樹脂面をハンマー等で直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。

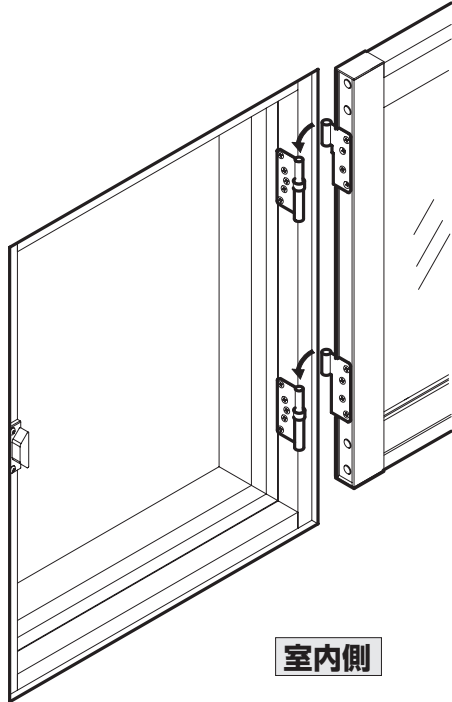


- 戸当り材は、たて用、上下用各々2本ずつあります。たて用と上下用で長さが異なりますので、確認して取付けてください。



障子の吊込み

障子を120°以上開いた状態で吊込んでください。



※入隅で、障子が120°以上開かない場合は、P.70「入隅の場合」をご確認ください。

はずれ止め金具の取付

電動
ドライバー
使用禁止



① 障子を開いた状態で、はずれ止め金具を取付けてください。

お願い

はずれ止め金具は障子脱落防止のため
必ず取付けてください。

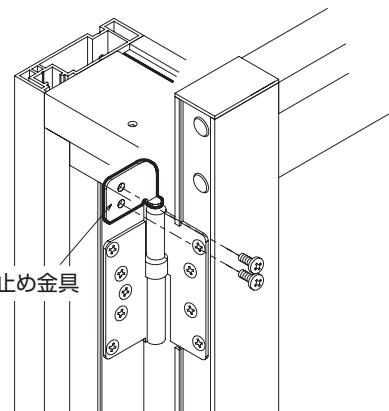
はずれ止め取付用



薄バインド小ねじ
(φ4×10)

はずれ止め金具

室外側



② 障子が「障子の吊込み」の逆の手順ではずれないことを確認してください。

注意

上記内容を実際に行い、問題がないことを確認してください。
問題がある場合、**障子脱落**のおそれがあります。

調整

電動
ドライバー
使用禁止

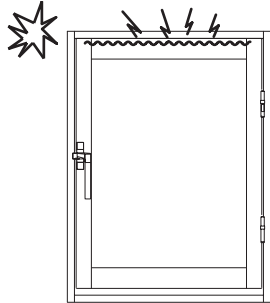


枠を取付けた後、調整が必要な場合、丁番部およびカムラッチ受部で建付調整することができます。
(丁番での調整は、あくまで補足的なものであり、調整量には限界があります。)

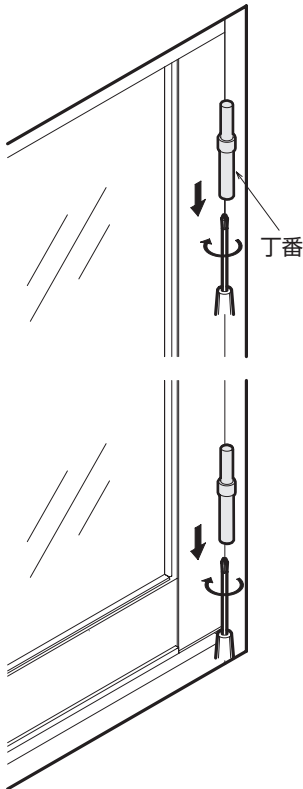
注意

調整は、アームストッパー(オプション)取付け前に行ってください。

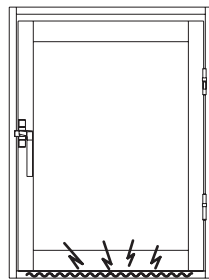
障子の上部が枠に当たる



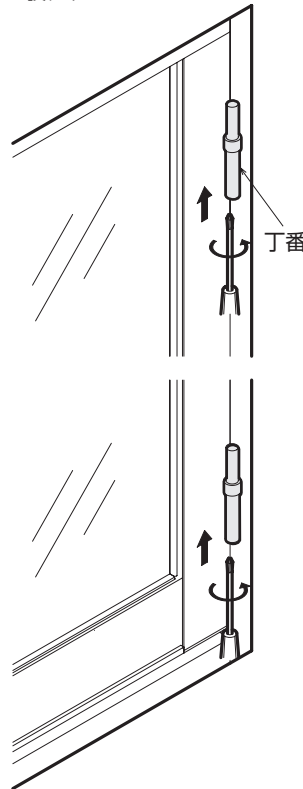
上下丁番の上下調整用ねじを
左に回すと、障子は下がります。
下へ最大2.5mm



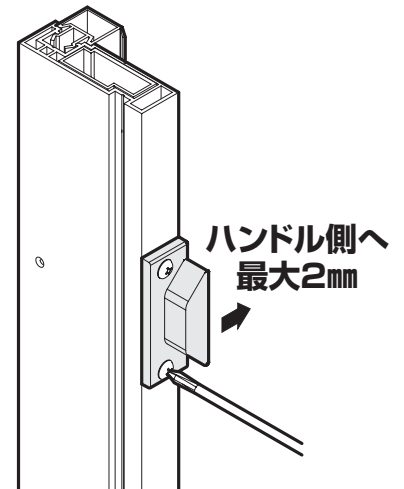
障子の下部が枠に当たる



上下丁番の上下調整用ねじを
右に回すと、障子は上がります。
上へ最大2.5mm

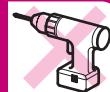


カムラッチが空振りする

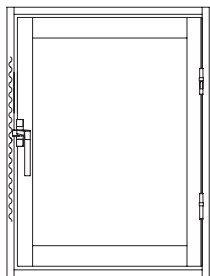


調整

電動
ドライバー
使用禁止



障子の戸先側のすき間が大きすぎる



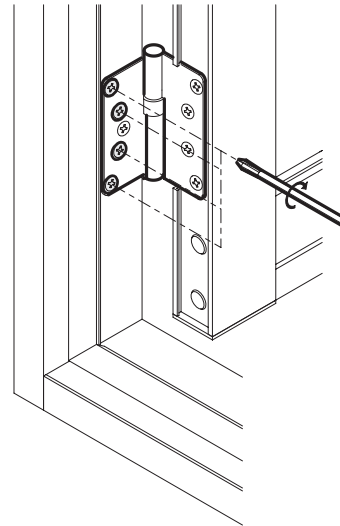
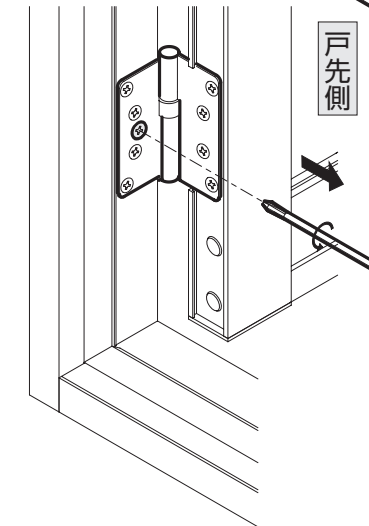
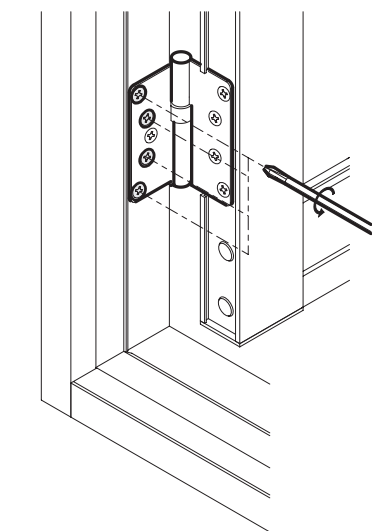
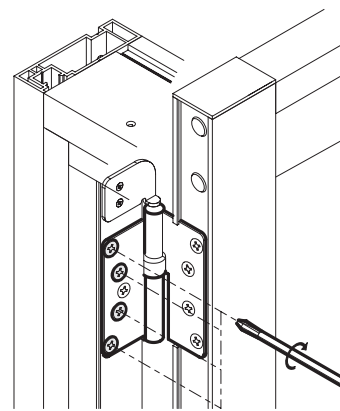
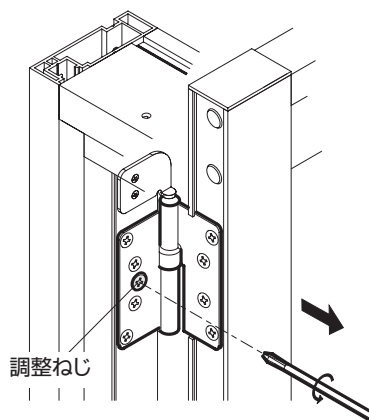
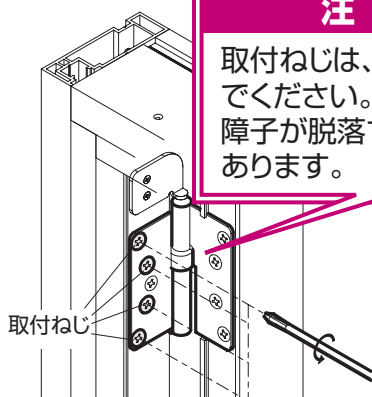
①上下丁番の枠側ハネ内側
4ヶの取付ねじをゆるめて
ください。

②左右調整ねじを左に回すと
障子が戸先側に移動します。
戸先側へ最大2.5mm

③障子の位置を決め、ゆるめて
おいた取付ねじを締め直して
ください。

注意

取付ねじは、はずさない
でください。
障子が脱落する場合が
あります。



障子の傾きが大きい

戸先を上げる



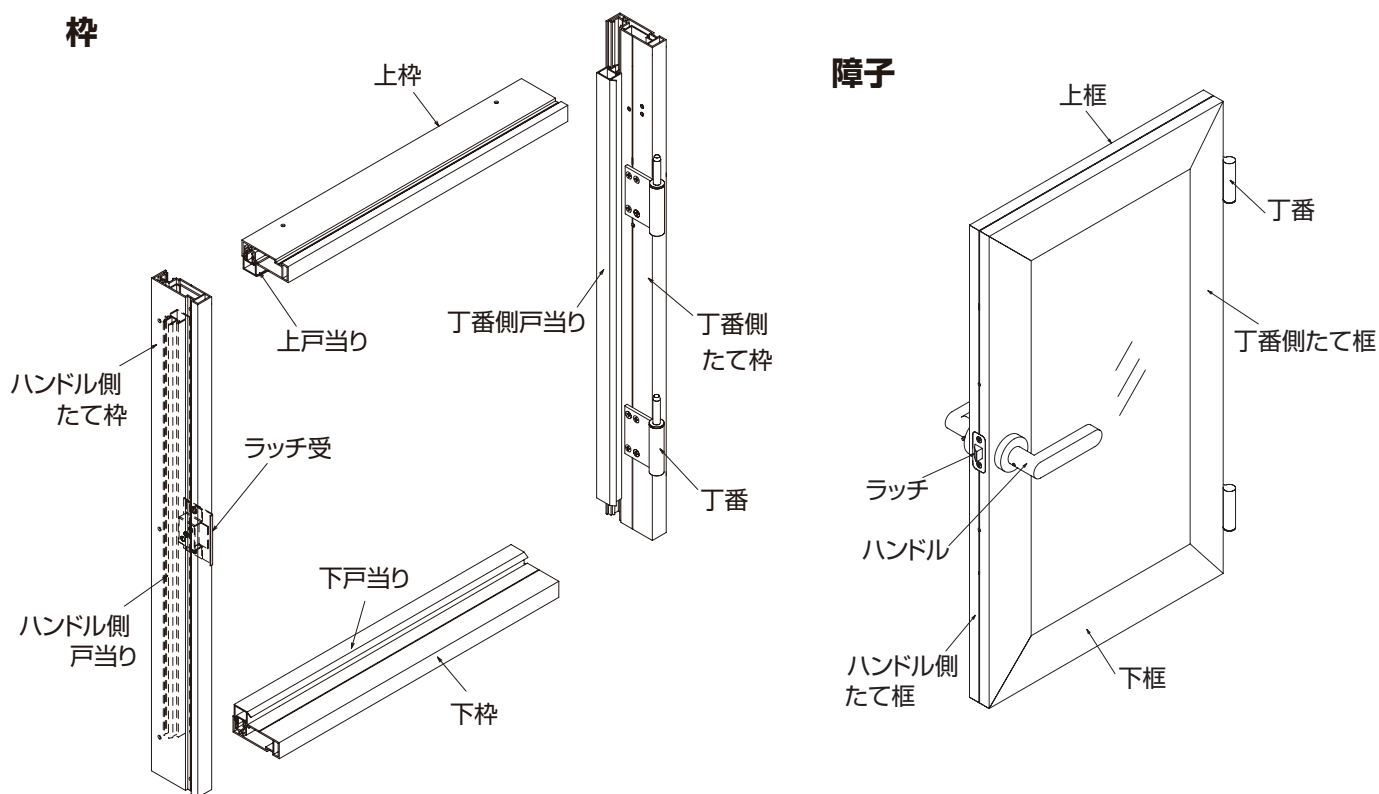
戸先を下げる



【組立・施工】

開き窓テラス

商品構成図



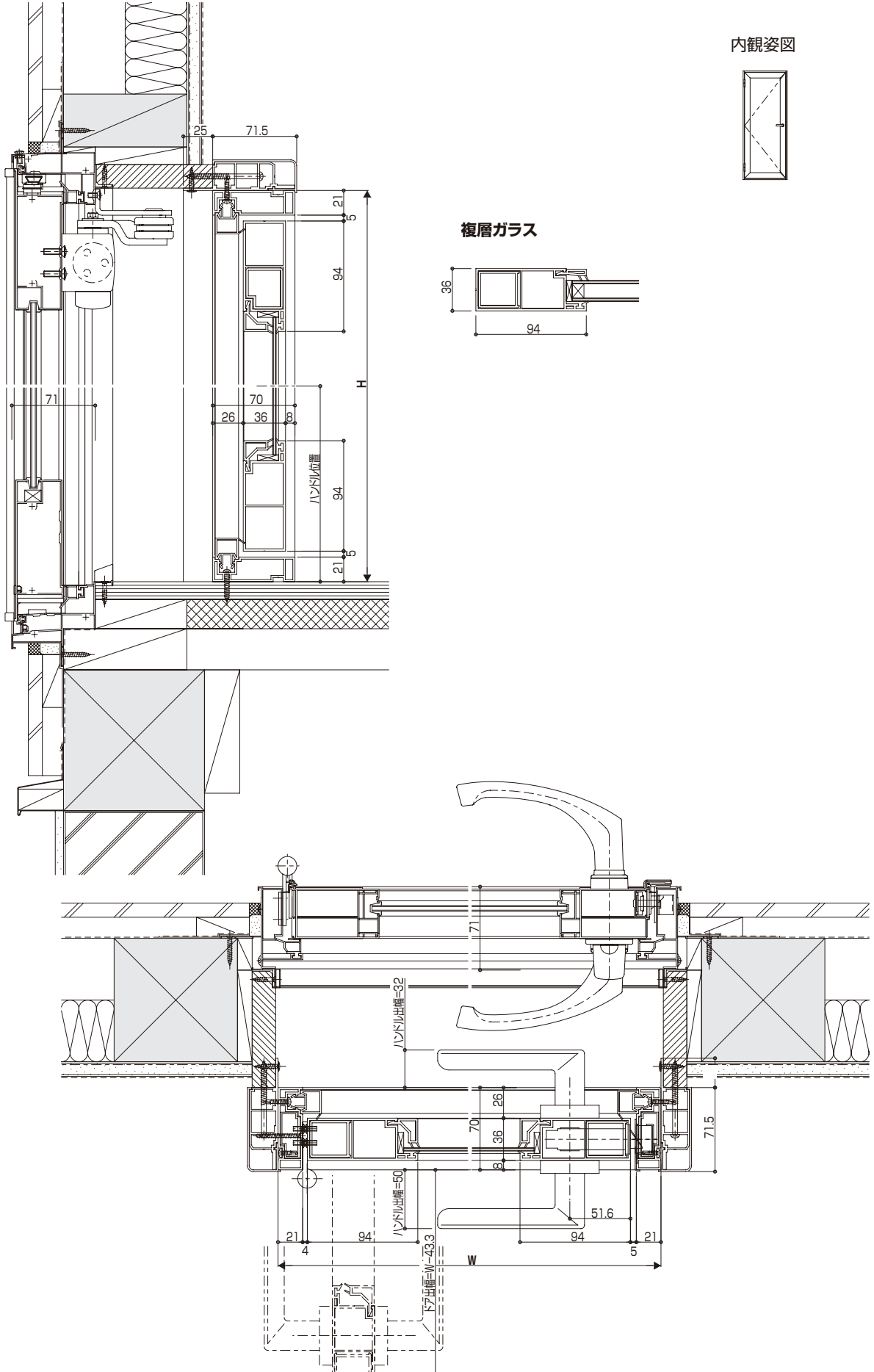
同梱一覧

姿図								
品名	丸木ねじ (φ3.5×25)	なべドリルねじ (φ4×19)	皿木ねじ (φ3.5×40)	皿ドリルねじ (φ4×40)	丸木ねじ (φ3.8×50)	なべドリルねじ (φ3×50)	丁番(上)	丁番(下)
品番	WR-3525	K-13526	WF-3540	2K-12722	WR-3850	3K-16450	5K-14389(R) 5K-14391(L)	5K-14390(R) 5K-14392(L)
ふかし枠無	14~20	-	2	-	1	-	1	1
ふかし枠25	14~20	-	2	-	1	-		
ふかし枠40	14~20	-	-	2	1	-		
ふかし枠70(三方)	2~3	12~17	-	2	-	1		
ふかし枠70(四方)	-	14~20	-	2	-	1		
備考	枠取付用		丁番取付用		戸先戸当り取付用			

姿図							
品名	皿小ねじ (φ4×15)	ハンドル	セットプレート	丁番スペーサ	高さ調整ライナー	はずれ止め金具	薄バインド小ねじ (φ4×10)
品番	MF-4015	K-39224	2K-30913(t=1) 2K-30914(t=2) 2K-30915(t=3)	2K-36136	2K-36145	5K-14381(L) 5K-14382(R)	MS-4010
ふかし枠無							
ふかし枠25							
ふかし枠40	16	1	各2	2	4	1	2
ふかし枠70(三方)							
ふかし枠70(四方)							
備考	丁番取付用	障子取付		丁番調整用	丁番調整用		はずれ止め金具取付用

標準納まり図

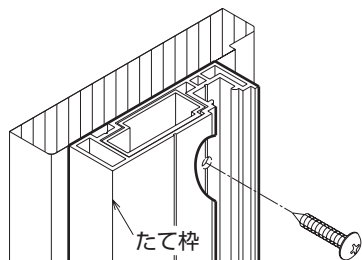
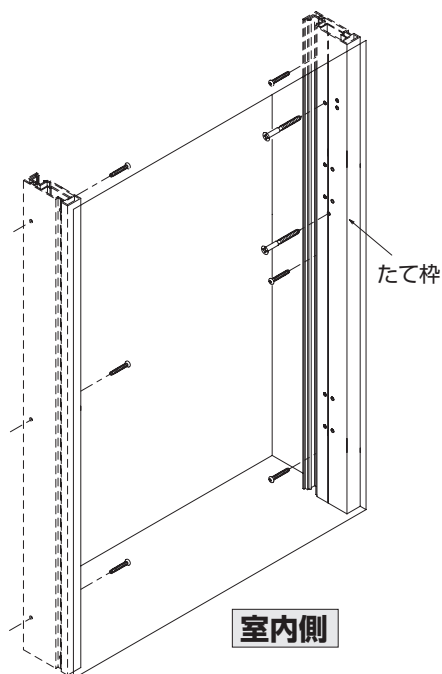
- 開き窓テラス 単板ガラス
- 大壁納まり ふかし枠70の場合



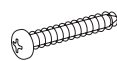
枠の取付

1. たて枠の取付

① たて枠を開口部にはめ込んでねじ止めしてください。



枠取付用(ふかし枠無し、ふかし枠25、40)



丸木ねじ
($\phi 3.5 \times 25$)

枠取付用(ふかし枠70)



なべドリルねじ
($\phi 4 \times 19$)

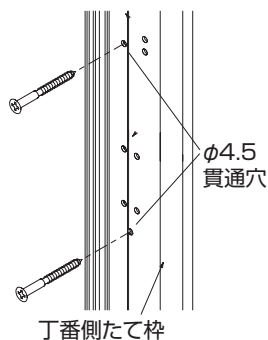
ポイント

たて枠の位置は窓枠室内側からの寸法Aが均等になるようにしてください。

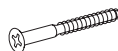


均等にする
室内側

② 丁番側たて枠にねじを止めてください。



丁番取付部補強用(ふかし枠無し、ふかし枠25)



皿木ねじ
($\phi 3.5 \times 40$)

丁番取付部補強用(ふかし枠40、70)

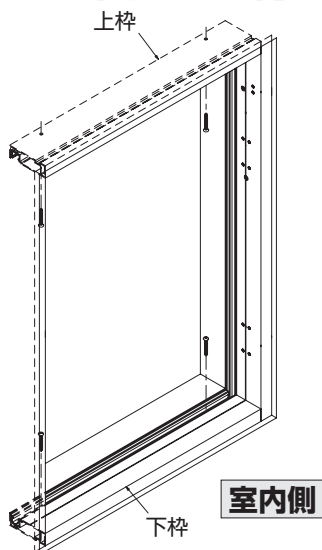


皿ドリルねじ
($\phi 4 \times 40$)

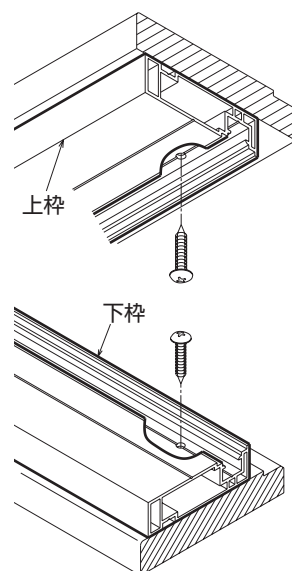
注意

枠取付時、ねじれ・倒れがないことを確認してください。

2. 上・下枠の取付

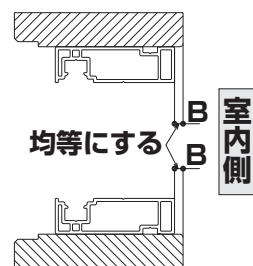


上・下枠を図のようにはめ込んでねじ止めしてください。

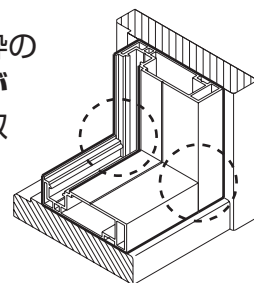


ポイント

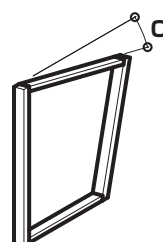
● 上・下枠の位置は窓枠室内側からの寸法Bが均等になるようにしてください。



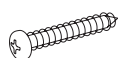
● たて枠と上・下枠のつなぎ目に段差ができないように取付けてください。



● 枠のネジレは、C寸法が2mm以下になるようにしてください。



上枠取付用(ふかし枠無し、ふかし枠25、40)
下枠取付用(ふかし枠無し、ふかし枠25、40、70(三方))



丸木ねじ
($\phi 3.5 \times 25$)

上枠取付用(ふかし枠70)
下枠取付用(ふかし枠70(四方))



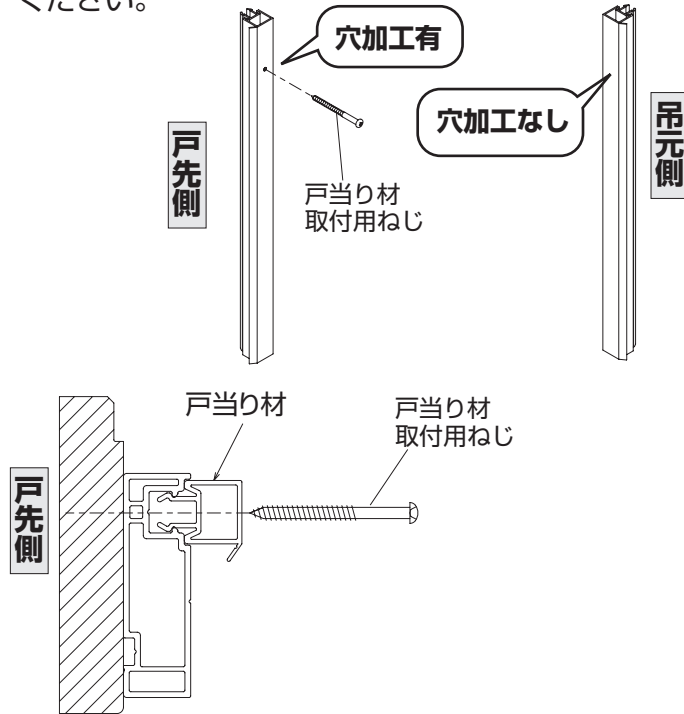
なべドリルねじ
($\phi 4 \times 19$)

戸当り材の取付

戸当り材は横通しになっていますので上・下→たての順に取付けてください。

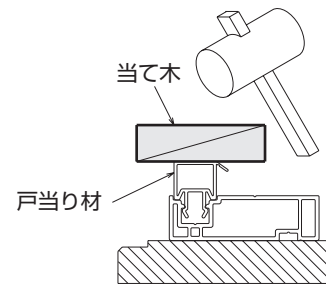
ポイント

たての戸当り材は、穴加工があるものが、戸先側の戸当り材になります。穴加工が戸先側の上部になるように取付けてください。

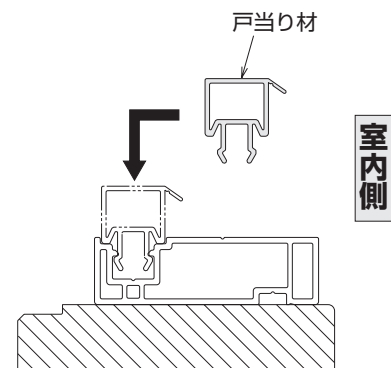
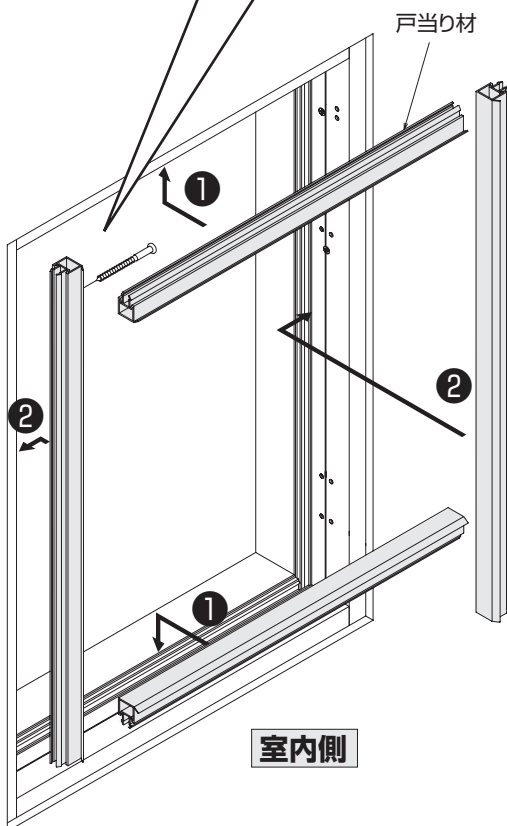


お願い

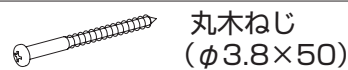
- 樹脂面をハンマー等で直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。



- 戸当り材は、たて用、上下用各々2本ずつあります。たて用と上下用で長さが異なりますので、確認して取付けてください。



戸先側たて戸当り材取付用(ふかし枠無し、ふかし枠25、40)



丸木ねじ
(φ3.8×50)

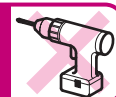
戸先側たて戸当り材取付用(ふかし枠70)



なべドリルねじ
(φ3×50)

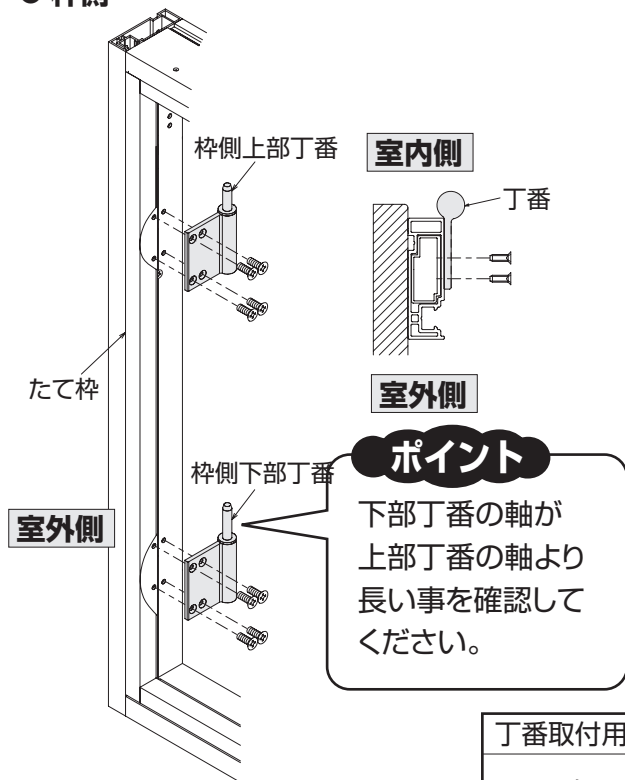
丁番の取付

電動
ドライバー
使用禁止

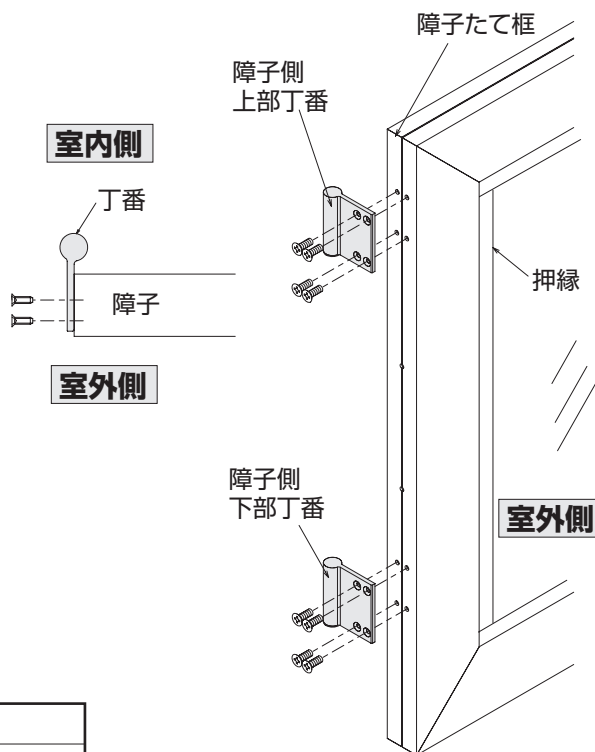


刻印に合わせて丁番を取付けてください。

● 枠側



● 障子側



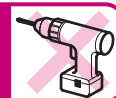
丁番取付用



皿小ねじ
(φ4×15)

ハンドルの取付

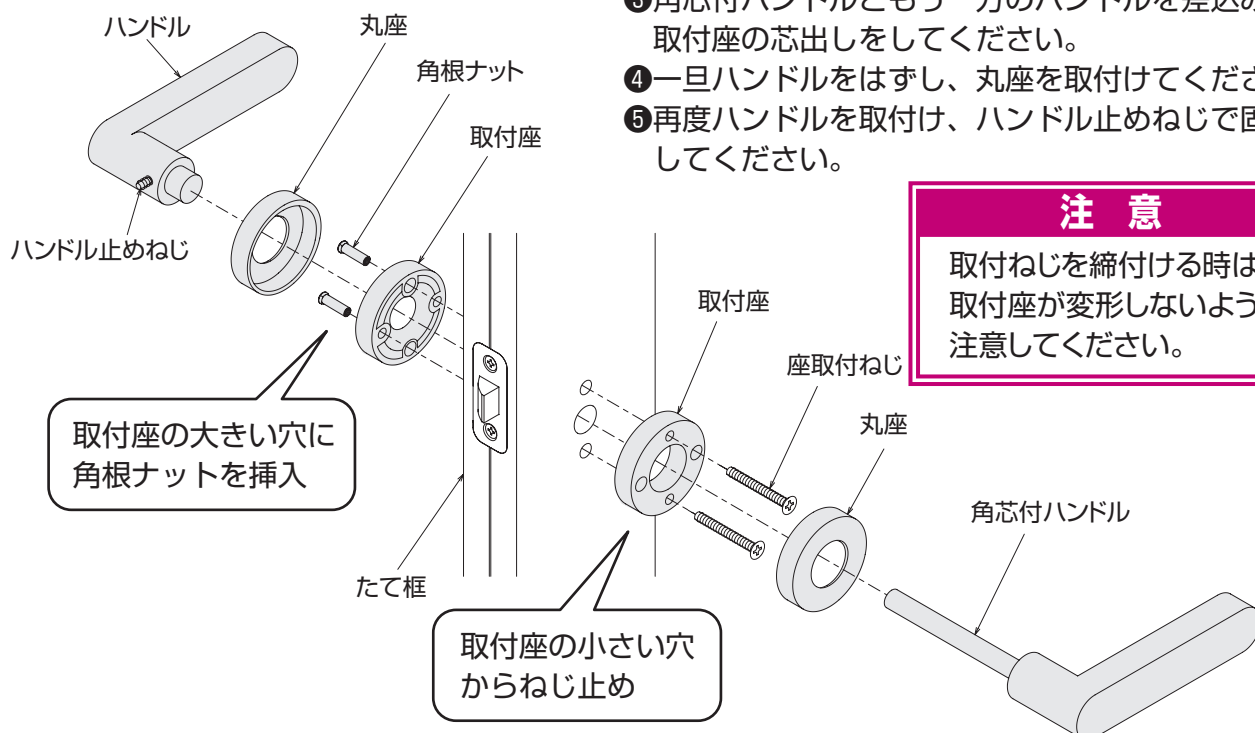
電動
ドライバー
使用禁止



- ①一方の取付座に角根ナットを挿入し、錠本体に差込んでください。
- ②対の取付座を座取付けねじで仮止めしてください。
- ③角芯付ハンドルともう一方のハンドルを差込み、取付座の芯出しをしてください。
- ④一旦ハンドルをはずし、丸座を取付けてください。
- ⑤再度ハンドルを取付け、ハンドル止めねじで固定してください。

注意

取付ねじを締付ける時は、取付座が変形しないように注意してください。

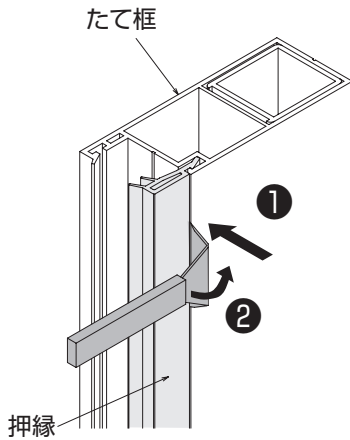


ガラス入れ

完成品出荷の場合、本作業は不要です。

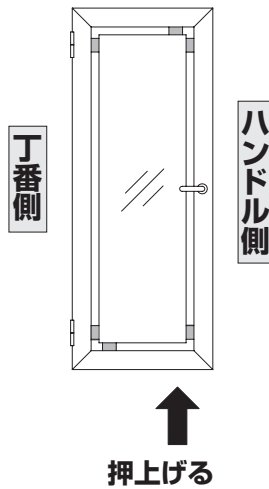
1. 押縁の取りはずし

押縁を、L型スクレイパー等を使用してはずしてください。

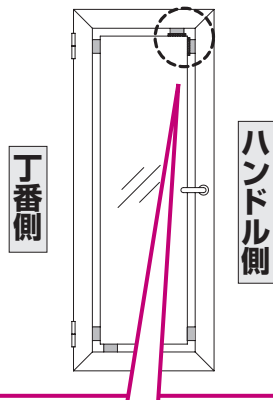


2. ガラス入れ

ガラスが入り難い場合は、ハンドル側下部を上方向に押し上げながら、ガラスをセットしてください。



3. セットプレートの取付

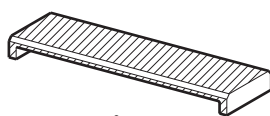


4. 押縁の取付

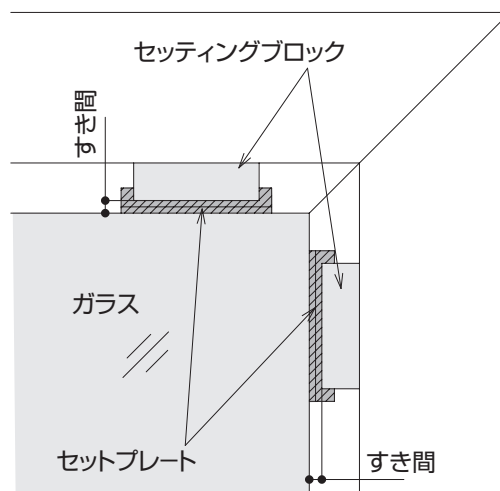
障子を閉めた状態で、たて押縁、上下押縁の順に取付けてください。

注意

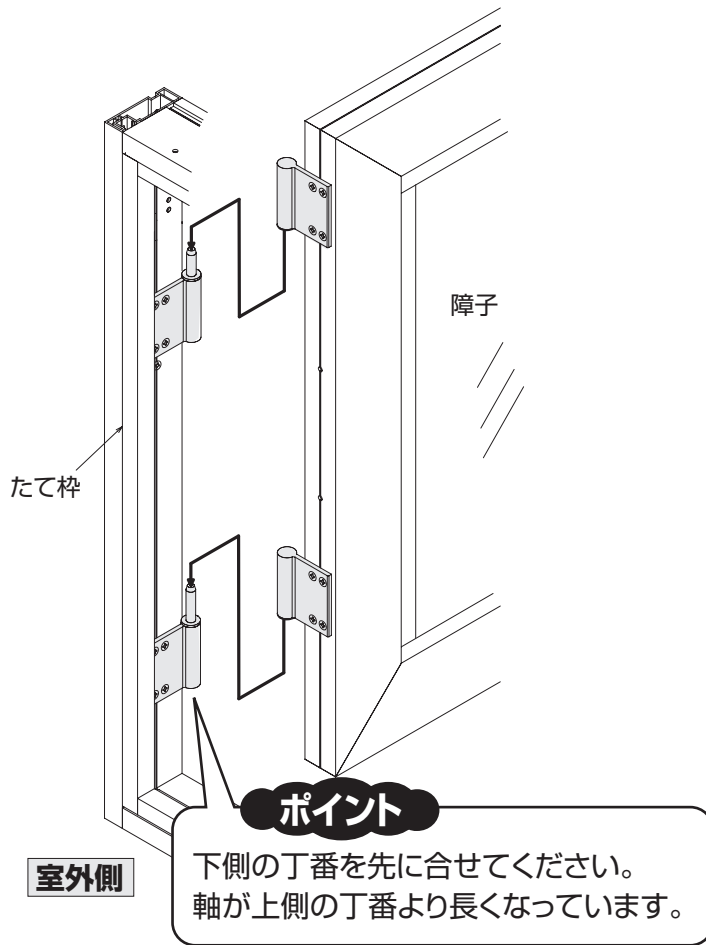
障子ハンドル側上部にすき間がある場合、セットプレートを差込んでください。
すき間があると障子のたれ下がりの原因になります。



セットプレート
1mm：グレー色
2mm：白色
3mm：黒色



障子の吊込み



はずれ止めの取付



①障子を開いた状態で、はずれ止め金具を取付けてください。

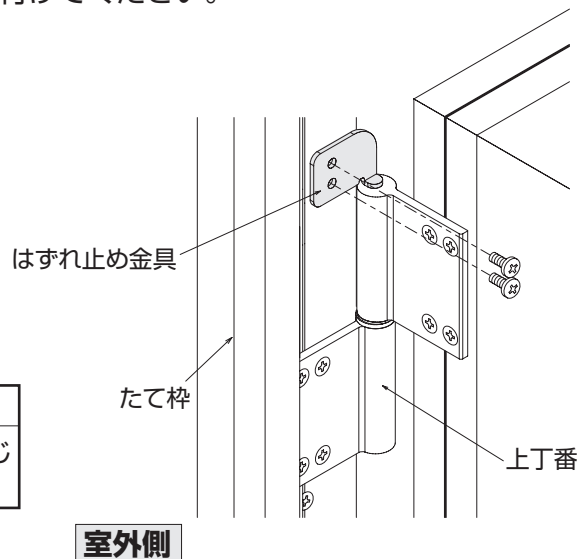
お願い

はずれ止め金具は障子脱落防止のため
必ず取付けてください。

はずれ止め取付用



薄バインド小ねじ
(φ4×10)



②障子が「障子の吊込み」の逆の手順ではずれないことを確認してください。

注意

上記内容を確実にやり、問題がないことを確認してください。
問題がある場合、**障子脱落のおそれがあります。**

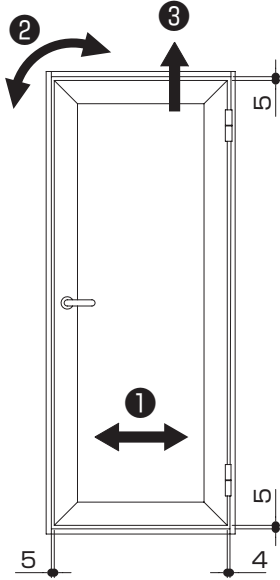
調整

電動
ドライバー
使用禁止

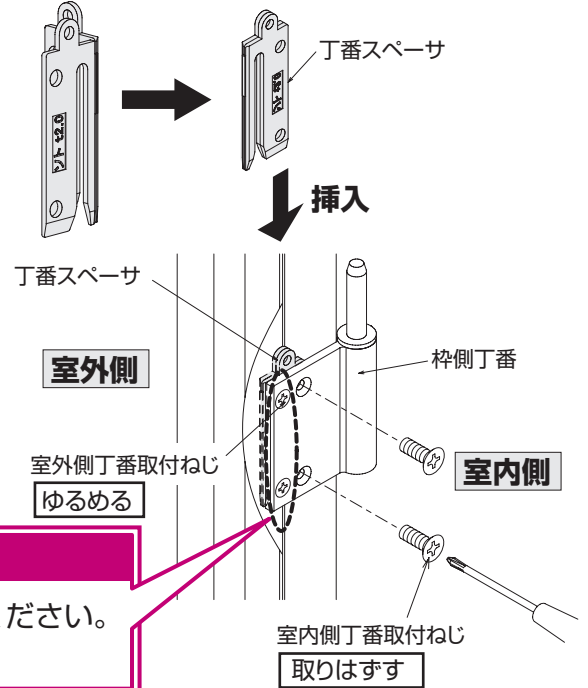
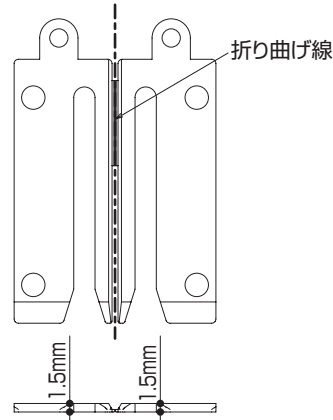


枠を取付けた後、調整が必要な場合、丁番部およびラッチ受で建付調整することができます。
(丁番での調整は、あくまでも補足的なものであり、調整量には限界があります。)

① 左右方向の調整 (調整範囲：1.5mm、3mm)



- ① 枠側の丁番取付ねじ(4本)のうち、室内側の2本のねじをはずしてください。
- ② 残りの室外側丁番取付ねじ(2本)をゆるめ、同梱の丁番スペーサを挿入してください。
- ③ 調整後、ねじをすべて締め付けてください。



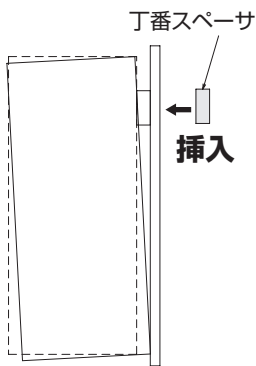
スペーサを切り離して使用…戸先側へ1.5mm
 スペーサを切り離さずに使用…戸先側へ3mm

注意

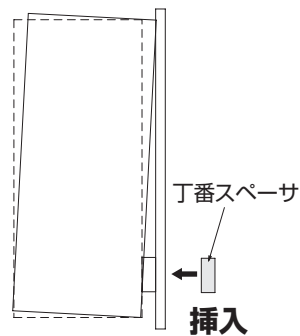
室外側丁番取付ねじは、はずさないでください。
 障子が脱落する場合があります。

② 傾きの調整

戸先を下げる場合

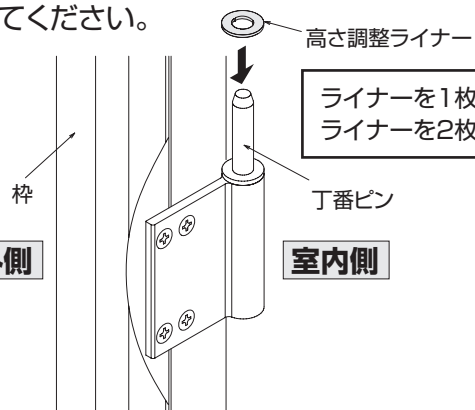


戸先を上げる場合

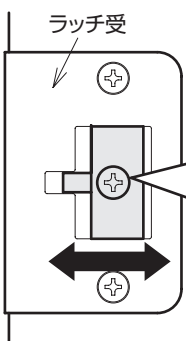


③ 上方向の調整 (調整範囲：1mm、2mm)

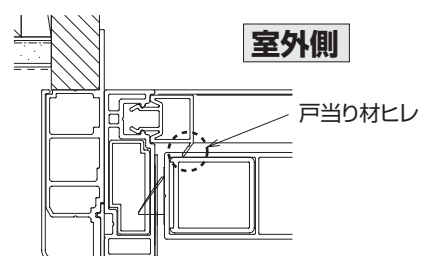
必要に応じて同梱の高さ調整ライナーを差込んで調整してください。



ライナーを1枚差込む…上へ1mm
 ライナーを2枚差込む…上へ2mm



ラッチがかかりづらい場合は、このねじをゆるめて調整してください。
 調整の際は、障子が戸当り材ヒレに当たるようにしてください。



<MEMO>

A series of horizontal dashed lines for writing a memo.



【組立・施工】

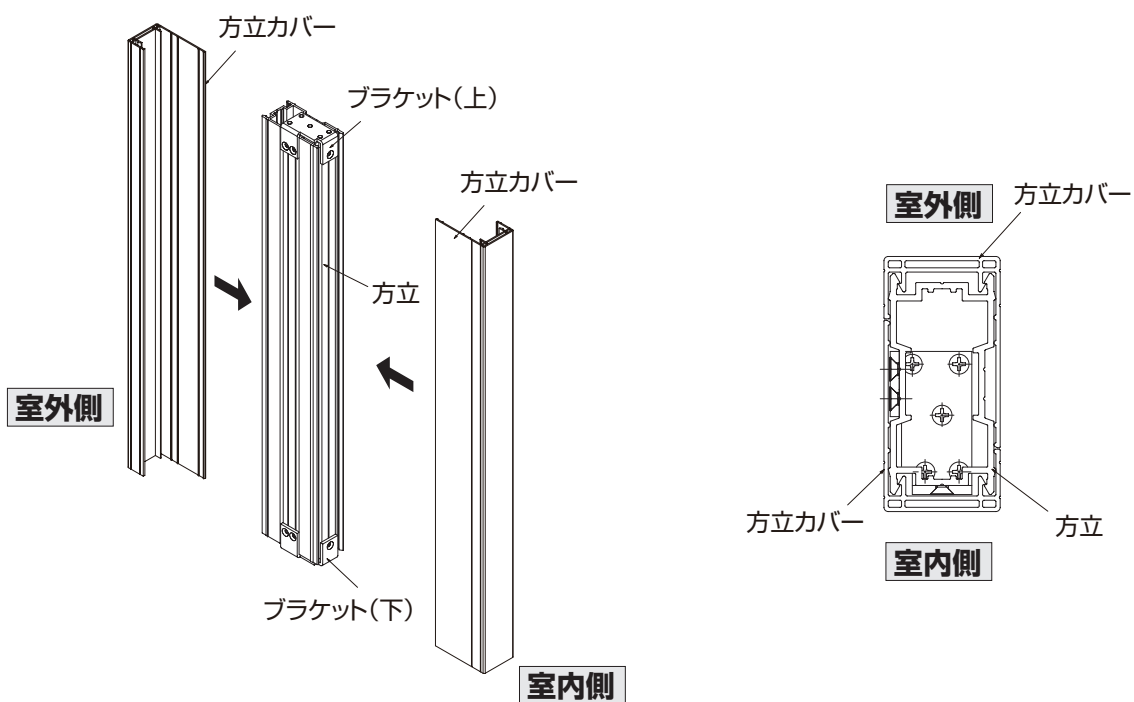
オプション 【共通】

■連窓方立	P.86
■段窓無目	P.90
■連窓方立+段窓無目	P.94
■コーナー方立	P.96
■調整材	P.100

注 意

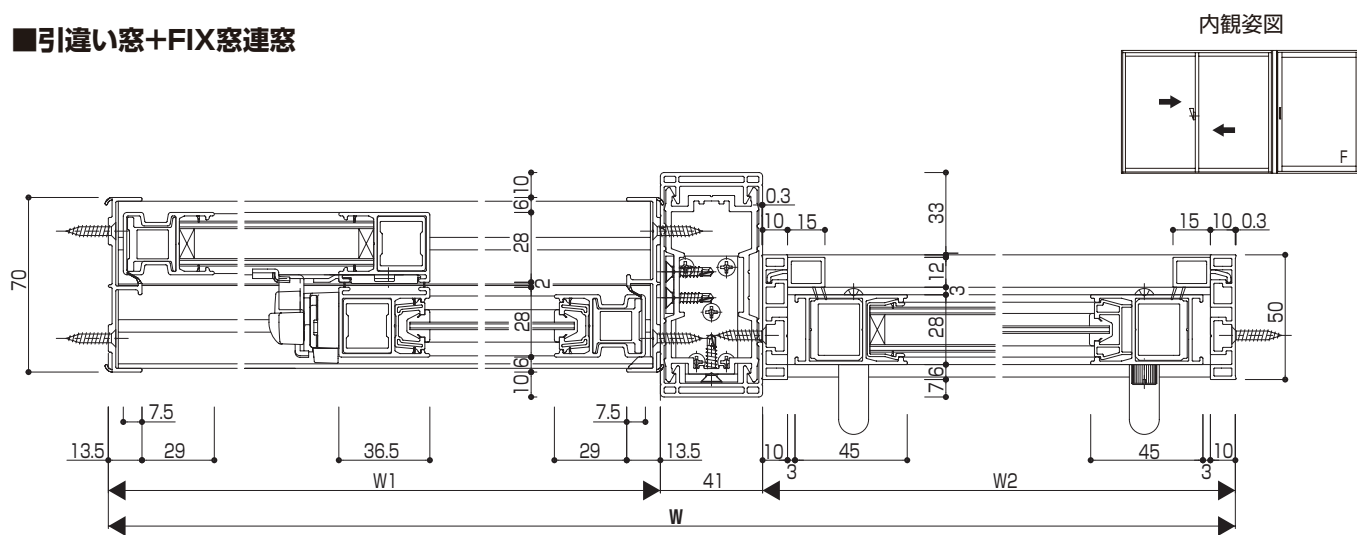
連窓方立・段窓無目・コーナー方立を施工する前に、現調者様に取付位置の情報を必ず確認しておいてください。

商品構成図

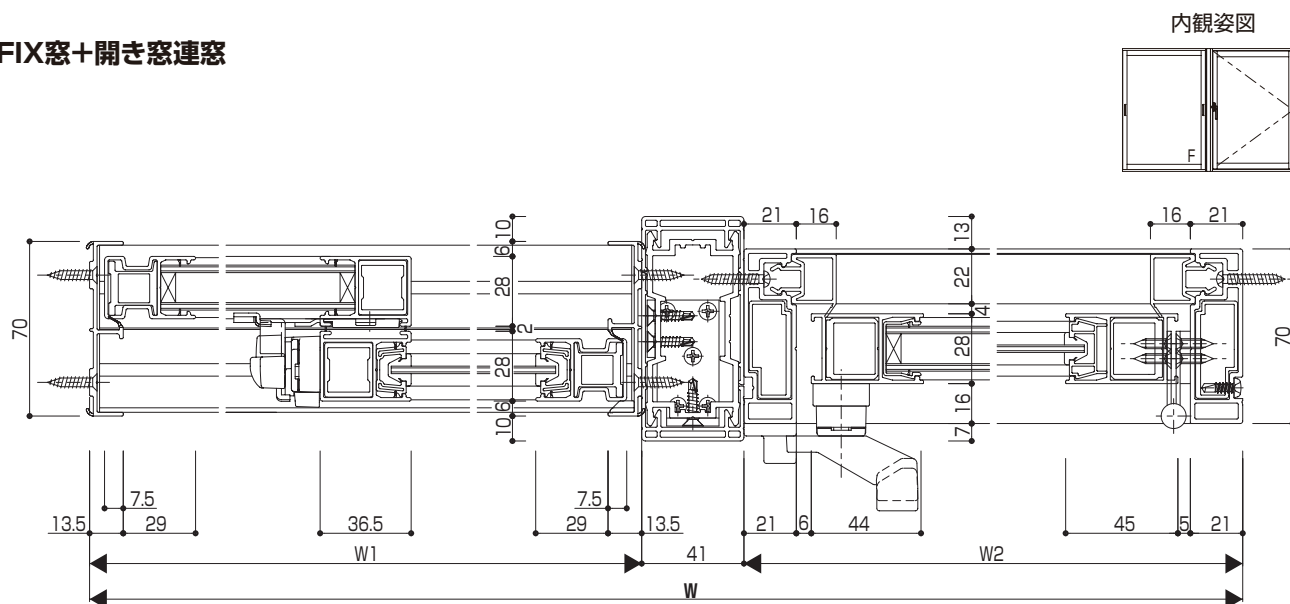


標準納まり図

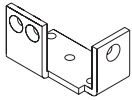
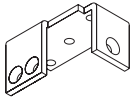

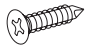
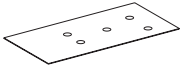
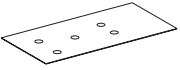
■引違い窓+FIX窓連窓



■FIX窓+開き窓連窓



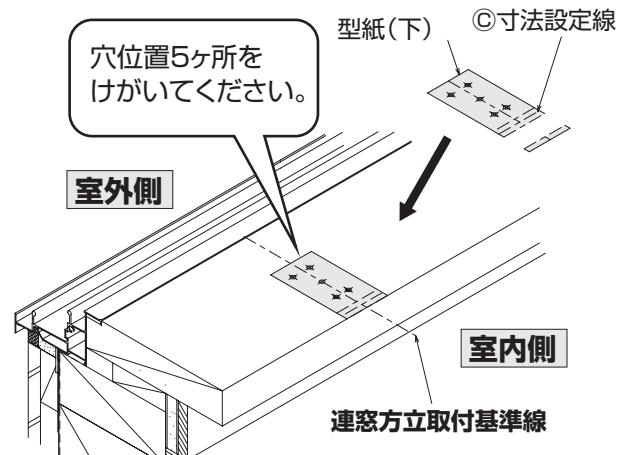
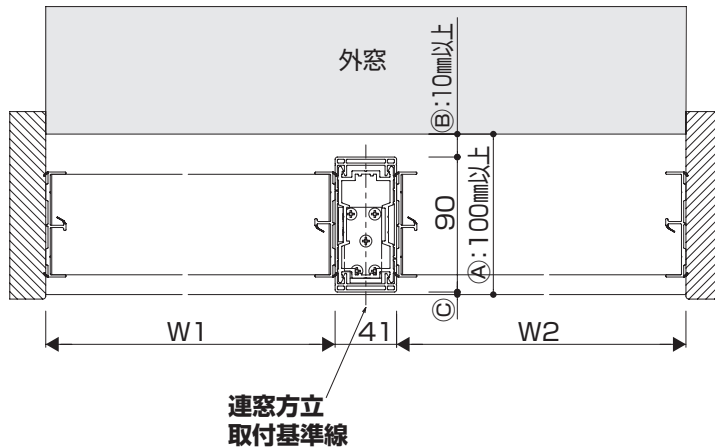
同梱一覧

姿 図						
品 名	ブラケット(下)	ブラケット(上)	丸木ねじ(φ3.8×22)	皿ドリルねじ(φ4×19)	型紙(上)	型紙(下)
品 番	3K-12561	3K-12562	WR-3822	K-15755	K-47461	K-47462
個 数	1	1	10	6	1	1
使用箇所	方立部材取付用	方立部材取付用	ブラケット取付用	部材取付用	ブラケット取付用	ブラケット取付用

施工

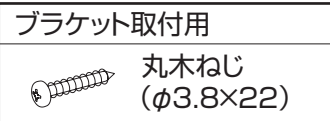
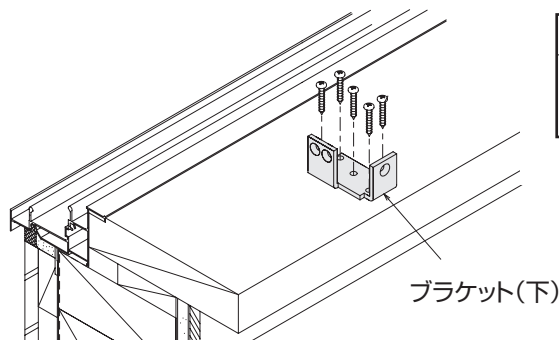
1. ブラケット取付位置決め

- ① 現調情報より、方立の取付位置を確認し、型紙を◎寸法に応じて◎寸法設定線で切取ってください。
- ② 型紙の中心を連窓方立取付基準線に合わせて窓台に置き、穴位置5ヶ所をけがいてください。
- ③ 上取付部も同様に行ってください。



2. ブラケットの取付

けがき位置にブラケットの穴を合わせ、上下のブラケットを取付けてください。



ポイント

ブラケットの向きを確認して取付けてください。

1つ穴ヒレ部:室内側
2つ穴ヒレ部:室内側から見て左側



室内側

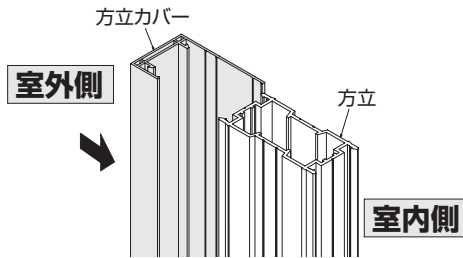


ブラケット(下)

施工

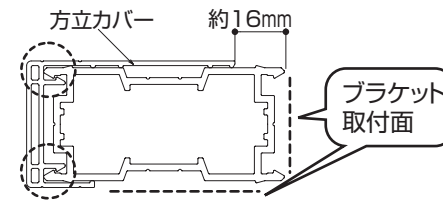
3. 外側方立カバーの取付

- ① 外側の方立カバーを取付けてください。
方立カバーが方立部材に対して、両端均等に余るように取付けてください。
方立カバーを取付けた面を室外側とします。
※方立カバーは、室内側・室外側共に同じ部材です。

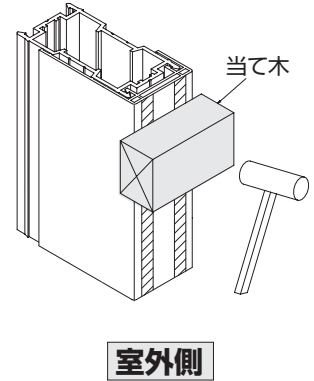


ポイント

- ブラケット取付面に方立カバーが掛からないようカバーの向きに注意してください。
- 方立カバーが奥まで入っていることを確認してください。

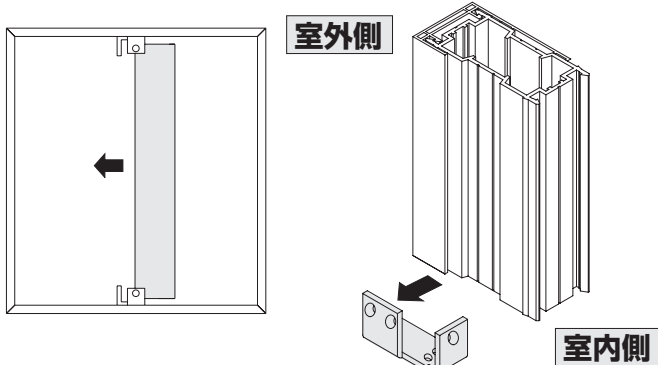


- ② カバーに当て木をあて、端部から図の斜線部を木ハンマー等でたたき込んでください。



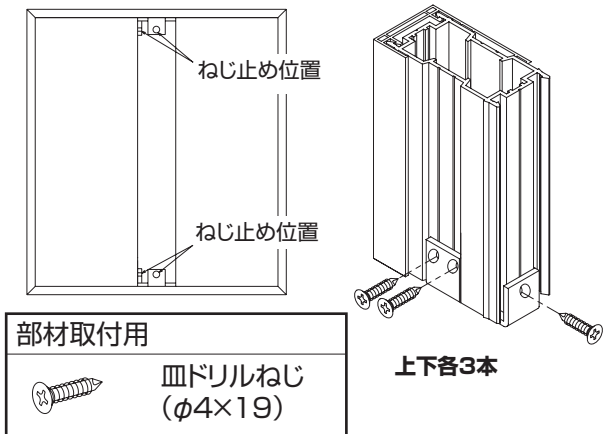
4. 方立部材の取付

- ① 方立カバー取付面を室外側に向け、方立部材を図の位置へ移動させてください。
- ② 図の矢印の方向へ押し当てながら、方立部材を手前に引き寄せて、ブラケットのヒレ部を方立部材の溝部へはめ込んでください。



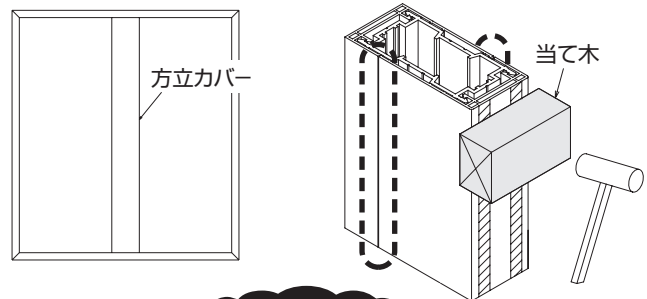
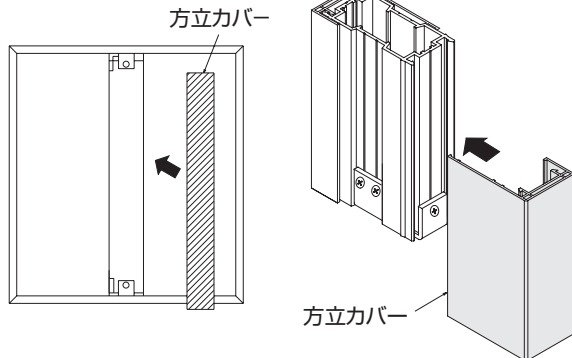
5. 方立部材のねじ止め

方立部材をブラケットのヒレ部に押し当てながら、上下両端のねじ止めをしてください。



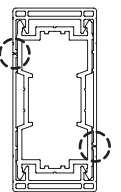
6. 室内側方立カバーの取付

- ① 室内側方立カバーを図の向きに従い取付けてください。
- ② カバーに当て木をあて、端部から図の斜線部を木ハンマー等でたたき込んでください。



ポイント

図の斜線部をたたくことで、引っ掛かり部分がはめ込まれます。☐部にすき間がないようにたたき込んでください。



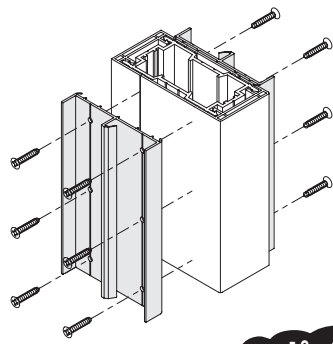
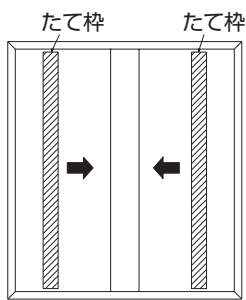
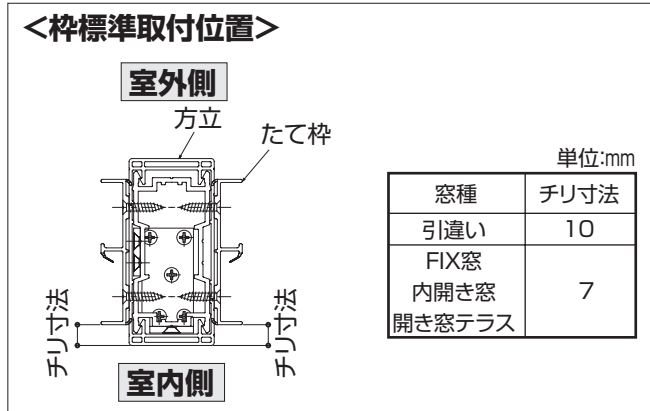
注意

樹脂部をハンマー等で直接たたかないでください。樹脂部が割れるおそれがあります。

施工

7. たて枠の取付

図のように枠の端部の位置を合わせてけがき、
枠の取付穴に合わせてφ3の下穴をあけて
からねじ止めしてください。



たて枠取付用
(引違い窓に付属)

皿木ねじ
(φ3.5×20)

ポイント

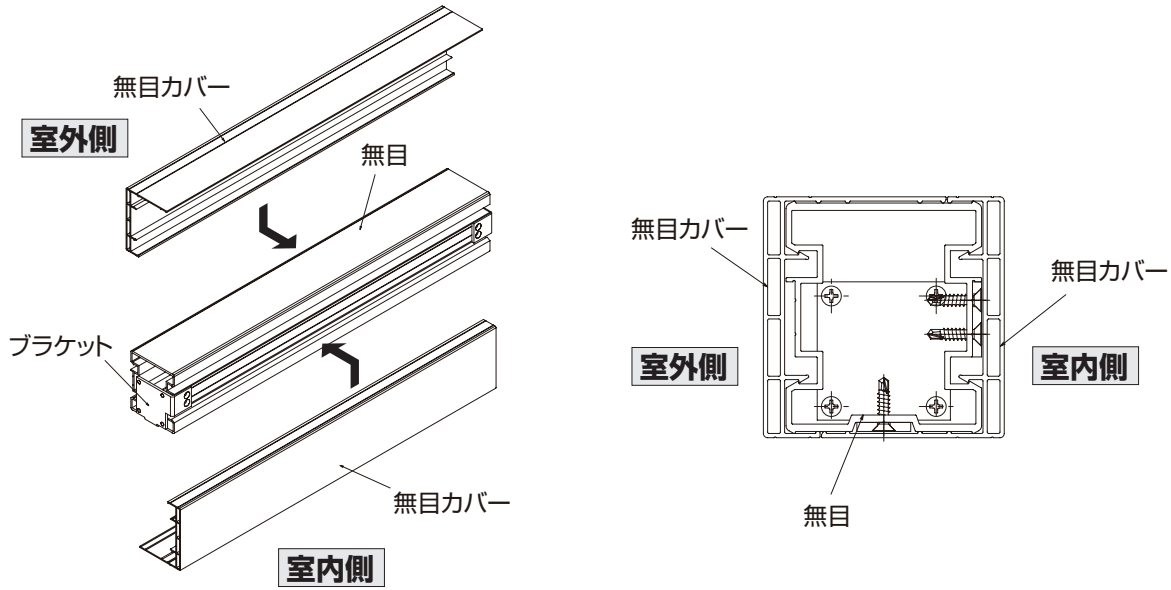
オプションの方立・無目用ドリルねじを
使用すると下穴は不要です。
オプション品(P.15)参照

以降のプラマードU本体の取付けについては、**引違い窓**P.19～58、**FIX窓**P.59～64、**内開き窓**P.65～74、**開き窓テラス**P.75～83を各々参照してください。

お願い

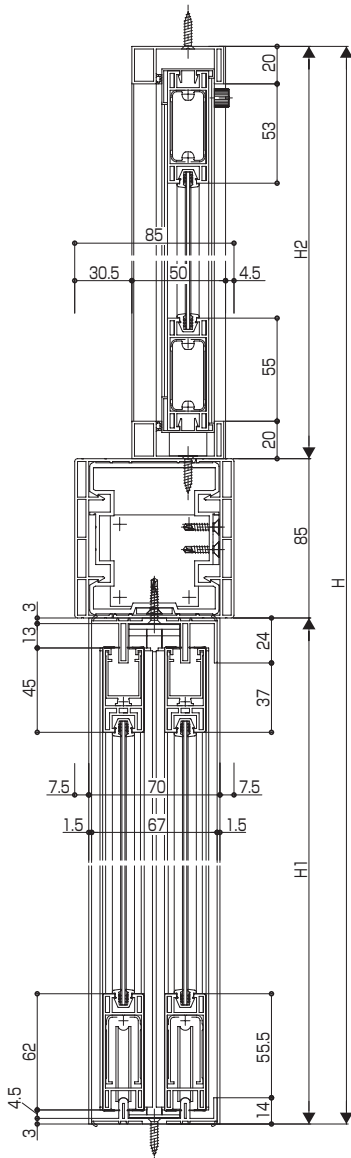
指定位置に指定長さのねじ止めを行わなかつた場合、ねじが曲がったり効かない事がありますので、指示通り取付けてください。

商品構成図

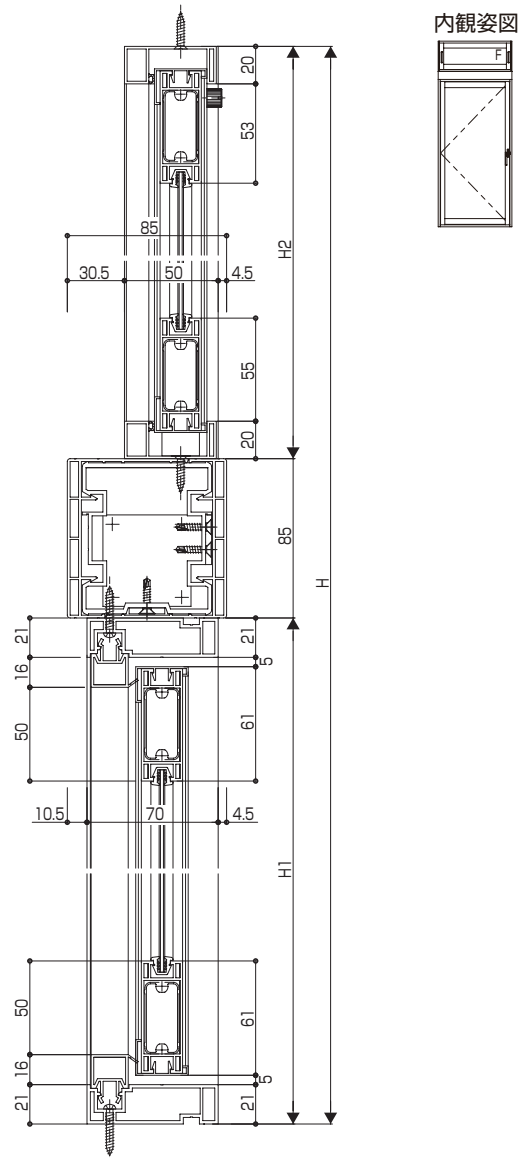


標準納まり図

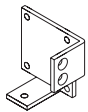
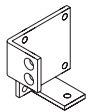
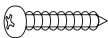

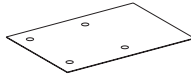
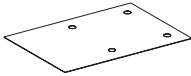
■引違い窓+FIX段窓



■内開き窓+FIX段窓



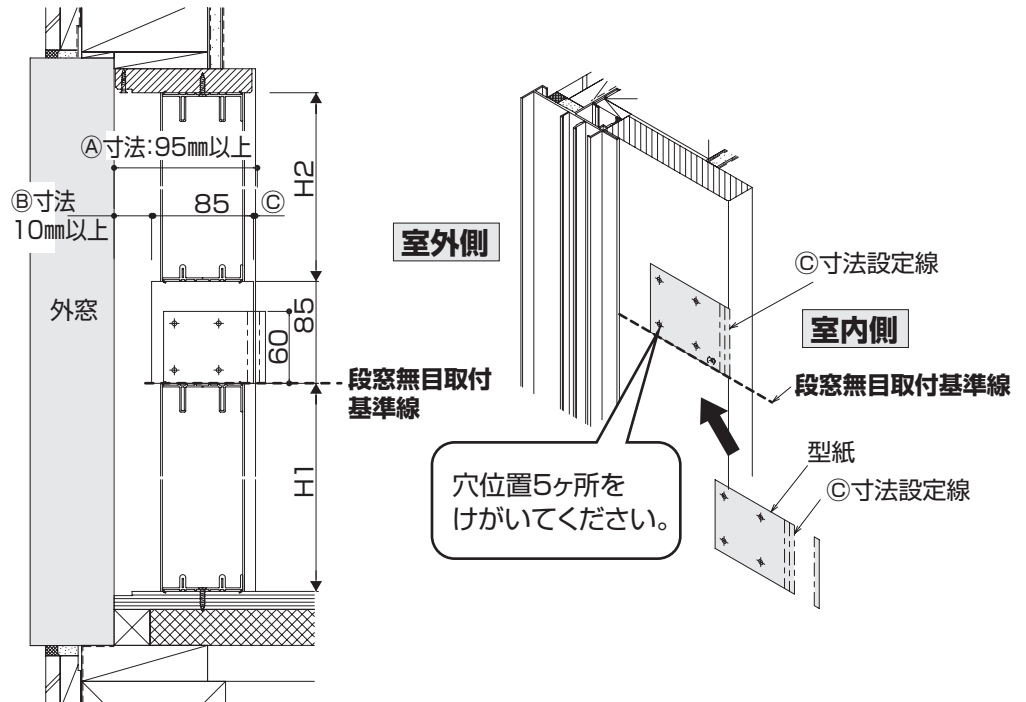
同梱一覧

姿 図						
品 名	ブラケット(右)	ブラケット(左)	丸木ねじ(φ3.8×22)	皿ドリルねじ(φ4×19)	型紙(右)	型紙(左)
品 番	3K-12563	3K-12564	WR-3822	K-15755	K-47465	K-47466
個 数	1	1	8	6	1	1
備 考	無目部材取付用	無目部材取付用	ブラケット取付用	部材取付用	ブラケット取付用	ブラケット取付用

施工

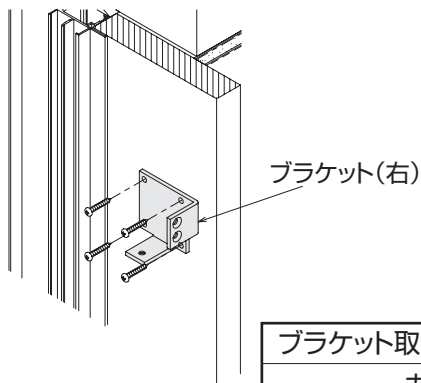
1. ブラケット取付位置決め

- ① 現調情報より、無目の取付位置を確認し、型紙を◎寸法に応じて◎寸法設定線で切取ってください。
- ② 型紙の下部を段窓無目取付基準線に合わせて額縁にあって、穴位置4ヶ所をけがいてください。
- ③ 反対側の取付部も同様に行ってください。



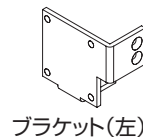
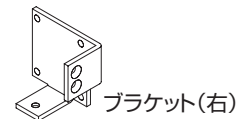
2. ブラケットの取付

けがき位置にブラケットの穴を合わせ、
左右のブラケットを取付けてください。



ポイント


ブラケットの向きを確認して取付けてください。



室内側

1つ穴ヒレ部：下側
2つ穴ヒレ部：室内側

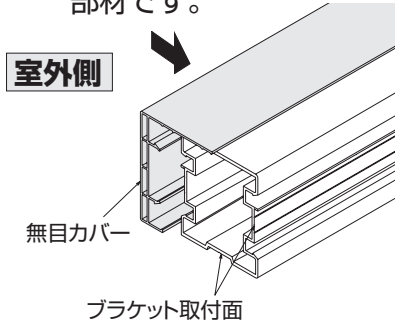
ブラケット取付用

 丸木ねじ
(φ3.8×22)

施工

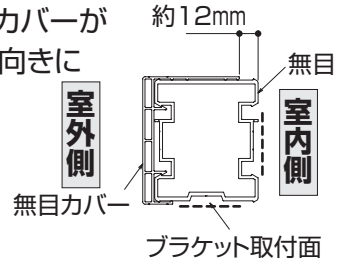
3. 外側無目カバーの取付

- ① 外側の無目カバーを取付けてください。
無目カバーが無目部材に対して、両端均等に余るように取付けてください。
無目カバーを取付けた面を室外側とします。
※無目カバーは、室内側・室外側共に同じ部材です。

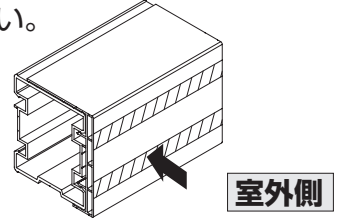


ポイント

- ブラケット取付面に無目カバーが掛からないようカバーの向きに注意してください。
- 無目カバーが奥まで入っている事を確認してください。

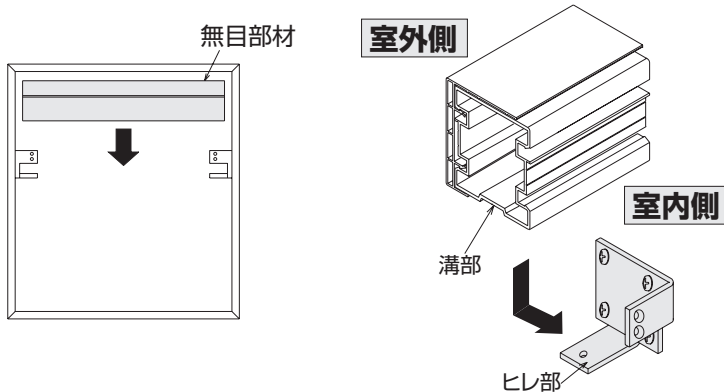


- ② 図の矢印の方向へカバーを押えてください。その際、図の斜線部を押えてカバーをしっかりとめ込んでください。



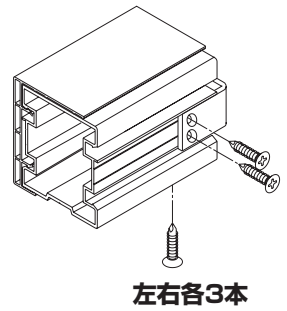
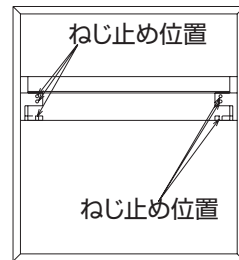
4. 無目部材の取付

- ① 無目カバー取付面を室外側に向け、無目部材を図の位置へ移動させてください。
- ② 図の矢印の方向へ押し当てながら、無目部材を手前に引き寄せて、ブラケットのヒレ部を、無目部材下面の溝部へはめ込んでください。



5. 無目部材のねじ止め

無目部材を手前に引き寄せながら、左右両端のヒレ部をねじ止めしてください。

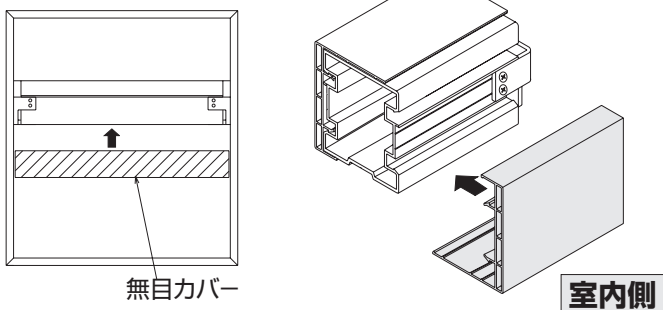


無目部材取付用

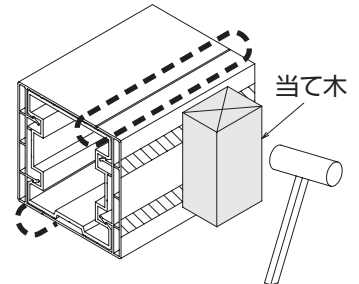
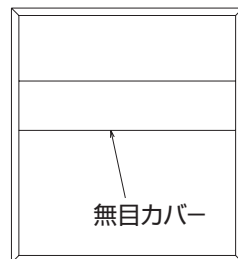
皿ドリルねじ
(φ4×19)

6. 室内側無目カバーの取付

- ① 室内側無目カバーを図の向きに従い取付けてください。



- ② カバーに当て木をあて、端部から図の斜線部を木ハンマー等でたたき込んでください。

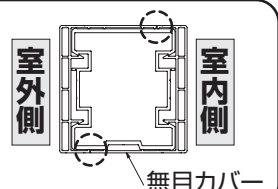


注意

樹脂部をハンマー等で直接たたかないでください。樹脂部が割れるおそれがあります。

ポイント

図の斜線部をたたくことで、引っ掛かり部分がはめ込まれます。❌部にすき間がないようにたたき込んでください。



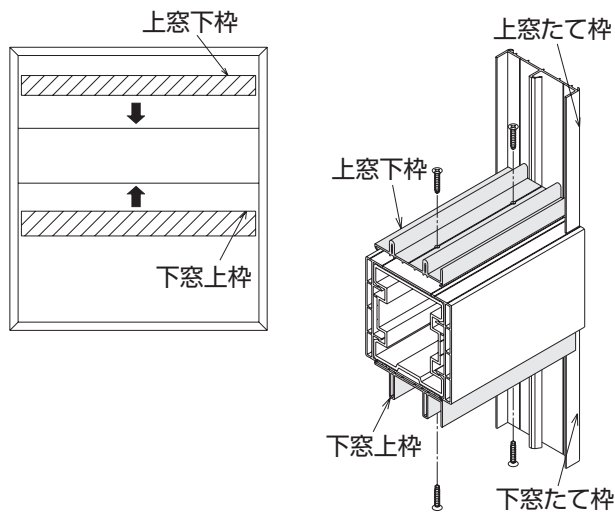
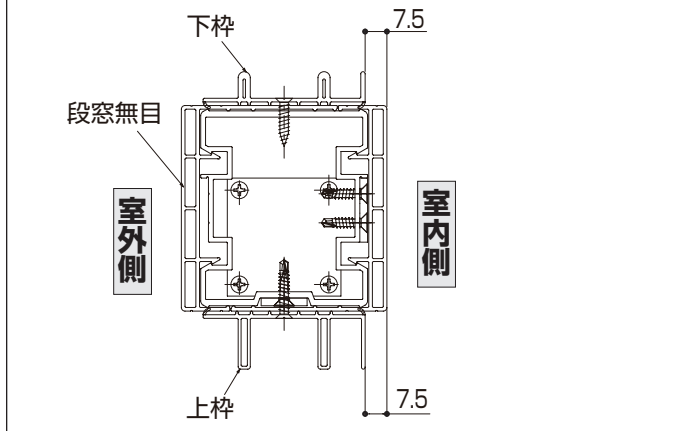
施工

7. 枠の取付


図の位置になるようたて枠を仮止めした後、
上窓下枠、下窓上枠の取付穴に合わせてφ3の
下穴をあけ無目にてねじ止めしてください。

<枠標準取付位置>

※窓種に関係なく、下記位置に取付けてください。



上窓下枠取付用
(引違い窓に付属)

 皿木ねじ
(φ3.5×20)

下窓上枠取付用
(引違い窓に付属)

 皿木ねじ
(φ3.5×20)

ポイント

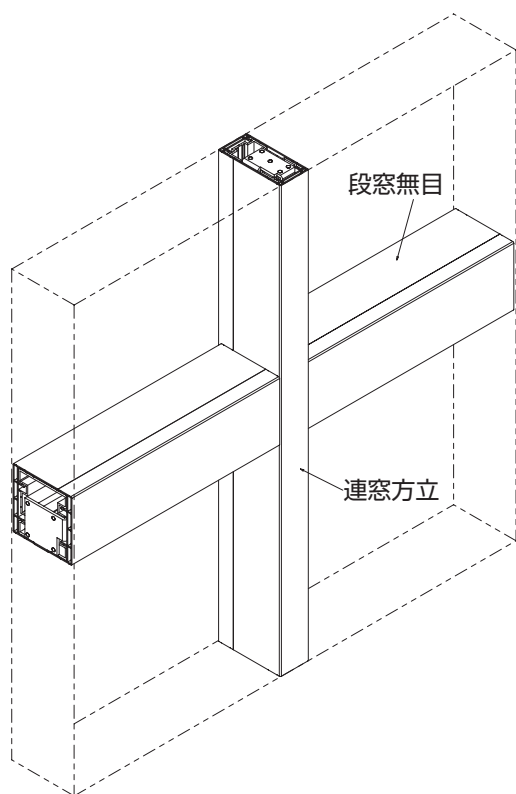
オプションの方立・無目用ドリルねじを
使用すると下穴は不要です。
オプション品(P.15)参照

以降のプラマードU本体の取付については、**引違い窓**P.19～58、**FIX窓**P.59～64、**内開き窓**P.65～74、**開き窓テラス**P.75～83を各々参照してください。

お願い

指定位置に指定長さのねじ止めを行わな
かった場合、ねじが曲がったり効かない
事がありますので、指示通り取付けて
ください。

商品構成図

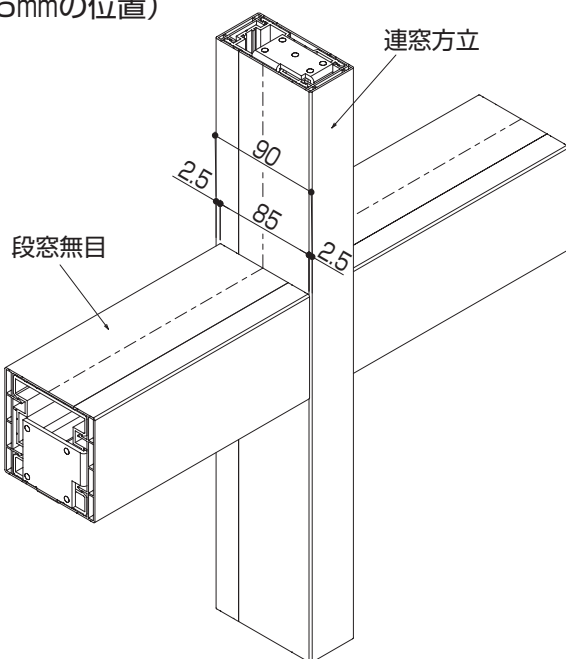


取付条件

連窓方立と段窓無目と組み合わせる場合は、以下の条件を守ってください。

<取付条件>

- ①方立通しにしてください。
- ②方立の中心に合わせて無目を取付けてください。
(方立室内側から2.5mmの位置)



施工

1.連窓方立の取付

連窓方立の取付方法については、P.87～89を参照してください。

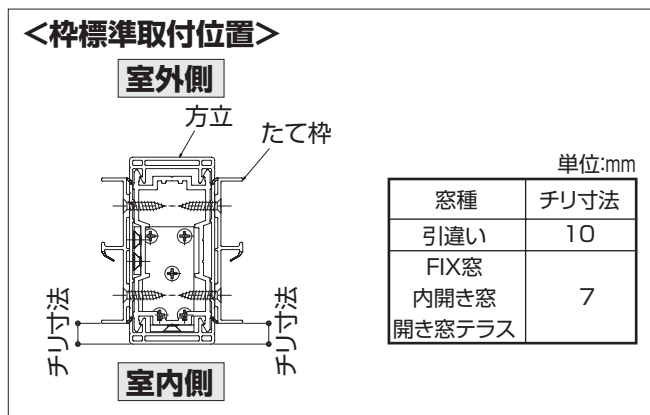
2.段窓無目の取付

P.94 取付条件②の取付位置を守って取付けてください。

段窓無目の取付方法については、P.91～93を参照してください。

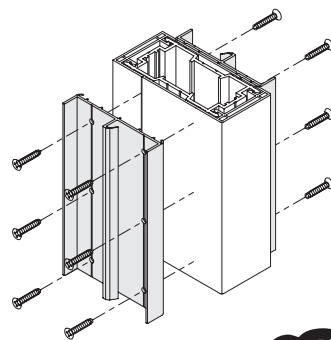
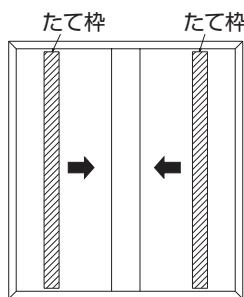
3.たて枠の取付

図のようにたて枠の端部の位置を合わせてけがき、
枠の取付穴に合わせてφ3の下穴をあけて
からねじ止めしてください。



お願い

指定位置に指定長さのねじ止めを行わなかった場合、ねじが曲がったり効かない事がありますので、指示通り取付けてください。



たて枠取付用
(引違い窓に付属)

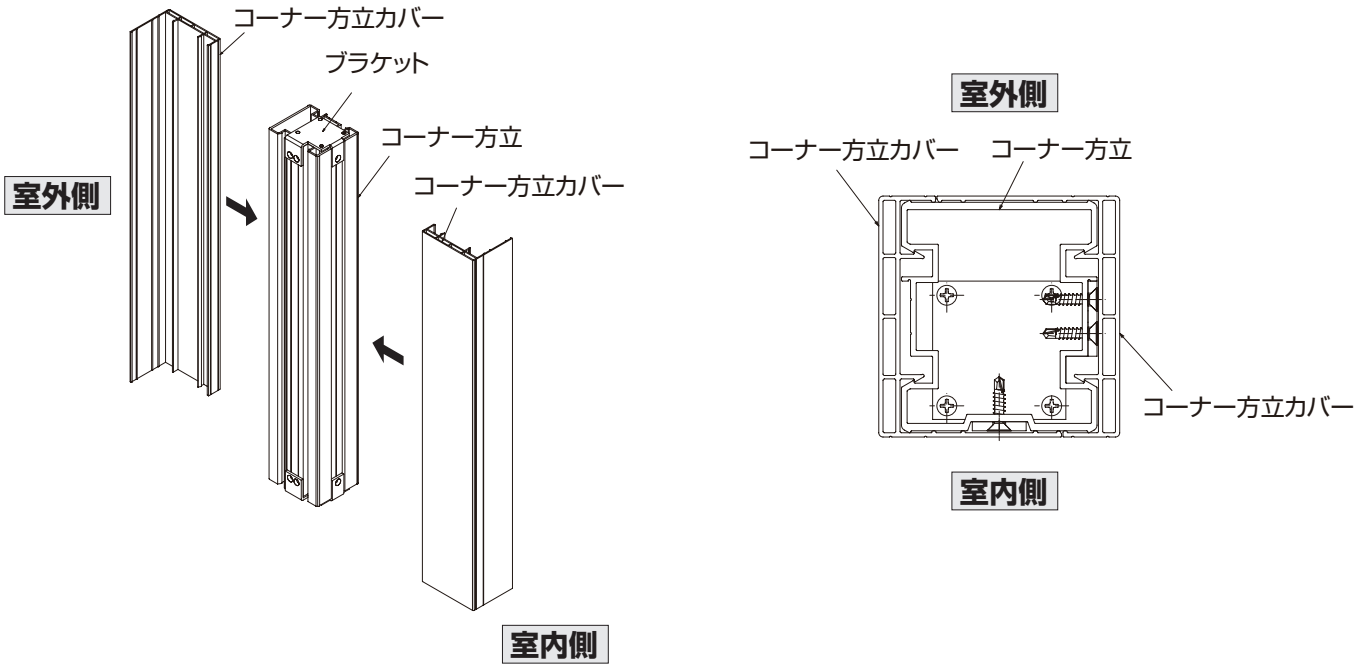
皿木ねじ
(φ3.5×20)

ポイント

オプションの方立・無目用ドリルねじを使用すると下穴は不要です。
オプション品(P.15)参照

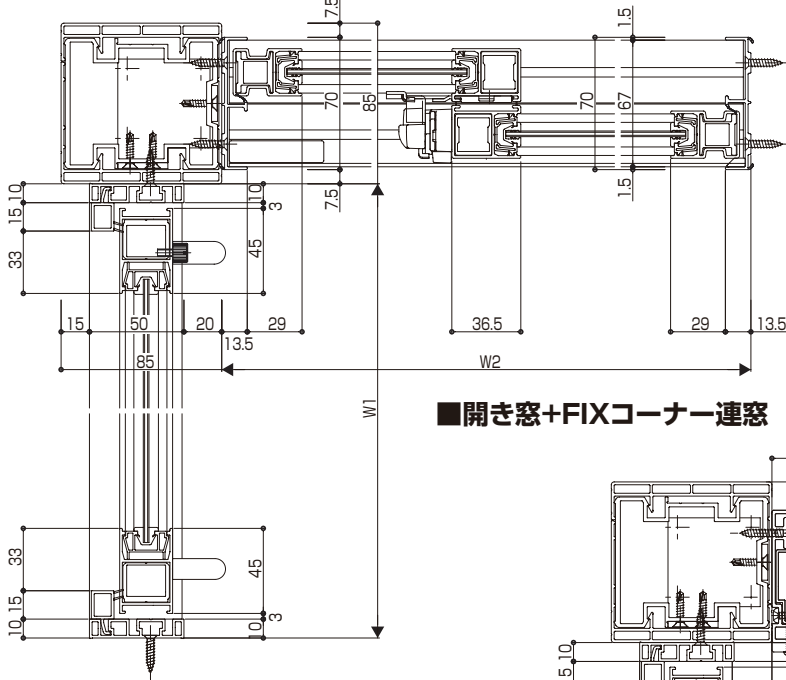
以降のプラマードU本体の取付けについては、**引違い窓**P.19～58、**FIX窓**P.59～64、**内開き窓**P.65～74、**開き窓テラス**P.75～83を各々参照してください。

商品構成図

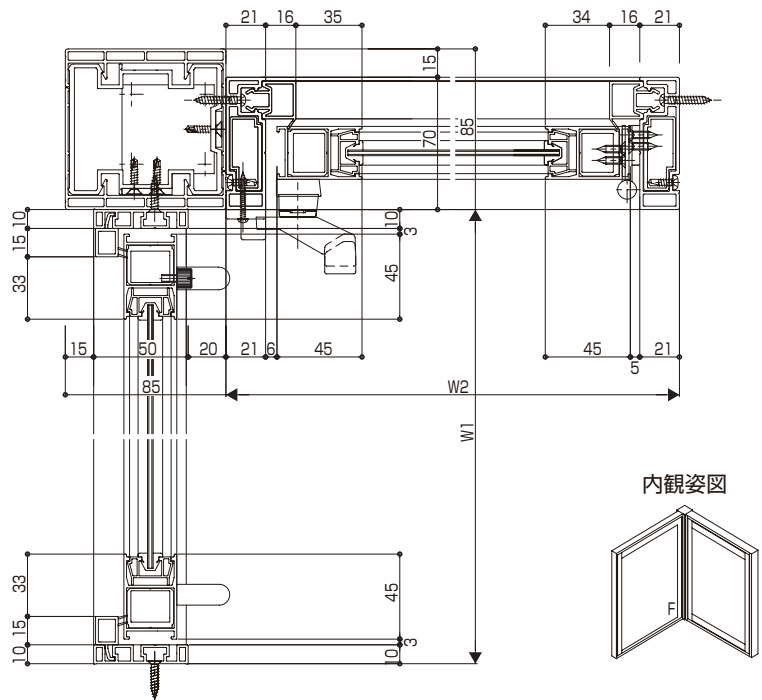


標準納まり図

■引違い窓+FIXコーナー連窓



■開き窓+FIXコーナー連窓



同梱一覧

姿 図						
品 名	ブラケット(上)	ブラケット(下)	丸木ねじ(φ3.8×22)	皿ドリルねじ(φ4×19)	型紙(上)	型紙(下)
品 番	3K-12563	3K-12564	WR-3822	K-15755	2K-41094	2K-41095
個 数	1	1	8	6		
備 考	コーナー方立部材取付用	コーナー方立部材取付用	ブラケット取付用	部材取付用	ブラケット取付用	ブラケット取付用

施工

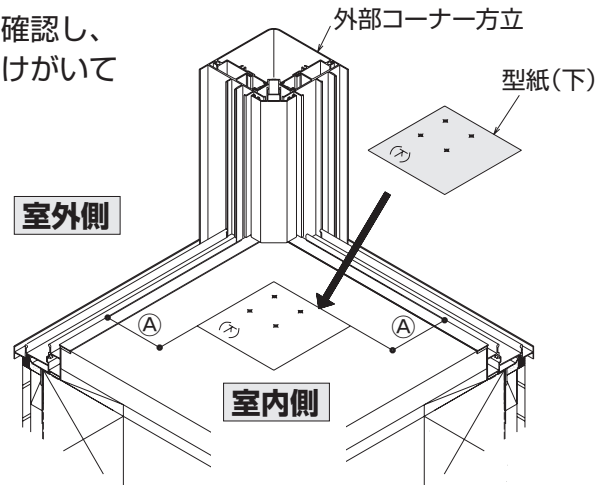
1. ブラケット取付位置決め

- ① 現調情報よりコーナー方立の取付位置を確認し、型紙を(A)寸法に合わせて置き、穴位置をけがいてください。
- ② 上側取付部も同様に行ってください。

室外側

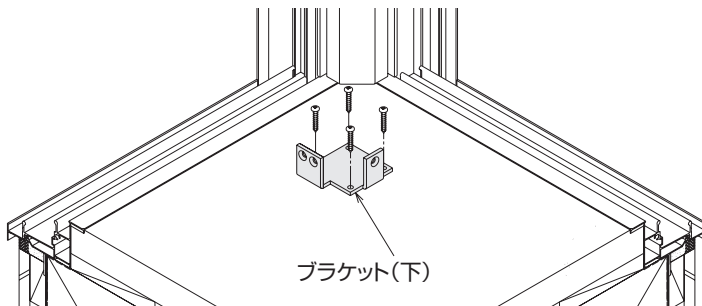


室外側



2. ブラケットの取付

けがき位置にブラケットの穴を合わせ、上下のブラケットを固定してください。



ブラケット取付用

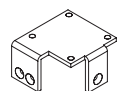
丸木ねじ
(φ3.8×22)

ポイント

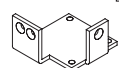
ブラケットの向きを確認して取付けてください。

1つ穴ヒレ部：室内側
2つ穴ヒレ部：室内側から見て左側

ブラケット(上)



室内側



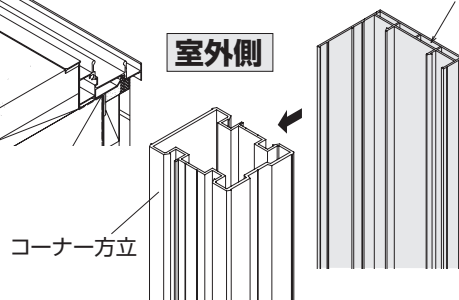
ブラケット(下)

3. 外側コーナー方立の取付

- ① 外側のコーナー方立カバーを取付けてください。コーナー方立カバーがコーナー方立部材に対して、両端均等に余るように取付けてください。コーナー方立カバーを取付けた面を室外側とします。
※コーナー方立カバーは、室内側・室外側共に同じ部材です。

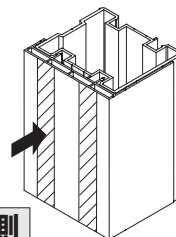
コーナー方立カバー

室外側



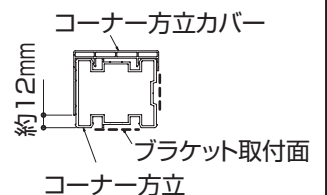
- ② 図の矢印の方向へカバーを押えてください。その際、図の斜線部を押えてカバーをしっかりはめ込んでください。

室外側



ポイント

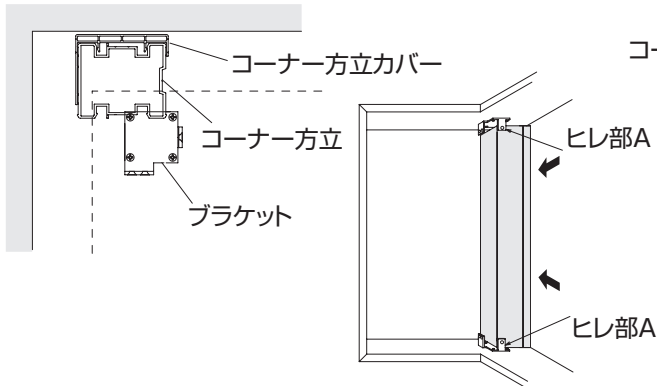
- ブラケット取付面にコーナー方立カバーが掛からないようカバーの向きに注意してください。
- コーナー方立カバーが奥まで入っている事を確認してください。



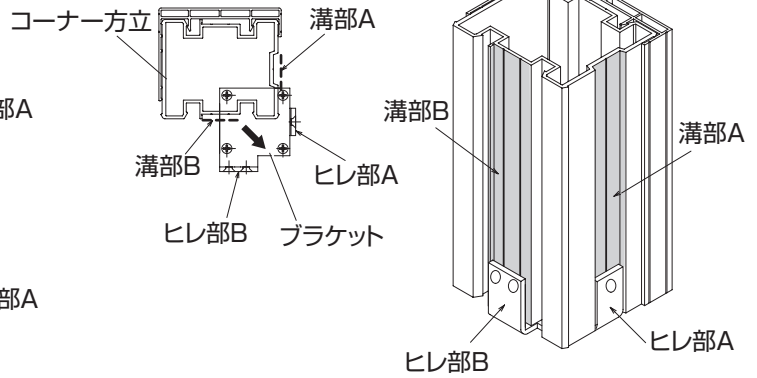
施工

4. コーナー方立部材の取付

① ブラケットのヒレ部に当たらないように、コーナー方立部材を図の位置へ移動させてください。

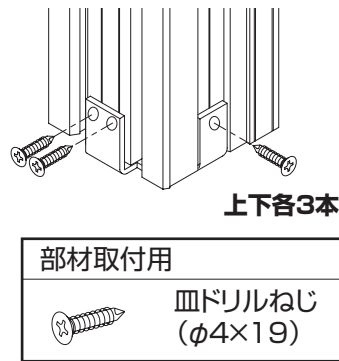
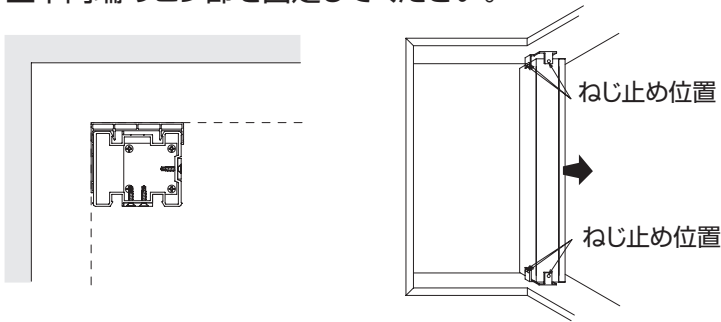


② 図の矢印の方向へスライドさせ、コーナー方立部材の溝部Aをブラケットのヒレ部Aに、コーナー方立部材の溝部Bをブラケットのヒレ部Bに、はめ込んでください。



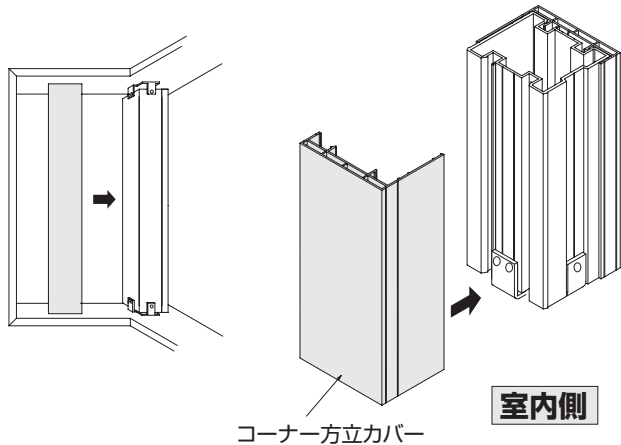
5. コーナー方立部材のねじ止め

コーナー方立部材をブラケットのヒレ部に押し当てながら、上下両端のヒレ部を固定してください。

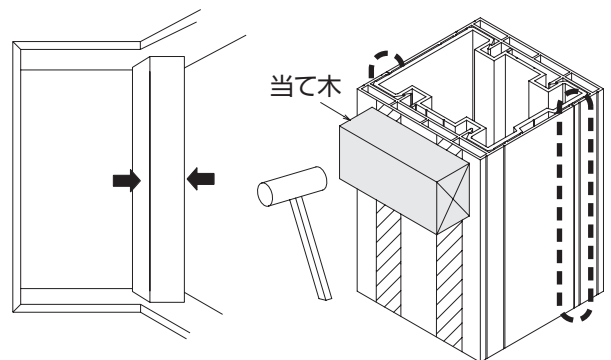


6. 室内側コーナー方立カバーの取付

① 室内側コーナー方立カバーを図の向きに従い取付けてください。



② カバーに当て木をあて、端部から図の斜線部を木ハンマー等でたたき込んでください。

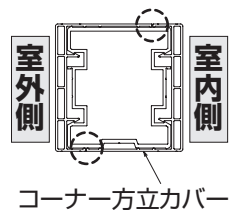


注意

樹脂部をハンマー等で直接たたかないでください。樹脂部が割れるおそれがあります。

ポイント

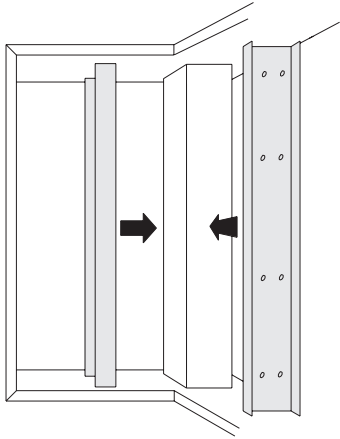
図の斜線部をたたくことで、引っ掛かり部分がはめ込まれます。☐部にすき間がないようにたたき込んでください。



施工

7. たて枠の取付

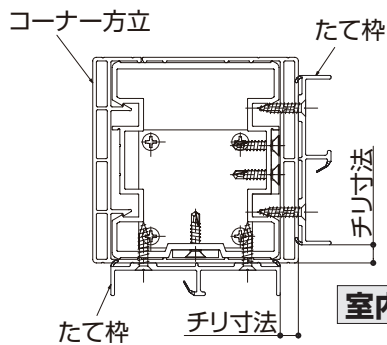
図のように枠の端部の位置を合わせてけがき、
枠の取付穴に合わせてφ3の下穴をあけて
からねじ止めしてください。



お願い

指定位置に指定長さのねじ止めを行わなかった場合、ねじが曲がったり効かない事がありますので、指示通り取付けてください。

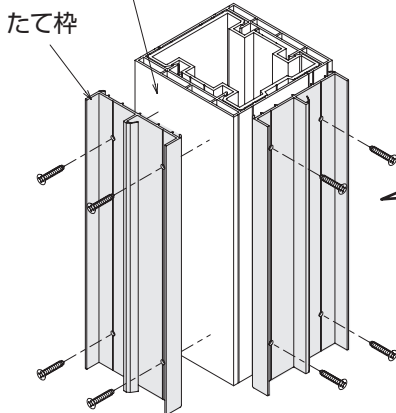
<枠標準取付位置>



単位:mm

窓種	チリ寸法
引違い窓	7.5
FIX窓	20
内開き窓 開き窓テラス	0

コーナー方立カバー




室内側

ポイント

たて枠の両端をコーナー方立カバーのけがき線に合わせてねじを止めしてください。

たて枠取付用
(引違い窓に付属)

 皿木ねじ
(φ3.5×20)

ポイント

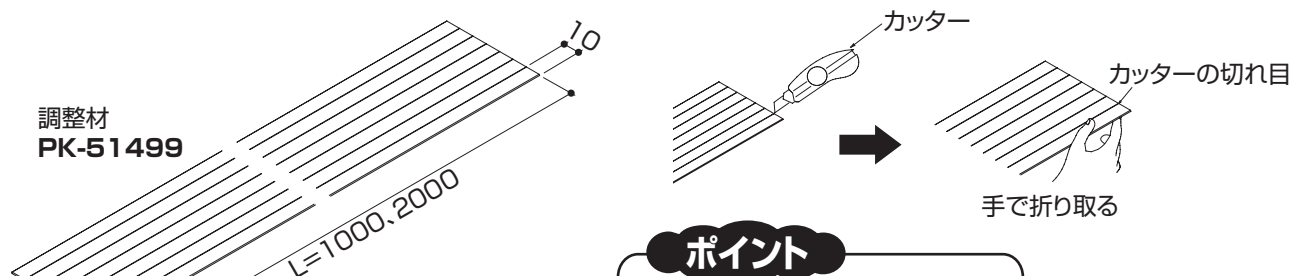
オプションの方立・無目用ドリルねじを使用すると下穴は不要です。
オプション品(P.15)参照

以降のプラマードU本体の取付けについては、**引違い窓**P.19~58、**FIX窓**P.59~64、**内開き窓**P.65~74、**開き窓テラス**P.75~83を各々参照してください。

調整材

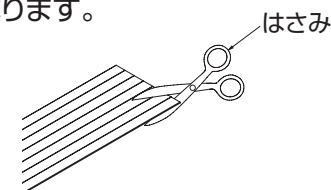
■切断方法

裏面の溝にカッターで切れ目を4~5回入れ、手で折り取ってください。



ポイント

はさみでも切断できますが、切断面に凹凸がでやすくなります。



目板として使用する場合

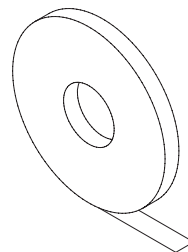
調整材の接着には、両面テープ(オプション品P.15参照)を必ず使用してください。

貼付前の注意事項

接着力が低下し、はがれや波うちの原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。

- 窓額縁の状態が、下記事項を満たしていることを確認してください。
 - 1)化粧シート貼りをしていない木額縁であること。
 - 2)窓額縁の貼付け面に凹凸がないこと。
 - 3)窓額縁に腐朽、割れがないこと。
- 調整材の反りがなくを確認してください。
- 両面テープの粘着面に手などで触れないでください。
- 両面テープは、貼りなおさないでください。
- 両面テープの保管は、直射日光、高温多湿、氷点下になるところを避け、埃などがかからないようにしてください。

両面テープ(オプション品)
YK 2K-49685
 幅20mm×50m巻
 厚さ約1mm



1.調整材の切断

調整材を開口に合わせて長さ、幅を切断してください。

ポイント

調整材の厚みは、両面テープを貼付けた状態で約2mmです。

注意

開口寸法より長く切断しないでください。開口に対して調整材が長いと、調整材がたわみ、そのまま無理に貼付けると、はがれや波うちの原因になります。

調整材

2.両面テープの貼付

- ①調整材の貼付面を清掃し、汚れ、水分、油分などを取り除いてください。

注意

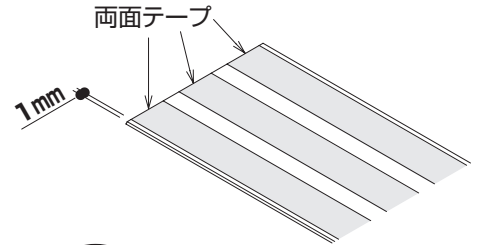
汚れ、水分、油分が残っていると、両面テープの接着力が低下し、はがれや波うちの原因になります。

- ③両面テープがはみ出した場合は、はみ出した部分を切断してください。

お願い

切断する際は、両面テープがはがれたり、ずれたりしないようにしてください。

- ②調整材の裏面に両面テープを全面に貼付けてください。



ポイント

両面テープは、調整材の端から1mm程度離して貼付けてください。

3.調整材の貼付

- ①開口部の貼付面を清掃し、汚れ、水分、油分などを取り除いてください。
②両面テープのハクリ紙をはがし、窓額縁に調整材を貼付けてください。

ポイント

両面テープの貼付けは、

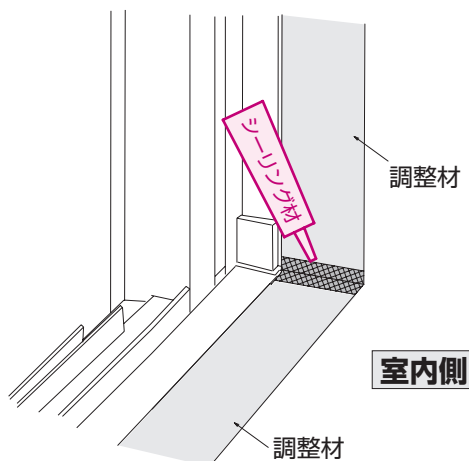
- 気温10℃以下の場合ドライヤーで温める。
- 100mmの幅に対し、2.0kgで圧着してください。

注意

調整材の全面を強く押し付けて、貼付面を圧着してください。圧着が不十分の場合、はがれや波うちの原因になります。

4.シーリング

コーナー部のすき間をシーリングしてください。



シーリングは必ず実施してください！

- 高温時、コーナー部にすき間が発生する場合がありますので、コーナー部をシーリングしてください。
- シーリング材は、シリコン系シーリング材を使用してください。(オプション品P.15参照)
- ポリサルファイド系は、サッシが変色するおそれがありますので使用しないでください。

<MEMO>

A series of horizontal dashed lines for writing a memo.



【組立・施工】

オプション 【共通】

■ふかし枠

ふかし枠を使用する場合P.104
ふかし枠 25・40、補強ふかし枠 25・40P.105
ふかし枠 70、補強ふかし枠 70P.112
またぎ段差(ふかし枠 70)の場合P.118
入隅部に取付ける場合P.119
補強ふかし枠 補強部品(補強角パイプ仕様)での補強P.120
補強ふかし枠 補強部品(ブラケット仕様)での補強P.126
補強ふかし枠 補強部品(束仕様)での補強P.134
造作材での補強P.141
連窓方立と組み合わせる場合P.143
段窓無目と組み合わせる場合P.146
連窓方立+段窓無目と組み合わせる場合P.149
コーナー突合せふかし枠 40・70P.153

ふかし枠を使用する場合

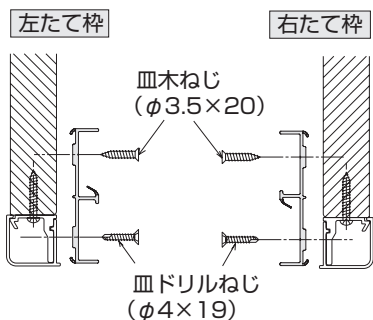
■引違い窓の場合

枠取付用ねじがねじ止めする箇所によって変わります。

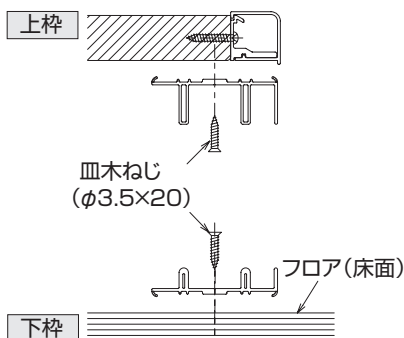
木額縁に対してねじ止めする場合：木ねじ(引違い窓に同梱)

アルミ部材に対してねじ止めする場合：ドリルねじ(ふかし枠に同梱)

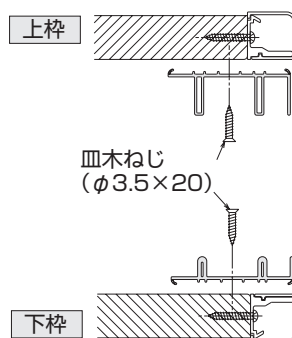
<ふかし枠25>



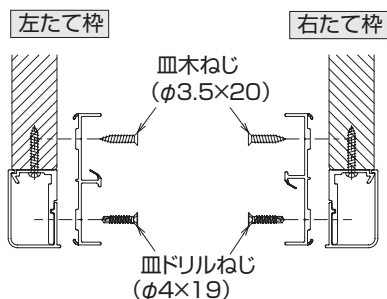
3方の場合



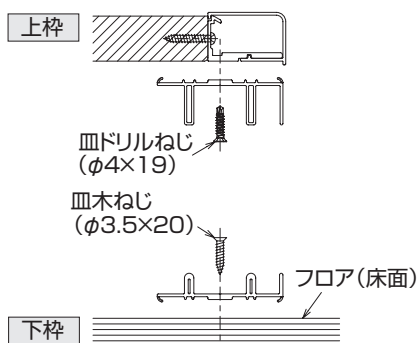
4方の場合



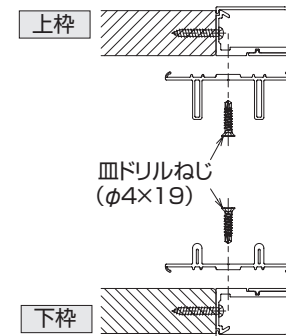
<ふかし枠40>



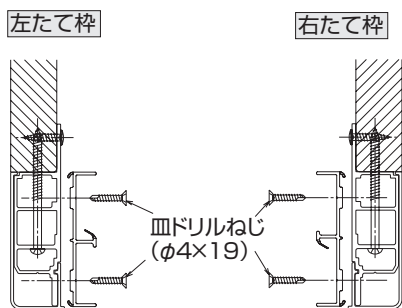
3方の場合



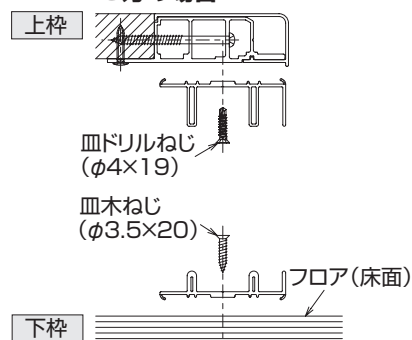
4方の場合



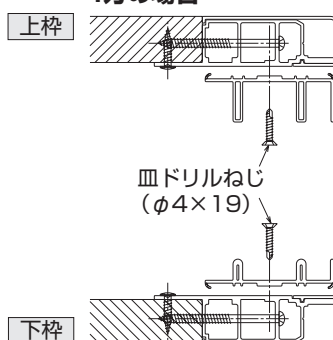
<ふかし枠70>



3方の場合



4方の場合



■FIX窓の場合

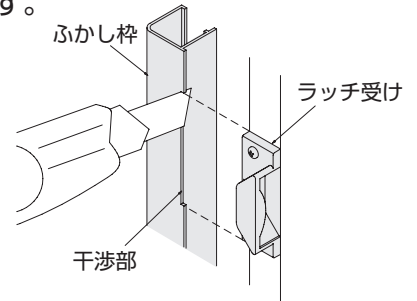
ふかし枠に枠取付用ねじをねじ止めする箇所に下穴加工が必要となります。

枠の取付穴に合わせてふかし枠にφ3の下穴をあけてから、本体に同梱されている枠取付用ねじで枠をねじ止めしてください。

ふかし枠を使用する場合

■内開き窓の場合

ふかし枠に枠取付用ねじをねじ止めする箇所に下穴加工が必要となります。枠の取付穴に合わせてふかし枠にφ3の下穴をあけてから、本体と同梱されている枠取付用ねじで枠をねじ止めしてください。ふかし枠を使用する場合は、ラッチ受けと戸先側ふかし枠突起部が干渉します。ふかし枠突起部にカッターで切込みを入れ、干渉部を削り取ってください。



■開き窓テラスの場合

枠取付用ねじがねじ止めする箇所によって変わります。

木額縁に対してねじ止めする場合 : 木ねじ(開き窓テラスに同梱)

アルミ部材に対してねじ止めする場合 : ドリルねじ(開き窓テラスに同梱)

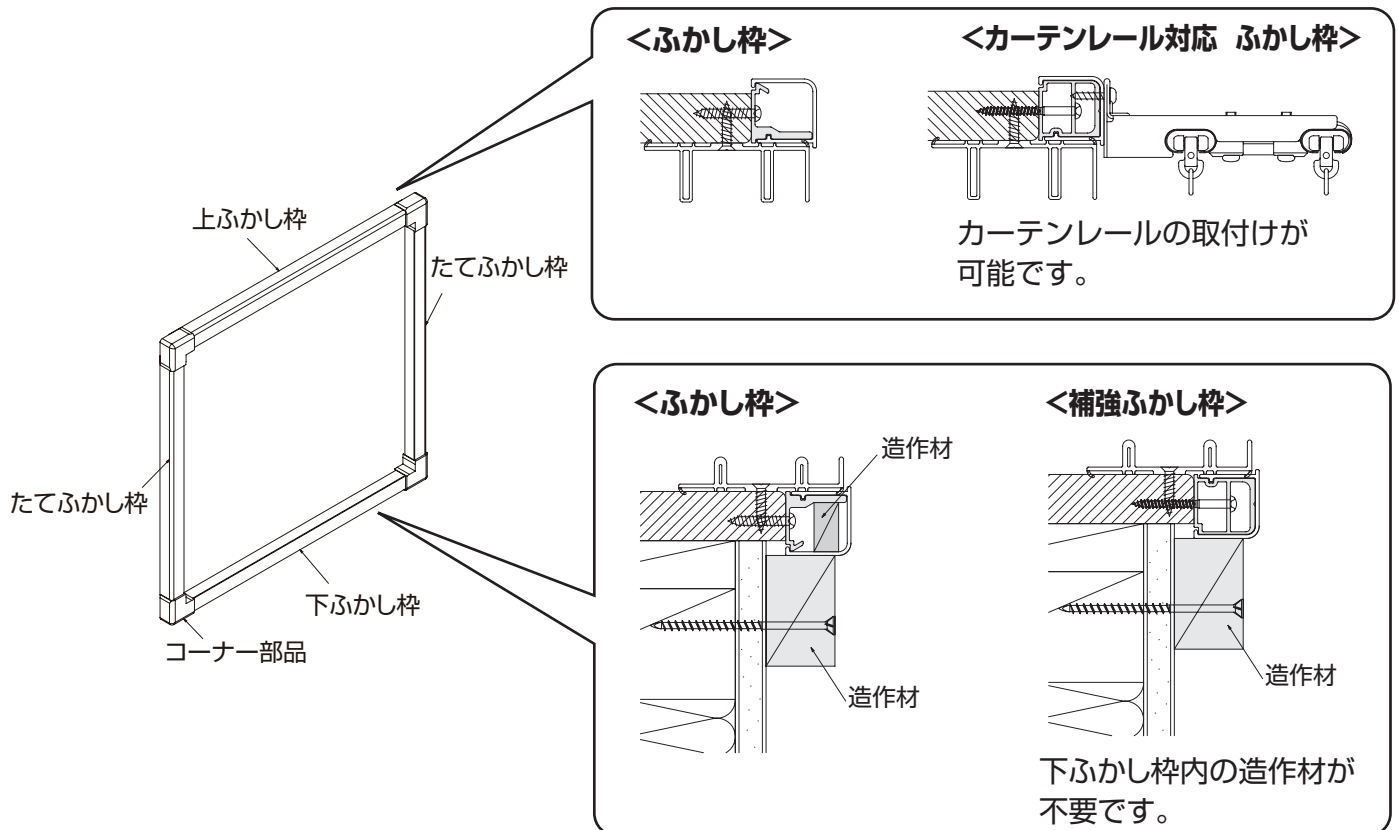
詳しくは、開き窓テラスP.75~83を参照してください。

ポイント

FIX窓、内開き窓の場合、オプションの方立・無目用ドリルねじを使用すると下穴は不要です。(オプション品P.15参照)

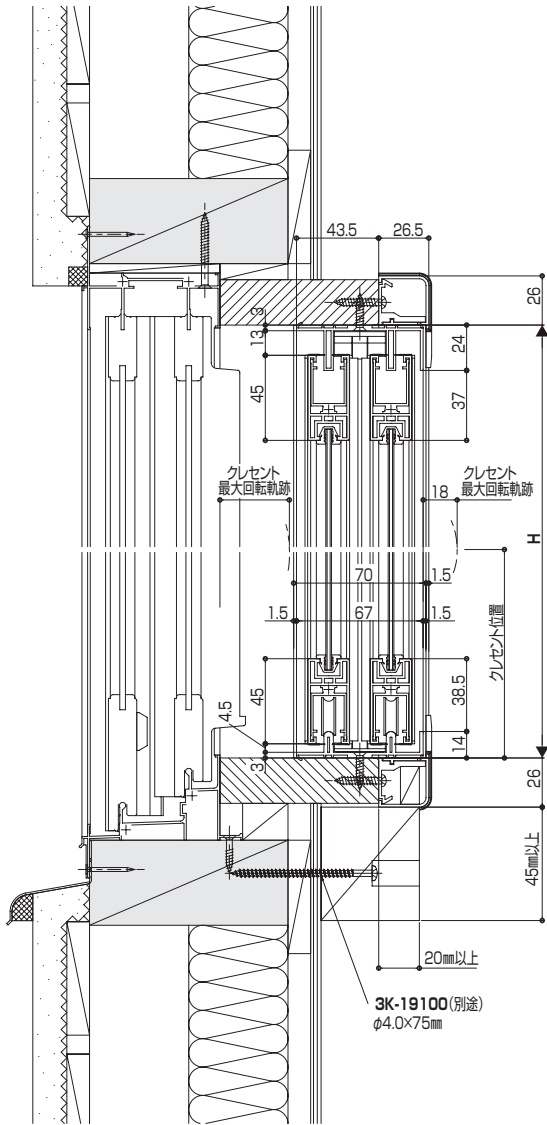
※FIX窓用は、引違い窓用の皿ドリルねじを手配してください。障子吊込み後は、ねじ頭は見えなくなりますので、ねじ色は何色でも構いません。

商品構成図

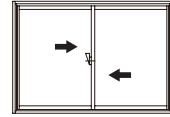


標準納まり図

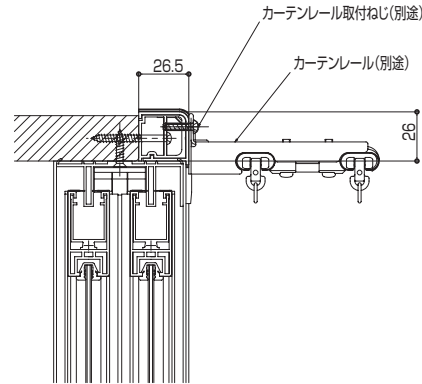
- 引違い窓 窓タイプ 単板ガラス
- 大壁納まり ふかし枠25取付時



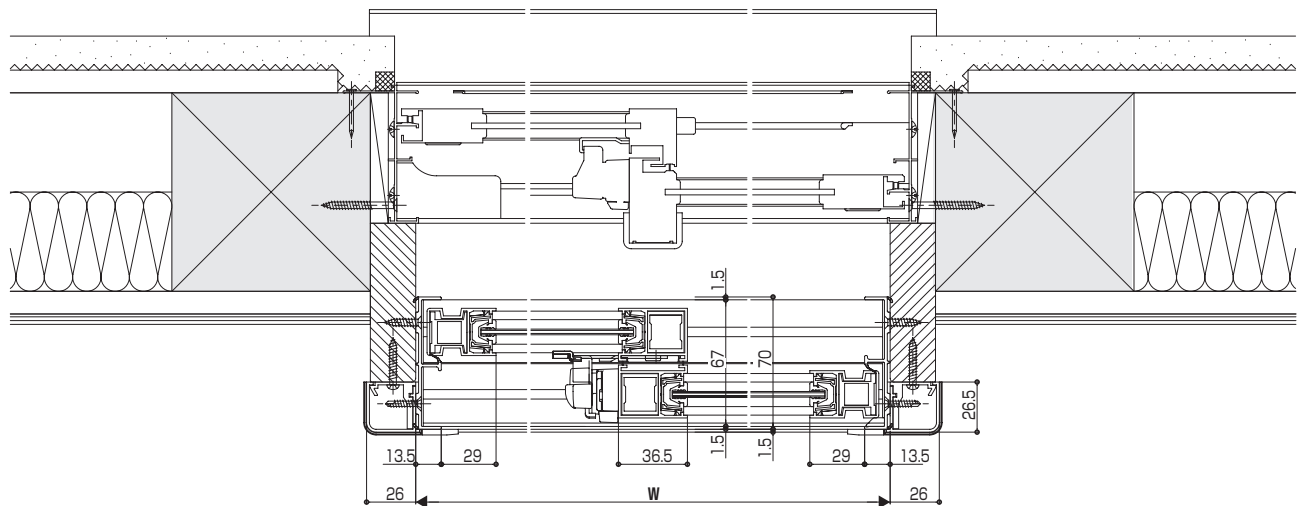
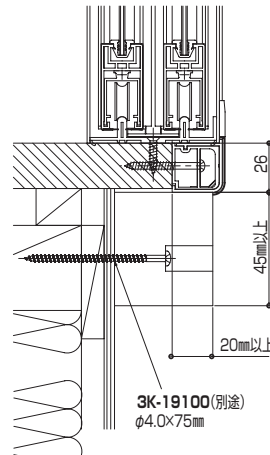
内観姿図



- カーテンレール対応ふかし枠25取付時

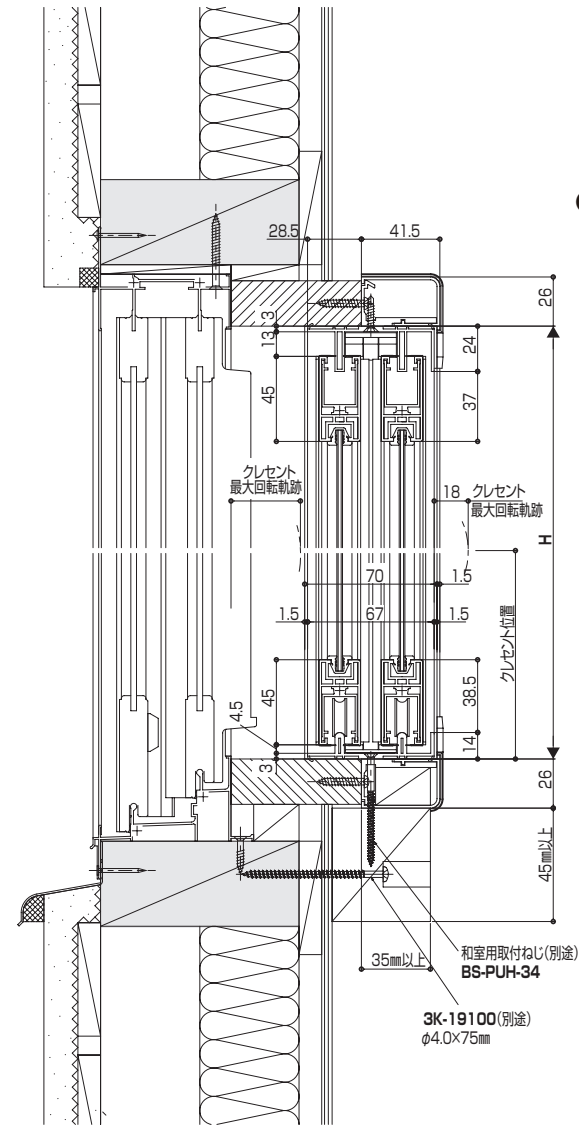


- 補強ふかし枠25取付時

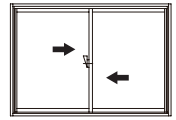


標準納まり図

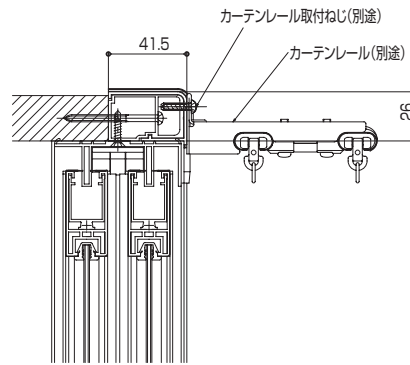
■引違い窓 窓タイプ 単板ガラス
●大壁納まり ふかし枠40取付時



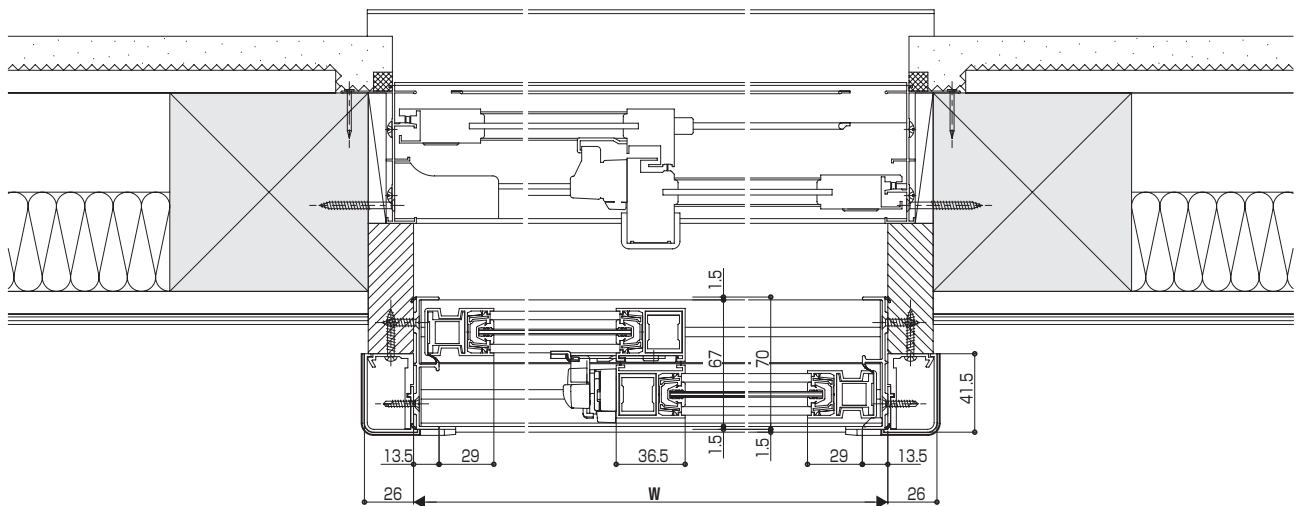
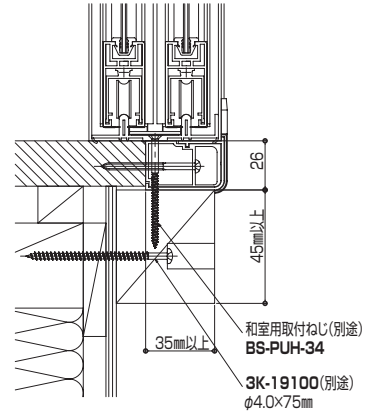
内観姿図



●カーテンレール対応ふかし枠40取付時



●補強ふかし枠40取付時



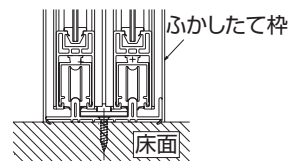
同梱一覧

姿 図					※1	※1	※2
品 名	コーナー部品		丸木ねじ (φ3.5×25)	皿ドリルねじ (φ4×19)	丸木ねじ (φ3.5×40)	丸木ねじ (φ3.8×50)	小トラスタッピンねじ (φ4×12)
品 番	K-39811	2K-30869	WR-3525	4K-14920	WR-3540	WR-3850	EM-4012
備 考	ふかし枠組立用 25用 40用		ふかし枠 補強材取付用	本体枠取付用	カーテンレール対応ふかし枠または補強ふかし枠補強材取付用 カーテンレール対応補強ふかし枠補強材取付用 25用 40用		カーテンレール ブラケット取付用

※1：カーテンレール対応ふかし枠または補強ふかし枠の場合にのみ同梱
 ※2：カーテンレール対応の場合にのみ同梱

施工

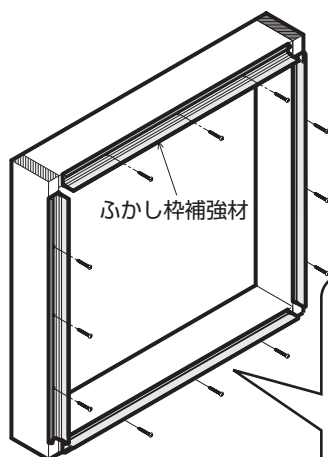
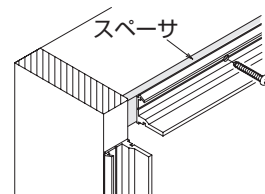
- 施工手順は、四方枠で説明しています。三方枠はふかし下枠がなくふかしたて枠は床面に納まります。
- 説明図は、ふかし枠25で示しています。ふかし枠40も同様に取付けてください。



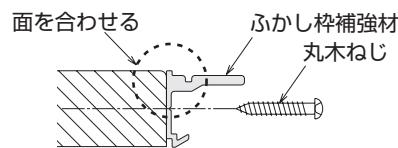
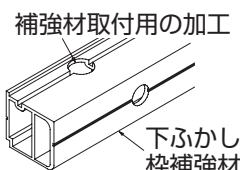
1. ふかし枠補強材の取付

ポイント

- 額縁の面違いを確認して取付けてください。段差のある場合はスペーサを入れてください。
- ふかし枠開口部に両面テープ（別途手配）で仮止めすると、位置決め、ねじ固定がしやすくなります。



「補強ふかし枠 補強部品-補強角パイプまたはブラケット」の場合、補強材取付用の加工がある下ふかし枠補強材を下部に取付けてください。



お願い

上下・左右のチリが均等になるように取付けてください。

仕様により上部と下部に取付くふかし枠補強材の形状が異なります。ふかし枠補強材の形状を確認し、取付けてください。

① ふかし枠

上部 丸木ねじ (φ3.5×25)

下部 丸木ねじ (φ3.5×25)

② 補強ふかし枠

上部 丸木ねじ (φ3.5×25)

下部 丸木ねじ (ふかし枠25：φ3.5×40) (ふかし枠40：φ3.5×50)

③ カーテンレール対応ふかし枠

上部 丸木ねじ (ふかし枠25：φ3.5×40) (ふかし枠40：φ3.5×50)

下部 丸木ねじ (φ3.5×25)

④ カーテンレール対応補強ふかし枠

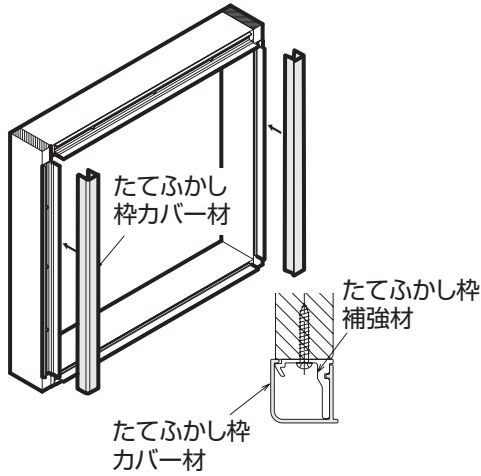
上部 丸木ねじ (ふかし枠25：φ3.5×40) (ふかし枠40：φ3.5×50)

下部 丸木ねじ (ふかし枠25：φ3.5×40) (ふかし枠40：φ3.5×50)

施工

2. ふかし枠カバー材の取付

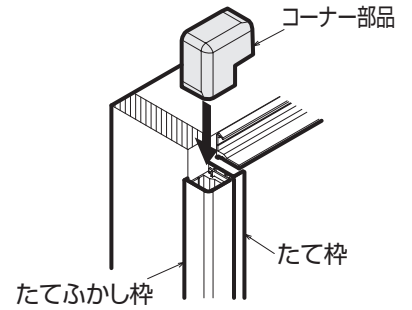
① たてふかし枠カバー材を取付けてください。



お願い

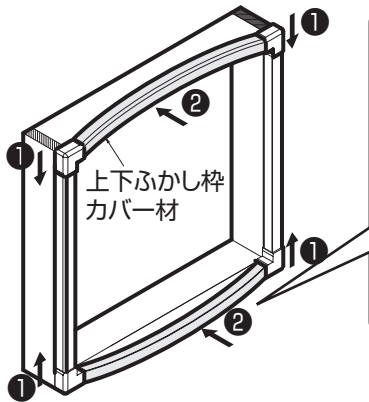
ふかし枠カバー材の上下・左右の端部チリが均等でない場合、コーナー部品がはずれやすくなる可能性があります。上下・左右の端部チリが均等になるようにふかし枠カバーを取付けてください。

② 両端にコーナー部品を取付けてください。

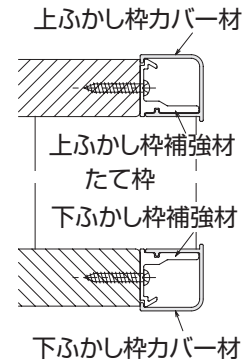
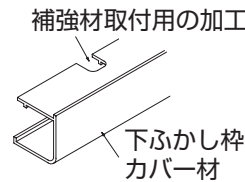


③ 上下ふかし枠カバー材を取付けてください。

端部から「パチン」と音がするまで押し込み、最後に中央部を押し込んでください。



「補強ふかし枠 補強部品-補強角パイプまたはブラケット」の場合、補強材取付用の加工がある下ふかし枠カバー材を下部に取付けてください。



お願い

取付時に出た切粉等は、掃除機等で十分に除去してください。

3. ふかし枠の補強

ふかし枠を補強してください。

ふかし枠の補強については、**補強部品(補強角パイプ仕様)での補強**P.120~125、**補強部品(ブラケット仕様)での補強**P.126~133、**補強部品(束仕様)での補強**P.134~140(ふかし枠40のみ対応)、**造作材での補強**P.141、142を各々参照してください。

注意

障子脱落のおそれがあるため、**施工前の確認事項**P.13を確認し、ふかし枠25→額縁の状態に応じて補強してください。
ふかし枠40→必ず補強を実施してください。

4. プラマードU本体の取付

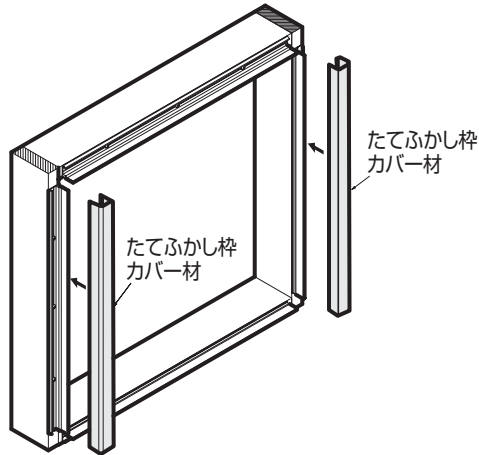
以降のプラマードU本体の取付けについては、**引違い窓**P.19~58、**FIX窓**P.59~64、**内開き窓**P.65~74、**開き窓テラス**P.75~83を各々参照してください。各窓種ごとの取付ねじは、P.104を参照してください。

W=1000以下の場合、ふかし枠をたわませにくいので、次ページの**W=1000以下の場合**を参照してください。

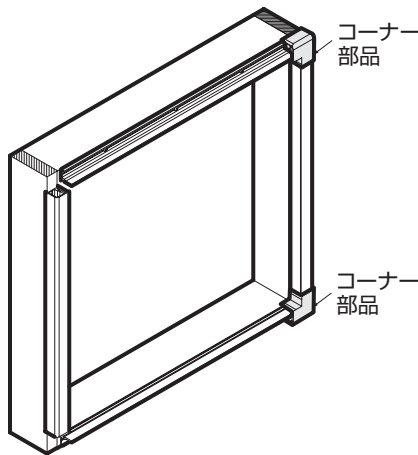
施工

W=1000以下の場合

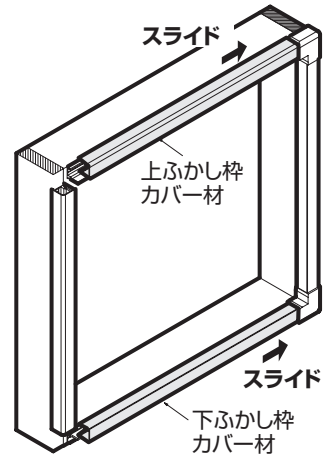
- ① たてふかし枠カバー材を補強材にはめ込んでください。



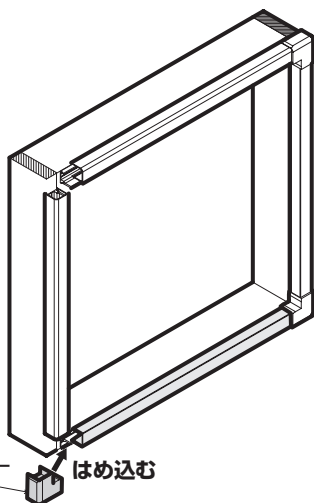
- ② 片側のみコーナー部品を取付けてください。



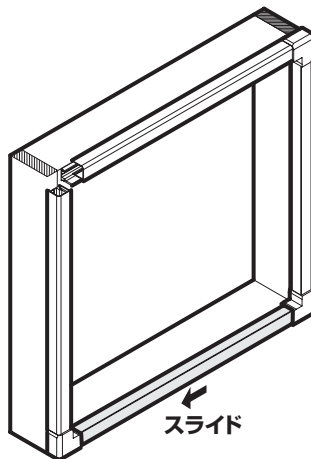
- ③ 上下ふかし枠カバー材を取付け、コーナー部品側にスライドさせてください。



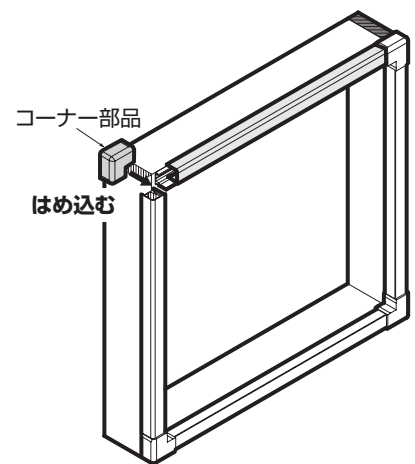
- ④ 下部コーナー部品を取付けてください。



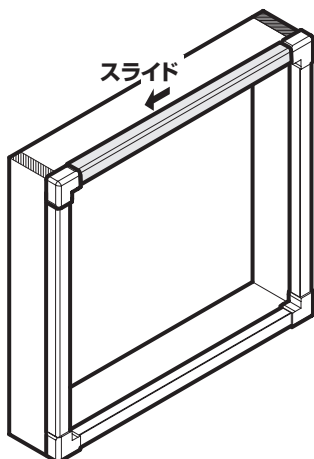
- ⑤ 下ふかし枠カバー材を逆方向にスライドさせて、コーナー部品と下ふかし枠カバー材のかけりが均等になるようにしてください。



- ⑥ 上部コーナー部品を取付けてください。

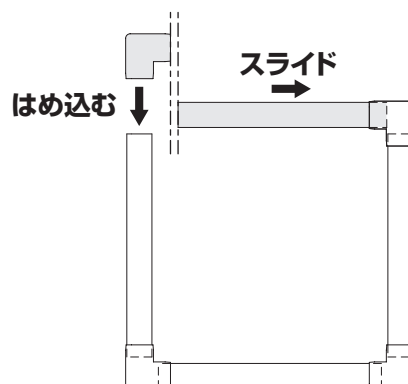


- ⑦ 上ふかし枠カバー材を逆方向にスライドさせて、コーナー部品と上ふかし枠カバー材のかけりが均等になるようにしてください。



ポイント

ふかし枠カバー材をスライドさせることにより、コーナー部品をはめ込むことができます。



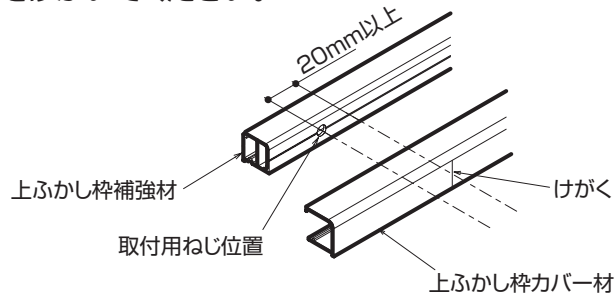
※コーナー部品をはめ込んだ後は、コーナー部品とふかし枠の左右のかけりが均等になるようにふかし枠カバー材を逆方向にスライドさせないとコーナー部品がはずれやすくなる可能性があります。

施工

カーテンレール対応の場合

1.加工

上ふかし枠カバー材にブラケット
取付位置をけがいてください。



ポイント

上ふかし枠補強材取付用ねじ
位置を避けてください。

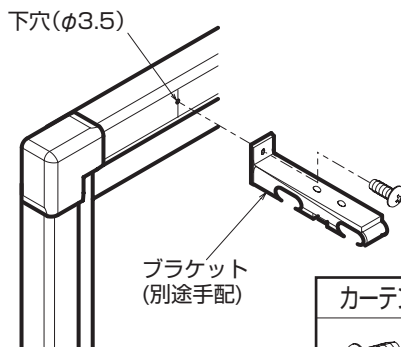
2.組立・取付

1.ふかし枠補強材の取付

2.ふかし枠カバー材の取付を参照し、ふかし枠を取付けてください。

3.カーテンレールの取付

①1でけがいた位置に下穴(φ3.5)をあけ、
ブラケット(別途手配)を取付けてください。

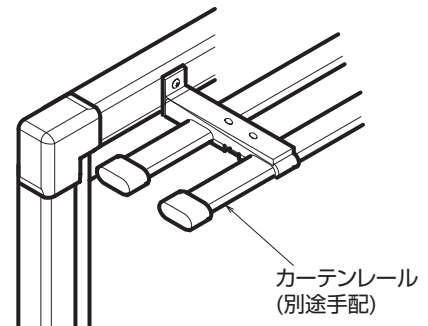


カーテンレールブラケット取付用

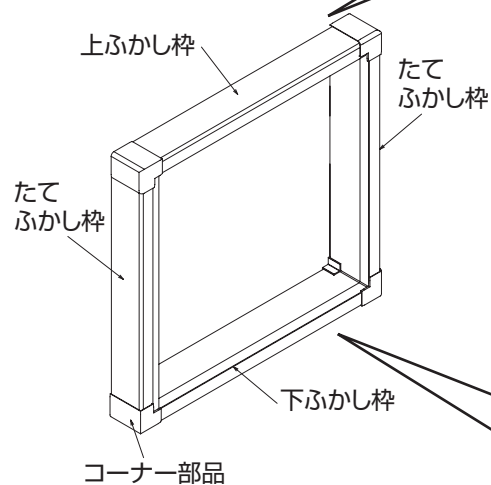


小トラスタッピンねじ
(φ4×12)

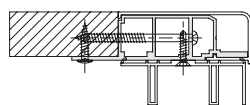
②カーテンレール(別途手配)を取付けて
ください。



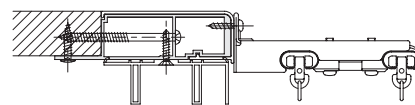
商品構成図



<ふかし枠>

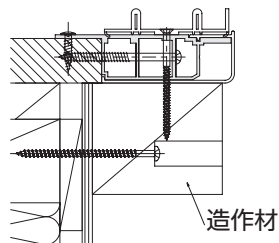


<カーテンレール対応 ふかし枠>

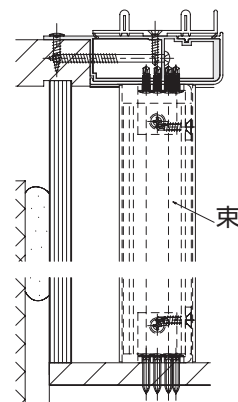


カーテンレールの取付けが可能です。

<ふかし枠>



<補強ふかし枠+補強部品束>

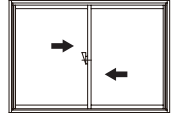


補強部品(束仕様)で補強する場合は、補強ふかし枠70を使用します。

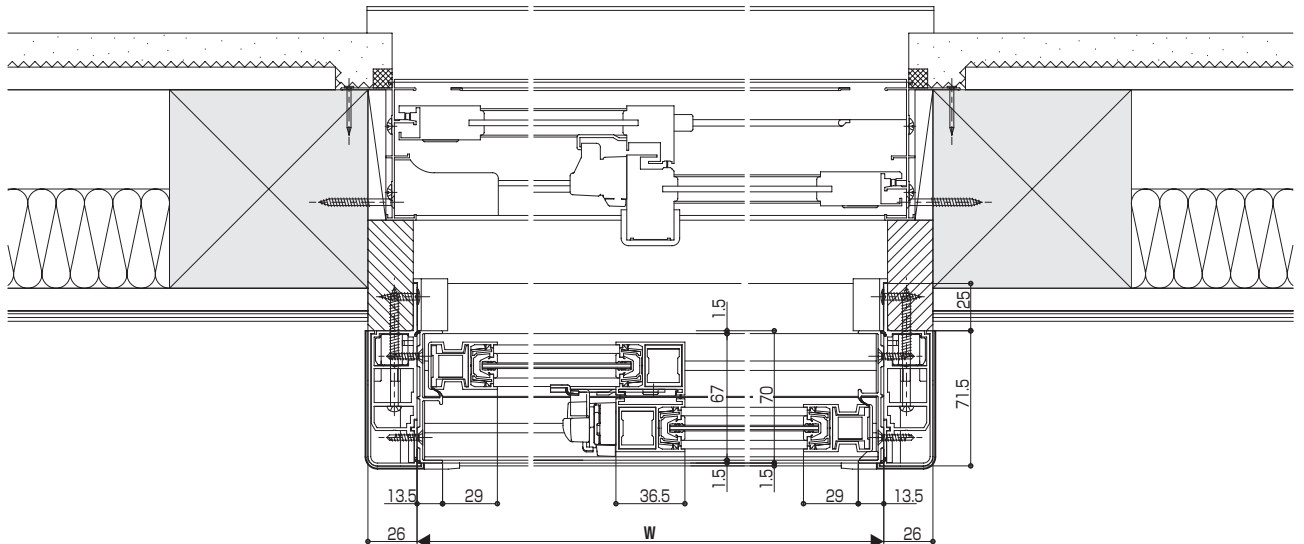
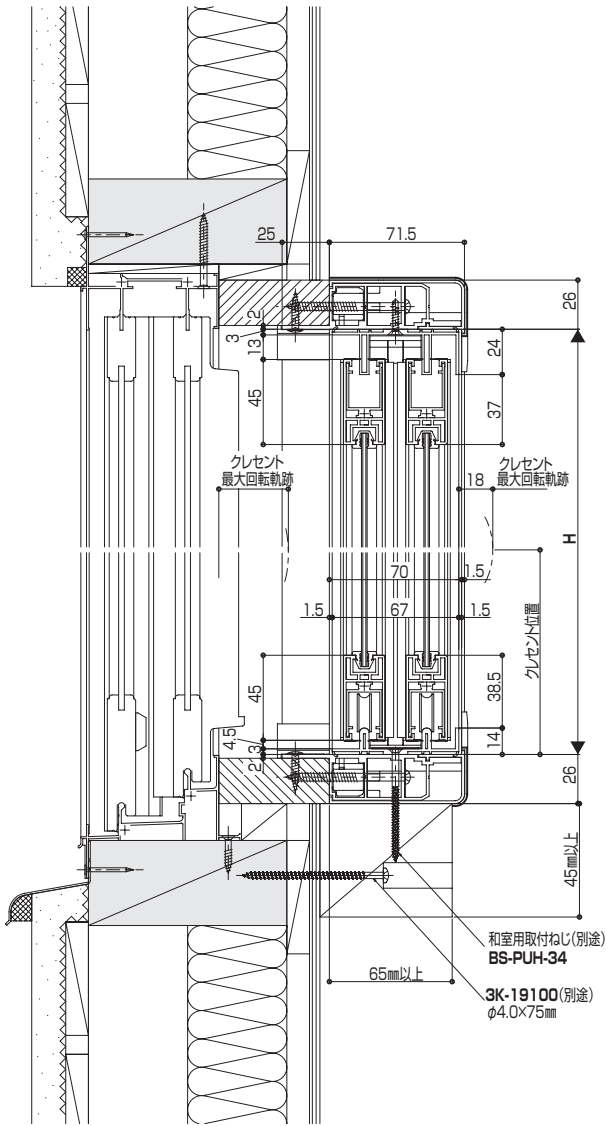
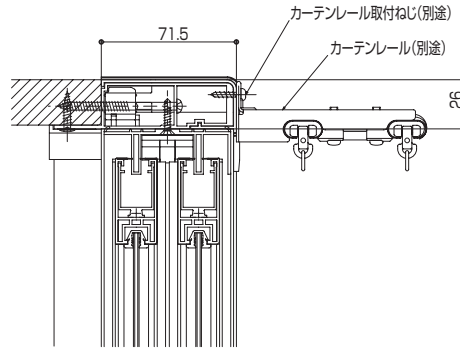
標準納まり図

■引違い窓 窓タイプ 単板ガラス
●大壁納まり ふかし枠70取付時

内観姿図



●カーテンレール対応ふかし枠70取付時



114 ふかし枠 70、補強ふかし枠 70

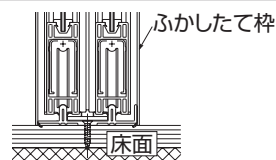
同梱一覧

姿図							※1
品名	コーナブロック	コーナカバー	すき間隠しカバー	薄バインド木ねじ (φ3.8×20)	丸木ねじ (φ4.8×63)	皿ドリルねじ (φ4×19)	小トラスタッピンねじ (φ4×12)
品番	2K-34040	2K-34043	2K-34045	WS-3820	WR-4863	4K-14920	EM-4012
3方	2	2	2	6~30	6~18	10~54	2~11
4方	4	4	4	8~46	8~32	12~68	2~11
備考				ふかし枠補強材 取付用	ふかし枠補強材 取付用	本体枠取付用	カーテンレール ブラケット取付用

※1：カーテンレール対応の場合にのみ同梱

施工

施工手順は、四方枠で説明しています。
三方枠はふかし下枠がなくふかしたて枠は床面に納まります。

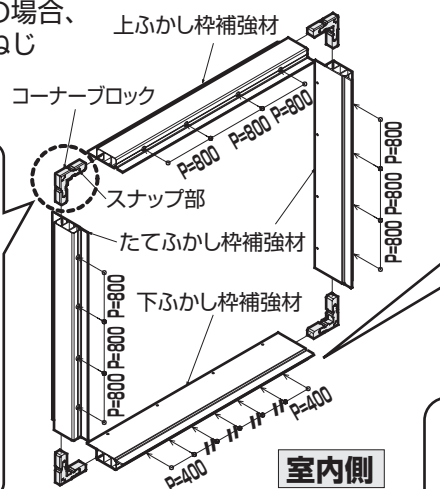
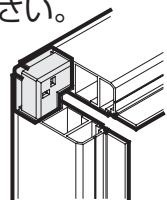


1. ふかし枠補強材の取付

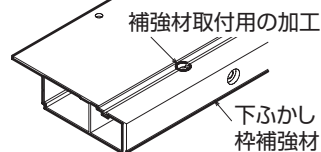
① ふかし枠補強材をコーナブロックで連結し組立ててください。

※カーテンレール対応の場合、
上ふかし枠補強材のねじ
ピッチはP=400に
なります。

ふかし枠補強材は
コーナブロックの
根元まで差込んで
ください。



「補強ふかし枠 補強部品-補強角パイプ
またはブラケット」の場合、補強材取付用の
加工がある下ふかし枠補強材を
下部に取付けて
ください。



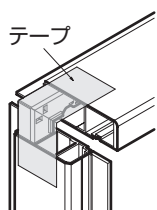
ポイント

- コーナブロックのスナップ部のある方が室内側になります。
- 見付け方向のねじピッチP=400が下枠になります。

お願い

カーテンレール対応ふかし枠や補強ふかし枠の場合、ふかし枠コーナー部をテープ（現地調達）で仮固定してください。木額縁への位置決め、ねじの固定がしやすくなります。

ふかし枠固定後、テープは剥がしてください。



下部も同様です。

<ふかし枠補強材>



ふかし枠(70)



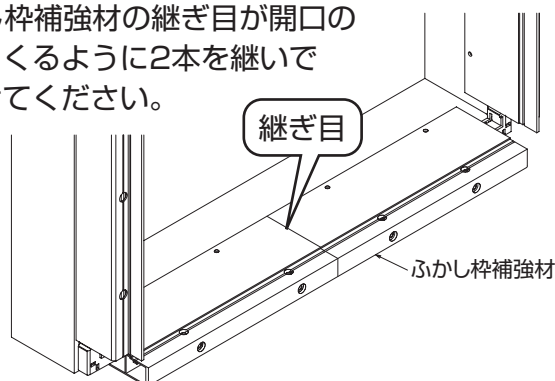
カーテンレール対応ふかし枠



補強ふかし枠

W>4000の場合

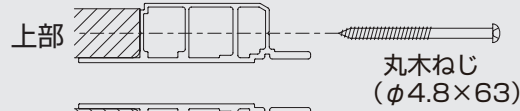
- 上下ふかし枠補強材が2本ずつ同梱されています。
- ふかし枠補強材の継ぎ目が開口の中心にくるように2本を継いで取付けてください。



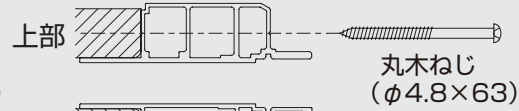
施工

仕様により上部と下部に取付くふかし枠補強材の形状が異なります。
ふかし枠補強材の形状を確認し、取付けてください。

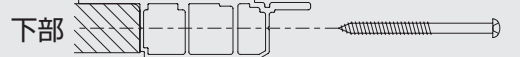
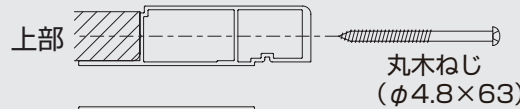
①ふかし枠



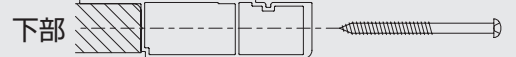
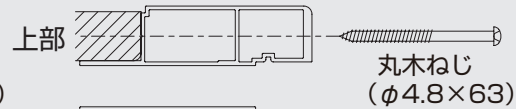
②補強ふかし枠



③カーテンレール対応ふかし枠

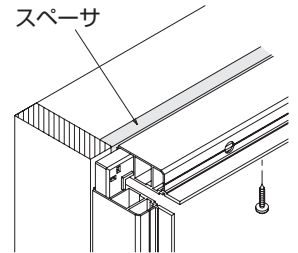


④カーテンレール対応補強ふかし枠

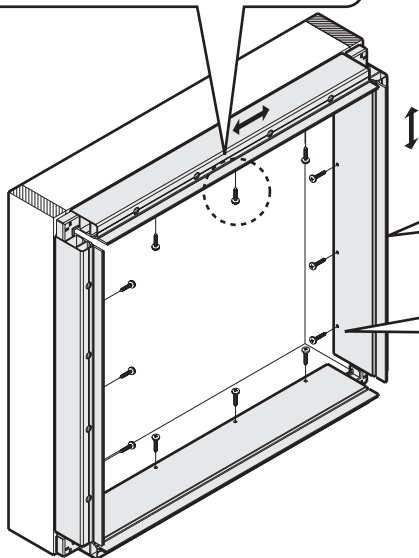


ポイント

- 額縁の面違いを確認して取付けてください。
段差のある場合はスペーサを入れてください。
- ふかし枠開口部に両面テープ(別途手配)で仮止めすると、位置決め、ねじで固定がしやすくなります。

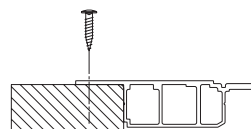


②ふかし枠補強材を仮固定してください。



③躯体に合わせてふかし枠補強材の位置決めをしてください。

④残りの薄バインド木ねじを打ち込んでください。

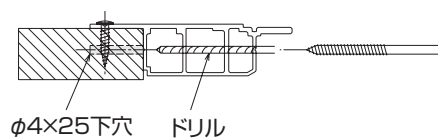


ふかし枠補強材取付用

薄バインド木ねじ
($\phi 3.8 \times 20$)

- ⑤木額縁に $\phi 4$ 、深さ25mm程度の下穴をあけてください。
- ⑥丸木ねじで木額縁に固定してください。

室内側



お願い

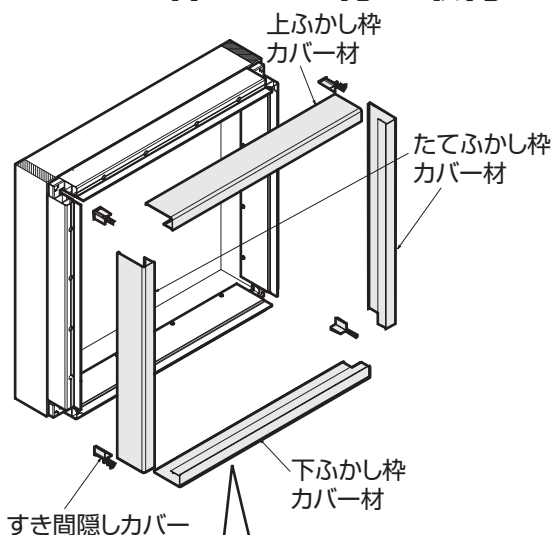
木額縁が割れる可能性があるため、
下穴 $\phi 4$ 、深さ25mm程度の下穴を
必ずあけてください。

ふかし枠補強材取付用

丸木ねじ
($\phi 4.8 \times 63$)

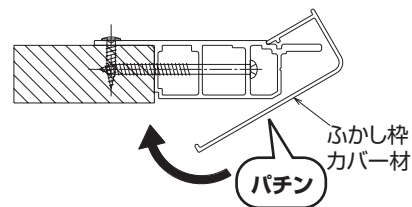
施工

2.ふかし枠カバー材の取付

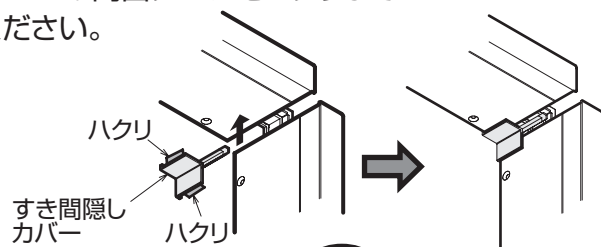


①ふかし枠カバー材の取付

ふかし枠補強材のクリップにかみ合わせ『パチン』と音がするまで押込んでください。



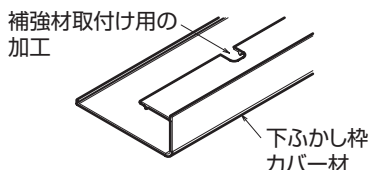
②すき間隠しカバーの両面テープをハクリして仮固定してください。



ポイント

ふかし枠補強材の粘着面にゴミが付着していないことを確認し、しっかりと圧着してください。

「補強ふかし枠 補強部品-補強角パイプまたはブラケット」の場合、補強材取付用の加工がある下ふかし枠カバー材を下部に取付けてください。



3.ふかし枠の補強

ふかし枠を補強してください。

ふかし枠の補強については、**補強部品(補強角パイプ仕様)での補強P.120~125、補強部品(ブラケット仕様)での補強P.126~133、補強部品(束仕様)での補強P.134~140**(ふかし枠40のみ対応)、**造作材での補強P.141、142**を各々参照してください。

注意

障子脱落のおそれがあるため、必ず補強を実施してください。

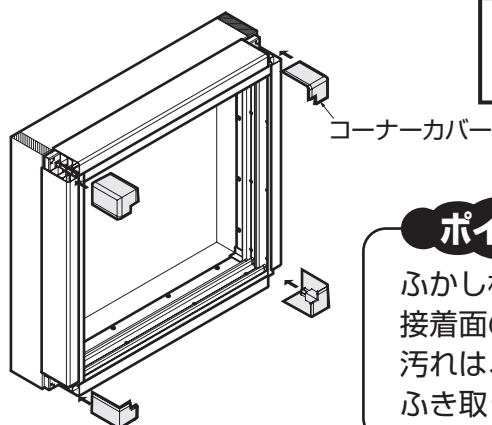
4.プラマードU本体の取付

以降のプラマードU本体の取付けについては、**引違い窓P.19~58、FIX窓P.59~64、内開き窓P.65~74、開き窓テラスP.75~83**を各々参照してください。
各窓種ごとの取付ねじは、P.104を参照してください。

5.コーナーカバーの取付

お願い

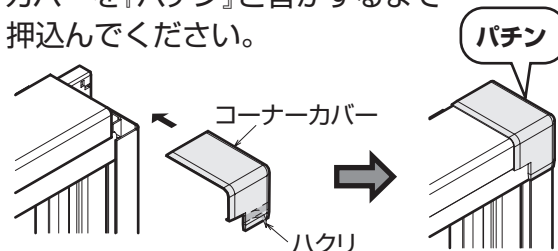
プラマードU枠取付時に、アルミ切粉が発生します。
コーナーカバー取付前にアルミ切粉を吸い取ってください。



ポイント

ふかし枠の両面テープと接着面の油・ゴミなどの汚れは、きれいにふき取ってください。

両面テープをハクリし、コーナーカバーを『パチン』と音がするまで押込んでください。



施工

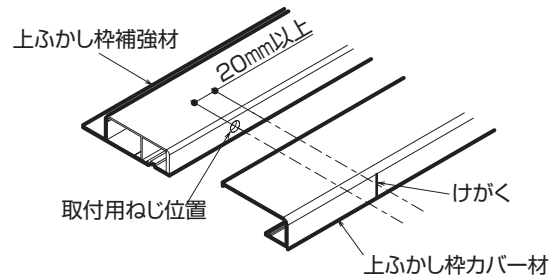
カーテンレール対応の場合

1.前加工

上ふかし枠カバー材にブラケット取付位置を
けがいてください。

ポイント

上ふかし枠補強材取付用ねじ位置を
避けてください。

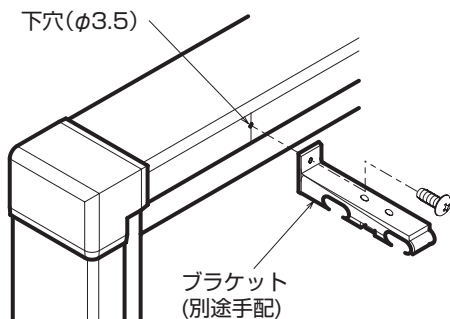


2.組立・取付

1.ふかし枠補強材の組立・取付 ~ 4.コーナーカバーの取付 を参照し、
ふかし枠を取付けてください。

3.カーテンレールの取付

① 1.でけがいた位置に下穴(φ3.5)をあけ、
ブラケット(別途手配)を取付けてください。

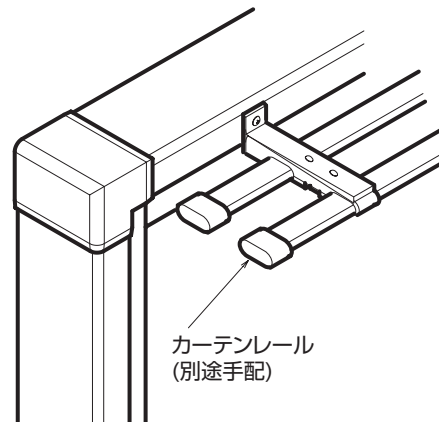


カーテンレールブラケット取付用



小トラスタッピングねじ
(φ4×12)

②カーテンレール(別途手配)を
取付けてください。



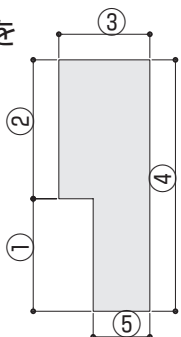
またぎ段差(ふかし柵 70)の場合

またぎ段差(ふかし柵70)は、すき間埋めが必要です。
ふかし柵70施工後、下記施工例を参考にすき間埋めを行ってください。

注意

左右のすき間形状が異なる場合があります。
必ず左右のすき間形状を採寸してください。

- ①左右のすき間の形状を採寸してください。(①~⑤)



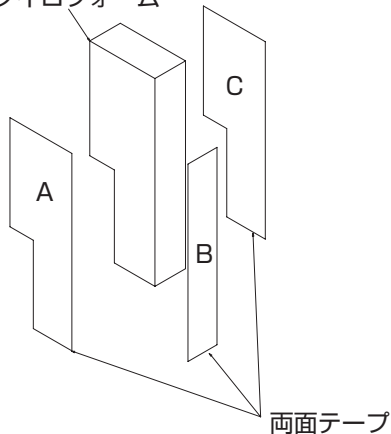
- ②寸法に合わせてスタイロフォーム、調整材を切ってください。

ポイント

スタイロフォームは、すき間形状よりも若干小さめに切るとすき間に入れやすくなります。

- ③スタイロフォームに両面テープを貼ってください。(3面)

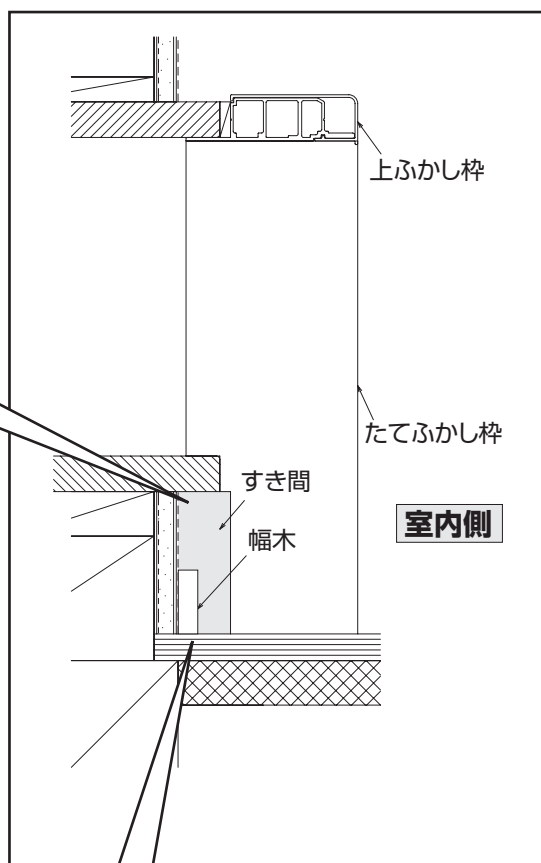
スタイロフォーム



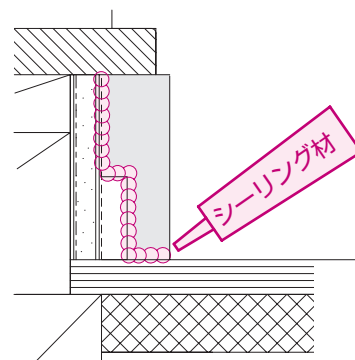
- ④A、C面に調整材を貼ってください。
⑤B面のハクリ紙をはがし、静かにすき間部分にカット品を入れ、ふかし柵に押し当て接合してください。

<用意していただくもの>

- スタイロフォーム (厚さ:20mm)…現地調達
- 調整材 (厚さ:1mm)…オプション品(P.15参照)
- シーリング材…オプション品(P.15参照)
- メンテチューブ…オプション品(P.15参照)
- 両面テープ…現地調達



- ⑥壁面(幅木)と床面のすき間をシーリング材やメンテチューブでふさいでください。

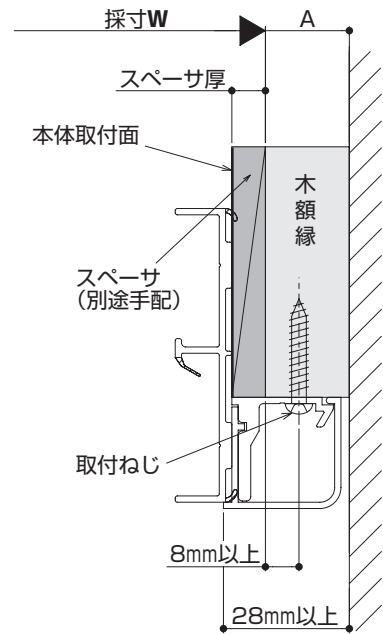


その他の施工については、ふかし柵(補強ふかし柵)70、P.114~P.116を参照ください。

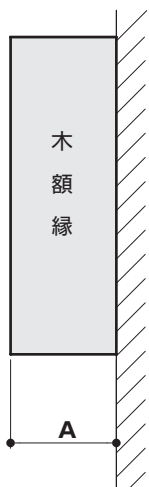
入隅部に取り付ける場合

注意

- 入隅部にふかし枠25、40を取付ける場合は、本体取付面から壁面まで28mm以上必要です。入隅部にふかし枠70を取付ける場合は、本体取付面から壁面まで26mm以上必要です。寸法が足りない場合は、スペーサ(別途手配)を入れて本体取付面を調整してください。調整しないと、ふかし枠のカバー材が壁面と干渉して取付けできないおそれがあります。
- 発注時、スペーサ厚を考慮してください。
(発注W寸法=採寸W寸法-スペーサ厚)
- 片側のみにスペーサを入れた場合、外窓の召合せ部と位置ずれします。
位置ずれを回避する場合は、
 - ・ 左右均等にスペーサを入れる
(発注W寸法=採寸W寸法-スペーサ厚×2)
 - ・ 内窓に偏芯タイプを採用する
(発注W寸法=採寸W寸法-スペーサ厚)
 のどちらかで回避してください。



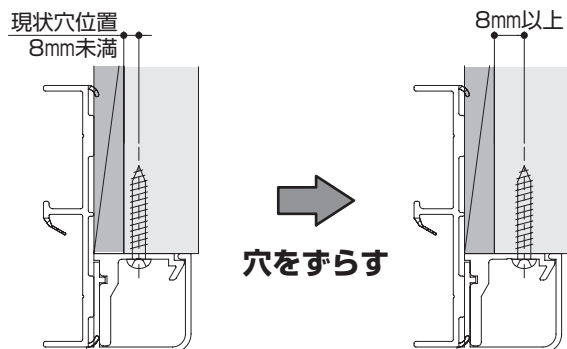
A寸法(木額縁見付寸法)を測定してください。



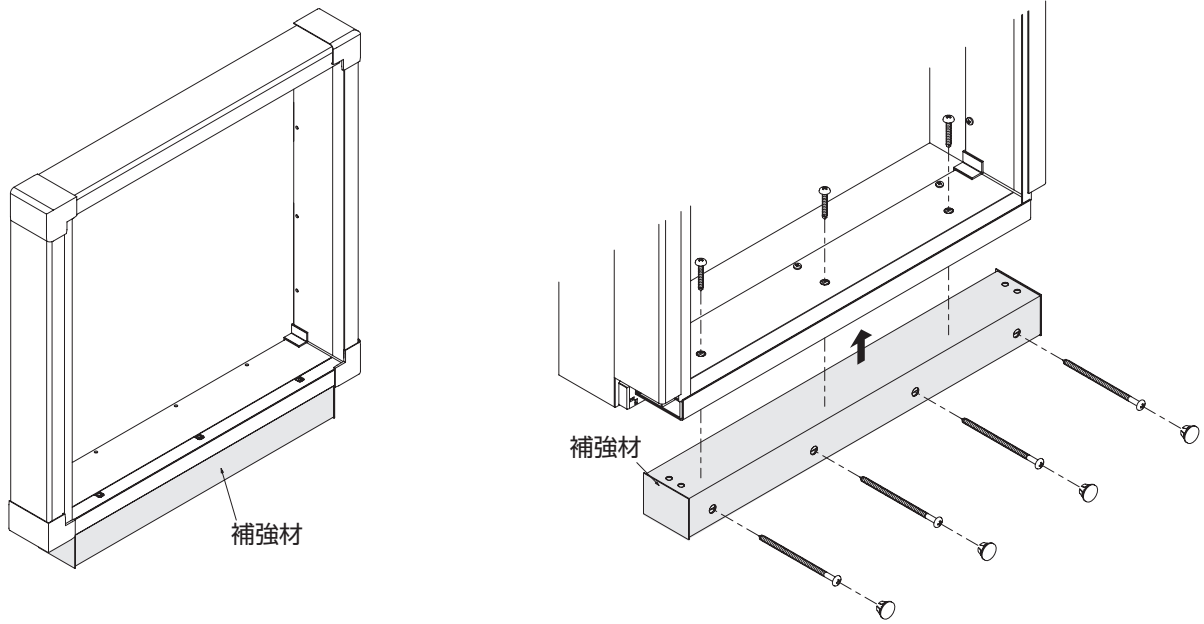
	ふかし枠25、40	ふかし枠70	取付方法
A寸法	$28 \leq A$	$26 \leq A$	そのまま取付け可能です。
	$24 \leq A < 28$	$24 \leq A < 26$	スペーサが必要です。
	$20 \leq A < 24$	$20 \leq A < 24$	スペーサが必要です。 ふかし枠補強材(アルミ)の取付穴をずらす必要があります。

A寸法(木額縁見付寸法) $20 \leq A < 24$ の場合

ふかし枠補強材(アルミ)を取付けるねじ位置は、**木額縁端部より8mm以上離れるように取付けてください。**
8mm未満だと、木額縁が割れるおそれがあります。
8mm未満の場合、穴をずらす必要があるため、下穴加工してねじ止めしてください。



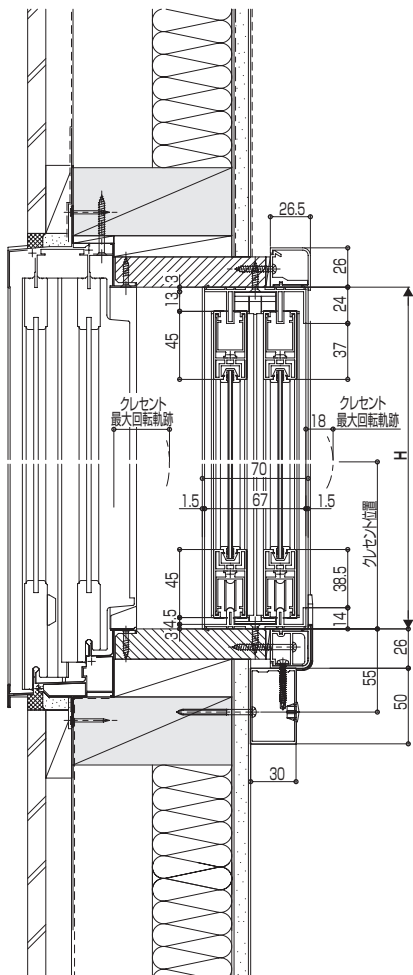
商品構成図



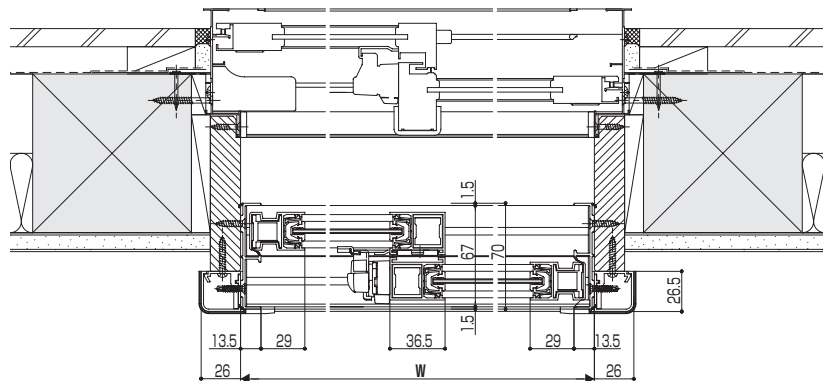
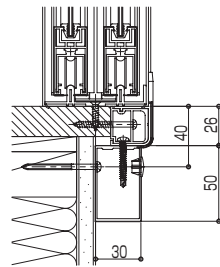
標準納まり図

■引違い窓 窓タイプ 単板ガラス

- 大壁納まり 補強ふかし枠25 補強材⑤
(ねじ位置55mm/額縁出幅: $5 \leq a \leq 17$)



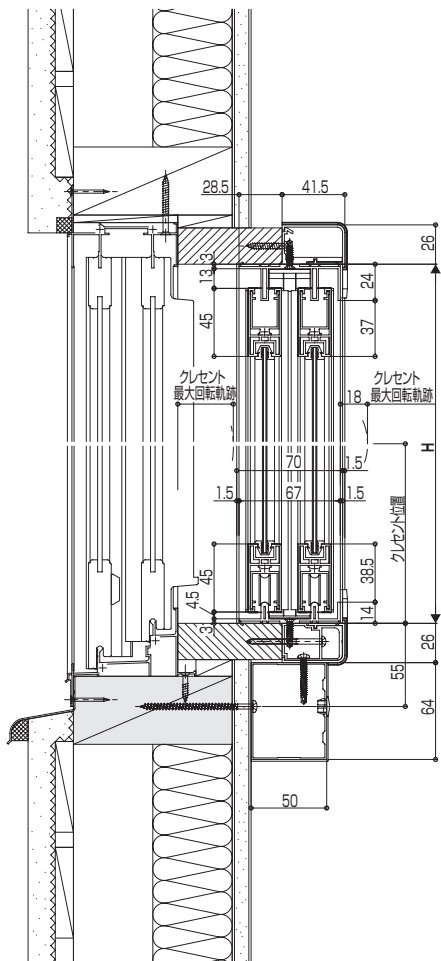
- 大壁納まり 補強ふかし枠25 補強材①
(ねじ位置40mm/額縁出幅: $5 \leq a \leq 17$)



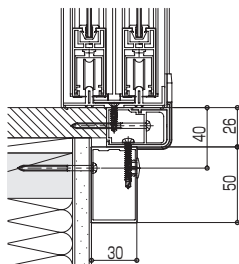
標準納まり図

■引違い窓 窓タイプ 単板ガラス

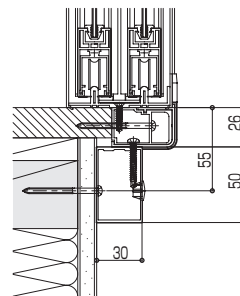
- 大壁納まり 補強ふかし枠40 補強材⑦
(ねじ位置55mm/額縁出幅: $10 \leq a \leq 23$)



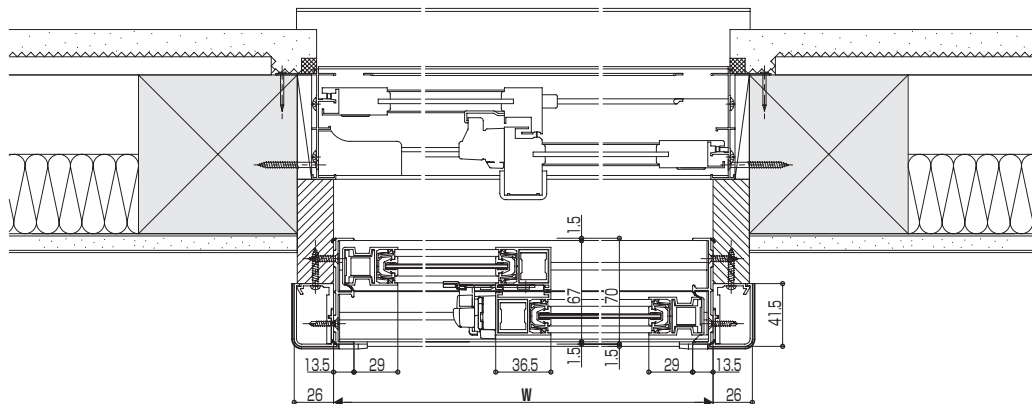
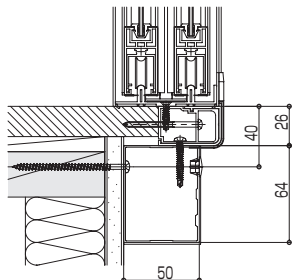
- 大壁納まり 補強ふかし枠40 補強材②
(ねじ位置40mm/額縁出幅: $0 \leq a < 10$)



- 大壁納まり 補強ふかし枠40 補強材⑥
(ねじ位置55mm/額縁出幅: $0 \leq a < 10$)



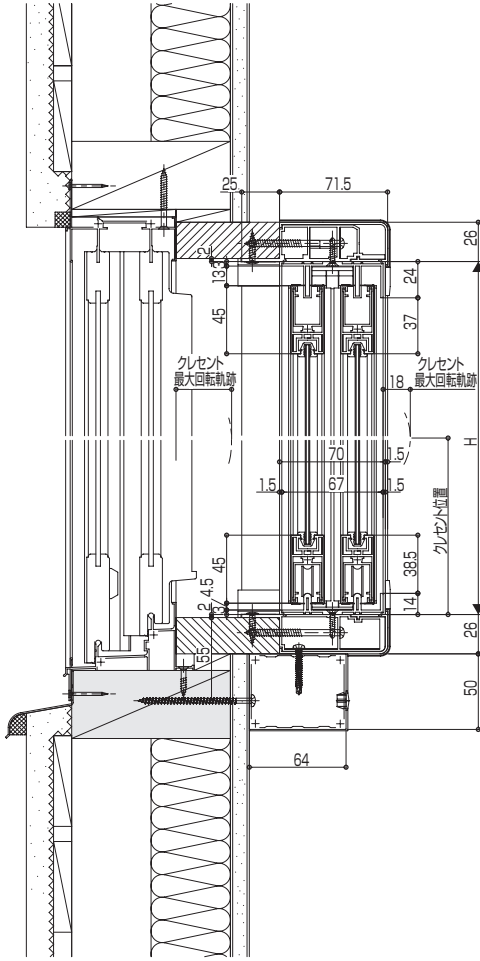
- 大壁納まり 補強ふかし枠40 補強材③
(ねじ位置40mm/額縁出幅: $10 \leq a \leq 23$)



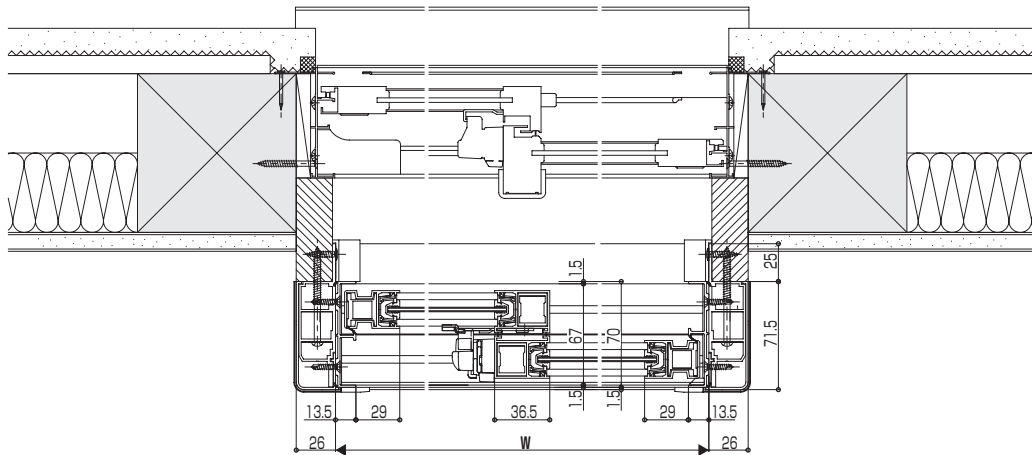
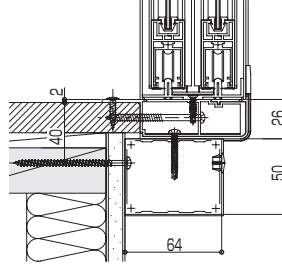
標準納まり図

■引違い窓 窓タイプ 単板ガラス

●大壁納まり 補強ふかし枠70 補強材⑧
(ねじ位置55mm/額縁出幅: $0 \leq a \leq 23$)



●大壁納まり 補強ふかし枠70 補強材④
(ねじ位置55mm/額縁出幅: $0 \leq a \leq 23$)



同梱一覧

番号	①	②	③	④
姿図		※1 	※2 	
品名	なべドリルねじ (φ4×30)	丸木ねじ (φ3.8×50)	なべコーススレッドねじ (φ4×75)	穴塞ぎキャップ
品番	K-13525	WR-3850	3K-19100	K-33675
備考	補強材取付用	補強材取付用		補強材用
		25用 40用(額縁出幅10未満)	40用(額縁出幅10以上) 70用	

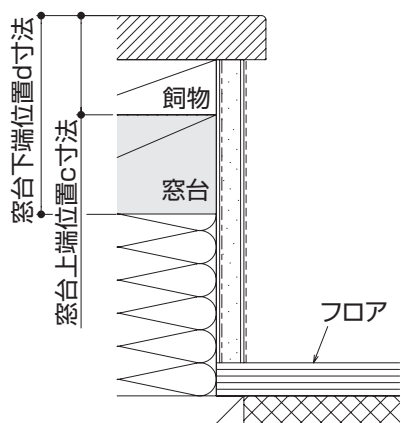
※1 補強ふかし枠25 補強材①、⑤
補強ふかし枠40(額縁出幅10未満)補強材②、⑥の場合のみ同梱
※2 補強ふかし枠40(額縁出幅10以上)補強材③、⑦
補強ふかし枠70 補強材④、⑧の場合のみ同梱

施工

本説明図は、補強ふかし枠70用の補強材で示しています。
その他の補強材も同様に取付けてください。

1. 下地の確認

窓台位置(c、d寸法)が、補強材を窓台に取付可能な条件を満たしているか、
＜窓台位置(c、d寸法)条件表＞より確認してください。
下地の有無は、下地探し針、下地センサ、建築図面等で確認してください。



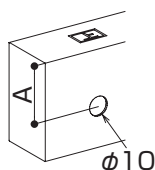
＜窓台位置(c、d寸法)条件表＞

補強部品種類	窓台上端位置c寸法	窓台下端位置d寸法
ねじ位置40mm用	$c \leq 30\text{mm}$	$d \geq 50\text{mm}$
ねじ位置55mm用	$30\text{mm} < c \leq 45\text{mm}$	$d \geq 65\text{mm}$

ポイント

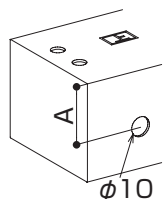
補強部品は、現調時に確認した窓台位置(c・d寸法)より、対応するねじ位置の種類が発注されています。
現場にて、補強部品がどの種類か分からない場合は、補強材の穴位置(図:A寸法)で補強部品の種類を判別できます。

- 補強ふかし枠25・40の場合
A=14mm ⇒ [ねじ位置40mm用]
A=29mm ⇒ [ねじ位置55mm用]



図は、補強ふかし枠25で使用される補強材で示しています。
その他の補強材でも、A寸法は同じです。

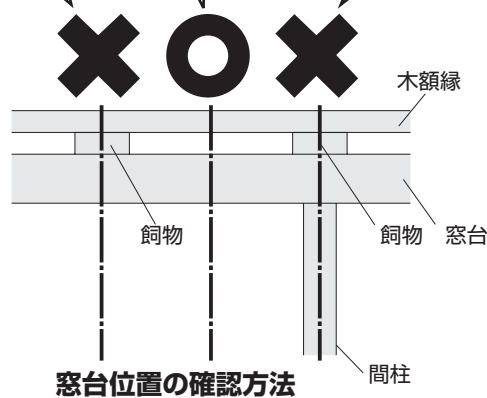
- 補強ふかし枠70の場合
A=16mm ⇒ [ねじ位置40mm用]
A=31mm ⇒ [ねじ位置55mm用]



注意

- 本商品は木造用のため、ALC鉄骨造・RC造等の躯体には取付けられません。
- 窓台位置を確認する際は、窓台を、飼物や間柱等と混合しないように、図のように飼物や間柱等の入っていない位置で確認してください。
- 窓台位置が確認できない場合や、窓台位置(c・d寸法)が、表の条件を満たさない場合は、補強材が窓台にしっかりと固定されず、**障子脱落**のおそれがありますので、本商品を使用しないでください。

窓台位置が確認できません 窓台位置が確認できます 窓台位置が確認できません



窓台位置の確認方法

施工

2.補強ふかし枠の取付

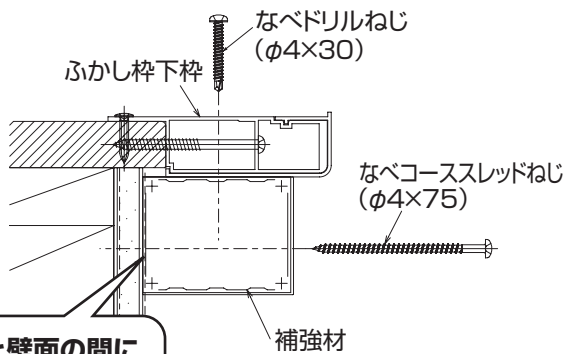
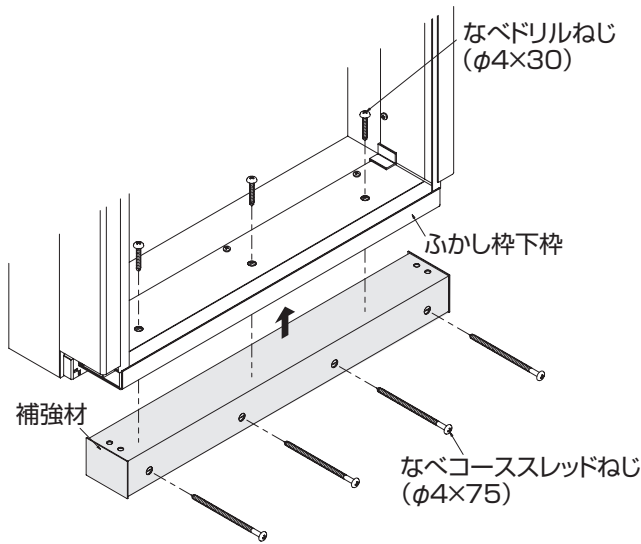
補強ふかし枠の取付けについては、
補強ふかし枠25・40P.108、補強ふかし枠70P.114を各々参照してください。

3.補強材の取付

- 1 補強材をふかし枠下枠の下部に取付けてください。
- 2 補強材を壁面に取付けてください。

ポイント

補強材を両面テープ(別途手配)で仮固定すると位置決め、ねじの固定がしやすくなります。

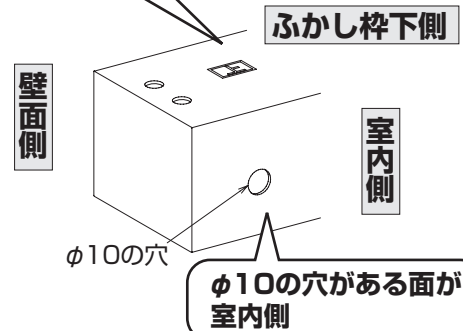


補強材と壁面の間にすき間が出来ないように密着

注意

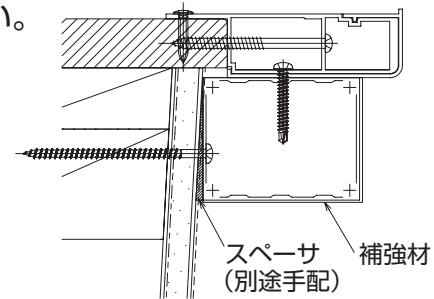
- 補強材とふかし枠下枠の左右のチリが均等になるように取付けてください。
- 補強材の向きを確認してください。

ラベルが貼ってある面がふかし枠下枠側



注意

補強材と壁面の間にすき間がないようにしてください。すき間がある場合は、スペーサ(別途手配)を入れて調整してください。



補強材取付用(ふかし枠側)



なべドリルねじ
(φ4×30)

補強材取付用(壁面側)
(ふかし枠25用、ふかし枠40(額縁出幅10未満)用)



丸木ねじ
(φ3.8×50)

補強材取付用(壁面側)
(ふかし枠40(額縁出幅10以上)用、ふかし枠70用)

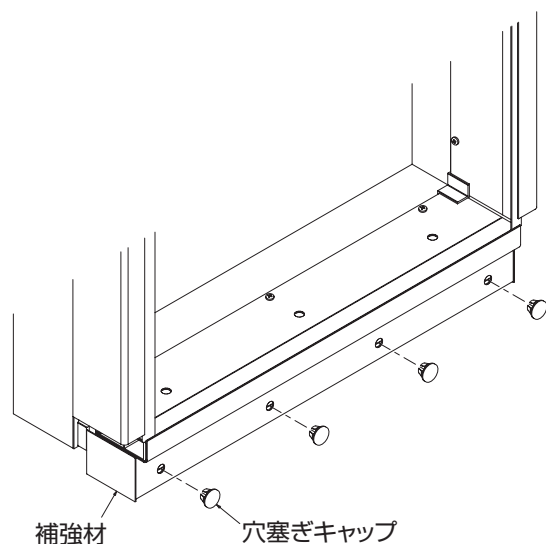


なべコーススレッドねじ
(φ4×75)

施工

4. 穴塞ぎキャップの取付

補強材の穴に穴塞ぎキャップを取付けてください。



注意

穴塞ぎキャップは必ず取付けてください。

補強材用

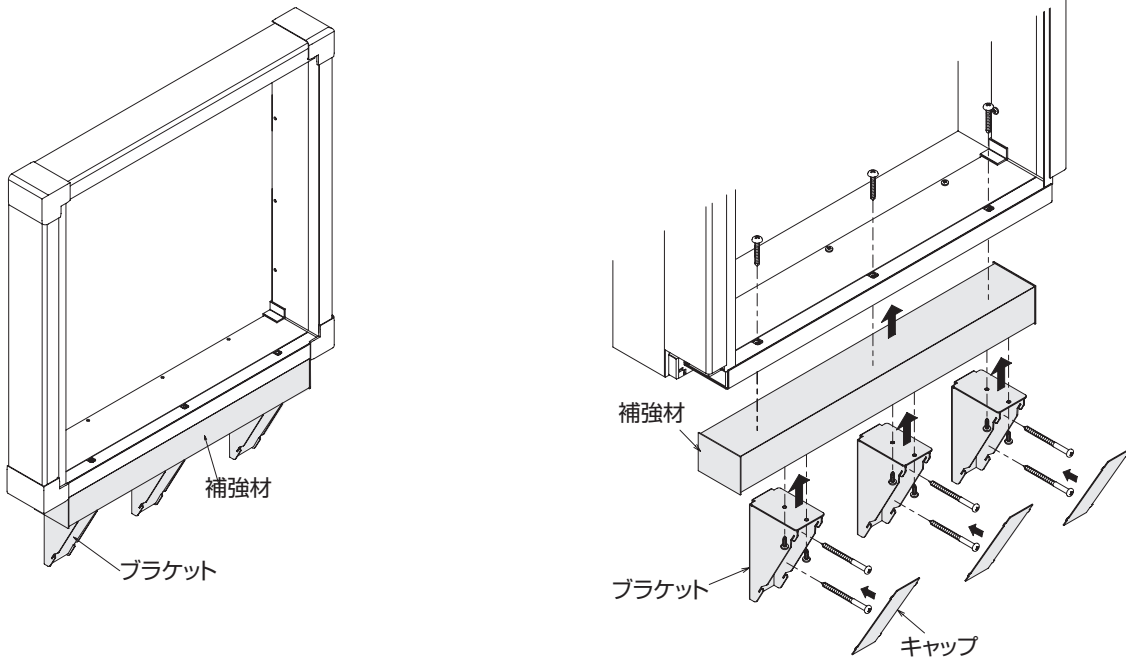


穴塞ぎキャップ

5. プラマードU本体の取付

以降のプラマードU本体の取付けについては、**引違い窓**P.19～58、**FIX窓**P.59～64、**内開き窓**P.65～74、**開き窓テラス**P.75～83を各々参照してください。
各窓種ごとの取付ねじは、P.104を参照してください。

商品構成図

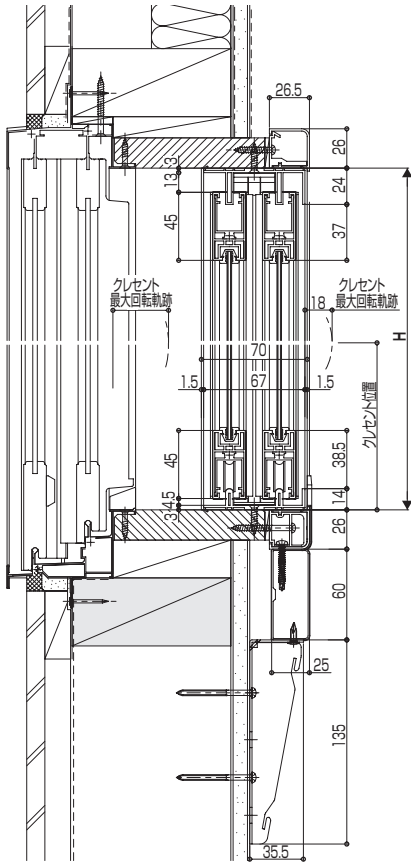


- 壁面内に下地材がある場合に使用できるオプションの補強部品です。
- 壁面内の下地(間柱など)で荷重を支えます。

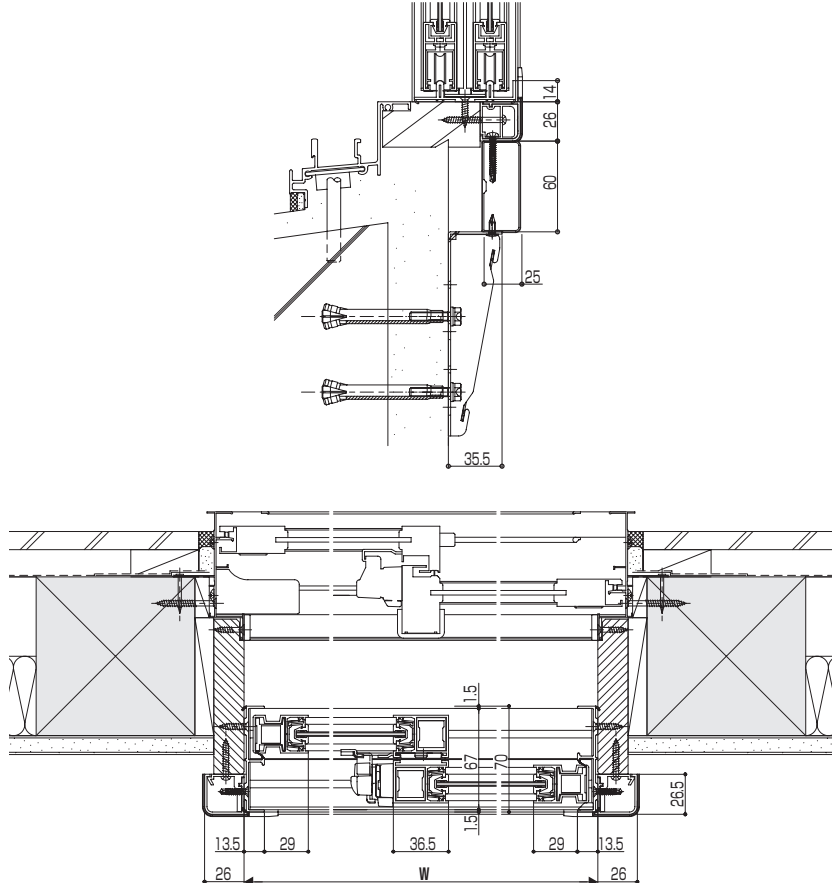
標準納まり図

■引違い窓 窓タイプ 単板ガラス

- 大壁納まり 補強ふかし枠25 補強部品A
(額縁出幅: $12 \leq a \leq 23$)

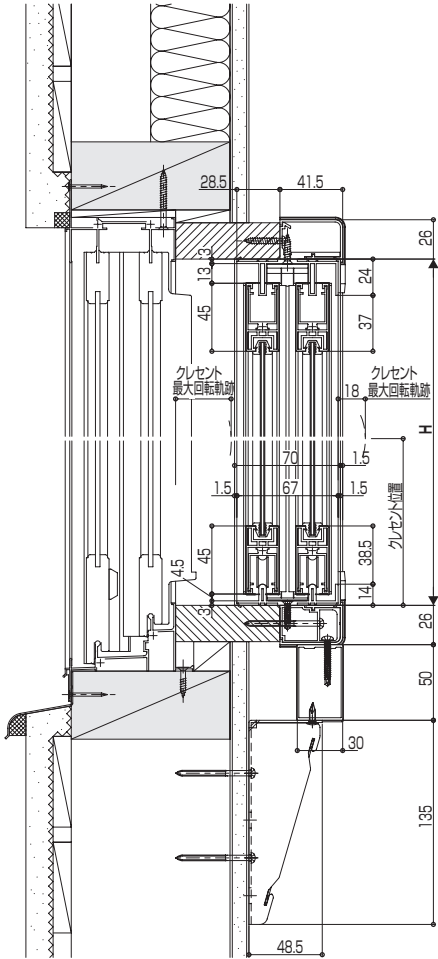


- RC納まり 補強ふかし枠25 補強部品F
(額縁出幅: $12 \leq a \leq 23$)

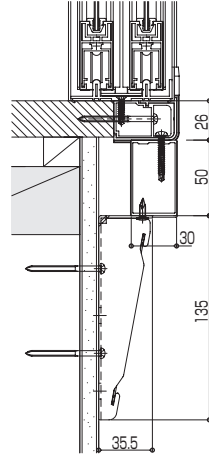


標準納まり図

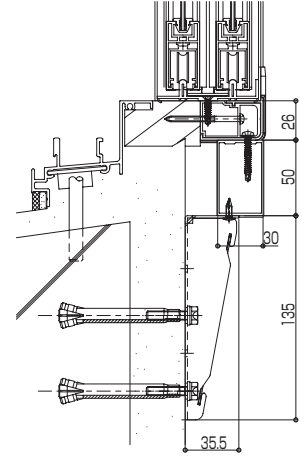
■引違い窓 窓タイプ 単板ガラス
 ●大壁納まり 補強ふかし枠40 補強部品C
 (額縁出幅: $10 \leq a \leq 23$)



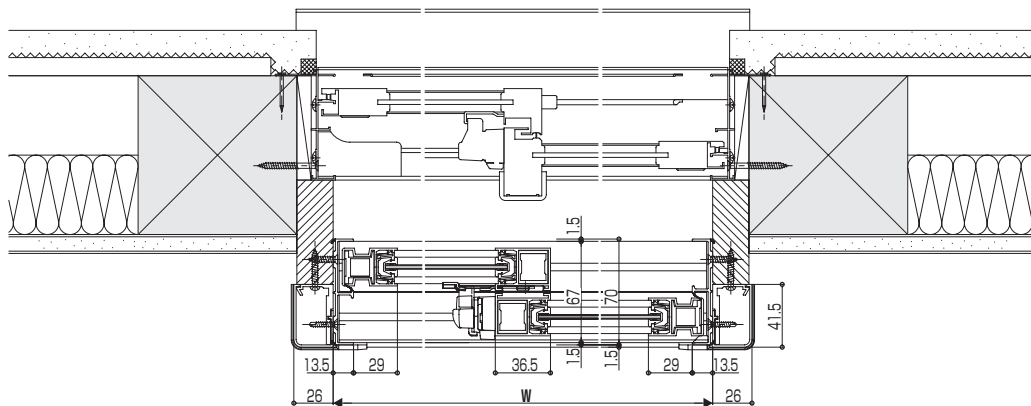
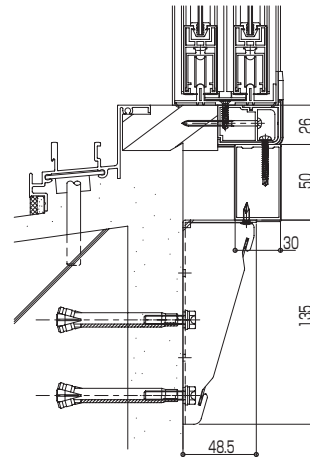
●大壁納まり 補強ふかし枠40 補強部品B
 (額縁出幅: $0 \leq a < 10$)



●RC納まり 補強ふかし枠40 補強部品G
 (額縁出幅: $0 \leq a < 10$)



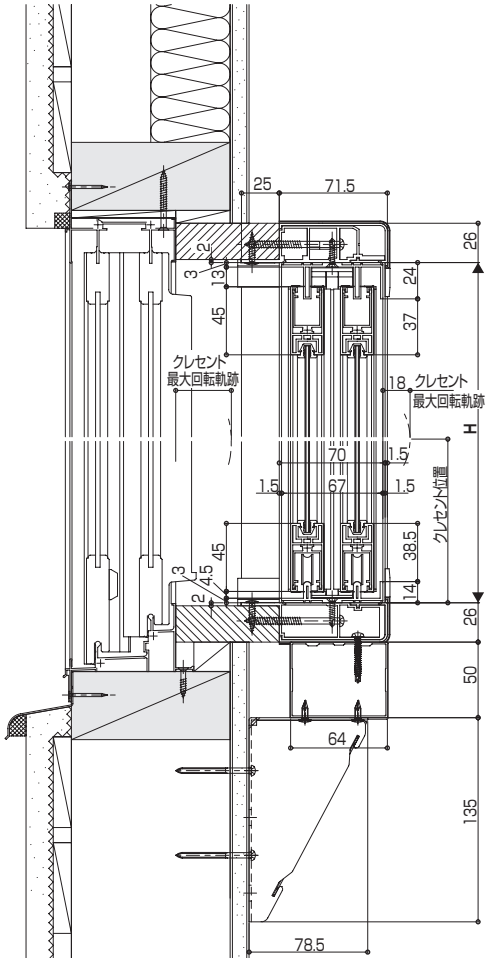
●補強ふかし枠40 補強部品H RC納まり
 (額縁出幅: $10 \leq a \leq 23$)



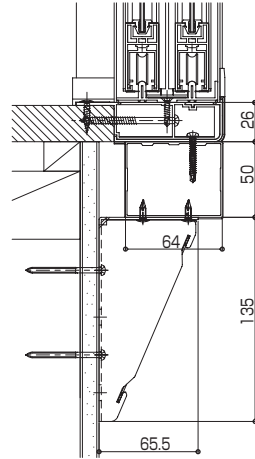
標準納まり図

■引違い窓 窓タイプ 単板ガラス

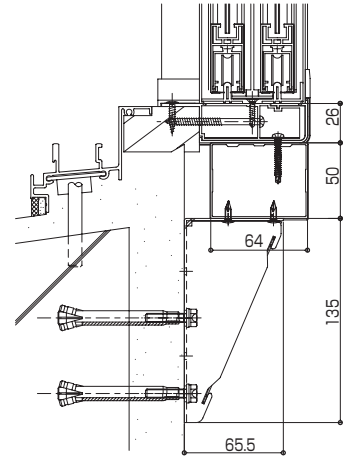
●大壁納まり 補強ふかし枠70 補強部品E
(額縁出幅: $10 \leq a \leq 23$)



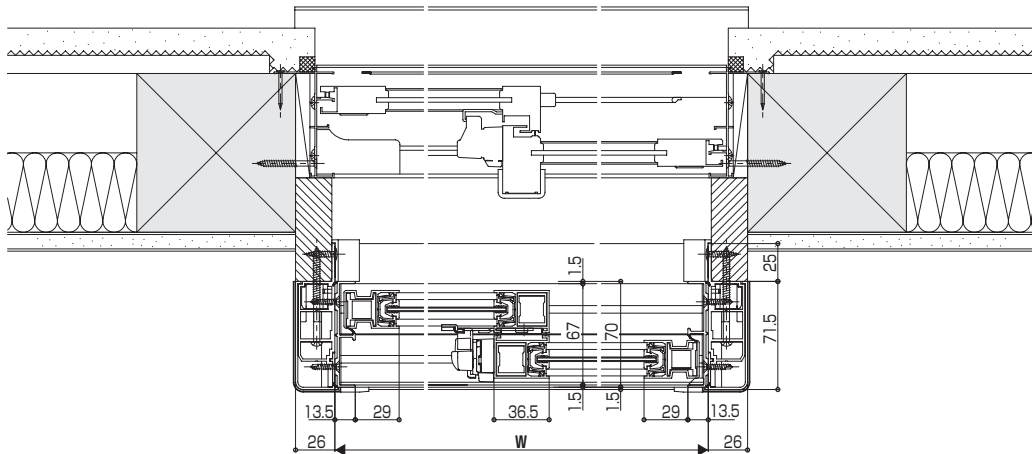
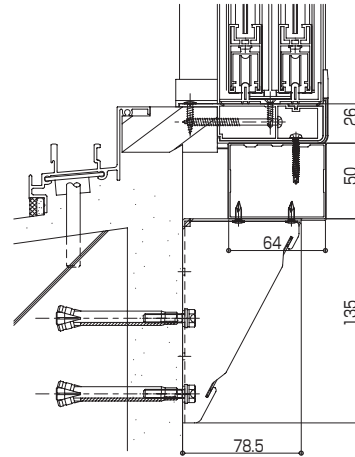
●大壁納まり 補強ふかし枠70 補強部品D
(額縁出幅: $0 \leq a < 10$)









●RC納まり 補強ふかし枠70 補強部品I
(額縁出幅: $0 \leq a < 10$)








●RC納まり 補強ふかし枠70 補強部品J
(額縁出幅: $10 \leq a \leq 23$)



同梱一覧

姿 図						
品 名	ブラケット				キャップ	
品 番	5K-16491	5K-16492	5K-16493	5K-16494	3K-21038	3K-21039
備 考	補強部品組立用				ブラケット組立用	
	25用(額縁出幅12以上) 40用(額縁出幅10未満)	40用(額縁出幅10以上)	70用 (額縁出幅10未満)	70用 (額縁出幅10以上)		

姿 図			※1 	※2 	※2 
品 名	なべドリルねじ (φ3.8×30)	薄バインドドリルねじ (φ4×13)	丸木ねじ (φ3.8×50)	アンカー	座金組込六角ボルト (M6×30)
品 番	K-13525	4K-18048	WR-3850	5K-16495	2K-16771
備 考	補強材取付用	ブラケット取付用	ブラケット取付用		
			木造納まり用	RC造納まり用	

※1：木造納まり用の場合のみ同梱

※2：RC造納まり用の場合のみ同梱

補強ふかし枠の取付けに使用する同梱部品は、
補強ふかし枠25・40P.108、**補強ふかし枠70P.114**
 を各々参照してください。

施工

1. ブラケット個数の確認(木造納まり用の場合)

ブラケットは下記の個数を同梱しています。間柱本数に対しブラケットの個数が不足している場合、ブラケット間の距離が大きくなり、障子脱落のおそれがあります。
 ブラケットの個数が不足している場合は、必要に応じて別途手配してください。

ブラケット同梱個数表

W(mm)	ブラケット同梱個数	W(mm)	ブラケット同梱個数
200 ≤ W ≤ 740	1	3015 < W ≤ 3470	7
740 < W ≤ 1195	2	3470 < W ≤ 3925	8
1195 < W ≤ 1650	3	3925 < W ≤ 4380	9
1650 < W ≤ 2105	4	4380 < W ≤ 4835	10
2105 < W ≤ 2560	5	4835 < W ≤ 5000	11
2560 < W ≤ 3015	6		

必要部品一覧表

	ブラケット	キャップ	取付ねじ(補強材側)	取付ねじ(躯体側)
補強部品A・B	5K-16491	3K-21038	4K-18048	WR-3850(※)
補強部品C	5K-16492	3K-21038	4K-18048	WR-3850(※)
補強部品D	5K-16493	3K-21039	4K-18048(※)	WR-3850(※)
補強部品E	5K-16494	3K-21039	4K-18048(※)	WR-3850(※)

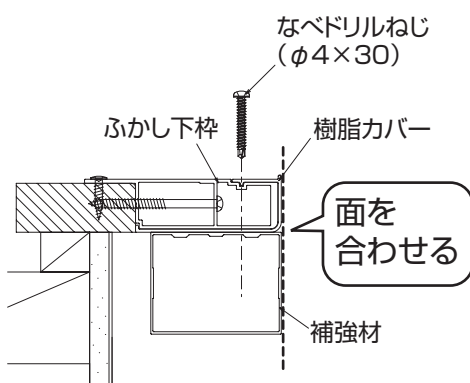
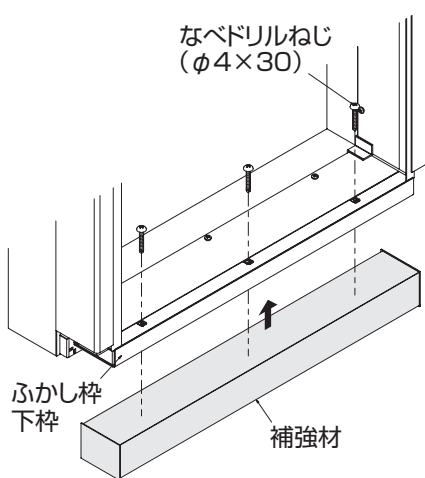
(※)はブラケット1個に対して2本必要です。

2. 補強ふかし枠の取付

補強ふかし枠の取付けについては、
補強ふかし枠25・40P.106、**補強ふかし枠70P.112**を各々参照してください。

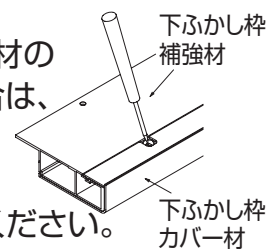
3. 補強材の取付

補強材をふかし下枠の下部に取付けてください。



ポイント

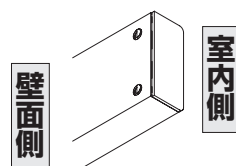
- 補強材を両面テープ(別途手配)で仮固定すると位置決め、ねじの固定がしやすくなります。
- 下ふかし枠補強材と下ふかし枠カバー材の補強材取付用の加工がずれている場合は、千枚通しなどを加工の中に押し込んで下ふかし枠カバー材の位置を左右に調整して、加工のセンターを合わせてください。



お願い

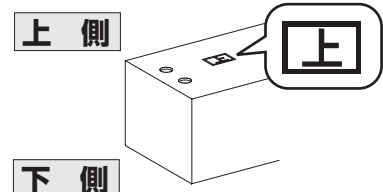
- 補強材とふかし下枠の左右のチリが均等になるように取付けてください。
- 補強材の向きを確認してください。

■ふかし枠25



端部キャップ固定用の加工が内壁面側

■ふかし枠40・70



「上」と表示されたラベルが貼られている面が上側

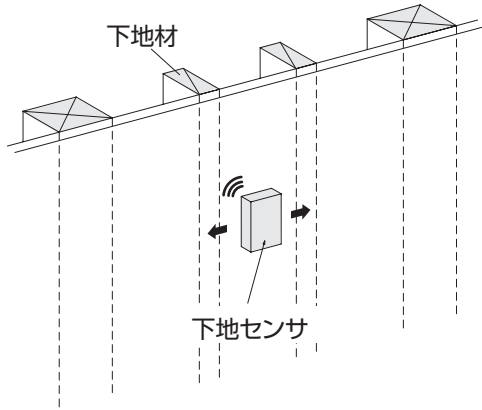
施工

4. ブラケットの取付

ブラケットの取付方法は、納まりによって異なります。
木造納まりの場合は下記を、RC納まりの場合は次のページを参照ください。

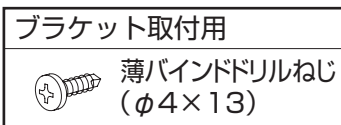
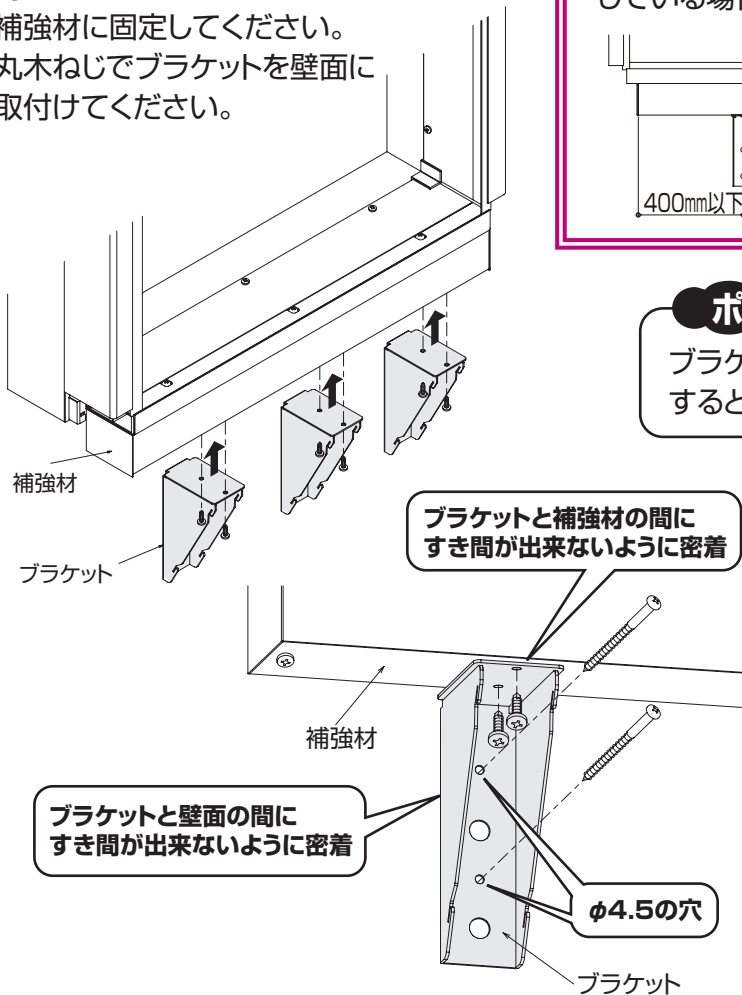
木造納まりの場合

① 下地センサ等で下地材を探してブラケット取付位置をけがいてください。



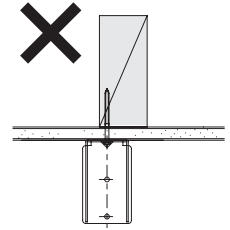
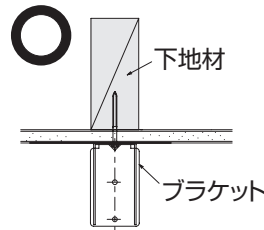
② 下地材にブラケットを取付けてください。

- ① 薄バインドリルねじでブラケットを補強材に固定してください。
- ② 丸木ねじでブラケットを壁面に取付けてください。

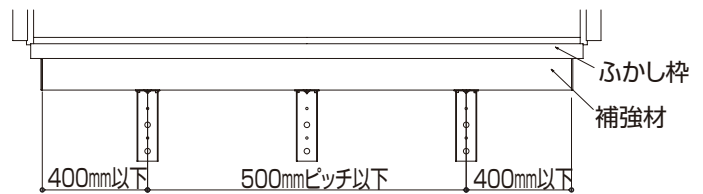


注意

- 下地材のセンターを狙ってけがいてください。端部に近いとねじが効かないおそれがあります。



- 下図のようにブラケットを取付けていないと障子脱落の可能性がります。ブラケットの数が不足している場合は追加手配してください。

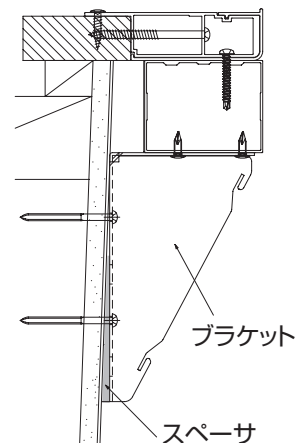


ポイント

ブラケットを両面テープ(別途手配)で仮固定すると位置決め、ねじの固定がしやすくなります。

お願い

ブラケットと壁面の間にすき間がないようにしてください。すき間がある場合は、スペーサを入れて調整してください。



施工

RC納まりの場合

- ① ブラケット取付位置をけがいてください。
- ② ブラケットを取付けてください。
 - ① 薄バインドリルねじでブラケットを補強材に固定してください。

ポイント

ブラケットを両面テープ(別途手配)で仮固定すると位置決め、ねじの固定がしやすくなります。

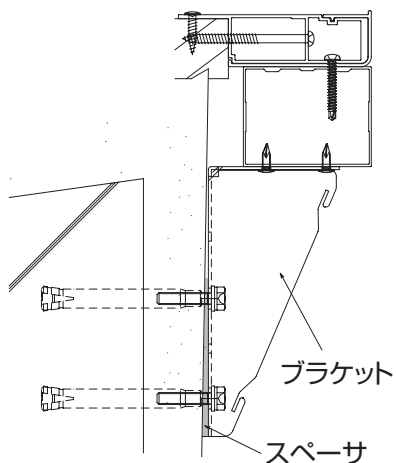
- ② ブラケットにあいているφ10.5の穴に合わせて、ブラケットの上からコンクリートドリルでφ10、深さ90mmの下穴をあけてください。
- ③ 吸塵機やダストポンプなどで下穴内の切粉を除去してください。

注意

下穴内に切粉が残っていた場合、アンカーが奥まで入らず、ブラケットが取付けられなくなる可能性があります。

お願い

ブラケットと壁面の間にすき間がないようにしてください。すき間がある場合は、スペーサを入れて調整してください。

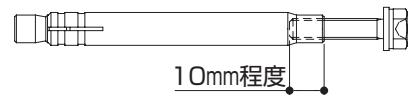


注意

- アンカーは内壁の仕上がりより奥まで打込んでください。
- 座金組込六角ボルトの締付けの際は、**適正トルク：5.2N・m**で締付けてください。

ブラケット個数	取付位置
1個の時	
2個の時	
3個以上の時	

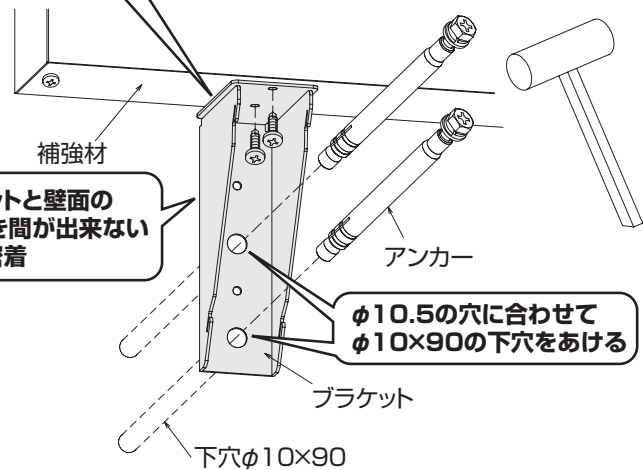
- ④ アンカーに座金組込ボルトを10mm程度入れてください。



- ⑤ 下穴にアンカーを挿入してください。
- ⑥ アンカーの手ごたえが変わるまでハンマーで打込んでください。
- ⑦ 座金組込六角ボルトを締付けてください。

ブラケットと補強材の間にすき間が出来ないように密着

ブラケットと壁面の間にすき間が出来ないように密着



ブラケット取付用

薄バインドリルねじ (φ4×13)

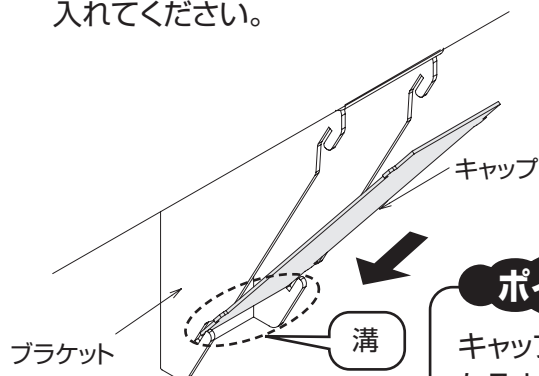
ブラケット取付用

座金組込六角ボルト (M6×30)

施工

5. キャップの取付

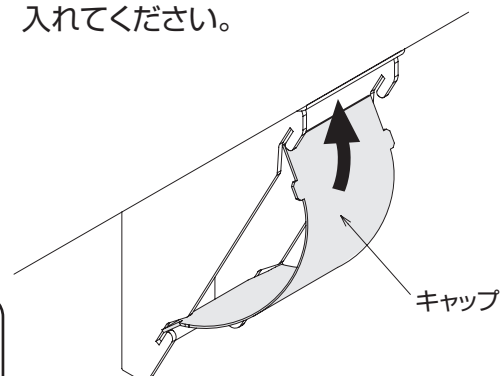
① ブラケットの溝にキャップの突起部を入れてください。



ポイント

キャップはザラザラ面が表になるように取付けてください。

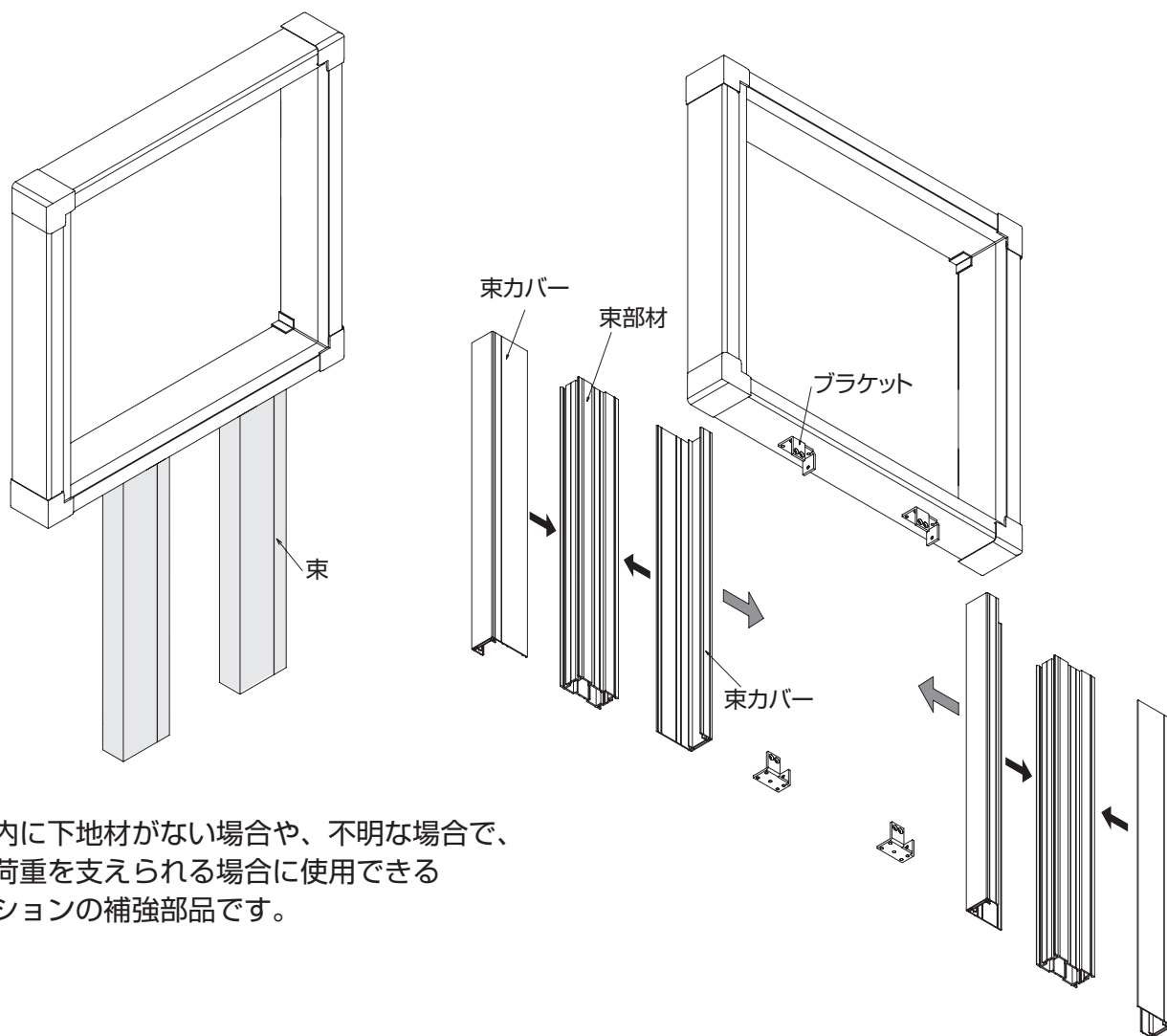
② キャップをたわませて入れてください。



6. プラマードU本体の取付

以降のプラマードU本体の取付けについては、**引違い窓**P.19～58、**FIX窓**P.59～64、**内開き窓**P.65～74、**開き窓テラス**P.75～83を各々参照してください。
各窓種ごとの取付ねじは、P.104を参照してください。

商品構成図

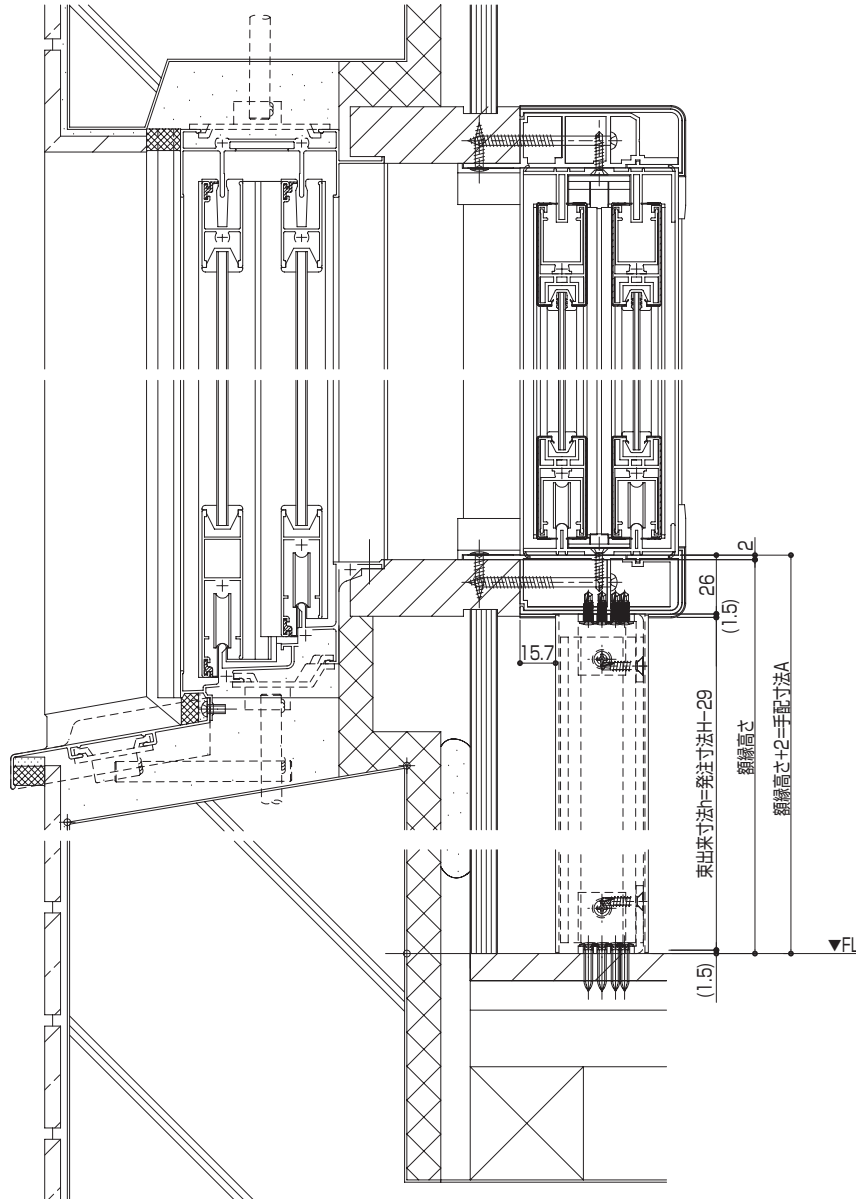


壁面内に下地材がない場合や、不明な場合で、
床で荷重を支えられる場合に使用できる
オプションの補強部品です。

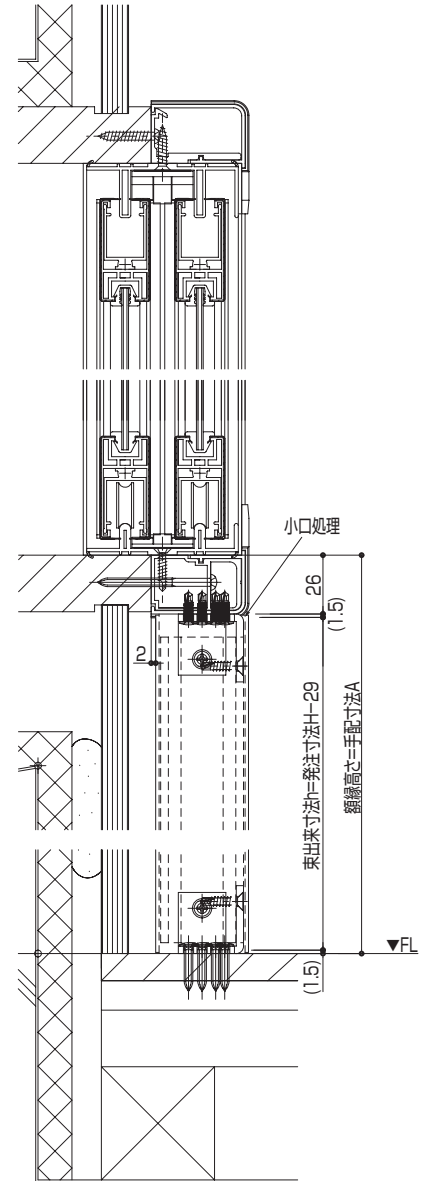
※図は束必要本数が2本の時を示しています。

標準納まり図

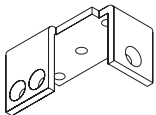
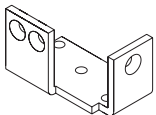

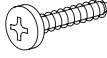


- 引違い窓 窓タイプ 単板ガラス
●RC納まり 補強ふかし枠70
補強部品(束仕様)



- RC納まり 補強ふかし枠40
補強部品(束仕様)



同梱一覧

姿 図						
品 名	ブラケット(上)	ブラケット(下)	薄バインドドリルねじ (φ4×13)	薄バインド木ねじ (φ3.8×20)	皿ドリルねじ (φ4×19)	型紙(上)
品 番	3K-12562	3K-12561	4K-18375	WS-3820	K-15755	3K-40340
個 数	1	1	5	5	6	1
使用箇所	束取付用	束取付用	ブラケット(上)取付用	ブラケット(下)取付用	束取付用	ブラケット(上)取付用

補強ふかし枠の取付けに使用する同梱部品は、
補強ふかし枠25・40P.108、**補強ふかし枠70P.114**
 を各々参照してください。

施工

1. 束の本数確認

W寸法に応じた束の必要本数を確認してください。

W	束必要本数
200 ≤ W ≤ 420	1
420 < W ≤ 1100	2
1100 < W ≤ 1850	3
1850 < W ≤ 2600	4
2600 < W ≤ 3350	5
3350 < W ≤ 4100	6
4100 < W ≤ 4850	7
4850 < W ≤ 5000	8

注 意

必要本数の束で必ず補強してください。
 束の本数が不足している場合、障子の脱落の可能性があります。

2. 補強ふかし枠の取付

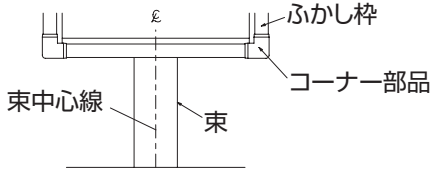
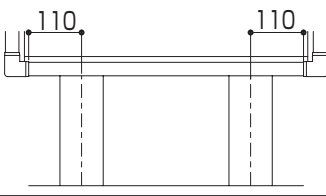
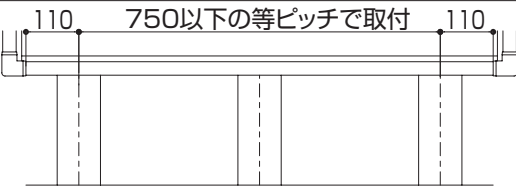
補強ふかし枠の取付けについては、
補強ふかし枠25・40P.108、
補強ふかし枠70P.114
 を各々参照してください。

3. ブラケット(上)の位置決め

束の取付位置を確認し、ブラケット(上)の取付位置を
 けがいてください。

① 左右方向の位置決め

束中心線と型紙の束中心線を合わせてください。

束必要本数	取付位置
1本の時	
2本の時	
3本以上の時	

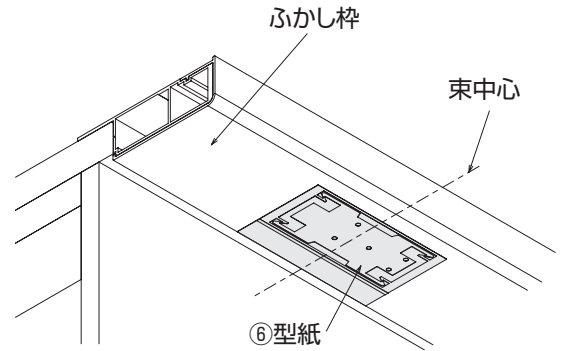
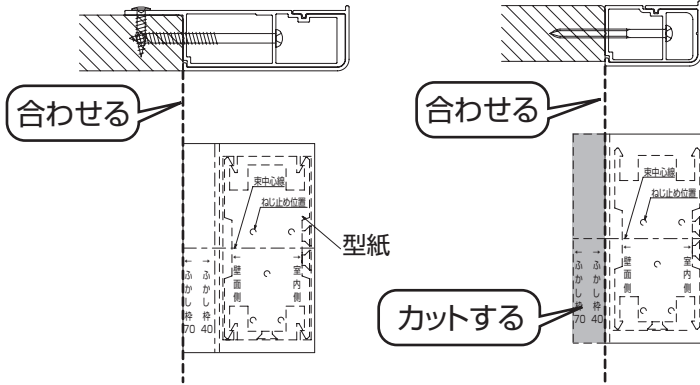
施工

2 出入り方向の位置決め

ふかし枠の壁面側の面と型紙の壁面側の面を合わせて、ねじ止め位置をけがいてください。

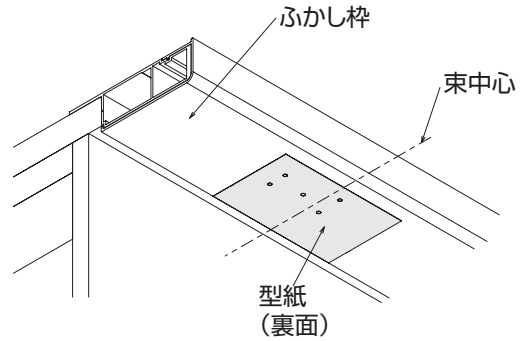
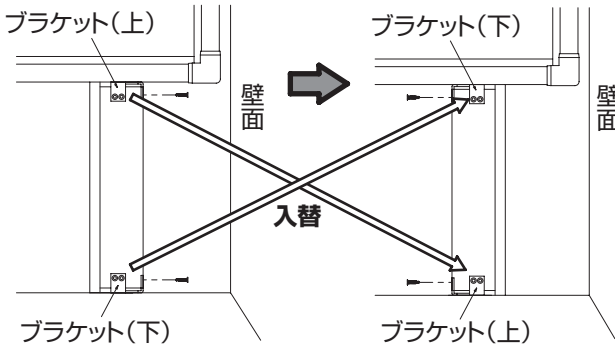
<ふかし枠70の場合>

<ふかし枠40の場合>



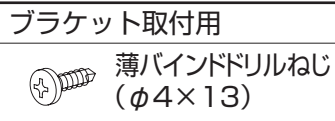
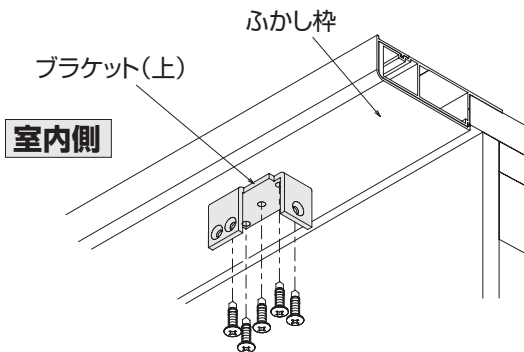
右側面から束固定用のねじ止めできない場合

入り隅などの場合で、右側面から束固定用のねじ止めが出来ない場合があります。その時は型紙を裏返してブラケットの位置決めを行い、上下のブラケットを逆に取付けて施工してください。



4. ブラケット(上)の取付

けがき位置にブラケットの穴を合わせ、ブラケット(上)を取付けてください。



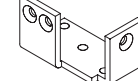
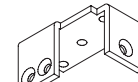
ポイント

- ブラケットの向きを確認してください。

ブラケット(上)

室内側

2つ穴ヒレ部：室内側
1つ穴ヒレ部：室内側から見て右側



室内側

ブラケット(下)

- 束を2本以上取付ける場合は、左側の束から取付けると作業しやすいです。

施工

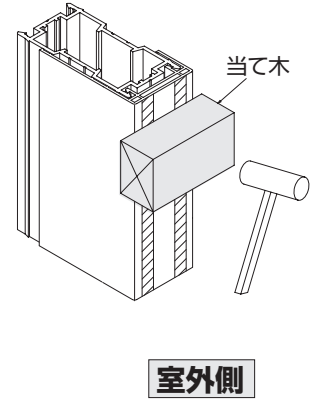
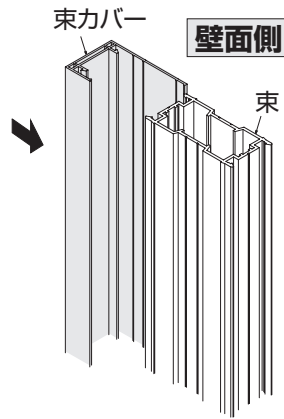
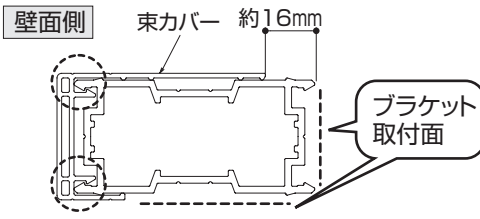
5. 壁面側束カバーの取付

- ① 束カバーが束に対して、両端均等に余るように取付けてください。
束カバーを取付けた面を壁面側にしてください。

- ② カバーに当て木をあて、端部から図の斜線部を木ハンマー等でたたき込んでください。

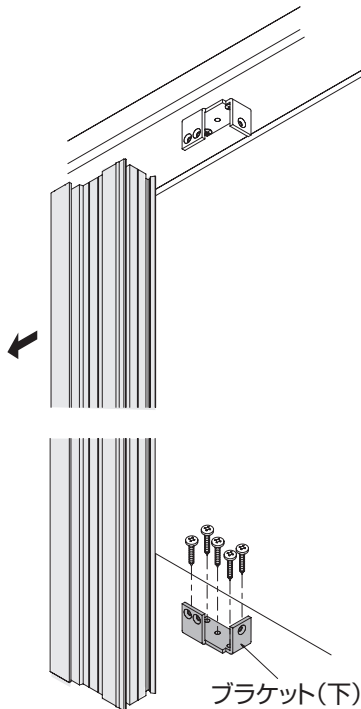
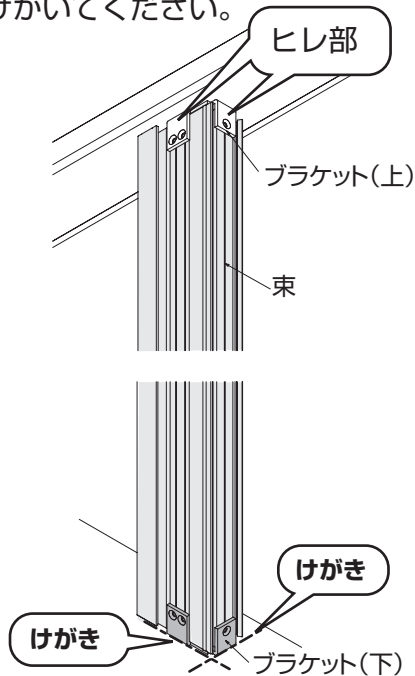
ポイント

- ブラケット取付面に束カバーが掛からないよう束カバーの向きに注意してください。
- 奥まで束カバーが入っていることを確認してください。



6. ブラケット(下)の位置決め・取付

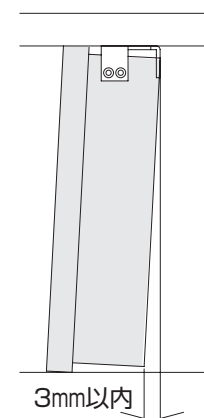
- ① 束の上端部の溝をブラケット(上)のヒレ部に押当ててください。
- ② 束の下端部に合わせてブラケット(下)を仮置きして、けがいてください。
- ③ 束を一旦はずし、ブラケット(下)をねじ止めしてください。



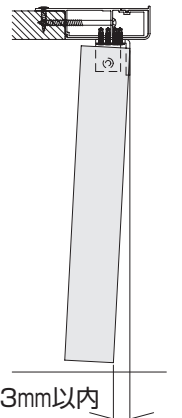
注意

束の傾きは3mm以内にして
ください。

<正面>



<側面>



ブラケット取付用

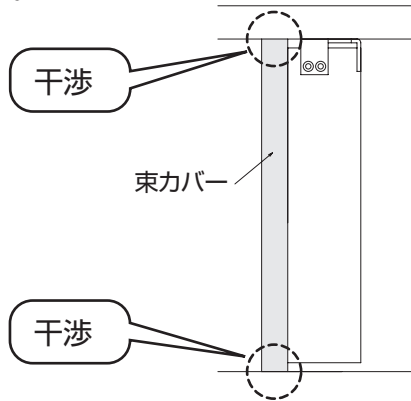


薄バインド木ねじ
(φ3.8×20)

施工

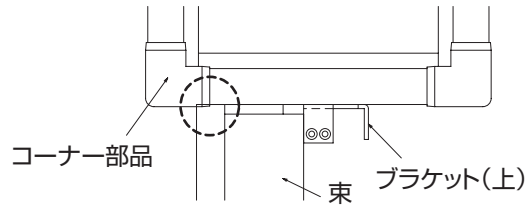
束カバーが干渉する場合

現場の額縁の状態によっては、束カバーの上下端部が干渉して入らない場合があります。その場合は、束カバーを切詰めしてください。



W<250の場合

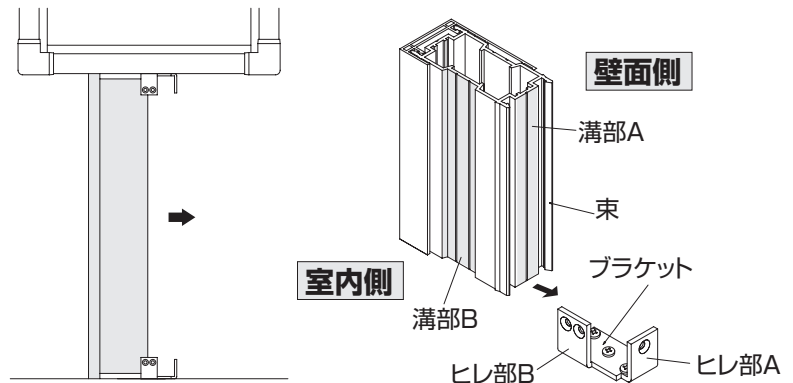
施工時に束がふかし枠のコーナー部品と干渉します。束の取付け終了後にコーナー部品を取付けてください。
(上記の手順だと、ふかし枠とコーナー部品が干渉する事はありません。)



7.束の取付

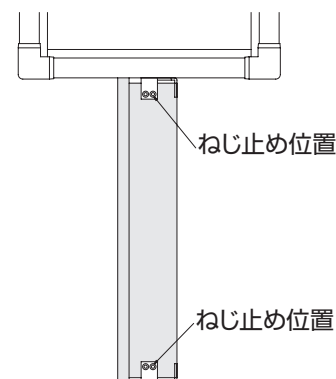
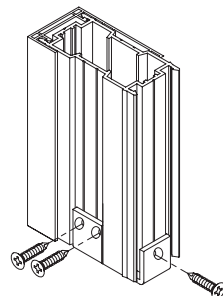
1 束の取付

- ① 束カバー取付面を確認し、束を図の位置に配置してください。
- ② 図の矢印の方向へスライドさせ、束の溝部Aをブラケットのヒレ部Aに、束の溝部Bをブラケットのヒレ部Bに、はめ込んでください。



2 束のねじ止め

束をブラケットのヒレ部に押当てながら、上下両端のねじ止めをしてください。



ブラケット取付用

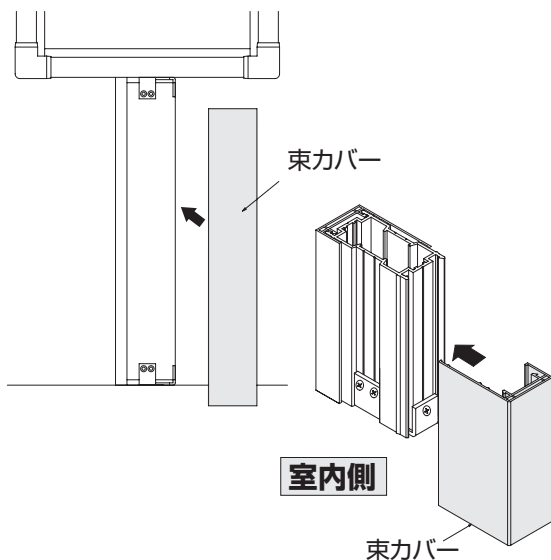


皿ドリルねじ
(φ4×19)

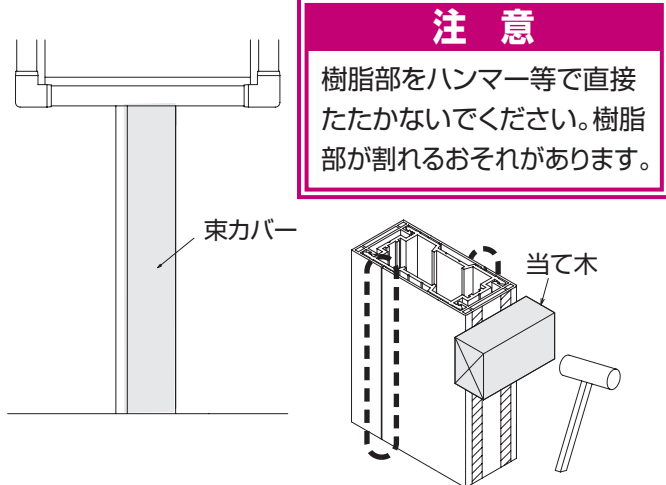
施工

8.室内側束カバーの取付

①室内側束カバーを図の向きに従い取付けてください。



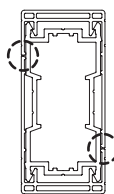
②カバーに当て木をあて、端部から図の斜線部を木ハンマー等でたたき込んでください。



ポイント

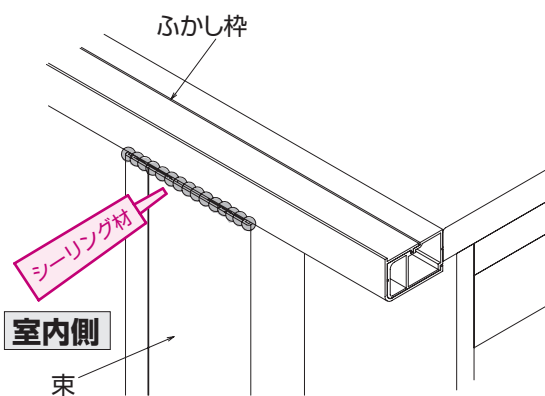
図の斜線部をたたくことで、引っ掛かり部分がはめ込まれます。

図の破線部にすき間がないようにたたき込んでください。



ふかし枠40の場合

室内側束カバーの小口が露出します。シーリング材、メンテチューブ(オプション品P.15)などで小口をふさいでください。



※現場の開口の状態によっては、ふかし枠40・70ともに束カバーの上下端部にもすき間ができる場合があります。

その場合も同様にシーリング材、メンテチューブなどでふさいでください。

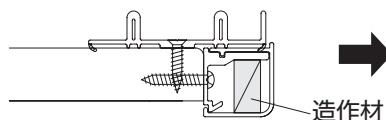
造作材での補強

補強部品(補強角パイプ仕様・ブラケット仕様・束仕様)を使用せずに、現場対応で補強することも可能です。下記の補強例を参照し、別途準備した造作材を使って補強してください。

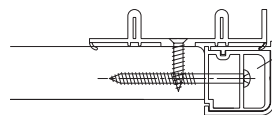
ポイント

補強ふかし枠の場合、ふかし枠下補強材がホロー形状になるので、ふかし枠下枠内部の造作材は不要です。

<ふかし枠>



<補強ふかし枠>



ホロー形状なので、
ふかし枠内の造作材が不要

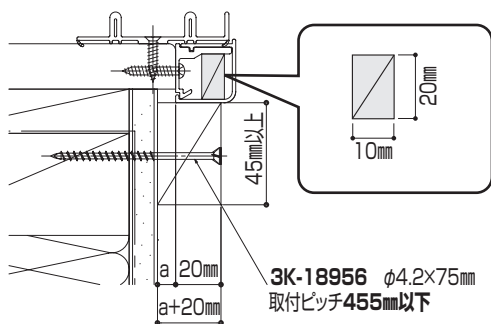
※ふかし枠70は、補強ふかし枠70でなくても、ふかし枠内部の造作材は不要です。

- 壁面内に下地がある場合(木造納まり)・・・下記を参照ください。
 - 壁面内に下地がある場合(RC納まり)
 - 壁面内に下地がない場合
 - またぎ段差の場合
- 次のページを参照ください。

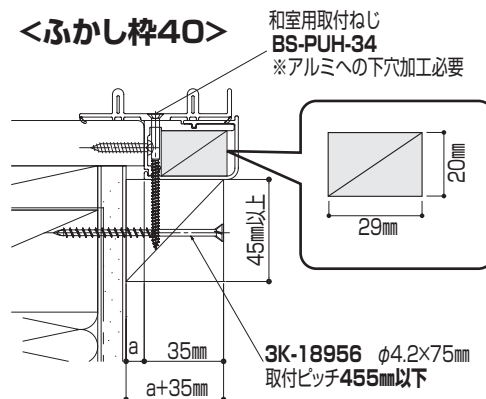
● 壁面内に下地がある場合の造作材補強例—木造納まり

※造作材はふかし枠下部全長に取付けてください。

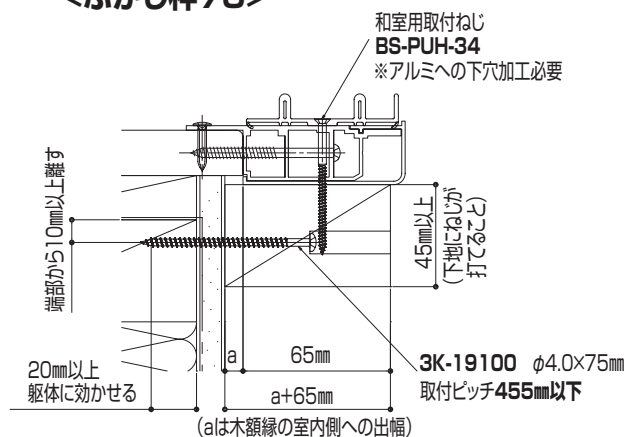
<ふかし枠25>



<ふかし枠40>



<ふかし枠70>

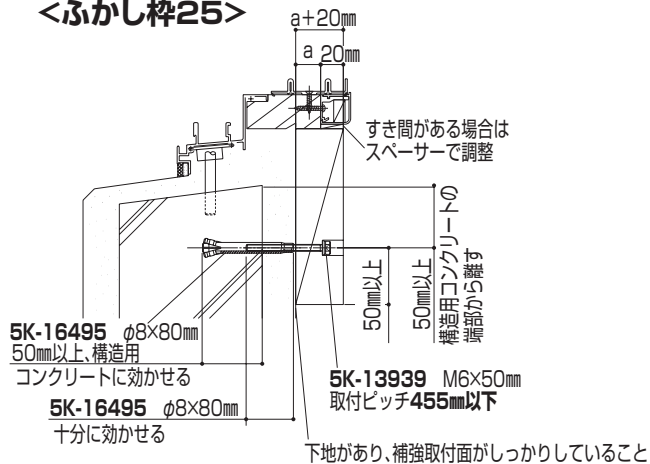


造作材での補強

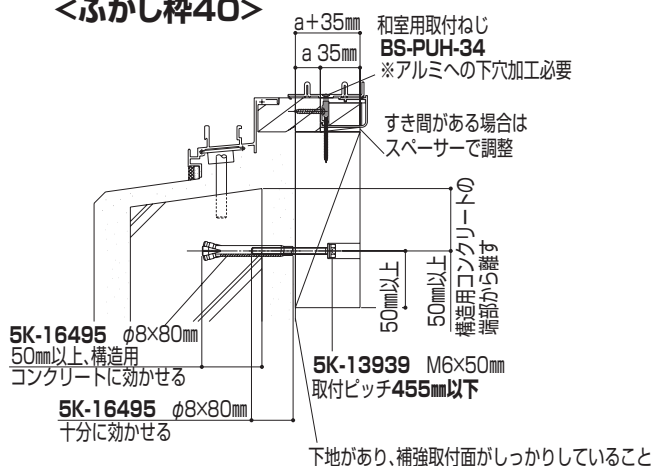
● 壁面内に下地がある場合の造作材補強例—RC納まり

※造作材はふかし枠下部全長に取付けてください。

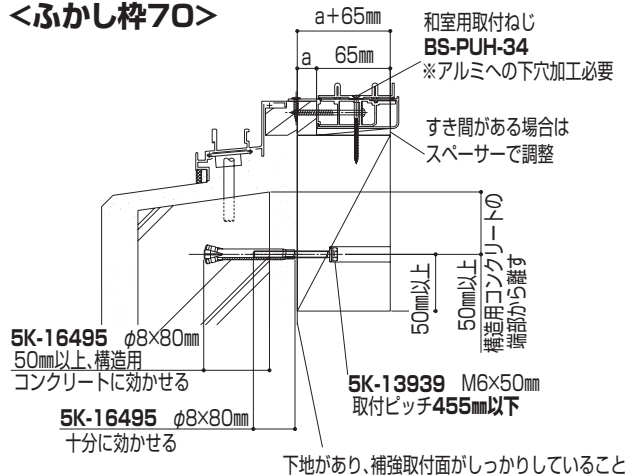
<ふかし枠25>



<ふかし枠40>

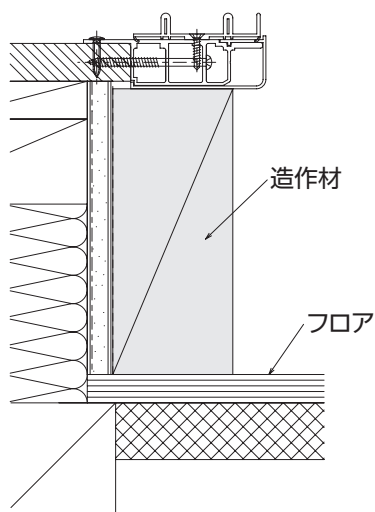


<ふかし枠70>



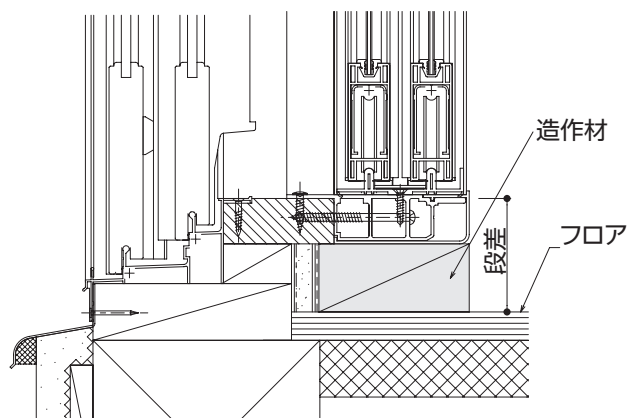
● 壁面内に下地がない場合の造作補強例

床からふかし枠を全長で支える補強を造作材で行ってください。



● またぎ段差の場合の造作補強例

床からふかし枠を全長で支える補強を造作材で行ってください。



施工

1. ふかし枠の取付

ふかし枠40の場合はP.108~111

ふかし枠70の場合はP.114~117を参照してください。

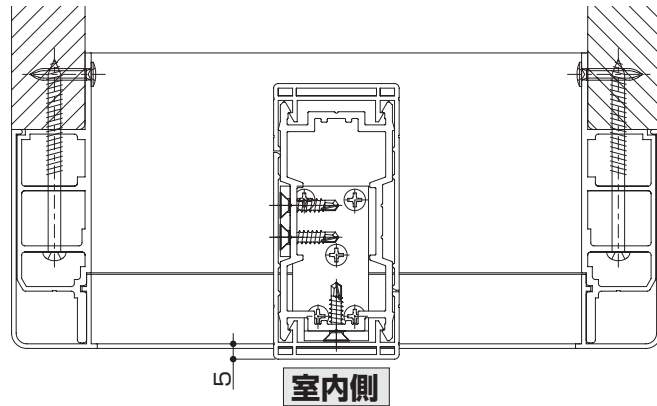
※図はふかし枠70で説明しています。

ふかし枠40も同様です。

※ふかし枠25は非対応です。

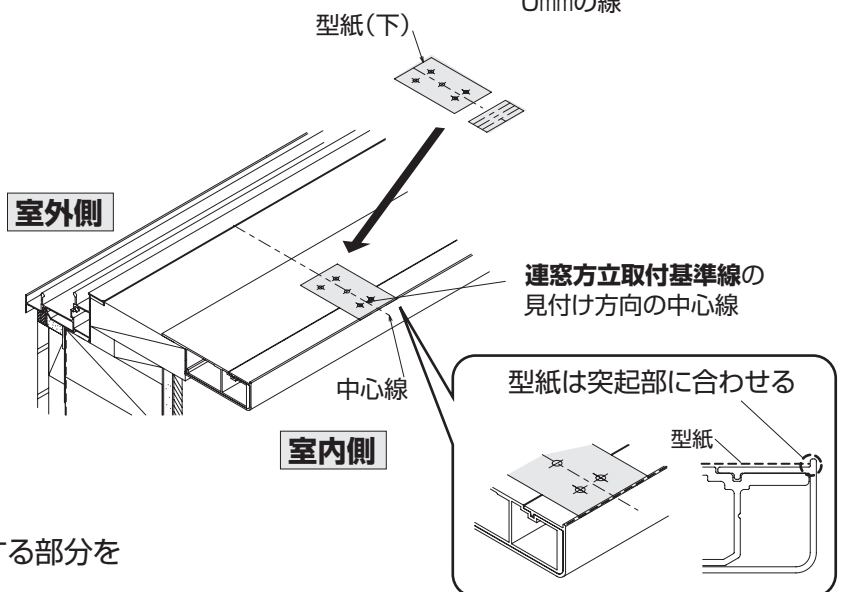
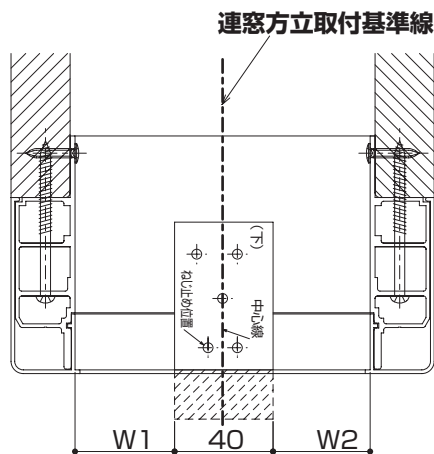
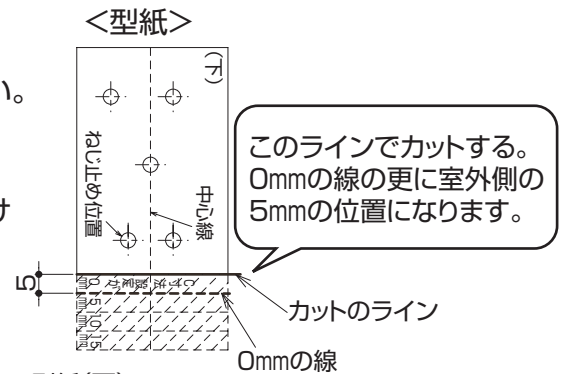
2. 連窓方立の取付

連窓方立をふかし枠の突起部より5mm室内側へ出た位置に取付けてください。



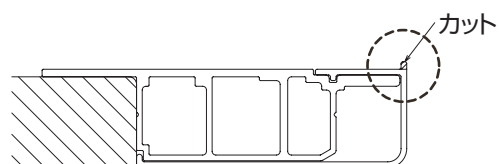
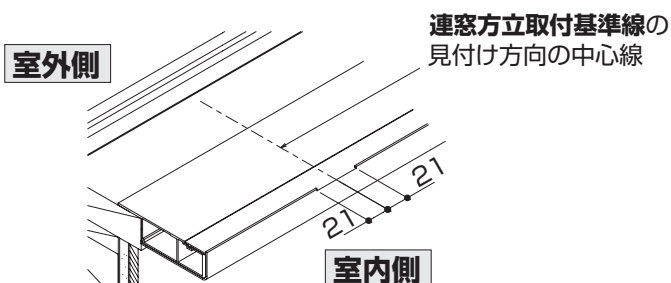
1 連窓方立の位置決め

- ① 型紙を右図の位置でカットしてください。
- ② 型紙を取付位置に合わせて、穴位置をけいがいてください。
 出入り方向：型紙のカットした辺をふかし枠の突起部に合わせてください。
 左右方向：型紙の中心線を連窓方立取付基準線の見付け方向の中心線に合わせてください。
- ③ 上端取付部も同様に行ってください。



2 ふかし枠の突起部のカット

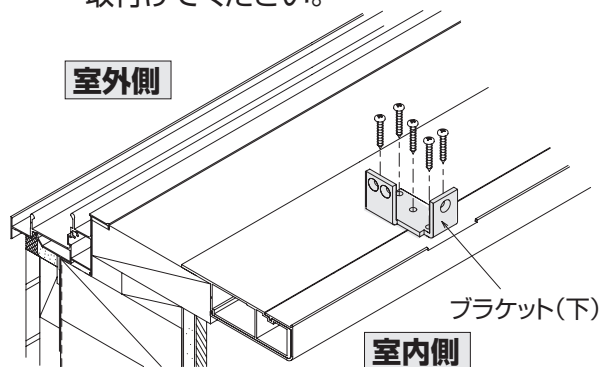
連窓方立とふかし枠の突起部の干渉する部分をカットしてください。



施工

3 ブラケットの取付

けがき位置にブラケットの穴を合わせ、 $\phi 3$ の下穴をあけ、上下のブラケットを取付けてください。



ブラケット取付用

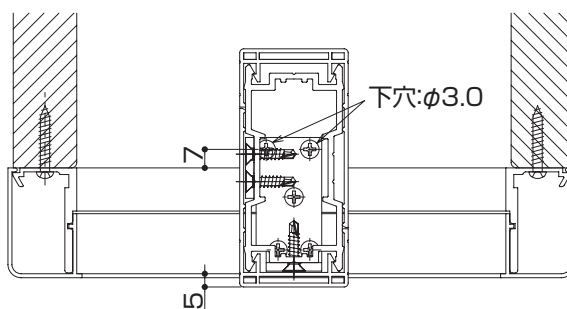


丸木ねじ
($\phi 3.8 \times 22$)

注意

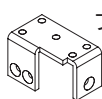
<ふかし枠40の場合>

木額縁の端部に近い位置への固定となるため、 $\phi 3.0$ で下穴をあけてから木額縁に固定してください。



ポイント

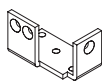
●ブラケットの向きを確認して取付けてください。



ブラケット(上)

●アルミ補強へのブラケットの固定は、オプションの薄バインドドリルねじを使用すると施工が容易になります。オプション品(P.15)参照

1つ穴ヒレ部：室内側
2つ穴ヒレ部：室内側から見て左側



室内側

ブラケット(下)

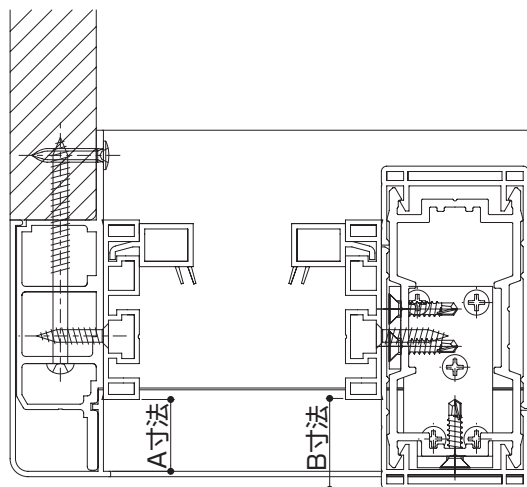
4 以降の連窓方立の取付けについては、連窓方立P.86～89を参照してください。

3. プラマードU本体の取付

下記A寸法、B寸法の位置にプラマードU本体を取付けてください。

単位:mm

窓種	A寸法	B寸法	
引違い窓	0	5	
内開き窓			
開き窓テラス			
FIX窓	ふかし枠40	15	20
	ふかし枠70	20	25



※連窓方立の反対側の窓も同様です。

ポイント

オプションの方立・無目用ドリルねじを使用すると施工が容易になります。オプション品(P.15)参照

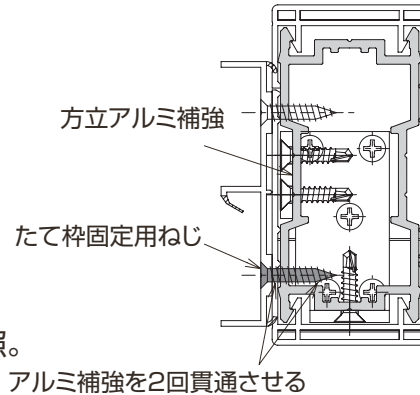
※FIX窓用は、引違い窓用の皿ドリルねじを手配してください。ねじ色は何色でも構いません。障子吊込み後は、ねじ頭は見えなくなります。

施工

注意

引違い窓の場合

室内側のたて枠固定用ねじを2回貫通させる必要があります。あらかじめφ3.0で下穴を奥まであけてから、たて枠を取付けてください。
オプションの方立・無目用ドリルねじを使用すると、施工が容易になります。オプション品(P.15)参照。

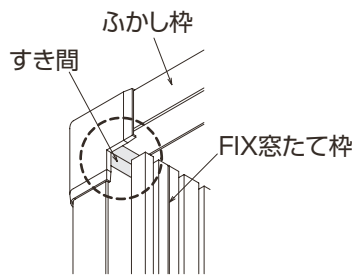


注意

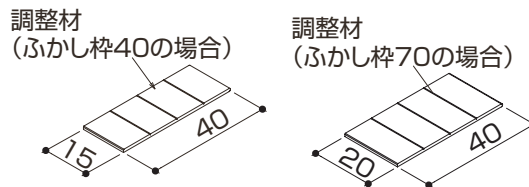
FIX窓の場合

ふかし枠コーナー部にすき間ができます。すき間が見えないように、調整材(オプション品P.15参照)でふさいでください。

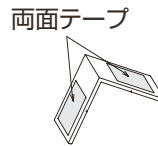
①ふかし枠コーナー部分にすき間がある場合



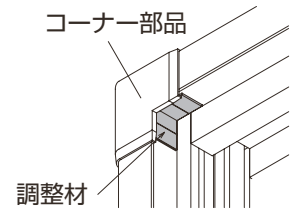
②調整材をカットする(折目の向きに注意)



③真ん中で折り曲げて両面テープ(オプション品P.15)を貼る



④コーナー部品に貼付ける

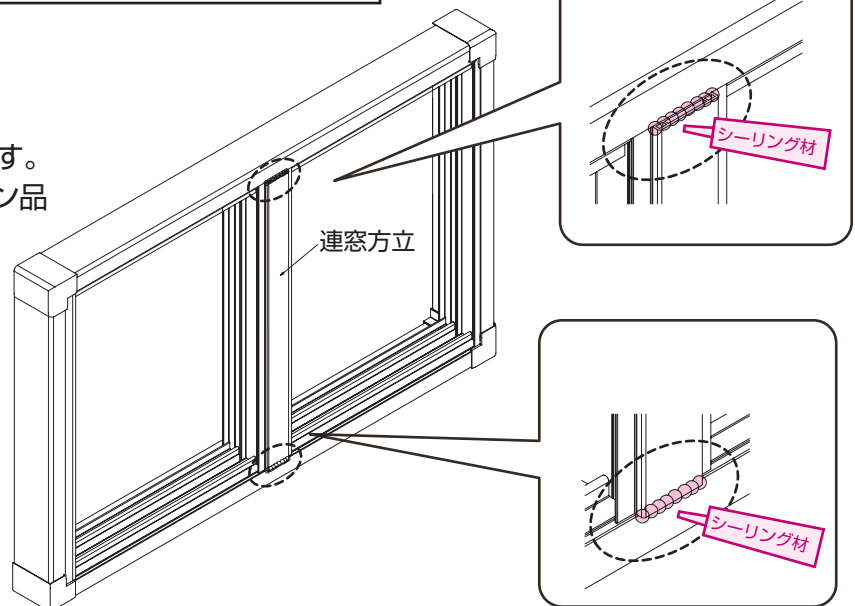


※はがれの原因となるので、貼付け前に表面の汚れをふきとり、十分に圧着させてください。

以降のプラマードU本体の取付けについては、**引違い窓P.19~58、FIX窓P.59~64、内開き窓P.65~74、開き窓テラスP.75~83**を各々参照してください。

4.小口の処理

連窓方立の上下端部の小口が露出します。シーリング材、メンテチューブ(オプション品P.15参照)などで小口をふさいでください。
その他のすき間がある場合も、シーリング材、メンテチューブなどですき間をふさいでください。
また、小口にバリがある場合は、やすり掛けなどでバリをなくしてください。



施工

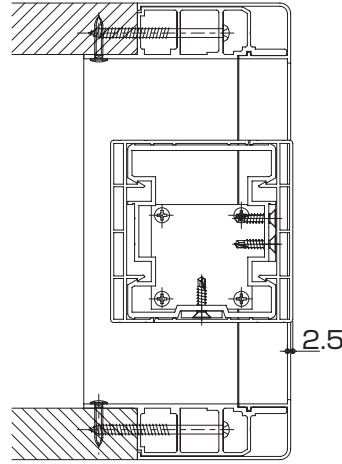
1. ふかし枠の取付

ふかし枠40の場合はP.108~111
 ふかし枠70の場合はP.114~117を参照してください。

※図はふかし枠70で説明しています。
 ふかし枠40も同様です。
 ※ふかし枠25は非対応です。

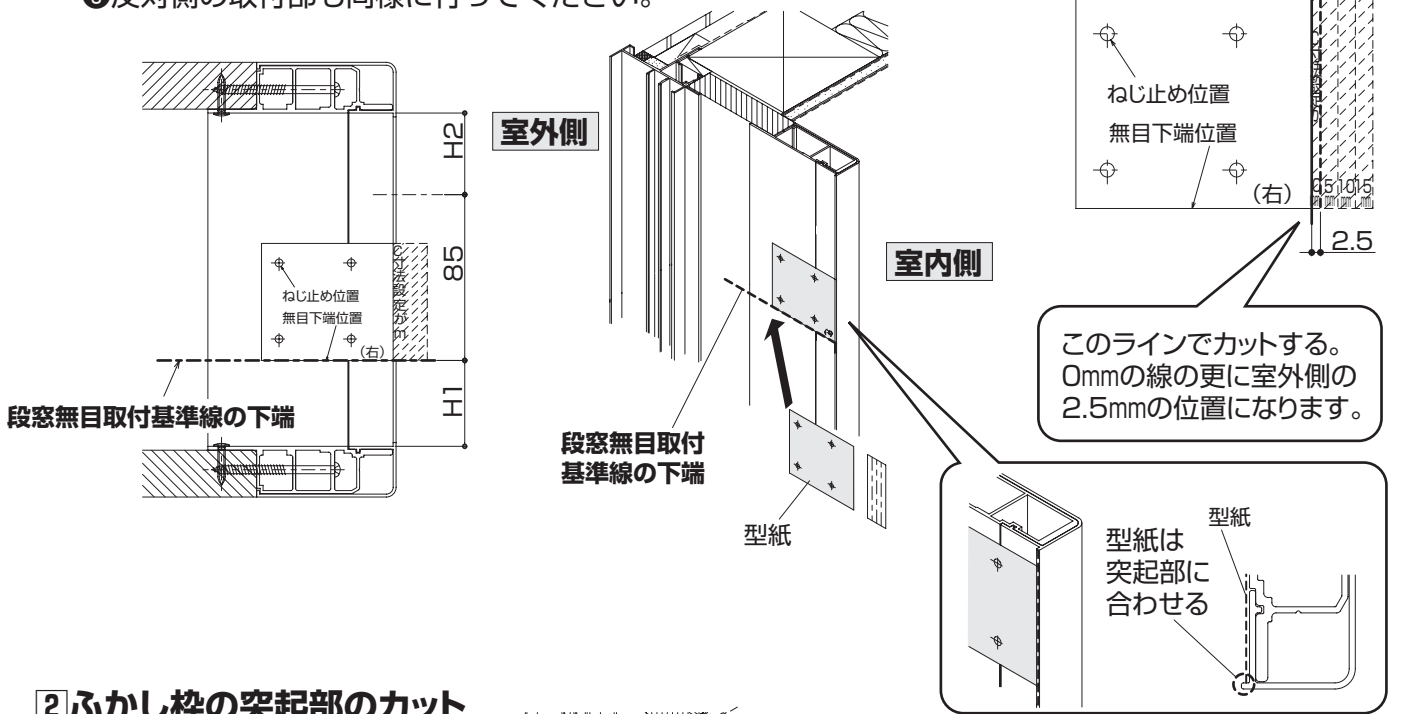
2. 段窓無目の取付

段窓無目をふかし枠の突起部より2.5mm室内側へ
 出た位置に取付けてください。



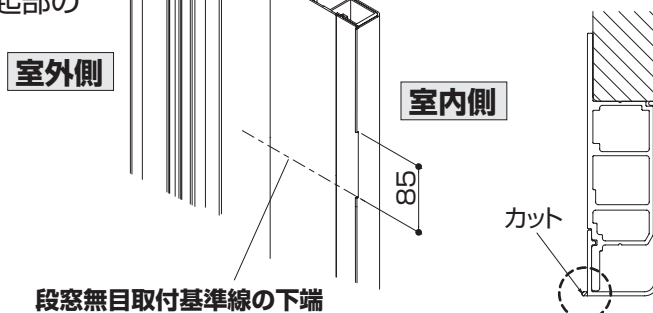
1 段窓無目の位置決め

- ① 型紙を右図の位置でカットしてください。
- ② 型紙を取付位置に合わせて、穴位置をけいがいてください。
 出入り方向：型紙のカットした辺をふかし枠の突起部に合わせてください。
 上下方向：型紙の下部を**段窓無目取付基準線**の下端に合わせてください。
- ③ 反対側の取付部も同様に行ってください。



2 ふかし枠の突起部のカット

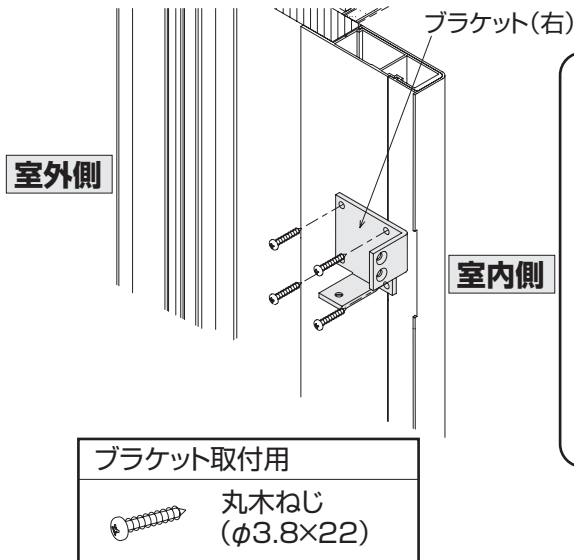
段窓無目とふかし枠の突起部の
 干渉する部分を
 カットしてください。



施工

3. ブラケットの取付

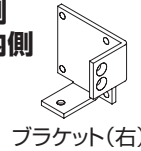
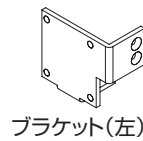
けがき位置にブラケットの穴を合わせ、
左右のブラケットを取付けてください。



ポイント

●ブラケットの向きを確認して取付けてください。

1つ穴ヒレ部：下側
2つ穴ヒレ部：室内側



室内側

●アルミ補強へのブラケットの固定は、オプションの薄パインドリルねじを使用すると施工が容易になります。
オプション品(P.15)参照

4. 以降の段窓無目の取付けについては、段窓無目P.90～P.93を参照してください。

3. プラマードU本体の取付

下記A寸法の位置にプラマードU本体を取付けてください。

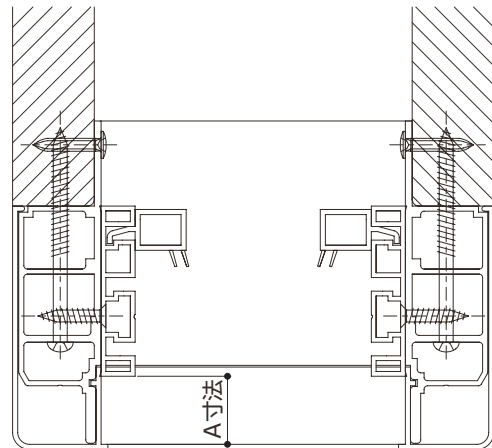
単位:mm

窓種	A寸法	
引違い窓	0	
内開き窓		
開き窓テラス		
FIX窓	ふかし枠40	15
	ふかし枠70	20

ポイント

オプションの方立・無目用ドリルねじを使用すると施工が容易になります。
オプション品(P.15)参照

※FIX窓用は、引違い窓用の皿ドリルねじを手配してください。ねじ色は何色でも構いません。障子吊込み後は、ねじ頭は見えなくなります。

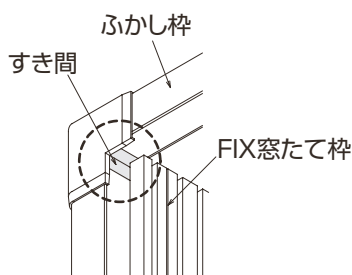


施工

注意

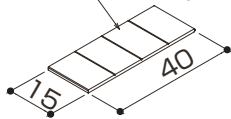
FIX窓の場合 ふかし枠コーナー部にすき間ができます。
すき間が見えないように、調整材(オプション品P.15参照)でふさいでください。

①ふかし枠コーナー部分に
すき間がある場合

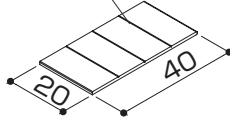


②調整材をカットする
(折目の向きに注意)

調整材
(ふかし枠40の場合)



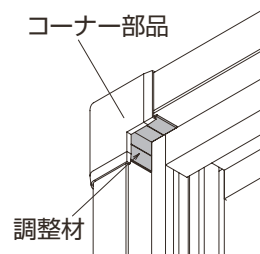
調整材
(ふかし枠70の場合)



③真ん中で折り曲げて
両面テープ
(オプション品P.15)を
貼る



④コーナー部品に貼付ける



※はがれの原因となるので、
貼付け前に表面の汚れを
ふきとり、十分に圧着させ
てください。

以降のプラマードU本体の取付けについては、
**引違い窓P.19~58、FIX窓P.59~64、内開き窓P.65~74、
開き窓テラスP.75~83**を各々参照してください。

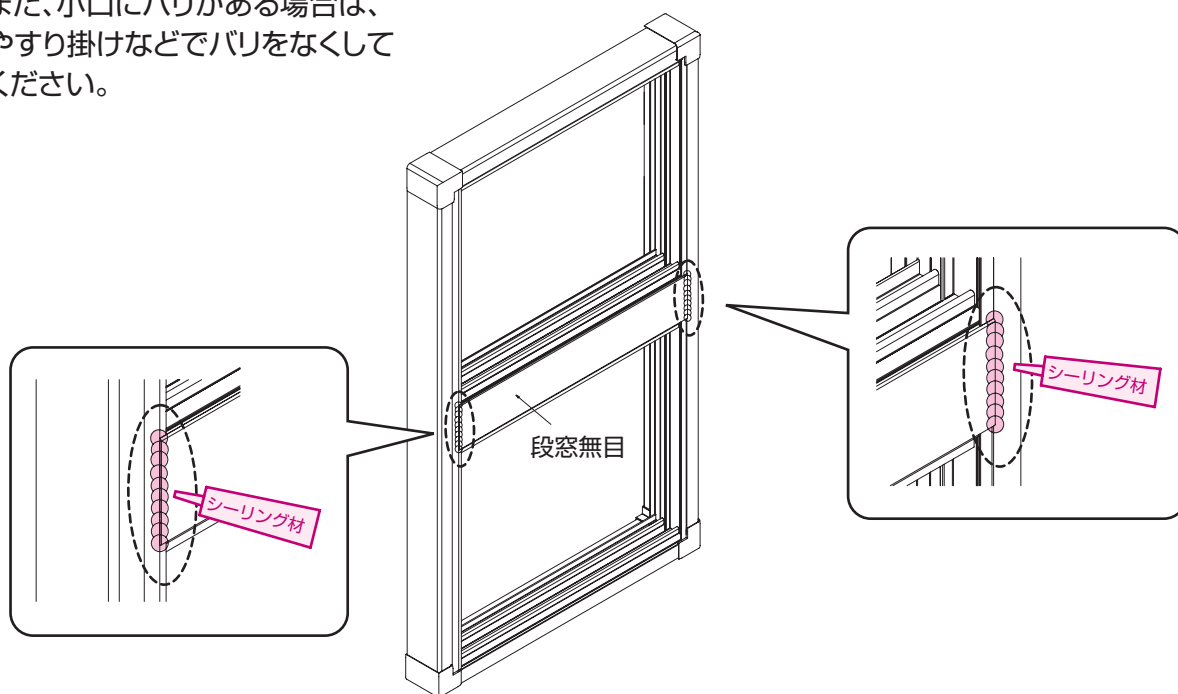
4.小口の処理

段窓無目の小口が露出します。

シーリング材、メンテチューブ(オプション品P.15参照)などで小口をふさいでください。

その他のすき間がある場合も、シーリング材、メンテチューブなどですき間をふさいでください。

また、小口にバリがある場合は、
やすり掛けなどでバリをなくして
ください。



施工

P.94と同様に、連窓方立+段窓無目を組み合わせる場合は、

- ①方立通しにしてください。
- ②方立の中心に合わせて無目を取付けてください。

1.ふかし枠の取付

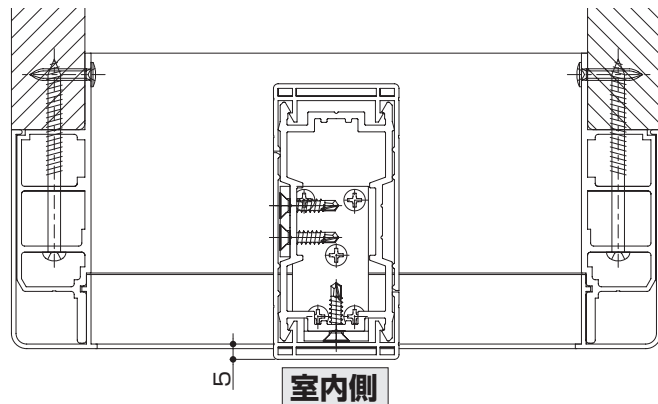
ふかし枠40の場合はP.108～111

ふかし枠70の場合はP.114～117を参照してください。

※図はふかし枠70で説明しています。
ふかし枠40も同様です。
※ふかし枠25は非対応です。

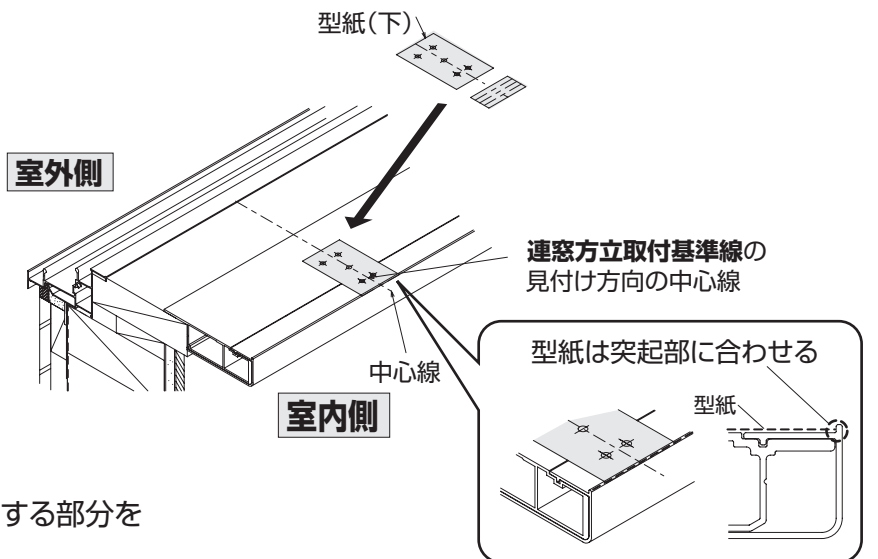
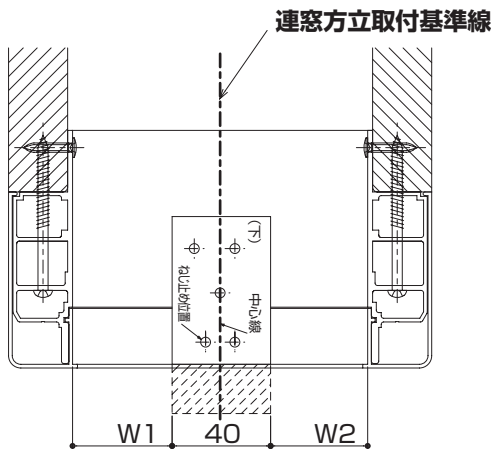
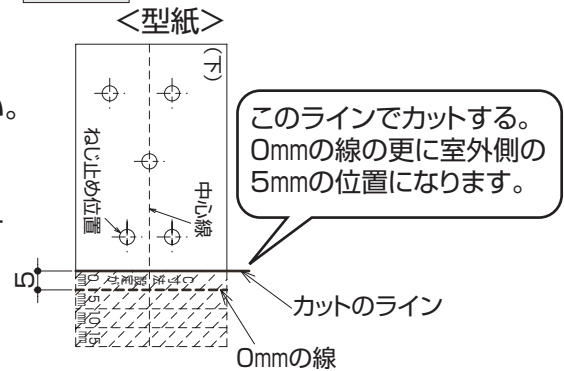
2.連窓方立の取付

連窓方立をふかし枠の突起部より5mm室内側へ出た位置に取付けてください。



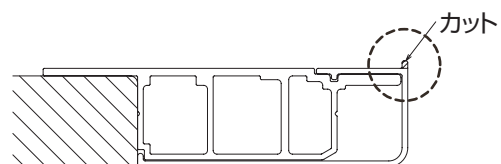
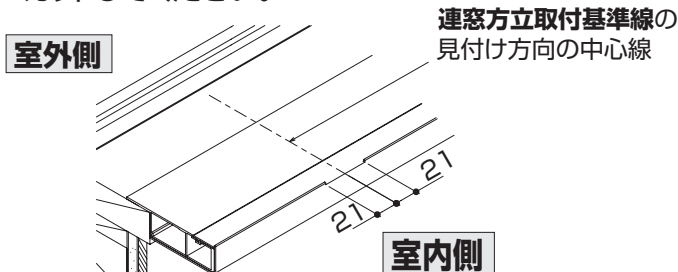
1 連窓方立の位置決め

- ①型紙を右図の位置でカットしてください。
- ②型紙を取付位置に合わせて、穴位置をけいがいてください。
 出入り方向：型紙のカットした辺をふかし枠の突起部に合わせてください。
 左右方向：型紙の中心線を連窓方立取付基準線の見付け方向の中心線に合わせてください。
- ③上端取付部も同様に行ってください。



2 ふかし枠の突起部のカット

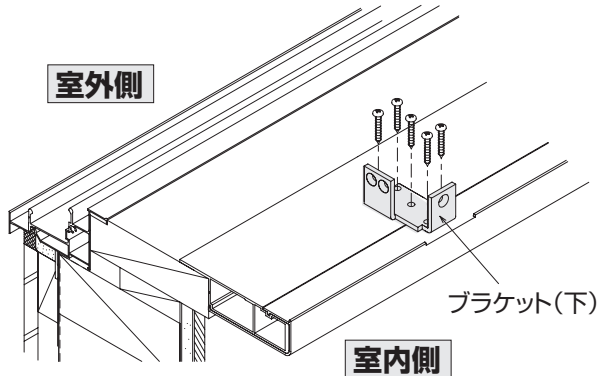
連窓方立とふかし枠の突起部の干渉する部分をカットしてください。



施工

3 ブラケットの取付

けがき位置にブラケットの穴を合わせ、
上下のブラケットを取付けてください。



ブラケット取付用

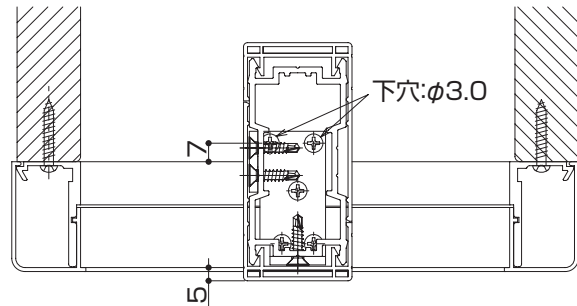


丸木ねじ
(φ3.8×22)

注意

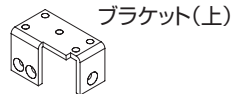
<ふかし枠40の場合>

木額縁の端部より近い位置への固定となるため、
φ3.0で下穴をあけてから木額縁に固定してください。



ポイント

●ブラケットの向きを確認
して取付けてください。



●アルミ補強へのブラケットの
固定は、オプションの薄バイ
ンドドリルねじを使用すると
施工が容易になります。
オプション品(P.15)参照

1つ穴ヒレ部：室内側
2つ穴ヒレ部：室内側から
見て左側

室内側

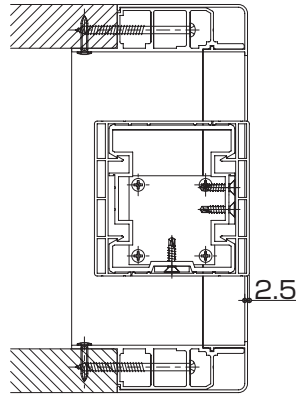


4 以降の連窓方立の取付けについては、連窓方立P.86～P.89を参照してください。

施工

3. 段窓無目の取付

段窓無目をふかし枠の突起部より2.5mm 室内側へ出た位置に取付けてください。

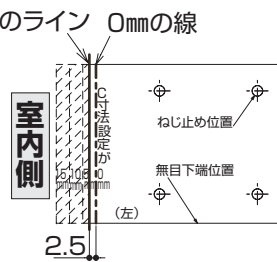


1 段窓無目の位置決め

- ① 型紙を右図の位置でカットしてください。 カットのライン 0mmの線
- ② 型紙を取付位置に合わせて、穴位置をけいがいてください。
 出入り方向：型紙のカットした辺をふかし枠の突起部に合わせてください。
 上下方向：型紙の下部を段窓無目取付基準線の下端に合わせてください。
- ③ 反対側の取付部も同様に行ってください。

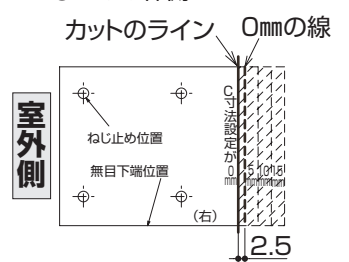
<型紙>

●方立側

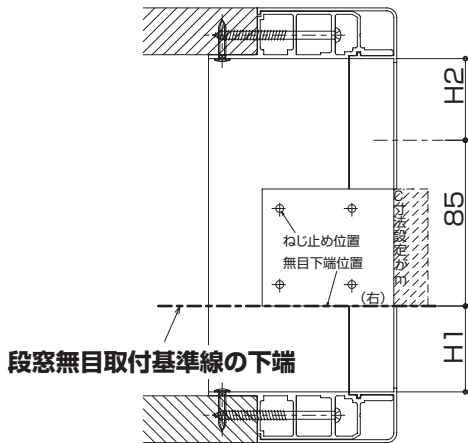


型紙を◎寸法が0mmの位置から、室内側に2.5mmの位置でカットしてください。

●ふかし枠側



型紙を◎寸法が0mmの位置から、室外側に2.5mmの位置でカットしてください。

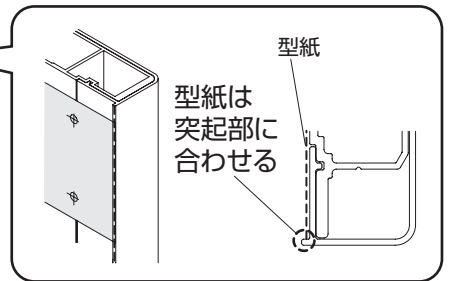


室外側

室内側

段窓無目取付基準線の下端

型紙

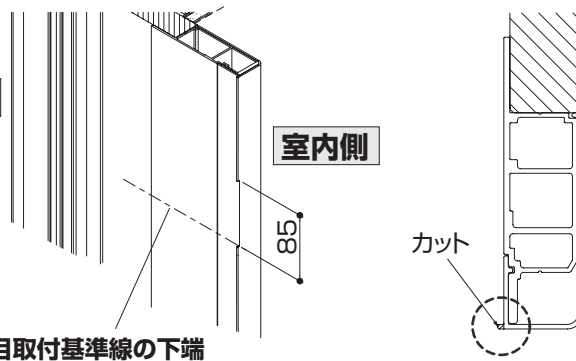


2 ふかし枠の突起部のカット

段窓無目とふかし枠の突起部の干渉する部分をカットしてください。

室外側

室内側



段窓無目取付基準線の下端

③以降の段窓無目の取付けについては、段窓無目P.90～P.93を参照してください。

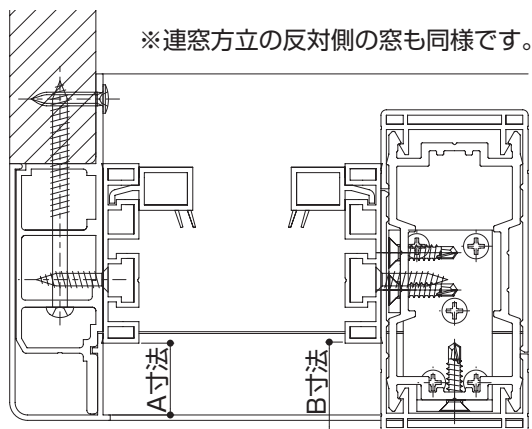
施工

4. プラマードU本体の取付

下記A寸法、B寸法の位置にプラマードU本体を取付けてください。

単位:mm

窓種		A寸法	B寸法
引違い窓		0	5
内開き窓			
開き窓テラス			
FIX窓	ふかし枠40	15	20
	ふかし枠70	20	25



ポイント

オプションの方立・無目用ドリルねじを使用すると施工が容易になります。
オプション品(P.15)参照

※FIX窓用は、引違い窓用の皿ドリルねじを手配してください。ねじ色は何色でも構いません。障子吊込み後は、ねじ頭は見えなくなります。

注意

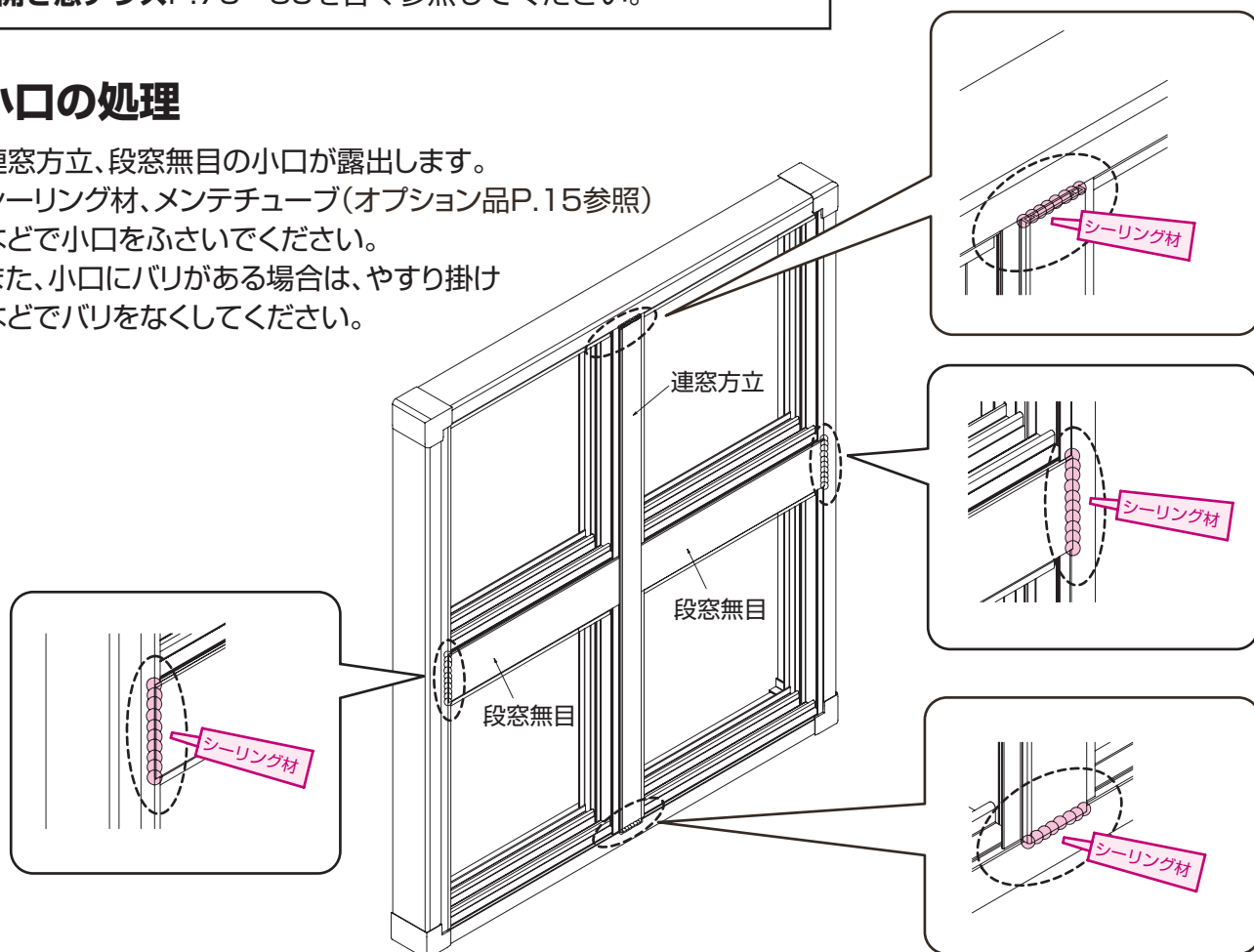
FIX窓の場合

ふかし枠コーナー部にすき間ができます。
すき間が見えないように、P.148を参照して調整材でふさいでください。

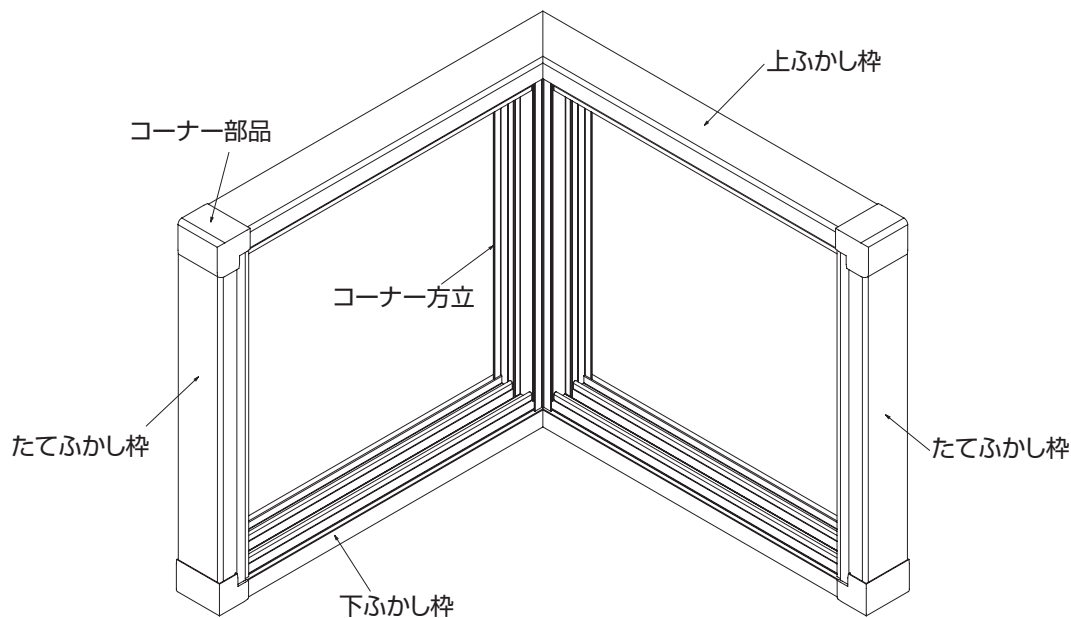
以降のプラマードU本体の取付けについては、
引違い窓P.19～58、**FIX窓**P.59～64、**内開き窓**P.65～74、
開き窓テラスP.75～83を各々参照してください。

5. 小口の処理

連窓方立、段窓無目の小口が露出します。
シーリング材、メンテチューブ(オプション品P.15参照)
などで小口をふさいでください。
また、小口にバリがある場合は、やすり掛け
などでバリをなくしてください。



商品構成



同梱一覧

コーナー突合せふかし枠40

番号	①	②	③	④	⑤
姿図				※1	※2
品名	コーナー部品	丸木ねじ (φ3.5×25)	皿ドリルねじ (φ3.5×19)	丸木ねじ (φ3.8×50)	小トラスタッピンねじ (φ4×12)
品番	2K-30869	WR-3525	4K-14920	WR-3850	EM-4012
備考	ふかし枠組立用	ふかし枠補強材取付用	本体枠取付用	カーテンレール対応ふかし枠または補強ふかし枠補強材取付用	カーテンレールブラケット取付用

※1 カーテンレール対応ふかし枠または補強ふかし枠の場合にのみ同梱

※2 カーテンレール対応の場合にのみ同梱

コーナー突合せふかし枠70

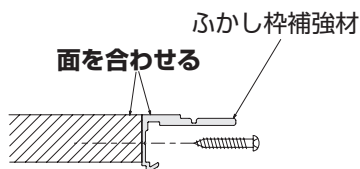
番号	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
姿図							※
品名	コーナーブロック	コーナーカバー	すき間隠しカバー	薄バインド木ねじ (φ3.8×20)	丸木ねじ (φ4.8×63)	皿ドリルねじ (φ4×19)	小トラスタッピンねじ (φ4×12)
品番	2K-34040	2K-34043	2K-34045	WS-3820	WR-4863	4K-14920	EM-4012
備考				ふかし枠補強材取付用	ふかし枠補強材取付用	本体枠取付用	カーテンレールブラケット取付用

※カーテンレール対応の場合にのみ同梱

施工

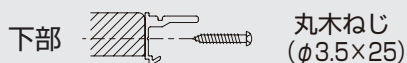
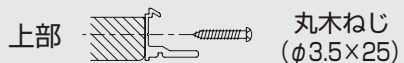
1. ふかし枠補強材の取付

コーナー突合せふかし枠40

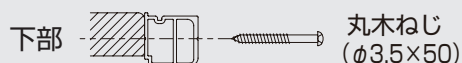
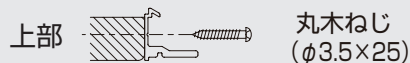


仕様により上部と下部に取付くふかし枠補強材の形状が異なります。ふかし枠補強材の形状を確認し、取付けてください。

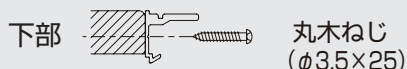
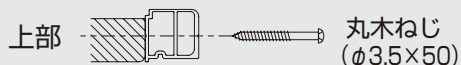
① ふかし枠



② 補強ふかし枠



③ カーテンレール対応ふかし枠

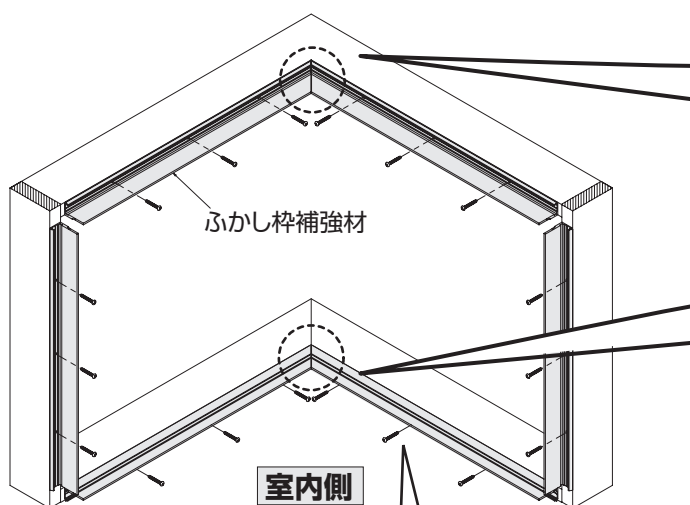
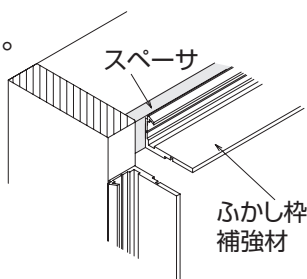


④ カーテンレール対応補強ふかし枠



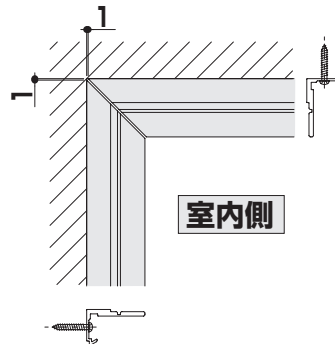
ポイント

- 額縁の面違いを確認して取付けてください。段差のある場合は、スペーサを入れてください。
- ふかし枠開口部に両面テープ(別途手配)で仮止めすると、位置決め・ねじ固定がしやすくなります。

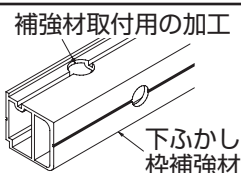


お願い

突合せ部のチリが1mmになるように取付けてください。



「補強ふかし枠 補強部品-補強角パイプまたはブラケット」の場合、補強材取付用の加工がある下ふかし枠補強材を下部に取付けてください。

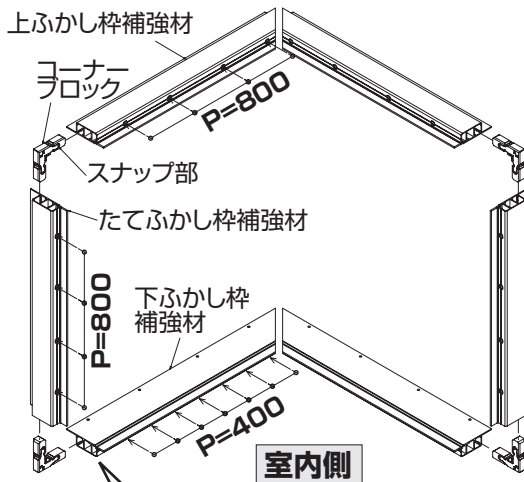


施工

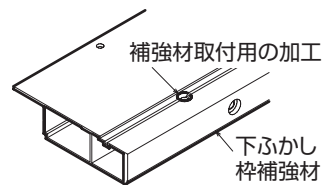
コーナー突合せふかし枠70

- ① ふかし枠補強材をコーナーブロックで連結し、組立ててください。

※カーテンレール対応の場合、上ふかし枠補強材のねじピッチはP=400になります。



「補強ふかし枠 補強部品-補強角パイプまたはブラケット」の場合、補強材取付用の加工がある下ふかし枠補強材を下部に取付けてください。

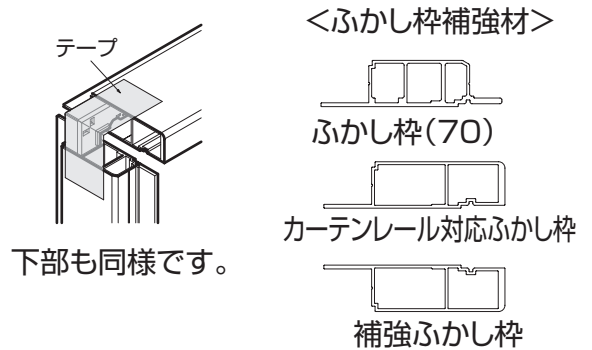


ポイント

- コーナーブロックのスナップ部のある方が室内側になります。
- 見付け方向のねじピッチP=400が下枠になります。

お願い

カーテンレール対応ふかし枠や補強ふかし枠の場合、ふかし枠コーナー部をテープ（現地調達）で仮固定してください。木額縁への位置決め、ねじの固定がしやすくなります。ふかし枠固定後、テープは剥がしてください。

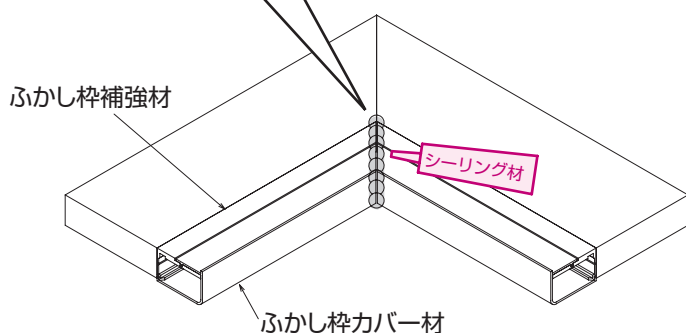


施工

2.ふかし枠カバー材の取付

取付は、コーナー突合せふかし枠40の場合はP.109
コーナー突合せふかし枠70の場合はP.116を参照してください。

突合せ部にすき間があく場合は、シーリング材やメンテチューブ(オプション品P.15参照)などでふさいでください。



3.ふかし枠の補強

ふかし枠を補強してください。

ふかし枠の補強については、補強部品(補強角パイプ仕様)での補強P.120~125、補強部品(ブラケット仕様)での補強P.126~133、補強部品(束仕様)での補強P.134~140(ふかし枠40のみ対応)、造作材での補強P.141、142を各々参照してください。

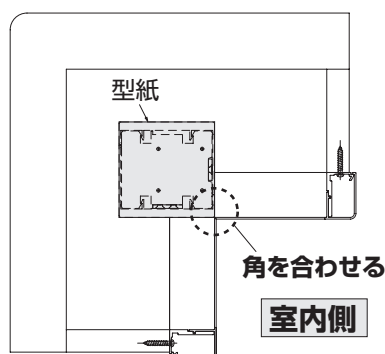
注意

障子脱落のおそれがあるため、必ず補強してください。

4.コーナー方立の取付

■ブラケットの位置決め

型紙の角をふかし枠の角部に合わせて置き、穴位置をけがいてください。上側取付部も同様に行ってください。



以降のコーナー方立の取付けについては、コーナー方立P.96~99を参照してください。

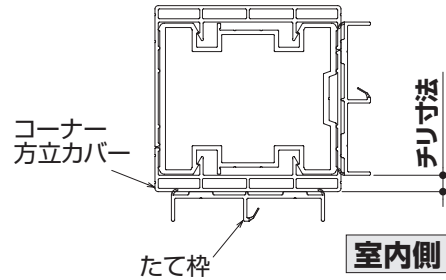
施工

5. プラマードU本体の取付

下記の寸法位置にプラマードU本体を取付けください。

■たて枠取付位置表
(コーナー方立室内側の面からのチリ寸法)
単位:mm

	ふかし枠40	ふかし枠70
引違い窓	13.5	7.5
FIX窓	15	20
内開き窓	0	0
開き窓テラス	0	0



以降のプラマードU本体の取付けについては、
引違い窓P.19～58、**FIX窓**P.59～64、**内開き窓**P.65～74、
開き窓テラスP.75～83を各々参照してください。

<MEMO>

A series of horizontal dashed lines for writing a memo.

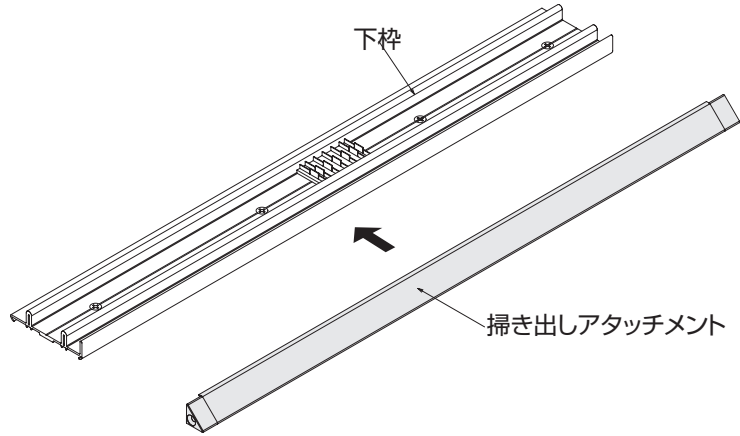


【組立・施工】

オプション 【引違い窓用】

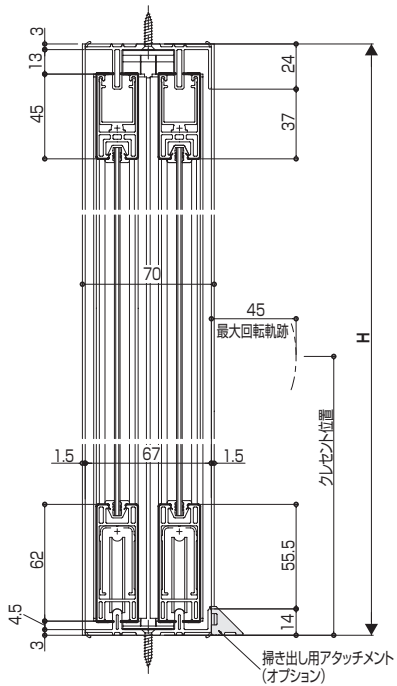
- 掃き出しアタッチメントP.160
- 後付L型引手P.162
- レール端部スペーサーP.167
- 化粧額縁P.168

商品構成

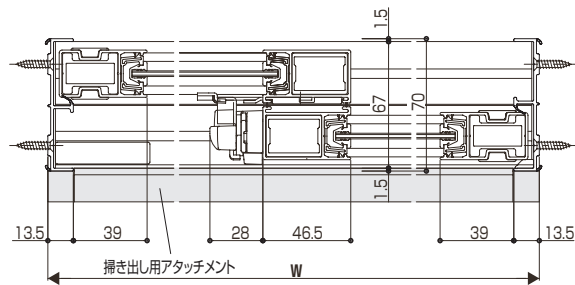
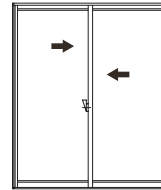


標準納まり

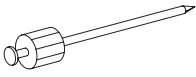
- 引違い窓テラスタイプ 単板ガラス
- 掃き出し用アタッチメント取付時



内観姿図



同梱一覧

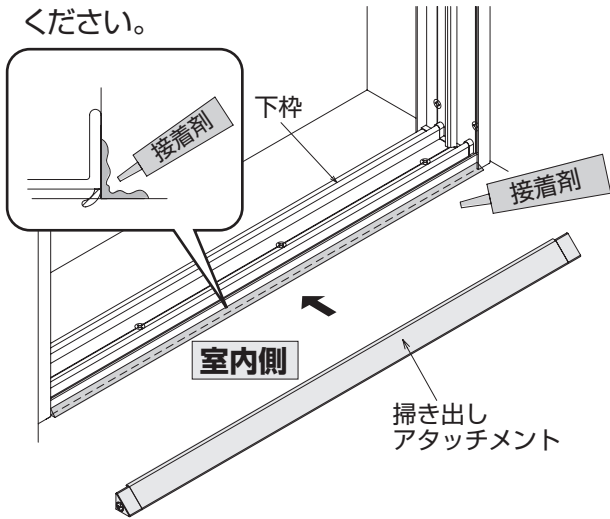
姿図	
品名	隠し釘
品番	5K-13508
個数	2~13

ポイント

隠し釘が目立つ場合は、隠し釘跡にメンテチューブ (オプション品P.15)を塗ってください。

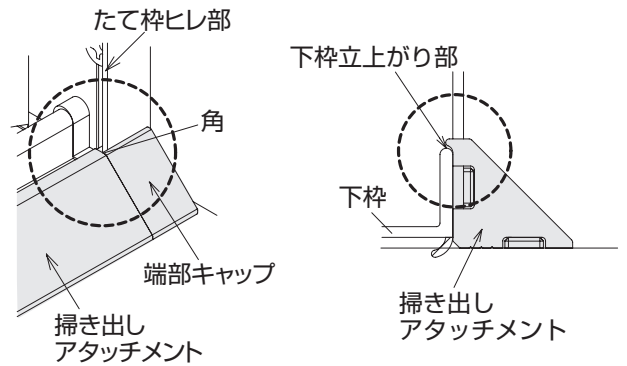
施工

- ①下枠の室内側に木工用ボンド(現地調達)を塗布し、掃き出しアタッチメントを押えつけてください。

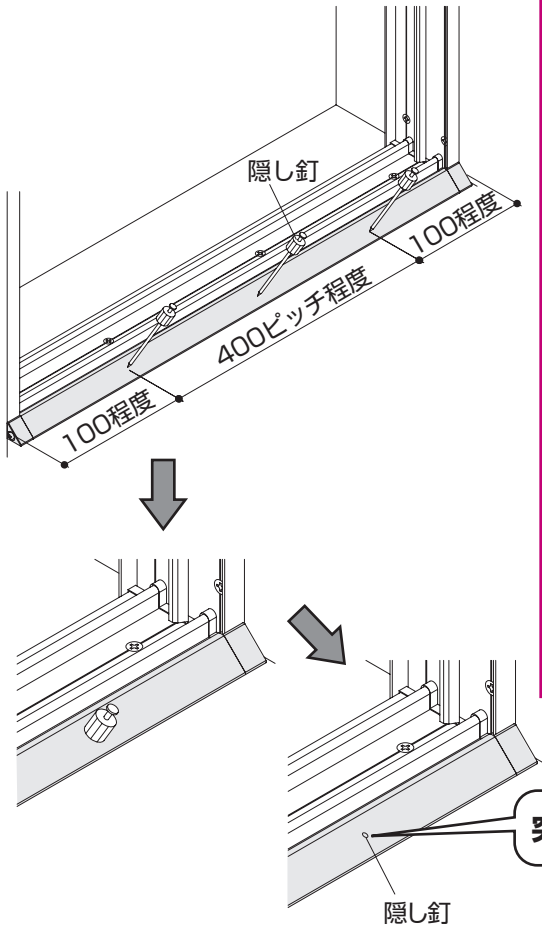


ポイント

端部キャップと掃き出しアタッチメントの角をたて枠ヒレ部にあて、下枠立上がり部にらせてください。

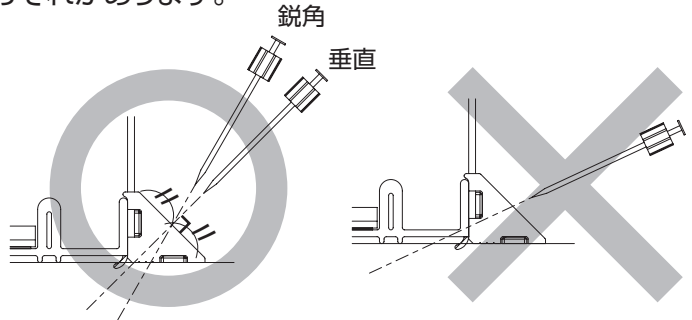


- ②隠し釘の取付け位置をけがき、隠し釘を打込んでください。



注意

- 隠し釘は、下図のように打ってください。鈍角になると下枠を貫通して開閉に支障をきたすおそれがあります。



斜面中央付近でかつ
垂直または、鋭角

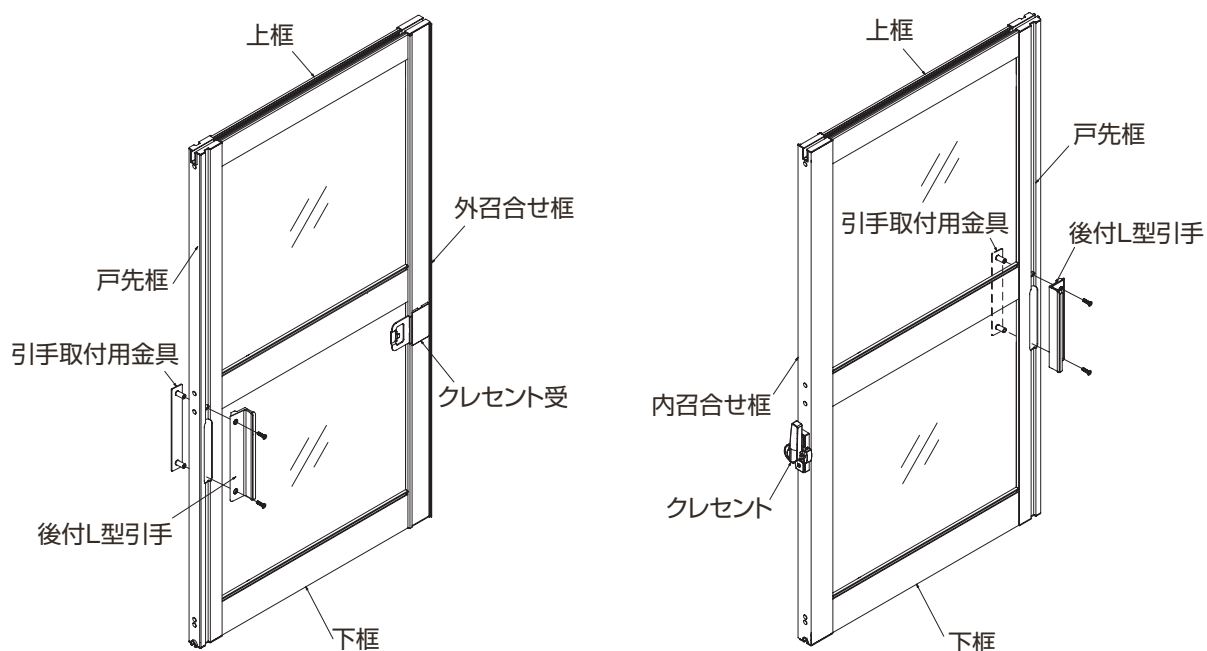
鈍角

- 隠し釘の突起が出ていないことを確認してください。隠し釘が出ていると、衣類を引っ掛けたり、手足にけがを負う可能性があります。出ている場合はポンチなどの工具でたたき込んでください。

突起が出ていない事を確認

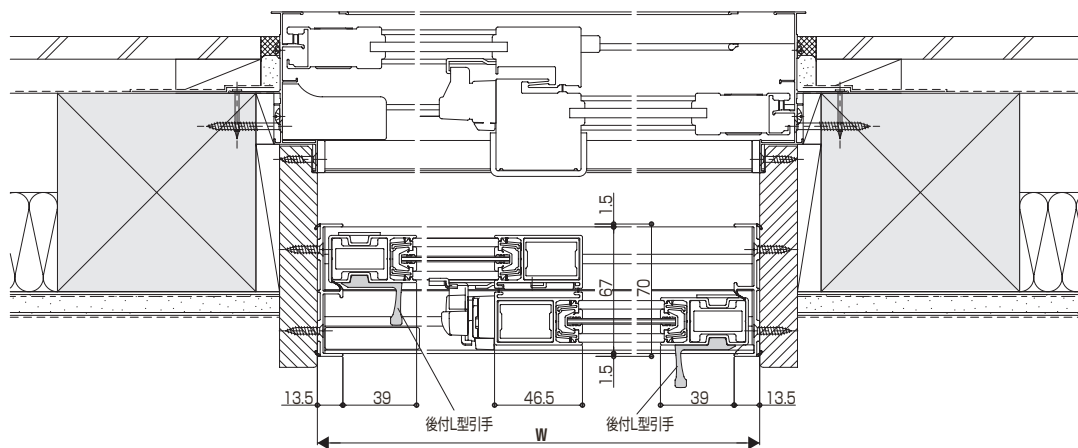
隠し釘

商品構成








標準納まり

- 引違い窓 窓タイプ 単板ガラス
- 後付L型引手取付時



同梱一覧



姿図					
品名	引手	引手取付用金具	ねじ隠しシール	取付ねじ	位置決めシール
品番	5K-15530	5K-15531	K-41844	EF-5016D8-SA	3K-40060
数量	1	1	2	2	1

- 本商品を取付けると、サッシに100mm程引残しが生じます。
引き残した状態で外窓のクレセント操作が出来る事を事前にご確認ください。
- 障子のはずれ止め・クレセント・クレセント受け・戸車の調整は事前に行ってください。

注意

外障子に後付けL型引手を取付ける場合、障子ストッパーBS-PUH-37(オプション)が別途必要になります。

※後付けL型引手1セットにつき、障子ストッパーが2セット必要になります。

姿 図		
品 名	ストッパー	皿タッピンねじ1種 (φ4×40)
品 番	K-30931	AF-4040D7
個 数	2	4

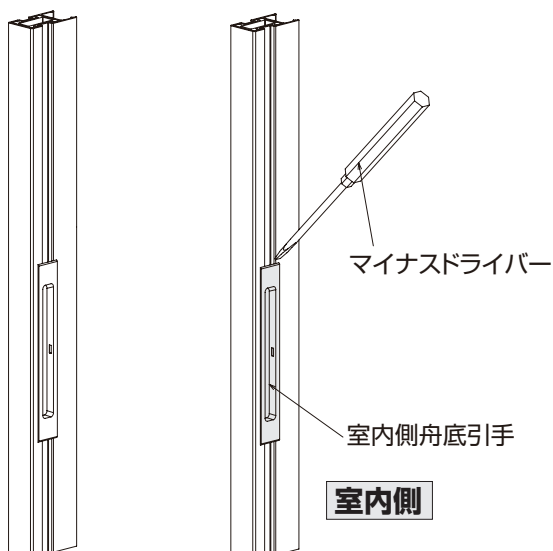
施工

1.内部引手の取りはずし

※引手が付いていない場合、この作業は不要です。

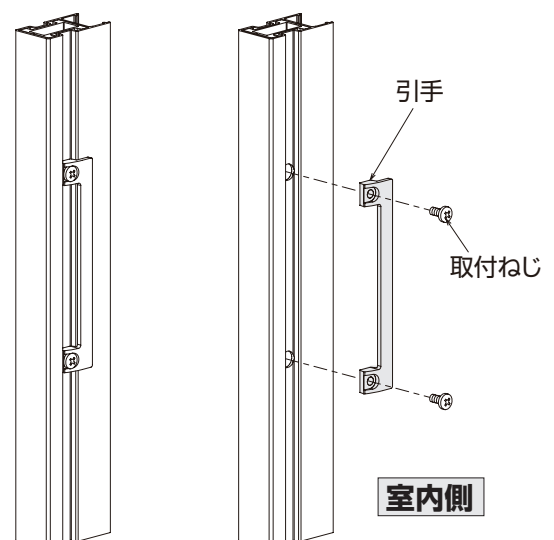
<内外に舟底引手が付いている場合>

室内側に取付けてある舟底引手をマイナスドライバーを用いて引手上部側から取はずしてください。



<室内側にねじ止めで引手が付いている場合>

ドライバーでねじをはずし、引手を取りはずしてください。



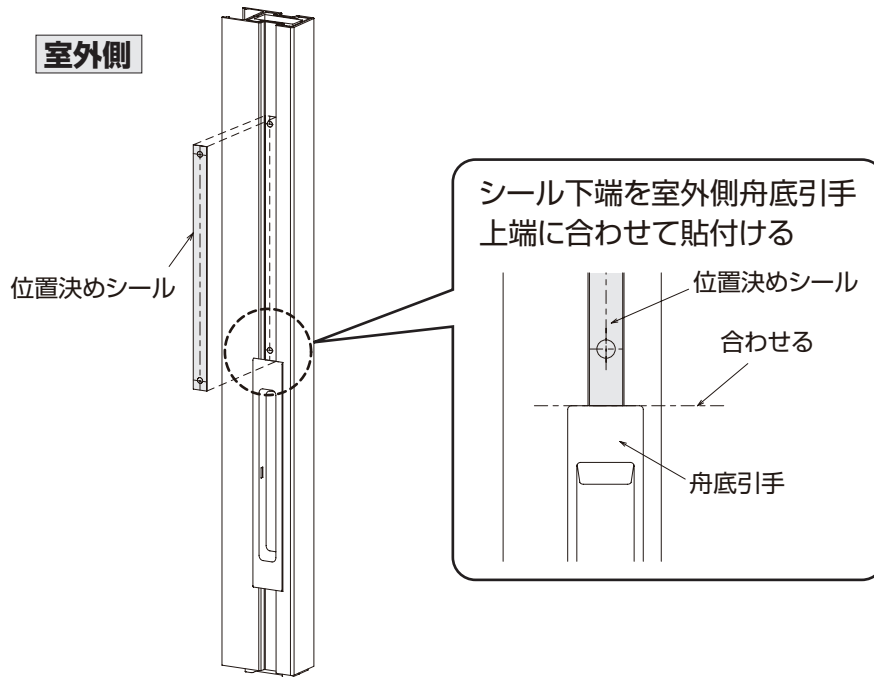
施工

2. 引手の位置決め

<室内外に引手が付いていた場合>

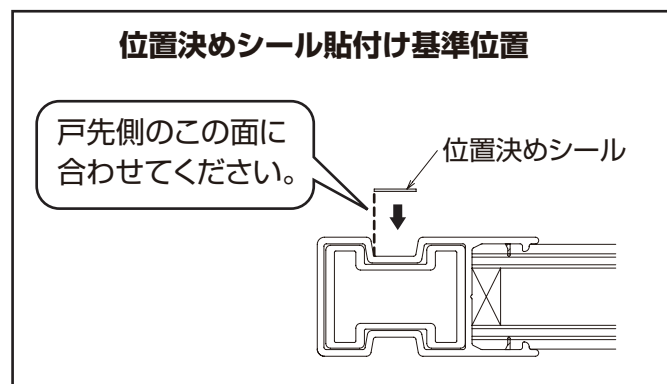
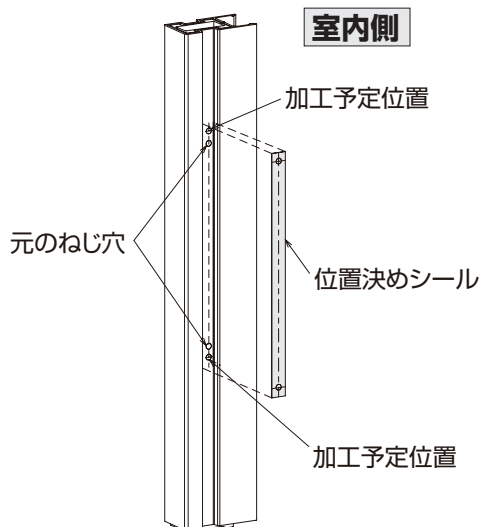
室外側から位置決めシールを貼付けてください。

この際、シール下端を室外側舟底引手上端に合わせて貼付けてください。



<ねじ止めタイプの引手が付いていた場合>

室内から加工予定位置が元のねじ穴をまたぐようにシールを貼ってください。



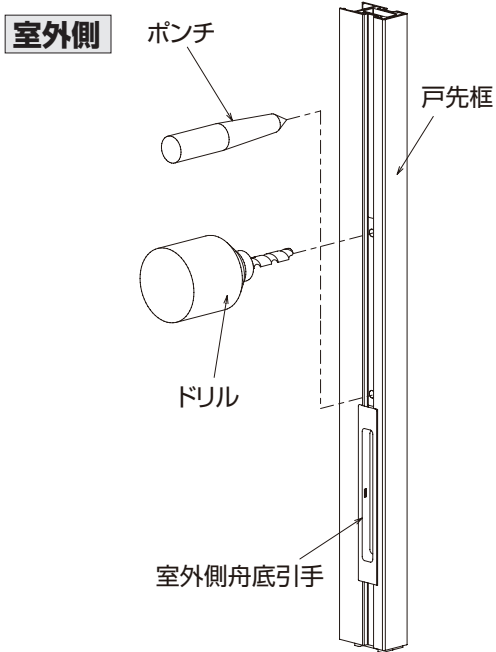
ポイント

引手が付いていなかった場合は、床からの高さが900±100mm程度を目安に室内側に貼付けてください。

施工

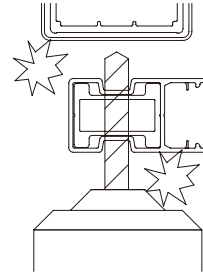
3.取付穴の加工

- ①位置決めシールに印刷されている穴中心にポンチを打ち、
 框にφ5のドリルで穴あけて貫通させてください。
- ②φ8のドリルで貫通穴を広げてください。
- ③位置決めシールをはがし、框内外面のバリを取ってください。



注意

ドリル貫通時に外窓や外障子を傷付けないよう位置をずらしてから加工してください。
ドリルチャックで框を傷付けないよう注意してください。

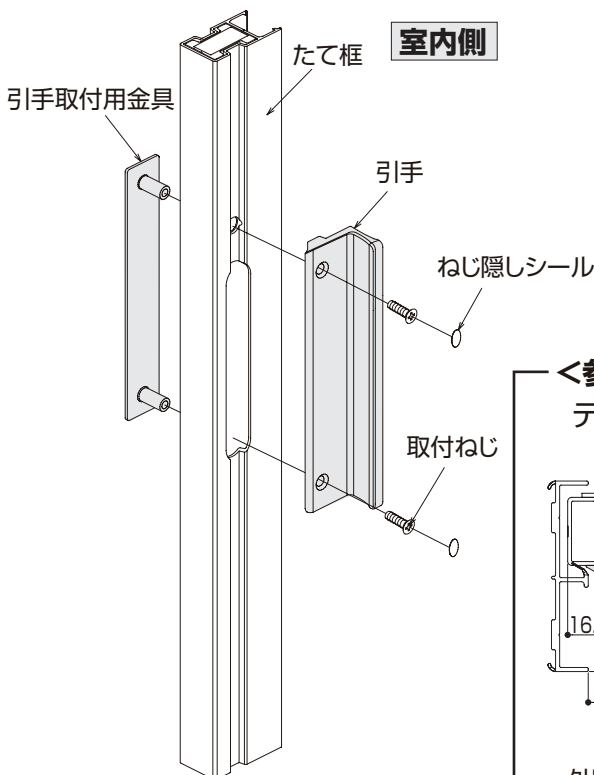


お願い

バリを残したままにしていると、框と引手との間にすき間ができてしまいます。

4.引手の取付

引手取付用金具がずれないように手で押さえながら下記を参照し、引手を室内側に取付けてください。



注意

ねじ締付けの際には電動ドライバーを用いず、手で締付けてください。
その際、部品、形材の変形のない様に締付けてください。

2.0~2.5N・m程度
(20~25kgf・cm)

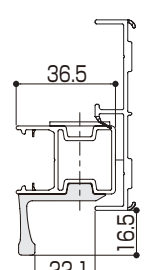
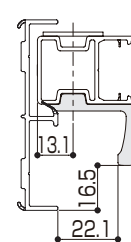
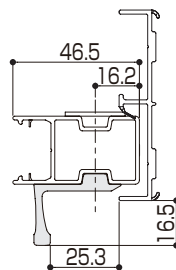
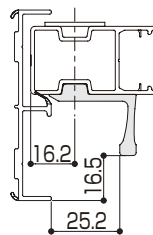
電動
ドライバー
使用禁止



<参考納まり図>

テラス・ランマ通しタイプ
(框見付46.5mm)

窓タイプ
(框見付36.5mm)



外障子側

内障子側

外障子側

内障子側



4.障子ストッパーの取付

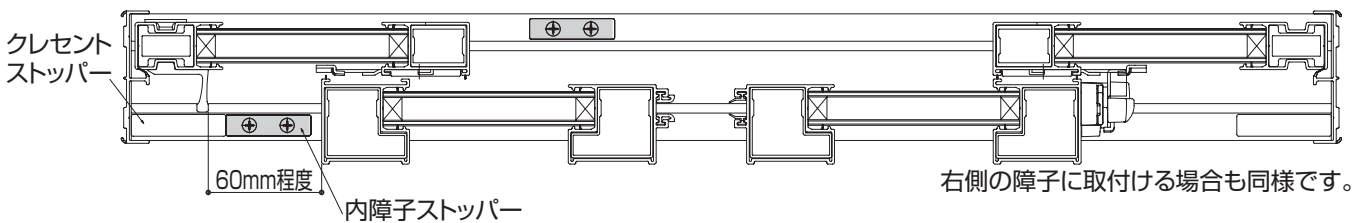
外障子に引手を取付ける場合は、引手と召合せ框での指挟みを防止する為、障子ストッパーを取付けてください。
障子ストッパーは、内障子側の上下と外障子側の上下の計4個取付けてください。

<障子ストッパー取付位置>

●内障子ストッパー

内障子ストッパーは、閉じた状態の外障子側引手と内障子召合せ框の間隔が60mm程度となるように取付けてください。

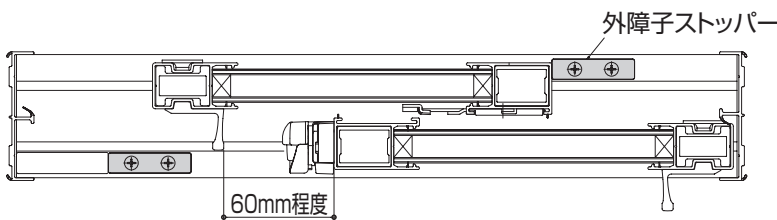
- ・クレセントストッパーは、窓タイプの場合は上枠にのみ、テラスタイプの場合は上下枠両方に取付けられています



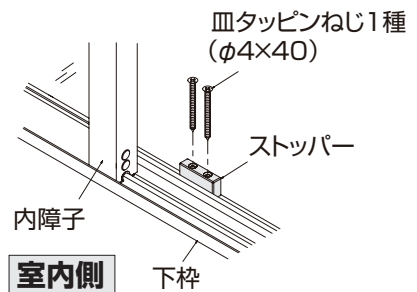
右側の障子に取付ける場合も同様です。

●外障子ストッパー

外障子ストッパーは、閉じた状態の内障子召合せ框と外障子側引手の間隔が60mm程度となるように取付けてください。

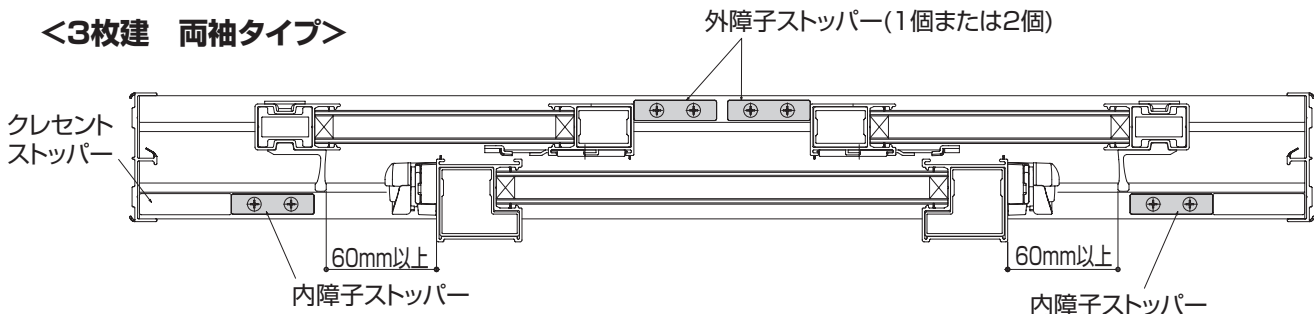


外障子下部ストッパー取付イメージ

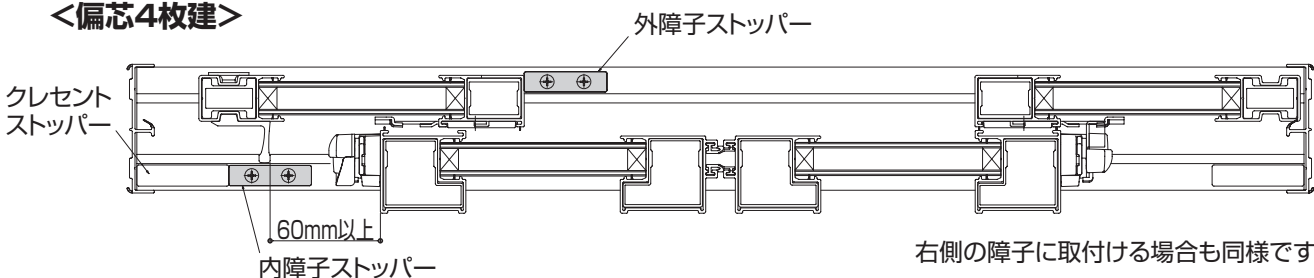


- ・偏芯2枚建や3枚建の一部では、上記の間隔になる前に障子が止まるため、障子ストッパーが不要になる場合があります。
- ・3枚建両袖タイプ、偏芯4枚建では、閉じた状態の内障子召合せ框と外障子側引手の間隔が60mm以上となるように取付けてください。

<3枚建 両袖タイプ>

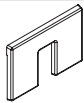


<偏芯4枚建>



右側の障子に取付ける場合も同様です。

同梱一覧

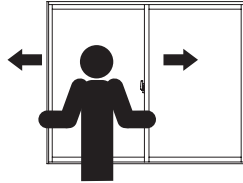
姿図	
品名	レール端部スペーサー
品番	2K-37527
個数	20

施工

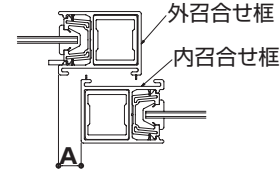
1. 取付個数の確認

※図は窓タイプで説明しています。テラスタイプの場合も同様です。

①障子を左右に引き分けてください。

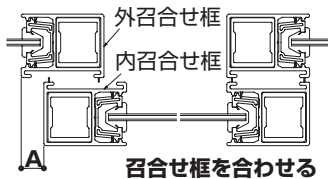


②召合せ框のズレ寸法(A寸法)を測定し、取付個数を確認してください。



注意

3枚建(両袖タイプ)、4枚建の場合、一方の召合せ框を合わせた状態でもう一方の召合せ框のズレ寸法を測定してください。



召合せ框を合わせる

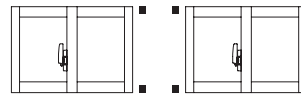
レール端部スペーサー取付個数

2枚建、3枚建(突合せタイプ)の場合
 $0 \leq A \leq 2$...クレセント受を調整
 $2 < A \leq 4$...2個+クレセント受を調整
 $4 < A \leq 6$...4個+クレセント受を調整
 $6 < A$...開口を調整

3枚建(両袖タイプ)、4枚建の場合
 $0 \leq A \leq 4$...クレセント受を調整
 $4 < A \leq 6$...2個+クレセント受を調整
 $6 < A \leq 8$...4個+クレセント受を調整
 $8 < A$...開口を調整

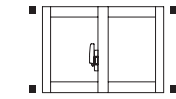
レール端部スペーサー取付位置

<2個の場合>



室内側

<4個の場合>



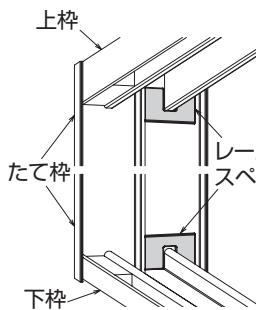
室内側

※図は2枚建正勝手で説明しています。逆勝手や3枚建、4枚建の場合も同様です。

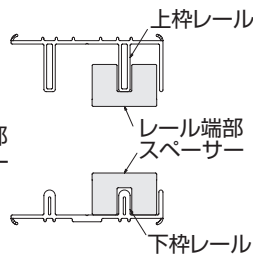
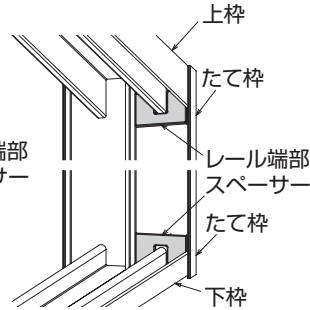
2. 取付

- ①たて枠部の油、汚れなどをきれいに落としてください。
- ②レール端部スペーサーの両面テープのハクリ紙をはがし、上下枠のレールに合わせて、たて枠に取付けてください。

<外障子側に取付ける場合>



<内障子側に取付ける場合>



ポイント

- 両面テープの貼付は
- 気温10℃以下の場合ドライヤーで温める
 - 約11kgの力で圧着してください。

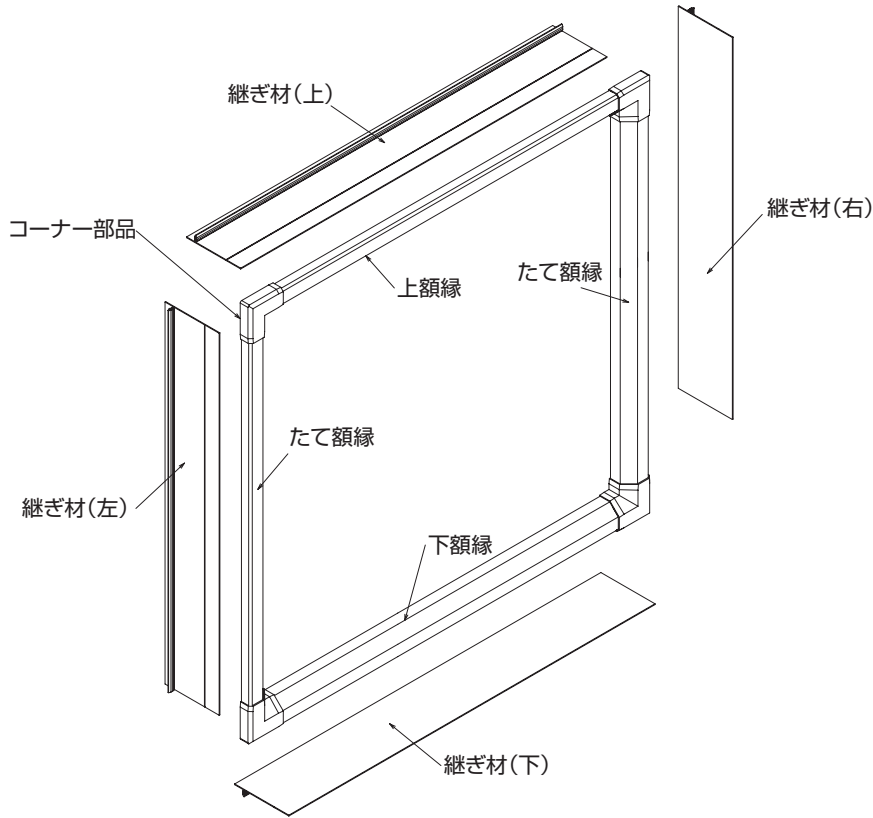
注意

性能低下のおそれがあるので、レール端部スペーサーを重ねて取付けしないでください。

調整

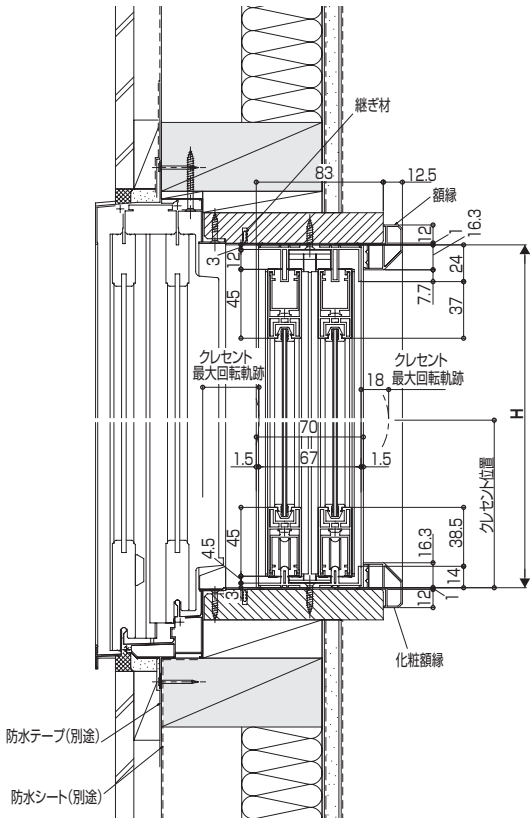
調整は、P.29「引違い窓 クレセント受の調整」を参照してください。

商品構成

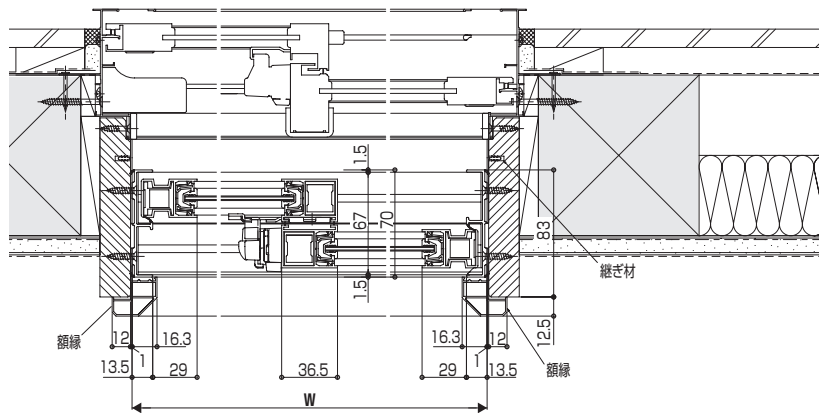
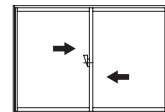


標準納まり

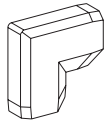

- 引違い窓 窓タイプ 単板ガラス
- 化粧額縁取付時



内観姿図



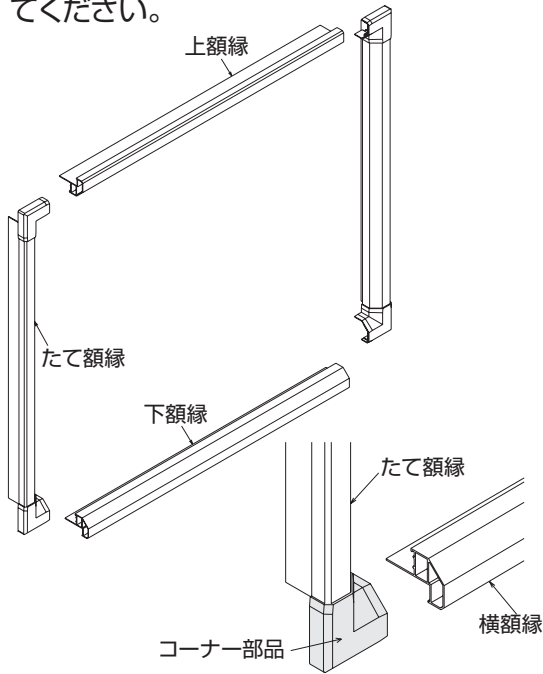
同梱一覧

姿 図		
品 名	コーナー部品	釘
品 番	2K-30907	K-6606A
使用箇所	額縁組立用	額縁取付用

施工

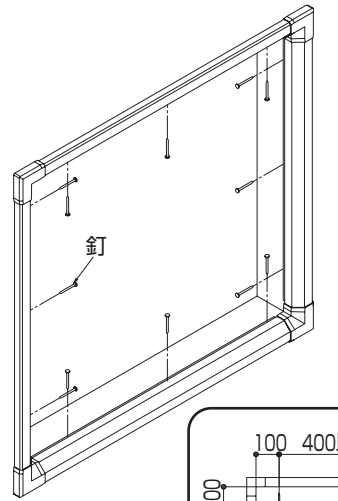
1. 額縁の組立

額縁にコーナー部品を差込んで組立ててください。



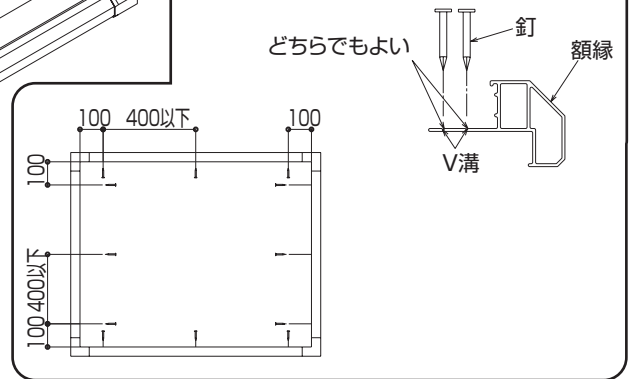
2. 額縁の取付

額縁を開口部にはめ込んで固定してください。



ポイント

- 各部材は以下の位置に釘打ちしてください。
- 各部材の端からそれぞれ100mmの位置に釘打ちし、この間は400mm程度のピッチで均等に釘打ちを行ってください。

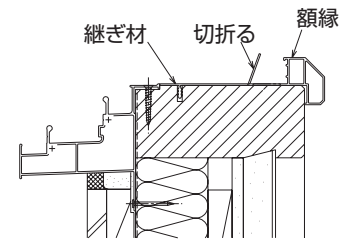
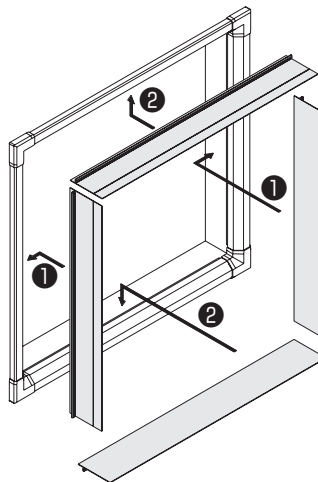
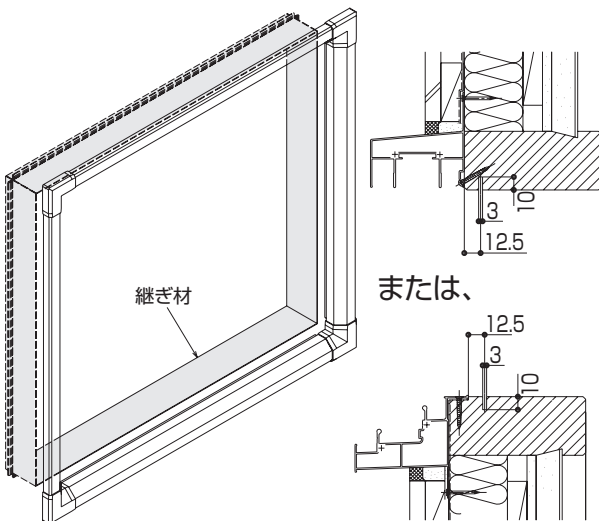


3. 継ぎ材の取付

柱の外表面または既設サッシの取付ヒレから12.5mmの位置に、幅3mm、深さ10mmの溝を切ってください。

継ぎ材の突起部を溝に入れるようにしてたて、上下の順に取付けてください。

継ぎ材が額縁のヒレと重なる場合は、継ぎ材のけがき溝部を折曲げ、切取って寸法を調整してください。



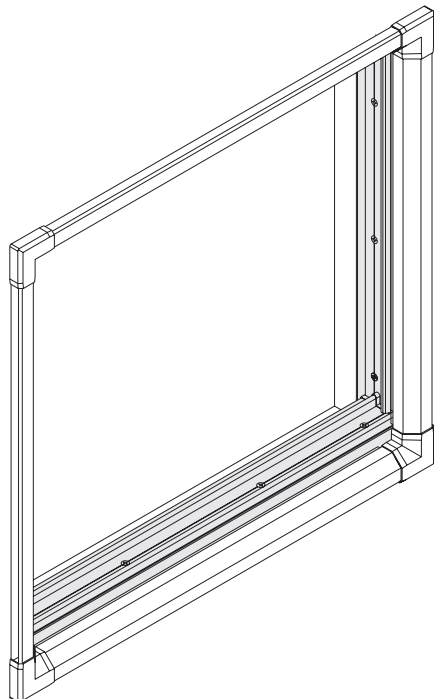
ポイント

カッターナイフで裏から切込みを入れ、折り曲げて切断してください。



施工

4.引違い窓 枠の取付・障子の吊込み



ブラマードU本体の取付けについては
P.19~43を参照してください。

【組立・施工】

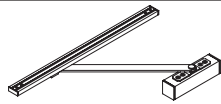
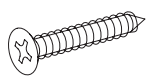
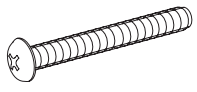
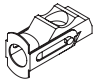
オプション 【内開き窓・開き窓テラス用】

■アームストッパー……………P.172

同梱一覧<内開き窓用>

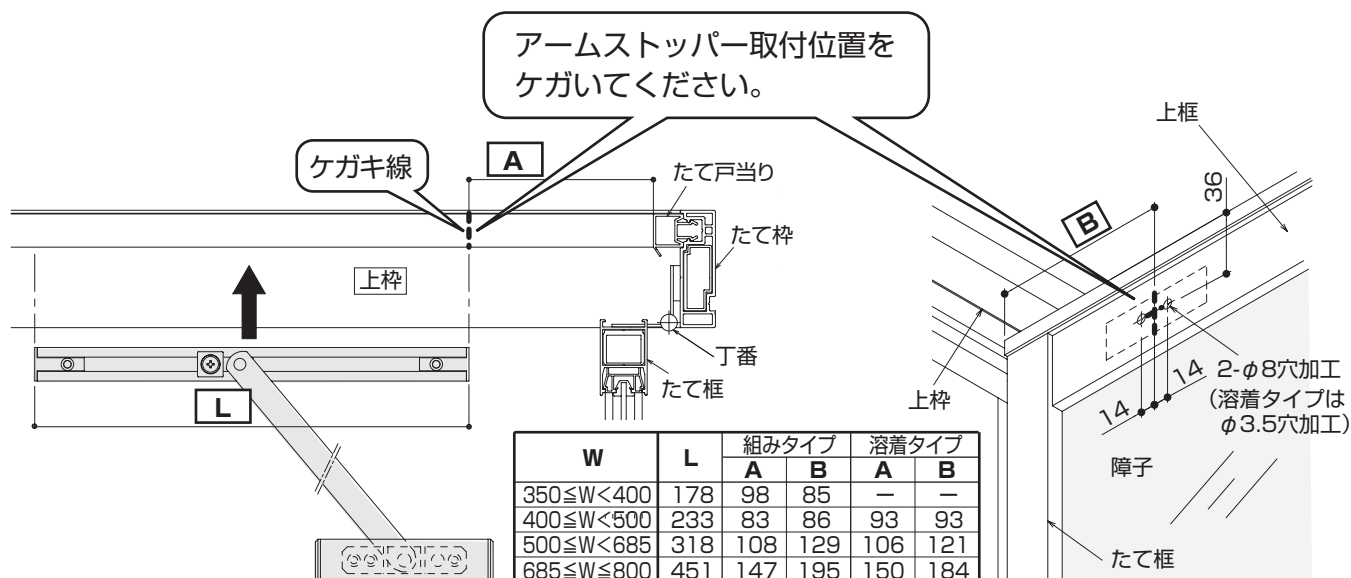
取付サイズと開き角度

取付サイズ	開き角度
$270 \leq W < 350$	取付不可
$350 \leq W < 400$	70°
$400 \leq W \leq 800$	90°

姿 図				
品 名	アームストッパー 勝手兼用	皿タッピンねじ1種 (φ4×25)	小ねじ (φ4×40)	ターンナット
品 番	5K-14320	AF-4025D7	MP-4040	2K-16032
個 数	1	2	2	2

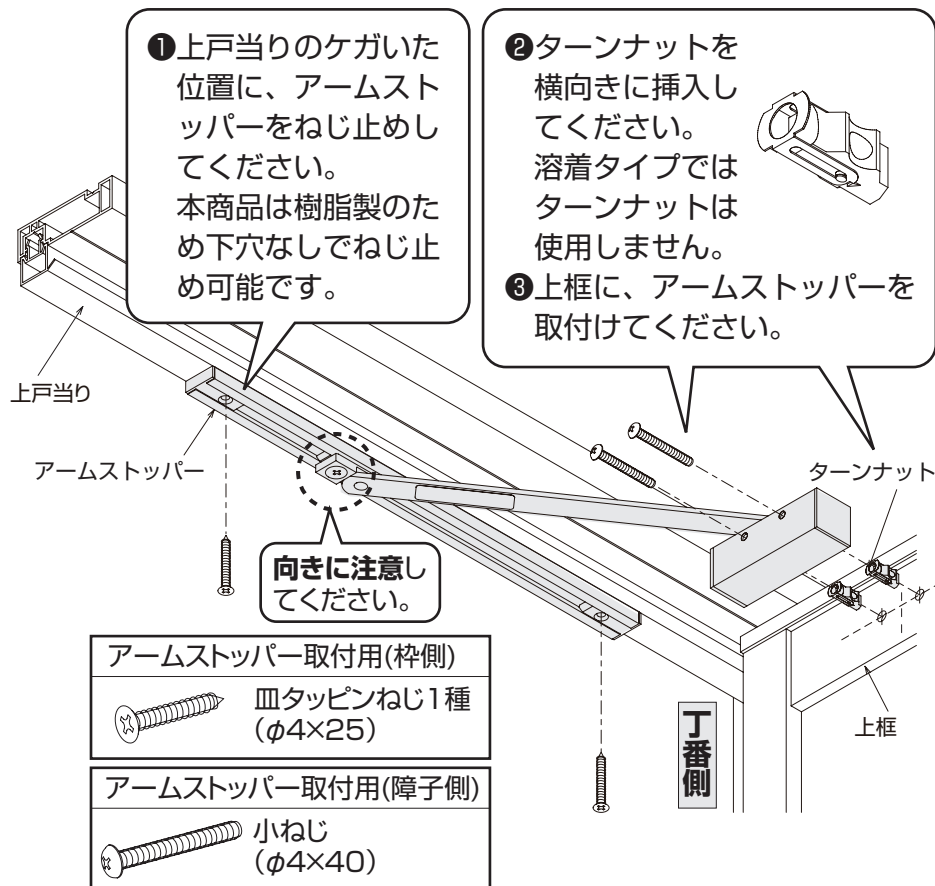
施工<内開き窓用>

1.アームストッパーの取付位置決め



2.アームストッパーの取付

3.開き角度の確認



4.開閉抵抗の調整



同梱一覧<開き窓テラス用>

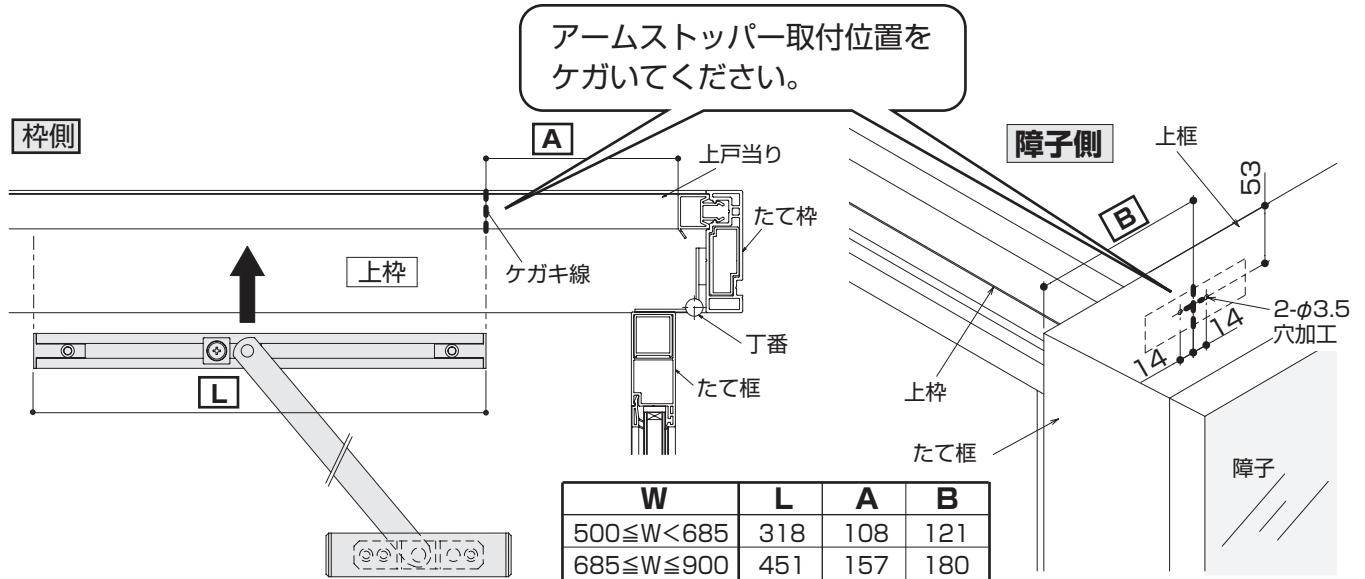
取付サイズと開き角度

取付サイズ	開き角度
500 ≤ W ≤ 900	90°

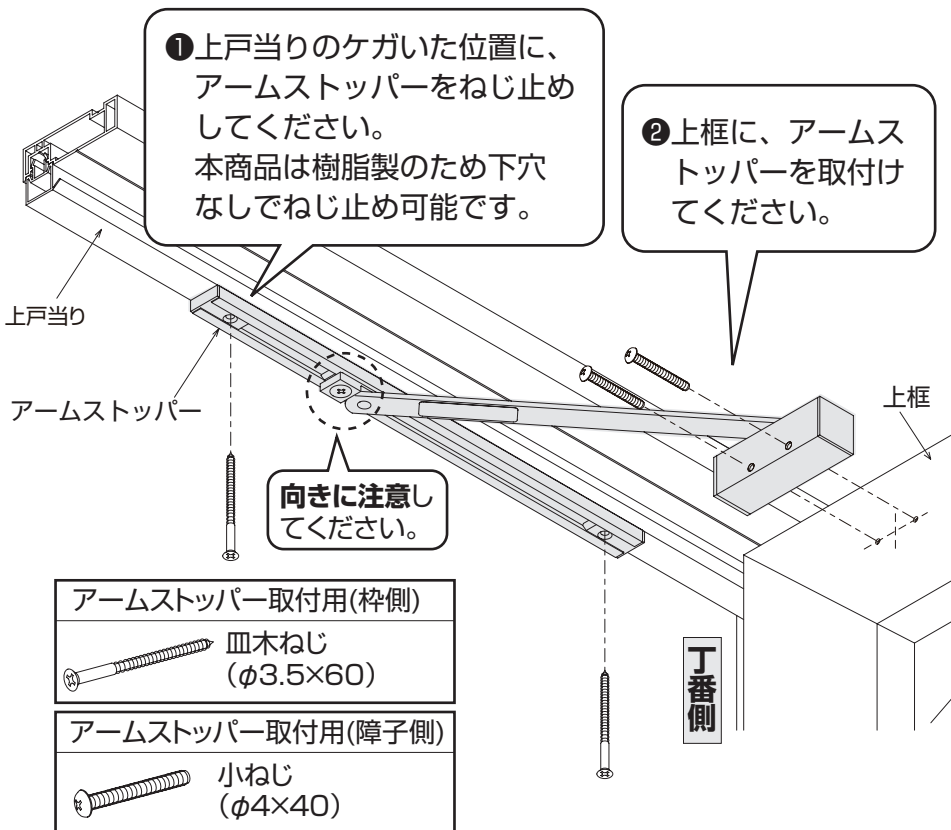
姿 図			
品 名	アームストッパー 勝手兼用	皿木ねじ (φ3.5×60)	小ねじ (φ4×40)
品 番	5K-14321	WF-3560	MP-4040
個 数	1	2	2

施工<開き窓テラス用>

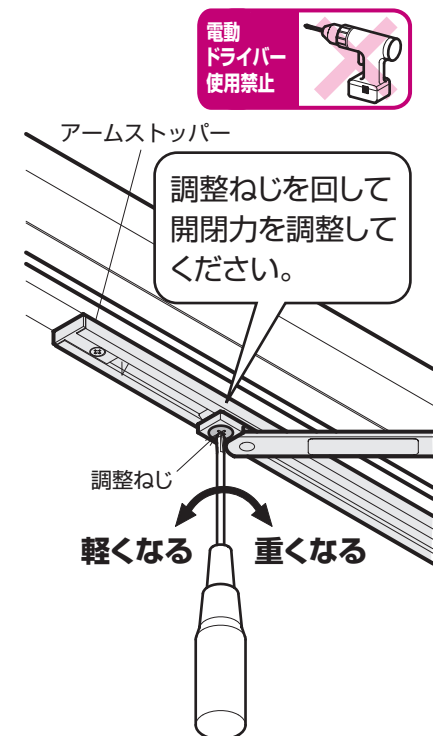
1.アームストッパーの取付位置決め



2.アームストッパーの取付



3.開閉抵抗の調整



<MEMO>

A series of horizontal dashed lines for writing a memo.



【組立・施工】

特殊な納まりに取付ける場合

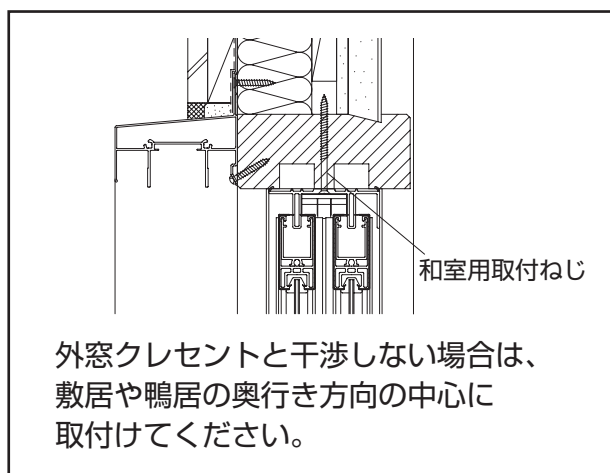
- 和室に取付ける場合……………P.176
- カーテンレール・カーテンボックス付の場合……………P.177

和室に取付ける場合

●和室障子を使用しない場合



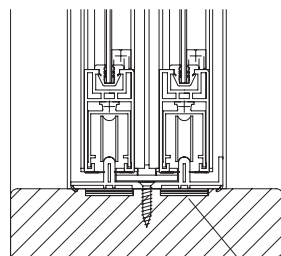
鴨居や敷居のレール溝を現地で埋め、和室取付ねじBS-PUH-34(オプション品P.15)を使用して上枠を取付けてください。



外窓クレセントと干渉しない場合は、敷居や鴨居の奥行き方向の中心に取付けてください。

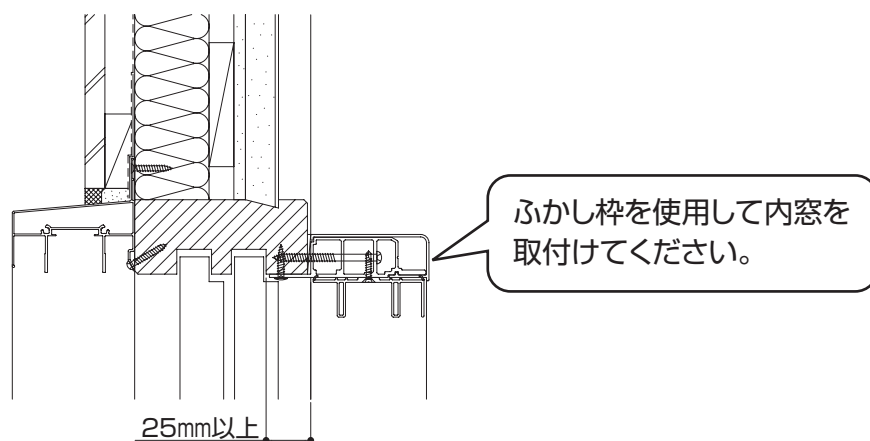
●下枠部

敷居レール溝を調整材で埋め、必ず平らな部分に取付けてください。



調整材

●和室障子をそのまま使用する場合



※ふかし枠を使用する場合は、P.103～157を参照してください。

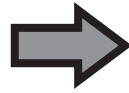
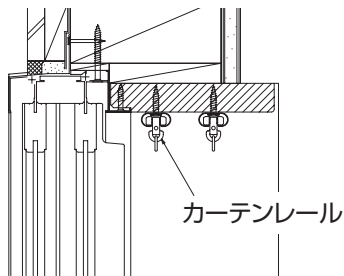
カーテンレール・カーテンボックス付の場合

注意

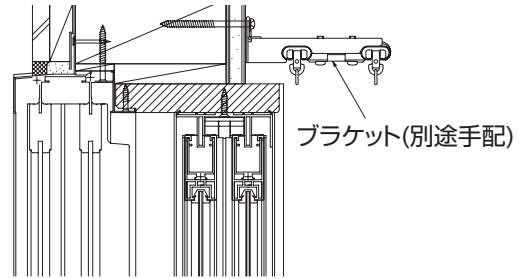
カーテンレール、ブラインド、カーテンボックスの取付状況は、現場により異なります。移設の際は、下地有無等を確認してください。また、移設により既存カーテンの長さの不足・調整が発生する場合がありますので、確認してください。

●カーテンレール、ブラインドが木額縁内にある場合

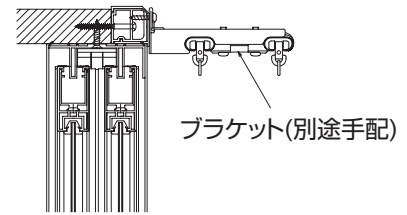
カーテンレール、ブラインドと干渉する場合は、お施主様に相談の上、カーテンレール、ブラインドの位置を移動させてください。



<例:カーテンレールを移設>



<例:カーテンレール対応ふかし枠を使用>

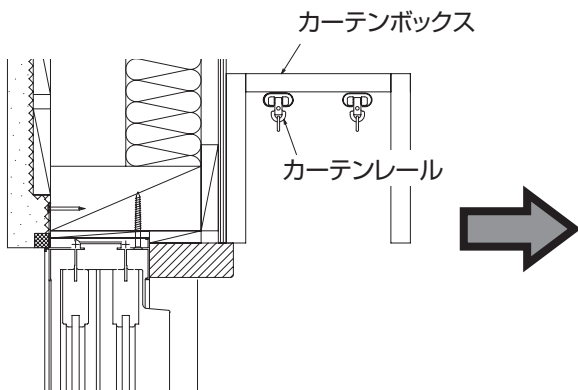


お願い

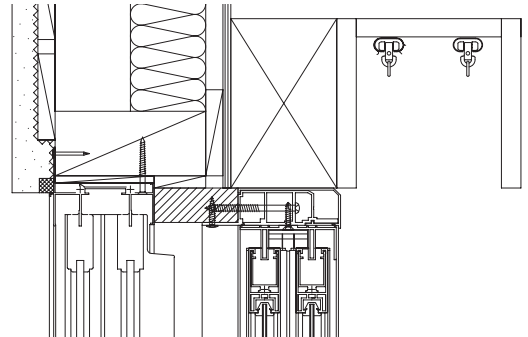
カーテンレール移設後、既存のねじ穴が残る場合は、メンテチューブ等を別途手配し補修してください。

●カーテンボックスがついている場合

カーテンボックスと干渉する場合は、お施主様に相談の上、取付位置を決めてください。



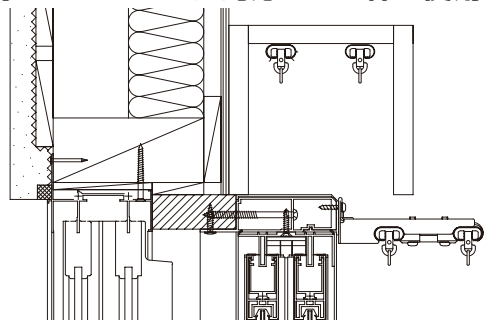
<例:カーテンボックスを移設>



注意

別途、木造作工事・内装工事が必要となります。

<例:カーテンレール対応ふかし枠を使用>



※ふかし枠を使用する場合は、P.103~157を参照してください。

